

温水プール整備検討業務 報告書

令和元年 6 月

箕 面 市

第Ⅰ章 市民の利用ニーズの把握・予測

1. 市民利用意向調査
 1. 1. 調査概要
 1. 2. 調査結果
2. 施設出口調査
 2. 1. 調査概要
 2. 2. 調査結果
3. 施設利用（整備）効果について
 3. 1. 箕面市民の利用目的別利用施設
 3. 2. 周辺類似施設を利用している理由（箕面市民）
 3. 3. 現在のプール利用者の利用目的
 3. 4. 新たなプールが整備された場合の利用意向
 3. 5. 新たなプール整備によるプール利用頻度の変化
 3. 6. 考察のまとめ
4. プール設備以外のオプション機能にかかる市民意向
 4. 1. 市民の要望があった施設機能
 4. 2. プール設備以外のオプション機能の検討

第Ⅱ章 近隣施設事例からの収支分析

1. 検討対象とするプールの類型
2. プール設備の整備モデル
 2. 1. 市民利用意向調査の結果から
 2. 2. 施設出口調査の結果から
 2. 3. 整備モデルの設定
3. モデル事例の収支分析
 3. 1. モデル事例の選定
 3. 2. モデル事例2施設の収支（実績値）
 3. 3. データの補正
 3. 4. 補正後のモデル事例の収支
4. 西河原市民プールにおけるシーズン分析
 4. 1. シーズン分析の意義
 4. 2. シーズン分析の考え方
 4. 3. 月別データの補正
 4. 4. 収支のシーズン分析
 4. 5. 利用者数のシーズン分析
5. 仮想モデルの収支試算
 5. 1. 仮想モデル（1）豊島温水プールに屋外プールを併設した場合
 5. 2. 仮想モデル（2）西河原市民プールが屋内温水プールのみの場合
6. 収支分析のまとめ
 6. 1. 概観
 6. 2. パターン間の比較分析
 6. 3. 夏季料金を変更した場合の試算

第Ⅲ章 整備費の試算

1. 試算モデルの設定
2. 整備地と試算モデルの面積の検証
 2. 1. 整備地について
 2. 2. 仮配置図による面積の検証
3. 整備事例の分析
 3. 1. 駐車場・駐輪場整備費
 3. 2. 建物整備費
 3. 3. 建物の平均整備費単価
4. 整備費の概算
5. 駐車場・駐輪場の整備費（参考）

第Ⅳ章 運営事業者ヒアリング

1. ヒアリングの内容
2. ヒアリングの結果

第Ⅴ章 立地条件を考慮した収支の試算

1. 屋内プール施設事例における利用者数の試算モデル化
 1. 1. 立地条件の整理
 1. 2. 利用者数試算値の算出
 1. 3. 試算モデルの検証
2. 屋外プール施設事例における利用者数の試算モデル化
 2. 1. 立地条件の整理
 2. 2. 利用者数試算値の算出
 2. 3. 試算モデルの検証
3. 箕面市プール整備地での利用者数試算値の算出
 3. 1. 箕面市プール整備地により決定される条件・要素の整理
 3. 2. 整備レベルごとの評価点設定
 3. 3. 屋内の利用者数試算値の算出
 3. 4. 屋外の利用者数試算値の算出
 3. 5. 試算モデルによる年間利用者数試算値
4. 試算モデルの収支の試算
 4. 1. 割引制度の利用率
 4. 2. 大人と小人の利用割合
 4. 3. 利用料収入の試算
 4. 4. 収支の試算
 4. 5. 現実的な試算モデルの抽出

第Ⅵ章 事業手法の検討

1. 事業手法の整理
 1. 1. 事業手法の想定
 1. 2. 想定事業方式
2. V F Mの試算
 2. 1. 従来型における事業費の設定
 2. 2. PFI における事業費の設定
 2. 3. VFM の試算

- 3. 財政負担の試算
 - 3. 1. 市の財政負担額の試算
- 4. 事業手法
 - 4. 1. 最適事業手法の選定
- 5. 施設の経営（管理・運営）方法について
 - 5. 1. 管理・運営方法の検討
- 6. 事業スケジュール
 - 6. 1. 想定事業スケジュールの策定

第Ⅶ章 整備に向けた整理と今後の検討課題

- 1. 整備地における適用関係法令の整理
 - 1. 1. 整備地の概要
 - 1. 2. 適用関係法令の整理
- 2. 近隣環境対策の検討
 - 2. 1. 騒音対策
 - 2. 2. 交通対策
 - 2. 3. 必要駐車台数の検討（参考）
- 3. 今後の検討事項
 - 3. 1. 運営動線と省エネ性能
 - 3. 2. 屋外プール設備
 - 3. 3. 屋内プール設備
 - 3. 4. 併設店舗と施設レイアウト
 - 3. 5. 既存施設との機能整理
 - 3. 6. 特定財源確保の可能性
- 4. 今後の方向性

巻末資料

第 I 章 市民の利用ニーズの把握・予測

1. 市民利用意向調査

1. 1. 調査概要

<目的>

- ・ 温水プールの利用ニーズの調査及び予測
- ・ 整備する温水プール施設の必要設備（附帯設備含む）の抽出

<調査方法>

箕面市在住の世帯主 4,000 人を無作為抽出し、アンケート返信用封筒を同封したアンケートを配布し、郵便ポストへの投函にて回収を行った。

<調査時期>

- ・ 平成 30 年 10 月 17 日（水）～平成 30 年 10 月 31 日（水）
- ※平成 30 年 10 月 17 日発送

<調査項目>

問1 同居されているご家族の方、全員の年齢を教えてください。

A :		歳	D :		歳	G :		歳
B :		歳	E :		歳	H :		歳
C :		歳	F :		歳	I :		歳

問2 最近5年間で、ご家族のうちどなたかがプールをご利用になりましたか。

1. 利用した
2. 利用したことがない

問3 どなたが、どれぐらいの頻度でご利用になりましたか。(目的別に「利用された方」をすべてご記入のうえ、利用した施設すべてに○をご記入ください。)

	年に 1～2回	月に 1～2回	週に 1～2回	ほぼ 毎日	その他 ()	利用施設
1. レジャー						公共施設 (市内・市外) 民間施設 (市内・市外)
2. 健康維持						公共施設 (市内・市外) 民間施設 (市内・市外)
3. 泳力向上 (スイミングスクール等)						公共施設 (市内・市外) 民間施設 (市内・市外)
4. その他 ()						公共施設 (市内・市外) 民間施設 (市内・市外)

問4 新しく整備するプールは、どのような設備を備えたプールをご希望ですか。

1. ウォーキングやリハビリなど水中運動に適したプール (屋内・屋外)
2. 25mの競泳用プール (屋内・屋外)
3. スライダーなど子どもが楽しめるレジャープール (屋内・屋外)
4. 水深の浅い幼児用プール (屋内・屋外)
5. その他 () (屋内・屋外)

問5 問4でご希望されたプールが整備された場合、どれぐらいの頻度でご利用したいですか。(あてはまるもの全てについて、屋内・屋外の全てに○をつけてください。)

	年に 1～2回	月に 1～2回	週に 1～2回	ほぼ毎日	その他 ()
1. レジャー					
2. 健康維持					
3. 泳力向上 (スイミングスクール等)					
4. その他 ()					

問6 新しく整備するプールと、一緒にあればよいと思う設備や施設はありますか。

1. 2. 調査結果

①回収率

- ・配布数：3,982 票（4000 票配布、「あて所尋ねなし」により 18 票無効）
- ・回収数：1,489 票（うち有効回答：1,485 票、無効回答：4 票）
※無効回答は回答者属性（年齢）の無記入による
- ・回収率：37.3%（1485/3982）
- ・回答者数：4,822 人

②回答者の年齢層

- ・箕面市全体の年齢層と比較すると、本調査で得られた回答者の年齢層「0～19 歳」の割合が若干高くなっているが、概ね箕面市全域の年齢階層と似た分布となっている。

【図表 I -1】回答者の年齢層（n=4822）

年齢層	本調査回答者		箕面市全体人口（H30.10）	
	人数	割合	人数	割合
0～9歳	655	13.6%	13944	10.1%
10歳代	635	13.2%	13889	10.0%
20歳代	358	7.4%	13585	9.8%
30歳代	552	11.4%	16603	12.0%
40歳代	805	16.7%	22156	16.0%
50歳代	598	12.4%	16653	12.0%
60歳代	485	10.1%	15711	11.4%
70歳代	502	10.4%	16081	11.6%
80歳代	197	4.1%	7704	5.6%
90歳以上	35	0.7%	1879	1.4%
合計	4822	100.0%	138205	100.0%

③市民のプール施設利用状況

i) 世帯分析

<プールの利用状況（n = 1485）>

- ・最近 5 年間でプールを利用した割合は 53.4%であり、半数を超える世帯がプールを利用している。

【図表 I -2】プールの利用状況<世帯分析>（n=1485）

回答項目	票数	割合
利用した	793	53.4%
利用していない	692	46.6%
合計	1485	100.0%

＜利用目的（複数回答）＞

- ・プールの利用目的は「レジャー」が最も多く、「プールを利用した」と回答した世帯の70.6%がレジャー目的と回答している。次いで、「泳力向上」が43.9%、「健康増進」が37.7%となっている。
- ・「その他」の回答として、「リハビリ」「付き添い」等がある。

【図表 I -3】 プールの利用目的＜世帯分析＞（n=1485）

利用目的	票数	割合(N=1485)	割合(N=793)
レジャー	560	37.7%	70.6%
健康増進	299	20.1%	37.7%
泳力向上	348	23.4%	43.9%
その他	65	4.4%	8.2%

※「割合（N=793）」は、「利用した」と回答した票数の「793票」における、各利用目的の票数の割合を示している。

「その他」の回答例

・リハビリ(17票) ・付き添い(7票) ・大会(1票)

＜利用施設（複数回答）＞

- ・「レジャー」目的では、「市外の民間施設」の利用が最も高く（23.1%）、「市内外の公共施設」の利用も比較的高い（12.7%、13.9%）傾向にある。
- ・「健康増進」目的では、「市内の公共施設」の利用が最も低く（2.0%）、「市外の公共施設」の利用が最も高い（8.1%）傾向にある。
- ・「泳力向上」目的では、「市内の公共施設」の利用が最も低く（2.5%）、「市内の民間施設」利用が最も高い（13.3%）傾向にある。
- ・箕面市内の公共施設に着目すると、「レジャー」目的での施設利用は、比較的高いが（12.7%）、「健康維持」「泳力向上」目的での施設利用は低い（約2～3%）傾向にある。

【図表 I -4】 プールの利用目的＜世帯分析＞（n=1485）

利用目的	合計	公共施設				民間施設			
		市内		市外		市内		市外	
		票数	割合	票数	割合	票数	割合	票数	割合
レジャー	560	188	12.7%	206	13.9%	33	2.2%	343	23.1%
健康増進	299	30	2.0%	121	8.1%	94	6.3%	94	6.3%
泳力向上	348	37	2.5%	74	5.0%	198	13.3%	88	5.9%
その他	65	18	1.2%	20	1.3%	14	0.9%	15	1.0%

※表の合計は、複数回答の重複を除いた票数を示す。

ii) 個人分析

<利用目的>

- ・全体の利用傾向として、約 44%の回答者にプール利用があり、約 35%の回答者がレジャー目的での利用である。また、約 10%の市民が健康維持、泳力向上の目的でプールを利用している。
- ・「0～19 歳」「30～40 歳代」の年齢層でプールの利用率が高い傾向にある。
- ・「0～19 歳」の年齢層は、レジャーや泳力向上の目的での利用が高い傾向にある。
- ・「30～40 歳代」の年齢層は、レジャー目的での利用が高い傾向にある。
- ・「30 歳代以降」の年齢層は、健康維持での利用が若干高い傾向にある。

【図表 I -5】プールの利用目的<個人分析> (n=4822)

年齢層	利用目的								利用者数		回答者数
	レジャー		健康維持		泳力向上		その他				
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
0～9歳	438	9.1%	23	0.5%	258	5.4%	14	0.3%	503	10.4%	655
10歳代	362	7.5%	24	0.5%	168	3.5%	14	0.3%	430	8.9%	635
20歳代	79	1.6%	31	0.6%	11	0.2%	7	0.1%	106	2.2%	358
30歳代	277	5.7%	73	1.5%	29	0.6%	3	0.1%	313	6.5%	552
40歳代	355	7.4%	94	1.9%	32	0.7%	5	0.1%	413	8.6%	805
50歳代	101	2.1%	59	1.2%	12	0.2%	7	0.1%	151	3.1%	598
60歳代	41	0.9%	55	1.1%	10	0.2%	5	0.1%	95	2.0%	485
70歳～	39	0.8%	87	1.8%	28	0.6%	19	0.4%	134	2.8%	734
合計	1692	35.1%	446	9.2%	548	11.4%	74	1.5%	2145	44.5%	4822

<利用目的別利用頻度>

- ・「レジャー」目的での利用は、「年に 1,2 回」の利用頻度が大半を占める (30.6%)。
- ・「健康維持」目的の利用は、「年に 1,2 回」「月に 1,2 回」「週に 1,2 回」の利用頻度が概ね均等な分布を示す (約 3%)。
- ・「泳力向上」目的での利用は、「週に 1,2 回」の利用頻度が高い (6.9%) 傾向にある。

【図表 I -6】プールの利用目的別利用頻度<個人分析> (n=4822)

利用目的	年に1,2回		月に1,2回		週に1,2回		ほぼ毎日		その他		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
レジャー	1477	30.6%	121	2.5%	30	0.6%	2	0.0%	62	1.3%	1692	35.1%
健康維持	147	3.0%	136	2.8%	128	2.7%	24	0.5%	11	0.2%	446	9.2%
泳力向上	90	1.9%	76	1.6%	331	6.9%	30	0.6%	21	0.4%	548	11.4%
その他	26	0.5%	9	0.2%	18	0.4%	9	0.2%	12	0.2%	74	1.5%

④希望するプール施設

- ・「水中運動に適したプール」「25mの競泳用プール」は、屋内での整備を希望する意見が多く、約 6～8 割の市民が屋内での整備を希望している。
- ・「子どもが楽しめるプール」は、屋内・屋外のともに整備を希望する意見が多い(約 40～50%)。
- ・「幼児用プール」は、屋内での整備を半数近くの市民が希望しており、屋外での整備も約 25%の市民が希望している。
- ・「その他」のプールとして、「ジャグジー」、「流水プール」、「50mプール」、「飛び込み用プール」、「造波プール」などの回答が多く挙がっている。

【図表 I -7】 プールの利用目的＜個人分析＞（n=4822）

希望するプール設備	屋内		屋外	
	回答数	割合	回答数	割合
水中運動に適したプール	1172	78.9%	54	3.6%
25mの競泳用プール	987	66.5%	142	9.6%
子どもが楽しめるプール	619	41.7%	746	50.2%
幼児用プール	701	47.2%	375	25.3%
その他	149	10.0%	63	4.2%

その他の主な回答

ジャグジー(28)／流水プール(25)／50mプール(20)／飛び込み用プール(17)／風呂(11)／造波プール(5)

⑤附帯施設について

- ・自由記述を整理し、回答数が 10%を超えるものを抽出した。
- ・健康維持の観点から、ジムや温浴施設、サウナ、岩盤浴、マッサージ等の設備。
- ・カフェや飲食店、軽食などの飲食物の提供する施設の併設や、持ち込み可能な飲食や交流の場として活用もできる休憩スペースや観覧・待合スペース。
- ・コンビニや売店などのスポーツグッズや調度品が購入できる店舗。
- ・子どもの遊び場、憩いの場としてのキッズスペースや公園。
- ・趣味としての図書館、ヨガやピラティスができるスタジオ。

主な回答例

ジム(492)／カフェ(445)／温浴施設(273)／飲食店(144)／サウナ(93)／軽食(65)／駐車場(64)／図書館(51)／休憩所(48)／シャワー(46)／コンビニ(45)／売店(41)／キッズスペース(38)／公園(35)／マッサージ(34)／スタジオ(22)／観覧・待合スペース(20)／飲食スペース(19)／岩盤浴(15)

※括弧内は回答数を示す。

※回答数が 14 票（全体の 1 %）を超える回答のみ記載している。

⑥利用意向

＜プールの利用意向＞

- ・全体として、約 7 割の回答者が利用意向を示しており、主に「レジャー」・「健康維持」目的での利用意向が高い。
- ・年齢層別にみると、全ての年齢層で半数以上の利用意向となっており、特に「0～19 歳」「40～60 歳代」の年齢層において利用意向が高い傾向にある。
- ・「0～19 歳」の年齢層では、レジャー・泳力向上目的での利用意向が高い。
- ・「20 歳代」「40 歳代」の年齢層では、レジャー・健康維持目的での利用意向が若干高い。
- ・「30 歳代」の年齢層では、レジャー目的での利用意向が高い。
- ・「50 歳代以上」の年齢層では、健康維持目的での利用意向が高く、レジャー目的の利用意向も若干高い。

【図表 I -8】 プールの利用意向＜個人分析＞（n=4822）

年齢層	利用目的								利用者数		回答者数
	レジャー		健康維持		泳力向上		その他				
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
0～9歳	498	10.3%	57	1.2%	335	6.9%	7	0.1%	597	12.4%	655
10歳代	348	7.2%	99	2.1%	206	4.3%	10	0.2%	500	10.4%	635
20歳代	123	2.6%	111	2.3%	37	0.8%	2	0.0%	211	4.4%	358
30歳代	314	6.5%	255	5.3%	57	1.2%	6	0.1%	439	9.1%	552
40歳代	363	7.5%	425	8.8%	62	1.3%	5	0.1%	636	13.2%	805
50歳代	140	2.9%	381	7.9%	64	1.3%	19	0.4%	449	9.3%	598
60歳代	100	2.1%	323	6.7%	43	0.9%	20	0.4%	356	7.4%	485
70歳～	116	2.4%	358	7.4%	39	0.8%	55	1.1%	421	8.7%	734
合計	2002	41.5%	2009	41.7%	843	17.5%	124	2.6%	3609	74.8%	4822

＜利用目的別利用頻度（意向）＞

- ・「レジャー」目的では、「年に 1,2 回」での利用意向が最も高く（24.2%）、次いで「月に 1,2 回」での利用意向が高い（13.2%）。
- ・「健康維持」目的では、「月に 1,2 回」での利用意向が最も高く（18.6%）、次いで「週に 1,2 回」の利用意向が高い（15.9%）。
- ・「泳力向上」目的では、「週に 1,2 回」での利用意向が最も高く（9.5%）、次いで「月に 1,2 回」の利用意向が高い（5.1%）。

【図表 I -9】 プールの利用目的別利用頻度＜個人分析＞（n=4822）

利用目的	年に1,2回		月に1,2回		週に1,2回		ほぼ毎日		その他		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
レジャー	1165	24.2%	635	13.2%	160	3.3%	10	0.2%	32	0.7%	2002	41.5%
健康維持	240	5.0%	896	18.6%	768	15.9%	88	1.8%	17	0.4%	2009	41.7%
泳力向上	89	1.8%	248	5.1%	456	9.5%	36	0.7%	14	0.3%	843	17.5%
その他	10	0.2%	39	0.8%	47	1.0%	22	0.5%	6	0.1%	124	2.6%

＜利用意向と利用状況の増減＞

問5「利用意向」の回答数・割合に対して、問3「利用状況」の回答数・割合を差し引いた数値を下記に示す。

- ・全体として、1,464 人が新たに利用意向を示しており（30.4%増）、各年齢層、各利用目的別に見ても、概ね利用意向が増加している傾向にある。
- ・利用目的別にみると、「健康維持」目的での利用増加が高く（32.4%増）、「レジャー」「泳力向上」目的での利用も若干増加している（約 6%）傾向にある。
- ・年齢層別にみると、「40 歳代以上」の年齢層において利用増加が高く（約 4.5%以上の増）、その多くが「健康維持」目的での利用である。

【図表 I -10】 プールの利用目的＜個人分析＞（n=4822）

年齢層	利用目的								利用者数		回答者数
	レジャー		健康維持		泳力向上		その他				
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	
0～9歳	60	1.2%	34	0.7%	77	1.6%	-7	-0.1%	94	1.9%	655
10歳代	-14	-0.3%	75	1.6%	38	0.8%	-4	-0.1%	70	1.5%	635
20歳代	44	0.9%	80	1.7%	26	0.5%	-5	-0.1%	105	2.2%	358
30歳代	37	0.8%	182	3.8%	28	0.6%	3	0.1%	126	2.6%	552
40歳代	8	0.2%	331	6.9%	30	0.6%	0	0.0%	223	4.6%	805
50歳代	39	0.8%	322	6.7%	52	1.1%	12	0.2%	298	6.2%	598
60歳代	59	1.2%	268	5.6%	33	0.7%	15	0.3%	261	5.4%	485
70歳～	77	1.6%	271	5.6%	11	0.2%	36	0.7%	287	6.0%	734
合計	310	6.4%	1563	32.4%	295	6.1%	50	1.0%	1464	30.4%	4822

＜利用目的別利用頻度＞

問5「利用意向」における「利用頻度」の回答数・割合に対して、問3「利用状況」における「利用頻度」の回答数・割合を差し引いた数値を下記に示す。

- ・全体として利用頻度が増加している傾向にあり、「年に 1,2 回」「その他」の利用頻度が減少傾向にあり、「月に 1,2 回」「週に 1,2 回」「ほぼ毎日」の利用頻度の回答数が全て増加傾向にある。これは、「年に 1,2 回」「その他（夏季のみ等）」の利用状況であった回答者が「月に 1,2 回」「週に 1,2 回」等のより頻度の高い利用の意向を示した結果である。
- ・目的別にみると、「レジャー」目的では、「月に 1,2 回」の利用増加が高く（10.7%増）、「健康維持」目的では、「月に 1,2 回」「週に 1,2 回」の利用増加が高い（15.8%、13.8%増）傾向にある。「泳力向上」目的では、「月に 1,2 回」「週に 1,2 回」の利用頻度に若干の増加傾向がみられる（約 3%増）。

【図表 I -11】 プールの利用目的＜個人分析＞（n=4822）

利用目的	年に1,2回		月に1,2回		週に1,2回		ほぼ毎日		その他		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
レジャー	-312	-6.5%	514	10.7%	130	2.7%	8	0.2%	-30	-0.6%	310	6.4%
健康維持	93	1.9%	760	15.8%	640	13.3%	64	1.3%	6	0.1%	1563	32.4%
泳力向上	-1	0.0%	172	3.6%	125	2.6%	6	0.1%	-7	-0.1%	295	6.1%
その他	-16	-0.3%	30	0.6%	29	0.6%	13	0.3%	-6	-0.1%	50	1.0%

＜調査結果のまとめ＞

○箕面市のプールの利用実態について

- ・約半数の世帯でプールの利用があり、「19 歳以下」の子どもを有する世帯、すなわち、「19 歳以下」と「30～40 代」で「レジャー」目的での利用が多い。また、「19 歳以下」の年齢層では、「泳力向上」目的での利用も比較的高く、「30 歳代以上」の年齢層においては、「健康維持」目的での利用が若干数ある。
- ・箕面市内の公共施設の利用実態として、レジャー目的での利用は一定数の利用があるが、健康増進・泳力向上の目的での利用は少ない。中でも、健康増進の目的では、市外の公共施設を利用が最も多い。
- ・「レジャー」目的では、概ね「年 1,2 回」の利用頻度であり、「泳力向上」目的では、「週に 1,2 回」の利用頻度が高い。

○施設整備後の利用意向について

- ・全体としての利用意向は高く、約 75%の割合で利用意向を示しており、「レジャー」「健康増進」目的での利用意向が高い。
- ・「レジャー」目的では、「19 歳以下」「30～40 歳代」の年齢層、「健康増進」目的では、「30 歳代以上」の年齢層において利用意向が高い。また、「泳力向上」目的で、「19 歳以下」の年齢層で利用意向が若干高くなっている。
- ・「レジャー」目的では、「年 1,2 回」「月 1,2 回」の利用頻度（意向）が高く、「健康増進」目的では、「月 1,2 回」「週 1,2 回」の利用頻度（意向）が高い。

○施設に求める機能や設備について

- ・「水中運動に適したプール」、「25mの競泳用プール」は屋内での整備するのが望ましく、「子どもが楽しめるプール」は屋内・屋外のともに整備するのが望ましい。
- ・「幼児用プール」は屋内での整備を半数近くの市民が希望しており、屋外での整備も約 25%の市民が希望しているため、屋内整備を基本としつつ、屋外の整備も検討するのが望ましい。
- ・「その他」のプールとして、「ジャグジー」、「流水プール」、「50mプール」、「飛び込み用プール」、「造波プール」などの希望がある。
- ・また、健康維持の観点から、ジムや温浴施設、サウナ、岩盤浴、マッサージ等の設備。カフェや飲食店、軽食などの飲食物の提供する施設の併設や、持ち込み可能な飲食スペース、交流スペースとして活用もできる休憩スペースや観覧・待合スペース。コンビニや売店などのスポーツグッズや調度品が購入できる店舗。子どもの遊び場、憩いの場としてのキッズスペースや公園。趣味としての図書館、ヨガやピラティスができるスタジオ。の付帯機能を求める声があった。

2. 施設出口調査

2. 1. 調査概要

<目的>

箕面市における屋内温水プールの整備検討に向け、以下の4つの目的でプール施設利用者を対象とした出口調査（ヒアリング調査）を行う。

- ①施設の利用実態を把握する。
- ②施設に求めている機能や設備を把握する。
- ③施設利用者の属性（年齢・居住地）を把握する。
- ④アンケート調査と比較分析を行い、整備するプールの計画を検討する。

<調査対象施設>

設置主体、利用可能期間、立地場所の観点から下記に示すA～Dの4パターンに調査対象施設を分類し、意向の調査を行う。

○A 箕面市近郊通年利用型施設

通年利用で箕面市民の利用も多いと考えられ、夏季と夏季以外では利用者層が異なると予想されることから、夏季と夏季以外の平日・休日において利用実態を調査する。

対象) 豊中市立二ノ切温水プール

○B 箕面市遠隔部通年利用型施設

通年利用型でありながら箕面市からは距離があるため、直接的な箕面市民の利用は少ないと考えられるが、通年利用型施設としての利用実態を調査する。

対象) 豊中市立豊島温水プール、茨木市立五十鈴市民プール、川西市市民温水プール

○C 夏季限定利用型施設

レジャー機能をもった夏季限定利用のプールの利用実態を調査する。

対象) 伊丹市緑ヶ丘プール、大阪府営服部緑地ウォーターランド

○D 箕面市内の民間施設

箕面市内の民間施設で通年型であり、自由遊泳が可能なプールであり、本計画施設と競合関係になると考えられるため、その利用実態を調査する。

対象) コ・ス・パみのお

【図表 I -12】 調査対象施設の分類

No.	名称	施設分類	公営・民間	所在地
1	豊中市立二ノ切温水プール	A箕面市近郊通年利用型施設	公共施設	豊中市
2	豊中市立豊島温水プール	B箕面市遠隔部通年利用型施設	公共施設	豊中市
3	茨木市立五十鈴市民プール	B箕面市遠隔部通年利用型施設	公共施設	茨木市
4	川西市市民温水プール	B箕面市遠隔部通年利用型施設	公共施設	川西市
5	伊丹市緑ヶ丘プール	C夏季限定利用型施設	公共施設	伊丹市
6	大阪府営服部緑地ウォーターランド	C夏季限定利用型施設	公共施設	豊中市
7	コ・ス・パみのお	D箕面市内の民間施設	民間施設	箕面市

<調査方法>

施設利用後の利用者を対象に、施設の出入口にて調査員による聴き取り式の調査とした。ただし、複数人での利用の場合は、代表者1名を調査対象とした。

<調査項目>

聴き取り項目を以下のとおりである。

1. どのような目的でこのプールを利用されていますか。(主な目的1つ) ①健康維持、増進 ②泳力向上 ③レジャー ④リハビリ ⑤その他 ()	
2. どなたと来られましたか。 ①一人 ②家族(子ども)連れ ③夫婦 ④友人 ⑤その他 ()	
3. このプールを利用しようと思われた理由は何ですか。(主な理由1つ) ①近いから ②交通の便が良いから ③魅力的な施設であるから ④近くにプールが無いから ⑤料金が比較的安いから ⑥その他 ()	
4. このプールはどれくらいの頻度で利用されますか。 ①年に1,2回 ②月に1,2回 ③週に1,2回 ④ほぼ毎日 ⑤その他 ()	
5. 本日、このプールのどのような施設を利用されましたか。(複数回答あり) ①50m・25m プール ②流水プール ③ウォータースライダー ④幼児用プール ⑤サウナ ⑥トレーニングジム ⑦レストラン ⑧売店 ⑨温浴施設 ⑩その他 ()	
6. このプールの評価をきかせてください。(複数回答あり) ①施設がきれい ②プール以外の施設機能や設備が充実している ③競泳プールや、流水プールなどプールの種類が豊富 ④子どもから大人まで楽しめる ⑤水泳教室や水中体操などプログラムが充実している ⑥自由遊泳ができる ⑦料金が手頃 ⑧その他 ()	
7. どのような交通手段で来られましたか。(主な交通手段1つ) ①徒歩 ②自転車 ③バイク ④自家用車 ⑤自家用車(送迎) ⑥バス ⑦電車 ⑧タクシー ⑨その他 ()	
8. あなたのこについて教えてください。 ①どちらからこられましたか。 ・大阪市 ・箕面市 ・池田市 ・吹田市 ・茨木市 ・高槻市 ・川西市 ・伊丹市 ・摂津市 ・豊中市 ・その他 () ②ご年齢層を教えてください。 ・10歳代 ・20歳代 ・30歳代 ・40歳代 ・50歳代 ・60歳代 ・70歳代以上 ③性別 ・女性 ・男性	
9. 箕面市にお住まいのかたに伺います。 Aなぜこのプールを利用されていますか。(自由回答) B箕面市に屋内温水プールを整備する際、特に望む機能・施設について教えてください。(複数あり) ①50m・25m プール ②流水プール ③ウォータースライダー ④幼児用プール ⑤サウナ ⑥トレーニングジム ⑦レストラン ⑧売店 ⑨温浴施設 ⑩その他 () C箕面市に屋内温水プールができた場合、どのくらいの頻度で利用されますか。 ①利用しない ②年に1,2回 ③月に1,2回 ④週に1,2回 ⑤ほぼ毎日 ⑥その他 ()	

<調査実施日>

調査実施日は、図表 I -13 のとおりである。

【図表 I -13】 調査対象施設の分類

分類	名称	出口調査実施日							
		夏季				夏季以外			
		平日(11時～21時)		休日(10時～20時)		平日(11時～21時)		休日(10時～20時)	
		日時	獲得票数	日時	獲得票数	日時	獲得票数	日時	獲得票数
A	豊中市立二ノ切温水プール	8/24(金)	129	8/25(土)	150	9/21(金)	100	9/16(日)	134
B	豊中市立豊島温水プール	-	-	-	-	9/21(金)	105	9/16(日)	145
B	茨木市立五十鈴市民プール	-	-	-	-	9/21(金)	129	9/16(日)	104
B	川西市市民温水プール	-	-	-	-	9/21(金)	118	9/16(日)	113
C	伊丹市緑ヶ丘プール	8/24(金)	100	8/25(土)	103	-	-	-	-
C	大阪府営服部緑地ウォーターランド	8/24(金)	300	8/25(土)	331	-	-	-	-
D	コ・ス・パみのお	8/24(金)	112	8/25(土)	111	10/16(火)	114	10/20(土)	100

2.2. 調査結果

<A：箕面市近郊通年利用型施設（二ノ切温水プール）>

○設問1. どのような目的でこのプールを利用されていますか。（主な目的1つ）

- ・全体の傾向として、「健康維持・増進」目的の利用が多く、休日には「レジャー」目的での利用が増える。また、夏季以外の時期では、平日の「レジャー」目的での利用が少なく、「泳力向上」目的での利用が多い。

【図表 I -14】利用目的

選択項目	夏季			夏季以外		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
健康維持・増進	64.3%	43.3%	53.0%	63.0%	47.0%	53.8%
泳力向上	10.9%	18.0%	14.7%	28.0%	19.4%	23.1%
レジャー	15.5%	30.7%	23.7%	1.0%	31.3%	18.4%
リハビリ	7.0%	5.3%	6.1%	8.0%	1.5%	4.3%
その他	2.3%	2.7%	2.5%	0.0%	0.7%	0.4%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○設問2. どなたと来られましたか。

- ・全体の傾向として、「一人」での利用が約半数を占め、休日では、「家族（子ども連れ）」での利用が多くなる。また夏季と夏季以外の時期を比較すると、平日の「家族（子ども）連れ」の利用が、夏季以外で多くなる傾向にある。

【図表 I -15】同行者

選択項目	夏季			夏季以外		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
一人	70.5%	44.7%	56.6%	64.0%	41.0%	50.9%
家族（子ども）連れ	15.5%	46.0%	31.9%	31.0%	53.0%	43.6%
夫婦	1.6%	2.7%	2.2%	2.0%	4.5%	3.4%
友人	10.9%	4.0%	7.2%	2.0%	0.7%	1.3%
その他	0.8%	2.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.8%	0.7%	0.7%	1.0%	0.7%	0.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○設問3. このプールを利用しようと思われた理由は何ですか。（主な理由1つ）

- ・全体の傾向として、「近いから」との回答が非常に多い。また、時期を問わず、平日では、「料金が比較的安いから」との回答が若干数を占めている。

【図表 I -16】施設選択理由

選択項目	夏季			夏季以外		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
近いから	65.9%	72.0%	69.2%	64.0%	74.6%	70.1%
交通の便がいいから	2.3%	4.7%	3.6%	2.0%	3.7%	3.0%
魅力的な施設であるから	3.1%	8.0%	5.7%	4.0%	3.7%	3.8%
近くにプールが無いから	8.5%	6.7%	7.5%	9.0%	10.4%	9.8%
料金が比較的安いから	11.6%	5.3%	8.2%	19.0%	3.7%	10.3%
その他	8.5%	2.0%	5.0%	2.0%	3.7%	3.0%
無回答	0.0%	1.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○設問 4. このプールはどれくらいの頻度で利用されますか。

- ・全体の傾向として、「月に 1,2 回」、「週に 1,2 回」の回答が多い。
- ・夏期以外の平日の利用では、「週に 1,2 回」の回答が非常に多い。

【図表 I -17】利用頻度

選択項目	夏季			夏季以外		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
年に1, 2回	10.1%	12.0%	11.1%	0.0%	14.2%	8.1%
月に1, 2回	22.5%	48.7%	36.6%	8.0%	47.8%	30.8%
週に1, 2回	55.8%	31.3%	42.7%	85.0%	29.9%	53.4%
ほぼ毎日	5.4%	2.0%	3.6%	1.0%	0.0%	0.4%
その他	6.2%	6.0%	6.1%	6.0%	8.2%	7.3%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○設問 5. 本日、このプールのどのような施設を利用されましたか。(複数回答あり)

- ・「50m・25mプール」の回答が非常に多く、「幼児用プール」の回答も若干多い。
- ・平日より休日の方が「幼児用プール」を利用している傾向にある。

【図表 I -18】利用した施設

選択項目	夏季			夏季以外		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
50m・25mプール	84.5%	69.3%	76.3%	84.0%	78.4%	80.8%
流水プール	0.0%	0.7%	0.4%	1.0%	0.7%	0.9%
ウォータースライダー	0.0%	0.7%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
幼児用プール	10.1%	33.3%	22.6%	16.0%	36.6%	27.8%
サウナ	0.8%	1.3%	1.1%	0.0%	4.5%	2.6%
トレーニングジム	0.0%	1.3%	0.7%	1.0%	1.5%	1.3%
レストラン	0.0%	1.3%	0.7%	1.0%	2.2%	1.7%
売店	0.0%	1.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
温浴施設	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.4%
その他	7.0%	6.0%	6.5%	0.0%	1.5%	0.9%

○設問 6. このプールの評価をきかせてください。(複数回答あり)

- ・全体の傾向として、「料金が手頃」、「自由遊泳ができる」の回答が多い。
- ・休日では、「施設がきれい」、「こどもから大人まで楽しめる」の回答が多い。
- ・夏期以外の平日では、「プログラムが充実している」の回答が多くなっている。

【図表 I -19】施設の評価

選択項目	夏季			夏季以外		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
施設がきれい	24.0%	40.7%	33.0%	26.0%	42.5%	35.5%
プール以外の施設機能や設備が充実している	3.1%	4.0%	3.6%	2.0%	2.2%	2.1%
競泳プールや、流水プールなどプールの種類が豊富	3.9%	4.0%	3.9%	2.0%	3.0%	2.6%
こどもから大人まで楽しめる	19.4%	49.3%	35.5%	29.0%	49.3%	40.6%
水泳教室や水中体操などプログラムが充実している	13.2%	7.3%	10.0%	40.0%	10.4%	23.1%
自由遊泳ができる	43.4%	40.7%	41.9%	42.0%	45.5%	44.0%
料金が手頃	53.5%	54.0%	53.8%	65.0%	55.2%	59.4%
その他	13.2%	7.3%	10.0%	7.0%	3.0%	4.7%

○設問 7. どのような交通手段で来られましたか。(主な交通手段 1 つ)

- ・全体の傾向として、「自家用車」の回答が多く、次いで「自転車」、「徒歩」の順に回答が多い。
- ・夏季に比べ、夏期以外では「徒歩」の回答が多くなる傾向にある。

【図表 I -20】来訪手段

選択項目	夏季			夏季以外		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
徒歩	12.4%	14.5%	12.9%	26.0%	22.4%	23.9%
自転車	32.6%	22.5%	26.2%	30.0%	29.9%	29.9%
バイク	11.6%	5.1%	7.9%	4.0%	2.2%	3.0%
自家用車	34.9%	52.2%	41.9%	31.0%	41.0%	36.8%
自家用車(送迎)	0.8%	0.0%	0.4%	2.0%	1.5%	1.7%
バス	3.1%	4.3%	3.6%	5.0%	1.5%	3.0%
電車	3.9%	0.7%	6.5%	2.0%	0.7%	1.3%
タクシー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.4%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.8%	0.7%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○設問 8. あなたのことについて教えてください。

- ・施設が位置する「豊中市」の回答が非常に多く、隣接する「吹田市」の回答も若干多い。

【図表 I -21】回答者属性（居住地）

選択項目	夏季			夏季以外		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
大阪市	1.6%	1.3%	1.4%	1.0%	0.7%	0.9%
箕面市	5.4%	4.0%	4.7%	5.0%	9.7%	7.7%
池田市	0.8%	0.0%	0.4%	2.0%	0.0%	0.9%
吹田市	16.3%	26.7%	21.9%	9.0%	19.4%	15.0%
茨木市	1.6%	3.3%	2.5%	0.0%	2.2%	1.3%
高槻市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
川西市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊丹市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
摂津市	0.0%	0.7%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
豊中市	73.6%	62.7%	67.7%	83.0%	67.2%	73.9%
その他	0.0%	0.7%	0.4%	0.0%	0.7%	0.4%
無回答	0.8%	0.7%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【図表 I -22】回答者属性（年齢）

選択項目	夏季			夏季以外		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
10歳代	11.6%	2.7%	6.8%	3.0%	4.5%	3.8%
20歳代	6.2%	4.7%	5.4%	4.0%	5.2%	4.7%
30歳代	7.8%	22.7%	15.8%	21.0%	26.1%	23.9%
40歳代	16.3%	32.7%	25.1%	18.0%	27.6%	23.5%
50歳代	12.4%	14.0%	13.3%	11.0%	19.4%	15.8%
60歳代	20.9%	14.0%	17.2%	22.0%	11.2%	15.8%
70歳以上	24.0%	7.3%	15.1%	21.0%	6.0%	12.4%
無回答	0.8%	2.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【図表 I -23】回答者属性（性別）

選択項目	夏季			夏季以外		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
女性	47.3%	34.0%	38.0%	68.0%	37.3%	40.1%
男性	51.9%	63.3%	60.4%	32.0%	62.7%	58.1%
無回答	0.8%	2.7%	1.6%	0.0%	0.0%	1.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

< B : 箕面市遠隔部通年利用型施設 >

○設問 1. どのような目的でこのプールを利用されていますか。(主な目的 1 つ)

- ・全体の傾向として、「健康維持・増進」目的の利用が多く、川西・豊島の休日では「レジャー」目的での利用が増え、五十鈴の休日では「泳力向上」目的が増える。

【図表 I -24】利用目的

施設名 選択項目	川西			豊島			五十鈴		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計	平日	休日	合計
健康維持・増進	56.8%	43.4%	50.2%	45.7%	60.0%	54.0%	49.6%	51.0%	50.2%
泳力向上	20.3%	13.3%	16.9%	12.4%	13.8%	13.2%	22.5%	41.3%	30.9%
レジャー	1.7%	33.6%	17.3%	1.0%	18.6%	11.2%	0.8%	2.9%	1.7%
リハビリ	0.8%	1.8%	1.3%	4.8%	4.1%	4.4%	0.0%	1.0%	0.4%
その他	20.3%	8.0%	14.3%	36.2%	3.4%	17.2%	27.1%	3.8%	16.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○設問 2. どなたと来られましたか。

- ・全体の傾向として、「一人」と「家族（子ども）連れ」の利用が約 9 割を占める。
- ・平日休日の差異は施設によって異なっており、川西では休日の「家族（子ども）連れ」の利用が多く、五十鈴では休日の「一人」の利用が多くなる傾向にある。

【図表 I -25】同行者

施設名 選択項目	川西			豊島			五十鈴		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計	平日	休日	合計
一人	51.7%	38.1%	45.0%	52.4%	52.4%	52.4%	43.4%	50.0%	46.4%
家族(子ども)連れ	33.1%	51.3%	42.0%	37.1%	33.8%	35.2%	46.5%	39.4%	43.3%
夫婦	5.1%	1.8%	3.5%	2.9%	7.6%	5.6%	3.9%	3.8%	3.9%
友人	6.8%	5.3%	6.1%	2.9%	3.4%	3.2%	5.4%	4.8%	5.2%
その他	2.5%	2.7%	2.6%	3.8%	2.1%	2.8%	0.0%	1.0%	0.4%
無回答	0.8%	0.9%	0.9%	1.0%	0.7%	0.8%	0.8%	1.0%	0.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○設問 3. このプールを利用しようと思われた理由は何ですか。(主な理由 1 つ)

- ・全体の傾向として、「近いから」との回答が非常に多く、「料金が比較的安いから」の回答も若干数みられる。

【図表 I -26】施設選択理由

施設名 選択項目	川西			豊島			五十鈴		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計	平日	休日	合計
近いから	56.8%	61.9%	59.3%	69.5%	64.8%	66.8%	48.1%	59.6%	53.2%
交通の便がいいから	6.8%	8.8%	7.8%	0.0%	4.8%	2.8%	1.6%	1.0%	1.3%
魅力的なせつであるから	4.2%	0.9%	2.6%	2.9%	4.1%	3.6%	2.3%	2.9%	2.6%
近くにプールが無いから	3.4%	9.7%	6.5%	7.6%	9.7%	8.8%	9.3%	7.7%	8.6%
料金が比較的安いから	14.4%	7.1%	10.8%	12.4%	8.3%	10.0%	18.6%	23.1%	20.6%
その他	14.4%	11.5%	13.0%	7.6%	8.3%	8.0%	20.2%	5.8%	13.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○設問 4. このプールはどれくらいの頻度で利用されますか。

- ・全体の傾向として、「週に 1,2 回」の回答が非常に多く、特に平日の利用者の利用頻度が高い。
- ・川西、豊島では、休日に「月に 1,2 回」の回答が多くなる傾向にあり、五十鈴では、平日・休日ともに「ほぼ毎日」の回答が若干数みられる。

【図表 I -27】利用頻度

施設名 選択項目	川西			豊島			五十鈴		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計	平日	休日	合計
年に 1, 2 回	1.7%	15.9%	8.7%	1.9%	6.2%	4.4%	0.0%	4.8%	2.1%
月に 1, 2 回	6.8%	40.7%	23.4%	8.6%	32.4%	22.4%	0.8%	13.5%	6.4%
週に 1, 2 回	83.1%	34.5%	59.3%	79.0%	49.0%	61.6%	79.8%	66.3%	73.8%
ほぼ毎日	5.9%	1.8%	3.9%	9.5%	8.3%	8.8%	12.4%	12.5%	12.4%
その他	2.5%	7.1%	4.8%	1.0%	4.1%	2.8%	7.0%	2.9%	5.2%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○設問 5. 本日、このプールのどのような施設を利用されましたか。(複数回答あり)

- ・「50m・25mプール」の回答が非常に多く、豊島では「幼児用プール」の回答も若干多く、平日より休日の方が「幼児用プール」を利用している傾向にある。
- ・川西、豊島では「サウナ」の利用も若干みられる。

【図表 I -28】利用した施設

施設名 選択項目	川西			豊島			五十鈴		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計	平日	休日	合計
50m・25mプール	78.8%	93.8%	86.1%	91.4%	94.5%	93.2%	99.2%	97.1%	98.3%
流水プール	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.7%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
ウォーターライダー	0.0%	0.9%	0.4%	0.0%	0.7%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
幼児用プール	12.7%	44.2%	28.1%	2.9%	15.2%	10.0%	0.8%	1.0%	0.9%
サウナ	14.4%	12.4%	13.4%	8.6%	11.7%	10.4%	0.0%	7.7%	3.4%
トレーニングジム	0.0%	0.9%	0.4%	1.0%	2.1%	1.6%	0.0%	1.0%	0.4%
レストラン	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.7%	0.8%	0.0%	1.0%	0.4%
売店	0.8%	0.0%	0.4%	0.0%	0.7%	0.4%	0.0%	1.0%	0.4%
温浴施設	10.2%	6.2%	8.2%	1.9%	1.4%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	16.1%	3.5%	10.0%	21.0%	17.9%	19.2%	0.8%	0.0%	0.4%

○設問 6. このプールの評価をきかせてください。(複数回答あり)

- ・全体の傾向として、「料金が手頃」の回答が多く、「プログラムの充実」、「自由遊泳ができる」などの回答も若干みられる。

【図表 I -29】施設の評価

施設名 選択項目	川西			豊島			五十鈴		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計	平日	休日	合計
施設がきれい	33.9%	26.5%	30.3%	43.8%	64.8%	56.0%	0.8%	8.7%	4.3%
プール以外の施設機能や設備が充実している	11.0%	3.5%	7.4%	3.8%	4.1%	4.0%	1.6%	3.8%	2.6%
競泳プールや、流水プールなどプールの種類が豊富	2.5%	1.8%	2.2%	1.0%	3.4%	2.4%	0.0%	5.8%	2.6%
こどもから大人まで楽しめる	21.2%	38.1%	29.4%	18.1%	31.0%	25.6%	5.4%	6.7%	6.0%
水泳教室や水中体操などプログラムが充実している	33.9%	11.5%	22.9%	26.7%	10.3%	17.2%	34.9%	33.7%	34.3%
自由遊泳ができる	27.1%	27.4%	27.3%	22.9%	35.2%	30.0%	10.9%	30.8%	19.7%
料金が手頃	43.2%	38.9%	41.1%	45.7%	53.8%	50.4%	68.2%	46.2%	58.4%
その他	16.9%	13.3%	15.2%	34.3%	10.3%	20.4%	30.2%	15.4%	23.6%

○設問 7. どのような交通手段で来られましたか。(主な交通手段 1 つ)

- ・全体の傾向として、「自家用車」の回答が多く、次いで「自転車」、「徒歩」の順に回答が多い。
- ・夏季に比べ、夏期以外では「徒歩」の回答が多くなる傾向にある。

【図表 I -30】来訪手段

施設名	川西			豊島			五十鈴		
選択項目	平日	休日	合計	平日	休日	合計	平日	休日	合計
徒歩	11.0%	5.3%	8.2%	3.8%	9.0%	6.8%	12.4%	14.4%	13.3%
自転車	16.9%	22.1%	19.5%	58.7%	42.8%	49.4%	72.1%	69.2%	70.8%
バイク	5.9%	11.5%	8.7%	3.8%	3.4%	3.6%	3.9%	1.9%	3.0%
自家用車	45.8%	48.7%	47.2%	23.1%	40.7%	33.3%	6.2%	11.5%	8.6%
自家用車(送迎)	11.9%	0.0%	6.1%	2.9%	1.4%	2.0%	2.3%	1.0%	1.7%
バス	3.4%	2.7%	3.0%	1.0%	0.7%	0.8%	2.3%	1.9%	2.1%
電車	4.2%	8.8%	6.5%	6.7%	1.4%	3.6%	0.8%	0.0%	0.4%
タクシー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.8%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.9%	0.4%	0.0%	0.7%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○設問 8. あなたのことについて教えてください。

- ・施設が位置する市の回答が非常に多く、川西では隣接する池田市や宝塚市などの回答も若干見られる。

【図表 I -31】回答者属性（居住地）

施設名	川西			豊島			五十鈴		
選択項目	平日	休日	合計	平日	休日	合計	平日	休日	合計
大阪市	0.8%	0.0%	0.4%	1.9%	2.8%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%
箕面市	0.8%	2.7%	1.7%	1.9%	2.1%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%
池田市	17.8%	14.2%	16.0%	0.0%	1.4%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%
吹田市	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	9.0%	5.6%	0.0%	1.9%	0.9%
茨木市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.4%	97.7%	96.2%	97.0%
高槻市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	1.9%	1.7%
川西市	66.1%	64.6%	65.4%	0.0%	0.7%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
伊丹市	1.7%	7.1%	4.3%	1.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
摂津市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
豊中市	0.0%	0.0%	0.0%	89.5%	79.3%	83.6%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	12.7%	11.5%	12.1%	4.8%	4.1%	4.4%	0.8%	0.0%	0.4%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【図表 I -32】回答者属性（年齢）

施設名	川西			豊島			五十鈴		
選択項目	平日	休日	合計	平日	休日	合計	平日	休日	合計
10歳代	0.0%	2.7%	1.3%	2.9%	2.1%	2.4%	0.0%	11.5%	5.2%
20歳代	3.4%	3.5%	3.5%	4.8%	6.2%	5.6%	3.9%	10.6%	6.9%
30歳代	13.6%	26.5%	19.9%	15.2%	17.2%	16.4%	24.8%	16.3%	21.0%
40歳代	27.1%	30.1%	28.6%	24.8%	30.3%	28.0%	17.8%	30.8%	23.6%
50歳代	5.9%	12.4%	9.1%	10.5%	17.2%	14.4%	2.3%	4.8%	3.4%
60歳代	25.4%	16.8%	21.2%	15.2%	11.7%	13.2%	20.9%	13.5%	17.6%
70歳以上	24.6%	7.1%	16.0%	26.7%	15.2%	20.0%	30.2%	12.5%	22.3%
無回答	0.0%	0.9%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【図表 I -33】回答者属性（性別）

施設名	川西			豊島			五十鈴		
選択項目	平日	休日	合計	平日	休日	合計	平日	休日	合計
女性	67.8%	36.3%	52.4%	67.6%	35.2%	48.8%	76.0%	46.2%	62.7%
男性	32.2%	61.9%	46.8%	32.4%	64.8%	51.2%	24.0%	53.8%	37.3%
無回答	0.0%	1.8%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

< C : 夏季限定利用型施設 >

○設問 1. どのような目的でこのプールを利用されていますか。(主な目的 1 つ)

- ・全体の傾向として、「レジャー」目的の利用が非常に多く、緑ヶ丘では、「健康維持・増進」目的での利用も若干多い。

【図表 I -34】利用目的

施設名 選択項目	服部緑地ウォーターランド			緑ヶ丘		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
健康維持・増進	0.7%	0.6%	0.6%	16.0%	24.3%	20.2%
泳力向上	3.0%	1.2%	2.1%	3.0%	8.7%	5.9%
レジャー	93.3%	95.5%	94.5%	79.0%	67.0%	72.9%
リハビリ	0.0%	0.6%	0.3%	1.0%	0.0%	0.5%
その他	3.0%	2.1%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○設問 2. どなたと来られましたか。

- ・全体の傾向として、「家族（子ども）連れ」の利用が非常に多く、「友人」との利用も若干見られる。
- ・緑ヶ丘では「一人」の利用も若干多い傾向にある。

【図表 I -35】同行者

施設名 選択項目	服部緑地ウォーターランド			緑ヶ丘		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
一人	2.7%	0.9%	1.7%	21.0%	25.2%	23.2%
家族(子ども)連れ	81.0%	86.7%	84.0%	70.0%	69.9%	70.0%
夫婦	2.3%	1.5%	1.9%	1.0%	0.0%	0.5%
友人	12.0%	7.3%	9.5%	7.0%	3.9%	5.4%
その他	2.0%	3.3%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.3%	0.2%	1.0%	1.0%	1.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○設問 3. このプールを利用しようと思われた理由は何ですか。(主な理由 1 つ)

- ・全体の傾向として、「近いから」との回答が非常に多い。
- ・服部緑地では「魅力的な施設であるから」の回答が若干多く、緑ヶ丘では「料金が比較的安いから」の回答が若干多い傾向にある。

【図表 I -36】施設選択理由

施設名 選択項目	服部緑地ウォーターランド			緑ヶ丘		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
近いから	62.0%	55.3%	58.5%	75.0%	68.9%	71.9%
交通の便がいいから	3.0%	3.0%	3.0%	3.0%	1.0%	2.0%
魅力的な施設であるから	15.3%	19.3%	17.4%	4.0%	7.8%	5.9%
近くにプールが無いから	6.7%	11.8%	9.4%	3.0%	4.9%	3.9%
料金が比較的安いから	6.0%	5.4%	5.7%	11.0%	11.7%	11.3%
その他	7.0%	4.2%	5.5%	4.0%	5.8%	4.9%
無回答	0.0%	0.9%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○設問 4. このプールはどれくらいの頻度で利用されますか。

- ・全体の傾向として、「年に 1,2 回」の回答が非常に多く、次いで「月に 1,2 回」の回答が多い。
- ・緑ヶ丘では「週に 1,2 回」の回答も多い。

【図表 I -37 : 利用頻度】

施設名 選択項目	服部緑地ウォーターランド			緑ヶ丘		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
年に1, 2回	61.0%	71.9%	66.7%	45.0%	44.7%	44.8%
月に1, 2回	19.7%	13.3%	16.3%	27.0%	21.4%	24.1%
週に1, 2回	6.7%	5.1%	5.9%	12.0%	22.3%	17.2%
ほぼ毎日	0.7%	0.0%	0.3%	3.0%	1.9%	2.5%
その他	12.0%	9.1%	10.5%	12.0%	9.7%	10.8%
無回答	0.0%	0.6%	0.3%	1.0%	0.0%	0.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○設問 5. 本日、このプールのどのような施設を利用されましたか。(複数回答あり)

- ・服部緑地では「流水プール」、「ウォータースライダー」等のレジャープールの回答が非常に多く、豊島では「幼児用プール」、「50m・25mプール」の回答が多い。
- ・両施設とも「売店」の利用が高い傾向にある。

【図表 I -38】利用した施設

施設名 選択項目	服部緑地ウォーターランド			緑ヶ丘		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
50m・25mプール	11.0%	15.7%	13.5%	45.0%	53.4%	49.3%
流水プール	89.0%	94.0%	91.6%	1.0%	2.9%	2.0%
ウォータースライダー	55.3%	47.7%	51.3%	0.0%	14.6%	7.4%
幼児用プール	58.0%	58.0%	58.0%	67.0%	55.3%	61.1%
サウナ	0.7%	0.0%	0.3%	0.0%	1.0%	0.5%
トレーニングジム	0.7%	0.3%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
レストラン	2.3%	0.6%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
売店	30.3%	24.5%	27.3%	55.0%	45.6%	50.2%
温浴施設	0.7%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	24.3%	3.6%	13.5%	0.0%	0.0%	0.0%

○設問 6. このプールの評価をきかせてください。(複数回答あり)

- ・服部緑地では、「こどもから大人まで楽しめる」の回答が非常に多い。一方、緑ヶ丘では、「料金が手頃」の回答が非常に多く、次いで「こどもから大人まで楽しめる」、「自由遊泳ができる」、「施設がきれい」の回答も多い。

【図表 I -39】施設の評価

施設名 選択項目	服部緑地ウォーターランド			緑ヶ丘		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
施設がきれい	15.0%	18.1%	16.6%	27.0%	35.0%	31.0%
プール以外の施設機能や設備が充実している	14.0%	10.6%	12.2%	4.0%	7.8%	5.9%
競泳プールや、流水プールなどプールの種類が豊富	20.7%	23.0%	21.9%	4.0%	11.7%	7.9%
こどもから大人まで楽しめる	72.3%	77.3%	75.0%	51.0%	50.5%	50.7%
水泳教室や水中体操などプログラムが充実している	1.0%	0.6%	0.8%	0.0%	1.0%	0.5%
自由遊泳ができる	15.7%	12.4%	13.9%	35.0%	32.0%	33.5%
料金が手頃	21.3%	29.3%	25.5%	77.0%	63.1%	70.0%
その他	4.7%	3.3%	4.0%	6.0%	4.9%	5.4%

○設問 7. どのような交通手段で来られましたか。(主な交通手段 1 つ)

- ・全体の傾向として、「自家用車」の回答が非常に多く、次いで「自転車」、「徒歩」の順に回答が多い。
- ・夏季に比べ、夏期以外では「徒歩」の回答が多くなる傾向にある。

【図表 I -40】来訪手段

施設名 選択項目	服部緑地ウォーターランド			緑ヶ丘		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
徒歩	2.3%	1.8%	2.1%	6.0%	9.7%	7.9%
自転車	22.3%	17.2%	19.7%	53.0%	36.9%	44.8%
バイク	1.0%	0.0%	0.5%	3.0%	6.8%	4.9%
自家用車	60.7%	68.6%	64.8%	36.0%	44.7%	40.4%
自家用車(送迎)	1.0%	1.5%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
バス	0.3%	0.0%	0.2%	1.0%	1.9%	1.5%
電車	11.3%	8.8%	10.0%	1.0%	0.0%	0.5%
タクシー	0.7%	1.2%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.6%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.3%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○設問 8. あなたのことについて教えてください。

- ・緑ヶ丘は施設が位置する市の回答が多い傾向にあるが、服部緑地においては、隣接する「大阪市」、「吹田市」等の回答も多い傾向にある。

【図表 I -41】回答者属性(居住地)

施設名 選択項目	服部緑地ウォーターランド			緑ヶ丘		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
大阪市	19.3%	24.5%	22.0%	0.0%	3.9%	2.0%
箕面市	2.7%	6.6%	4.8%	0.0%	2.9%	1.5%
池田市	3.3%	1.5%	2.4%	4.0%	2.9%	3.4%
吹田市	17.7%	23.3%	20.6%	0.0%	1.9%	1.0%
茨木市	3.7%	3.6%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
高槻市	2.7%	0.9%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
川西市	7.0%	0.3%	3.5%	12.0%	7.8%	9.9%
伊丹市	4.0%	2.1%	3.0%	65.0%	52.4%	58.6%
摂津市	0.7%	1.2%	1.0%	0.0%	1.0%	0.5%
豊中市	26.0%	24.2%	25.0%	2.0%	5.8%	3.9%
その他	12.7%	10.9%	11.7%	17.0%	21.4%	19.2%
無回答	0.3%	0.9%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【図表 I -42】回答者属性(年齢)

施設名 選択項目	服部緑地ウォーターランド			緑ヶ丘		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
10歳代	8.0%	3.9%	5.9%	6.0%	3.9%	4.9%
20歳代	9.0%	8.2%	8.6%	6.0%	2.9%	4.4%
30歳代	35.7%	44.7%	40.4%	29.0%	28.2%	28.6%
40歳代	32.7%	36.6%	34.7%	39.0%	35.0%	36.9%
50歳代	8.0%	4.8%	6.3%	3.0%	18.4%	10.8%
60歳代	4.0%	1.8%	2.9%	10.0%	11.7%	10.8%
70歳以上	2.7%	0.0%	1.3%	7.0%	0.0%	3.4%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【図表 I -43】回答者属性(性別)

施設名 選択項目	服部緑地ウォーターランド			緑ヶ丘		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
女性	42.5%	34.1%	38.1%	44.0%	28.2%	36.0%
男性	57.5%	65.9%	61.9%	56.0%	71.8%	64.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

<D：箕面市内の民間施設>

○設問 1. どのような目的でこのプールを利用されていますか。(主な目的 1 つ)

- ・全体の傾向として、「健康維持・増進」目的の利用が非常に多い。

【図表 I -44】利用目的

選択項目	夏季			夏季以外		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
健康維持・増進	87.5%	91.0%	89.2%	87.7%	88.0%	87.9%
泳力向上	5.4%	2.7%	4.0%	6.1%	8.0%	7.0%
レジャー	1.8%	0.9%	1.3%	1.8%	1.0%	1.4%
リハビリ	0.9%	2.7%	1.8%	2.6%	3.0%	2.8%
その他	4.5%	2.7%	3.6%	1.8%	0.0%	0.9%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○設問 2. どなたと来られましたか。

- ・全体の傾向として、「一人」の利用が非常に多く、「夫婦」での利用も若干数見られる。

【図表 I -45】同行者

選択項目	夏季			夏季以外		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
一人	87.5%	82.9%	85.2%	91.2%	88.0%	89.7%
家族(子ども)連れ	3.6%	5.4%	4.5%	0.9%	1.0%	0.9%
夫婦	7.1%	9.0%	8.1%	5.3%	8.0%	6.5%
友人	0.9%	1.8%	1.3%	1.8%	1.0%	1.4%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	2.0%	1.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○設問 3. このプールを利用しようと思われた理由は何ですか。(主な理由 1 つ)

- ・全体の傾向として、「近いから」との回答が非常に多く、「交通の便がいいから」、「魅力的な施設であるから」の回答も若干数見られる。
- ・夏季以外には、「近くにプールがないから」の回答が若干数見られる。

【図表 I -46】施設選択理由

選択項目	夏季			夏季以外		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
近いから	71.4%	63.1%	67.3%	60.5%	54.0%	57.5%
交通の便がいいから	5.4%	13.5%	9.4%	7.0%	9.0%	7.9%
魅力的な施設であるから	10.7%	8.1%	9.4%	7.9%	9.0%	8.4%
近くにプールが無いから	1.8%	0.9%	1.3%	7.0%	12.0%	9.3%
料金が比較的安いから	1.8%	3.6%	2.7%	2.6%	1.0%	1.9%
その他	8.9%	10.8%	9.9%	14.9%	15.0%	15.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○設問 4. このプールはどれくらいの頻度で利用されますか。

- ・全体の傾向として、「ほぼ毎日」、「週に 1,2 回」の回答が非常に多い。
- ・夏季と夏期以外を比較すると、夏季以外の方が、利用頻度が高い傾向にある。

【図表 I -47】利用頻度

選択項目	夏季			夏季以外		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
年に1, 2回	0.9%	0.0%	0.4%	1.8%	5.0%	3.3%
月に1, 2回	0.9%	8.1%	4.5%	2.6%	4.0%	3.3%
週に1, 2回	20.5%	30.6%	25.6%	39.5%	41.0%	40.2%
ほぼ毎日	37.5%	45.0%	41.3%	44.7%	46.0%	45.3%
その他	39.3%	16.2%	27.8%	11.4%	4.0%	7.9%
無回答	0.9%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○設問 5. 本日、このプールのどのような施設を利用されましたか。(複数回答あり)

- ・全体の傾向として「50m・25mプール」、「トレーニングジム」、「温浴施設」の回答が非常に多く、「サウナ」の回答も多い。
- ・夏季以外に比べ、夏季では「50m・25mプール」の回答が下がっており、「トレーニングジム」の回答が上がっている。

【図表 I -48】利用した施設

選択項目	夏季			夏季以外		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
50m・25mプール	42.0%	44.1%	43.0%	89.5%	92.0%	90.7%
流水プール	0.0%	0.9%	0.4%	0.0%	2.0%	0.9%
ウォータースライダー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
幼児用プール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
サウナ	20.5%	25.2%	22.9%	28.9%	30.0%	29.4%
トレーニングジム	59.8%	60.4%	60.1%	48.2%	36.0%	42.5%
レストラン	0.0%	0.9%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
売店	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	1.0%	0.9%
温浴施設	52.7%	54.1%	53.4%	55.3%	58.0%	56.5%
その他	26.8%	15.3%	21.1%	10.5%	6.0%	8.4%

○設問 6. このプールの評価をきかせてください。(複数回答あり)

- ・全体の傾向として、「施設がきれい」、「プール以外の施設機能や設備が充実」の回答が多い傾向にある。また、「プログラムの充実」、「自由遊泳ができる」「料金が手頃」の回答も若干多い傾向にある。

【図表 I -49】施設の評価

選択項目	夏季			夏季以外		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
施設がきれい	23.2%	28.8%	26.0%	30.7%	37.0%	33.6%
プール以外の施設機能や設備が充実している	31.3%	25.2%	28.3%	30.7%	31.0%	30.8%
競泳プールや、流水プールなどプールの種類が豊富	5.4%	2.7%	4.0%	3.5%	4.0%	3.7%
こどもから大人まで楽しめる	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	2.0%	1.4%
水泳教室や水中体操などプログラムが充実している	17.0%	12.6%	14.8%	14.9%	17.0%	15.9%
自由遊泳ができる	10.7%	13.5%	12.1%	18.4%	26.0%	22.0%
料金が手頃	25.0%	21.6%	23.3%	8.8%	17.0%	12.6%
その他	42.0%	27.9%	35.0%	37.7%	25.0%	31.8%

○設問 7. どのような交通手段で来られましたか。(主な交通手段 1 つ)

- ・全体の傾向として、「自家用車」の回答が多く、次いで「自転車」の回答が多い。
「バイク」、「徒歩」、「バス」での回答も若干数見られる。

【図表 I -50】来訪手段

選択項目	夏季			夏季以外		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
徒歩	5.4%	9.9%	7.6%	10.5%	10.0%	10.3%
自転車	23.2%	19.8%	21.5%	16.7%	20.0%	18.2%
バイク	15.2%	9.0%	12.1%	10.5%	6.0%	8.4%
自家用車	46.4%	51.4%	48.9%	49.1%	51.0%	50.0%
自家用車(送迎)	2.7%	0.9%	1.8%	1.8%	1.0%	1.4%
バス	7.1%	9.0%	8.1%	11.4%	11.0%	11.2%
電車	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.5%
タクシー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

○設問 8. あなたのことについて教えてください。

- ・施設が位置する箕面市の回答が非常に多く、隣接する豊中市の回答も若干見られる。

【図表 I -51】回答者属性（居住地）

選択項目	夏季			夏季以外		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
大阪市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
箕面市	75.9%	78.4%	77.1%	85.1%	83.0%	84.1%
池田市	3.6%	0.0%	1.8%	0.9%	0.0%	0.5%
吹田市	3.6%	1.8%	2.7%	1.8%	2.0%	1.9%
茨木市	1.8%	5.4%	3.6%	1.8%	4.0%	2.8%
高槻市	0.0%	0.9%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
川西市	0.9%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
伊丹市	0.0%	0.9%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
摂津市	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
豊中市	13.4%	12.6%	13.0%	9.6%	10.0%	9.8%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	1.0%	0.9%
無回答	0.9%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【図表 I -52】回答者属性（年齢）

選択項目	夏季			夏季以外		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
10歳代	0.0%	0.9%	0.4%	0.0%	1.0%	0.5%
20歳代	0.9%	3.6%	2.2%	1.8%	2.0%	1.9%
30歳代	1.8%	1.8%	1.8%	0.9%	3.0%	1.9%
40歳代	7.1%	15.3%	11.2%	5.3%	4.0%	4.7%
50歳代	12.5%	12.6%	12.6%	10.5%	11.0%	10.7%
60歳代	41.1%	27.9%	34.5%	34.2%	32.0%	33.2%
70歳以上	35.7%	36.9%	36.3%	47.4%	47.0%	47.2%
無回答	0.9%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【図表 I -53】回答者属性（性別）

選択項目	夏季			夏季以外		
	平日	休日	合計	平日	休日	合計
女性	64.3%	57.7%	61.0%	57.0%	51.0%	54.2%
男性	35.7%	40.5%	38.1%	43.0%	49.0%	45.8%
無回答	0.0%	1.8%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

<箕面市民への追加設問について>

○設問 8. あなたのことについて教えてください。

【図表 I -54】 回答者属性（年齢）

選択項目	コスバみのお抜き		コスバみのお込み	
	回答数	割合	回答数	割合
10歳代	2	3.2%	3	0.7%
20歳代	6	9.5%	12	3.0%
30歳代	21	33.3%	25	6.2%
40歳代	20	31.7%	48	11.9%
50歳代	4	6.3%	42	10.4%
60歳代	8	12.7%	122	30.3%
70歳以上	1	1.6%	149	37.1%
無回答	1	1.6%	1	0.2%
合計	63	100.0%	402	100.0%

【図表 I -55】 回答者属性（性別）

選択項目	コスバみのお抜き		コスバみのお込み	
	回答数	割合	回答数	割合
女性	24	38.1%	233	58.0%
男性	37	58.7%	167	41.5%
無回答	2	3.2%	2	0.5%
合計	63	100.0%	402	100.0%

○設問 9. ①なぜこのプールを利用されていますか。

主な回答例

近いから(225)／箕面に求めるプール(温水プールや家族で遊べるプール等)がないから(76)／
料金が安い、駐車場が安いから(11)／風呂があるから(4)／施設が魅力的だから(3)・・・等

※括弧内は回答数を示す

○設問 9. ②箕面市に屋内温水プールを整備する際、特に望む機能・施設について教えてください。(複数あり)

【図表 I -56】 新たに整備するプールに望む機能・施設

選択項目	コスバみのお抜き (N=63)		コスバみのお込み (N=402)	
	回答数	割合	回答数	割合
50m・25mプール	37	58.7%	251	62.4%
流水プール	27	42.9%	38	9.5%
ウォータースライダー	22	34.9%	30	7.5%
幼児用プール	22	34.9%	38	9.5%
サウナ	8	12.7%	94	23.4%
トレーニングジム	19	30.2%	169	42.0%
レストラン	10	15.9%	37	9.2%
売店	19	30.2%	36	9.0%
温浴施設	13	20.6%	214	53.2%
その他	5	7.9%	76	18.9%

○設問 9. ③箕面市に屋内温水プールができた場合、どのくらいの頻度で利用されますか。

【図表 I -57】 利用頻度意向

選択項目	コスバみのお抜き		コスバみのお込み	
	回答数	割合	回答数	割合
利用しない	0	0.0%	33	8.2%
年に1, 2回	8	12.7%	22	5.5%
月に1, 2回	17	27.0%	48	11.9%
週に1, 2回	24	38.1%	123	30.6%
ほぼ毎日	1	1.6%	99	24.6%
その他	2	3.2%	66	16.4%
無回答	11	17.5%	11	2.7%
合計	63	100.0%	402	100.0%

＜調査結果のまとめ＞

○利用施設の選定理由について

- ・施設の選択理由として、「施設が居住地から近い」という理由が最も多くの割合を占めており、プール利用者が居住地と施設の距離（近さ）を重視して施設選択している。
- ・レジャー目的の設備が豊富な服部緑地、健康増進目的の設備が豊富なコスパみのおにおいて、「魅力的な施設であるから」との回答が多い。また、この服部緑地とコスパみのおでは、「料金が比較的安い」との回答が少なく、その他の施設では約10%程度の利用者が「料金が比較的安い」と回答している。
- ・「交通の便がいいから」の回答に着目し、各施設を比較すると、川西とコスパみのおにおいて、回答率が若干高い傾向にある。この2つの施設の共通点として、通年型の利用施設であること、幹線道路が近く、駐車場台数が多く整備されている。

以上より、プールを利用する際、施設選択理由として最も重視される要因は、居住地と施設の距離である。また、利用料金、施設の魅力（施設の整備内容・プログラムの充実）、交通のアクセス性も施設の選択理由の要因に影響していると考えられる。

○来訪手段について

- ・利用頻度として低い、レジャーの利用目的では、自動車での来訪が多く、広域の居住者の利用が多いと考えられる。
- ・日常的な利用がなされている健康維持、泳力向上、リハビリの利用目的では、自動車・自転車での来訪が比較的高く、施設の周辺に住む方の利用が多いと考えられる。

【図表 I -58】 目的別来訪手段

	回答数				割合			
	健康維持	泳力向上	レジャー	リハビリ	健康維持	泳力向上	レジャー	リハビリ
徒歩	142	33	34	7	13.3%	11.5%	3.7%	13.0%
自転車	338	107	244	17	31.6%	37.2%	26.3%	31.5%
バイク	90	18	7	5	8.4%	6.3%	0.8%	9.3%
自家用車	405	105	555	18	37.8%	36.5%	59.7%	33.3%
自家用車(送迎)	17	6	6	0	1.6%	2.1%	0.6%	0.0%
バス	55	9	8	2	5.1%	3.1%	0.9%	3.7%
電車	24	9	68	5	2.2%	3.1%	7.3%	9.3%
タクシー	0	1	5	0	0.0%	0.3%	0.5%	0.0%
その他	0	0	2	0	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%
合計	1071	288	929	54	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※無効回答は除く

○居住地について

- ・施設の所在する市からの利用者が大きな割合を占める傾向にある。
- ・レジャー目的での利用が多い、屋外型の緑ヶ丘、服部緑地においては、隣接する市の利用者の割合が比較的高くなっている。

○利用目的について

- ・屋内温水プール設備のある屋内型の施設では、全ての施設で「健康維持・増進」目的の利用者が半数を占めている。
- ・流水プールやスライダーなどの子どもが楽しめるプールのある屋外型の施設では、レジャー目的の利用が非常に多い。

○利用頻度について

- ・健康維持、泳力向上、リハビリの利用目的において、利用頻度が高く、日常的なプールの利用がなされている。
- ・レジャーの利用目的において、利用頻度が低く、年に数回、月に数回の利用がなされている。

【図表 I -59】 目的別利用頻度

	回答数				割合			
	健康維持	泳力向上	レジャー	リハビリ	健康維持	泳力向上	レジャー	リハビリ
年に1, 2回	46	29	515	3	4.3%	10.1%	55.5%	5.5%
月に1, 2回	142	66	234	6	13.2%	22.9%	25.2%	10.9%
週に1, 2回	569	151	75	29	53.0%	52.4%	8.1%	52.7%
ほぼ毎日	215	29	6	7	20.0%	10.1%	0.6%	12.7%
その他	101	13	98	10	9.4%	4.5%	10.6%	18.2%
合計	1073	288	928	55	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※無効回答は除く

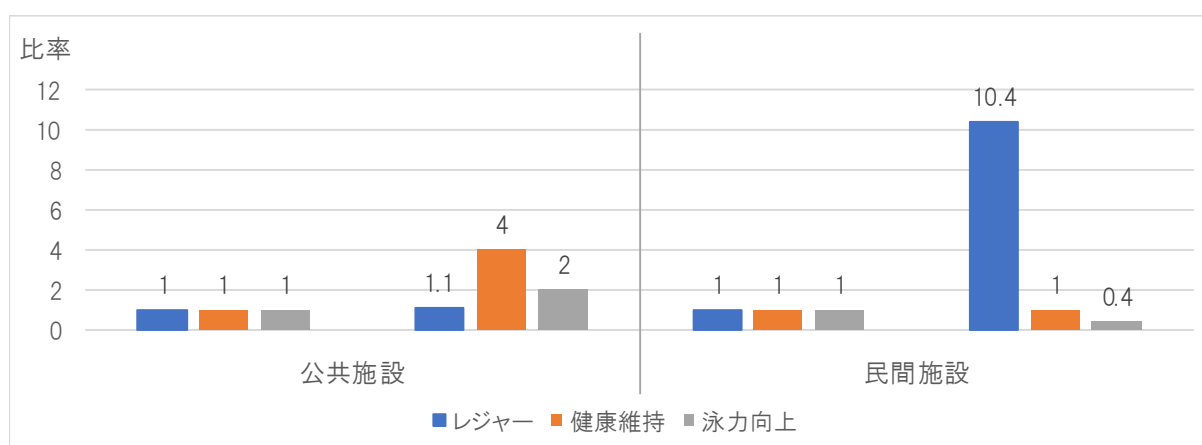
3. 施設利用（整備）効果について

3. 1. 質面市民の利用目的別利用施設

市民利用意向調査の結果から、利用目的別に過去に利用した施設を公共施設/民間施設、市内外の別で見ると、図表 I -60 のとおりである。

【図表 I -60】利用施設＜世帯分析＞（n=1485）

利用目的	合計	公共施設					民間施設				
		市内		市外		内外比率	市内		市外		内外比率
		票数	割合	票数	割合		票数	割合	票数	割合	
レジャー	560	188	12.7%	206	13.9%	1:1.1	33	2.2%	343	23.1%	1:10.4
健康維持	299	30	2.0%	121	8.1%	1:4.0	94	6.3%	94	6.3%	1:1.0
泳力向上	348	37	2.5%	74	5.0%	1:2.0	198	13.3%	88	5.9%	1:0.4
その他	65	18	1.2%	20	1.3%	1:1.1	14	0.9%	15	1.0%	1:1.1



※内外比率は、それぞれの利用目的において、市内施設と市外施設が利用されている比率を示している。

＜レジャー＞

- ・レジャー目的においては、市外民間施設の利用が突出して多い、これは、市内にレジャーに特化した設備を有する施設がなく、市外にはその施設があることに起因すると考えられる。
- ・公共施設については市内外の差はなく、また、市内公共施設の利用数としては、「健康増進」「泳力向上」に比べて非常に多い。これは、市内公共施設は夏季のみの営業であることから、夏季に集中するレジャー目的において主に利用されているものと考えられる。

＜健康増進＞

- ・公共施設については市内外の差が大きく、市外施設は市内施設の4倍利用されている。これは、健康増進のための利用が通年利用となる傾向に鑑みるに、市内公共施設は夏季のみ営業で通年利用型がないため、「健康増進」目的では市外施設を

利用せざるを得ないものと考えられる。

- ・一方で、市内民間施設は通年利用型であるため、市外施設に伍しているものと考えられる。

＜泳力向上＞

- ・「健康増進」と同様、泳力向上のための利用が通年利用となる傾向に鑑みるに、市内公共施設は夏季のみの営業で通年利用型がないため市外施設の利用が主となる。
- ・市内民間施設は通年利用型であり、また、経営形態がスポーツジム併設やスイミングスクールであることから、泳力向上目的の利用に適しており、市外へ行かなくても市内である程度の需要が満たされることから、市内施設の利用が多くなっているものと考えられる。

これらの分析から、箕面市内における公共施設・民間施設について、利用目的別に充足度をまとめる。

【図表 I -61】 利用目的別の充足度

利用目的	市内公共施設	市内民間施設
レジャー	△	×
健康維持	×	△
泳力向上	×	○

同目的において

○：同種の市外施設に比べて市内施設の利用が多い

△：同種の市外施設と市内施設が同程度に利用されている

×：同種の市外施設に比べて市内施設の利用が少ない

3. 2. 周辺類似施設を利用している理由（箕面市民）

施設出口調査において、現にプールを利用している利用者が箕面市民の場合にのみ、その施設を利用している理由を自由回答で尋ねた。

各施設における回答者数は図表 I -62 のとおり、市内民間施設（コ・ス・パみのお）の利用者が多く占めている。

口頭での自由回答形式のため、回答の表現にばらつきがあるが、趣旨をまとめると図表 I -63 のとおりである。

【図表 I -62】施設出口調査における箕面市民の回答者数

施設分類	施設出口調査の回答者のうちの箕面市民
A 箕面市近郊通年利用型	31人
B 箕面市遠隔部通年利用型	9人
C 夏季限定利用型施設	33人
D 箕面市内民間施設	352人

【図表 I -63】その施設を利用している理由

回答の趣旨	回答数
近いから	225
箕面に求めるプールがないから	76
料金が安いから／駐車料金が安いから	11
施設が魅力的だから	3

「近いから」と答えた 225 人中 216 人がコ・ス・パみのおの利用者である。

次いで多いのは「箕面に求めるプールがないから」であり、市外施設 A, B、C における回答者 73 人のうち約半数の 34 人がこの回答をしていることから、詳細を見るため全 76 件の回答は図表 I -64 のとおりである。

【図表 I -64】「箕面に求めるプールがない」趣旨の回答

No.	分類	施設	回答
1	A	ニノ切	箕面市に屋内プールがない為
2	A	ニノ切	箕面市内に屋内プールが無く、一番近い屋内プールがここだった
3	A	ニノ切	温水プールがないから
4	A	ニノ切	箕面市には温水プールがないから
5	A	ニノ切	箕面市に屋内温水プールがないから
6	A	ニノ切	箕面市に屋内温水プールがないから
7	A	ニノ切	箕面市に屋内温水プールがないから。池田市の水泳教室に申し込んでいたが、中止になったから
8	A	ニノ切	箕面市内に温水プールがないから
9	A	ニノ切	箕面市内に室内温水プールがないから
10	A	ニノ切	手頃な温水プールがないから(箕面市に)
11	A	ニノ切	箕面市に夏期以外利用出来るプールがない
12	B	豊島	箕面市内に温水プールがないから。仕事場が豊中だから。
13	B	豊島	箕面市に市営で温水プールが無いからわざわざ通ってくる
14	B	豊島	箕面にプールがないから
15	B	川西	箕面市にプールがないから 駐車場があるから
16	B	川西	箕面市に屋内温水プールがないから
17	C	緑ヶ丘	箕面市には綺麗なプールがない
18	C	服部緑地	箕面市に大きなレジャー施設がないから
19	C	服部緑地	箕面にプールがないから。大きいから。

No.	分類	施設	回答
20	C	服部緑地	魅力的なプールがあれば利用する。箕面のプールは楽しめるものが少ない
21	C	服部緑地	箕面市に大きなプールがない
22	C	服部緑地	石橋の近くに住んでいるがよいプールがない。一番近いのがここ
23	C	服部緑地	近くにいいプールがない
24	C	服部緑地	近くに遊べるプールがないから(レジャー的に)
25	C	服部緑地	箕面市にプールがないから
26	C	服部緑地	箕面市にプールがないから
27	C	服部緑地	箕面市にないから
28	C	服部緑地	子供のプールない。おもしろいプールない
29	C	服部緑地	大きいプールがない。箕面には
30	C	服部緑地	箕面市内にレジャープールがないから
31	C	服部緑地	箕面にプールがないから
32	C	服部緑地	市民プールが近くにないから
33	C	服部緑地	流れるプールや滑り台が箕面にない
34	C	服部緑地	箕面にまともなプールがないから
35	D	コスパ	市営の温水プールがない
36	D	コスパ	近い。何でも出来る所が近くにない
37	D	コスパ	市民プールがないから。他は子供が排尿するから。
38	D	コスパ	こしかない
39	D	コスパ	箕面市に施設がない
40	D	コスパ	温水プールがない。プールが浅いから泳ぎにくい
41	D	コスパ	近い。他に見当たらない
42	D	コスパ	近くにない
43	D	コスパ	市営プールがない
44	D	コスパ	箕面市内でプールとジムのある所は他に一カ所で選択肢がない。
45	D	コスパ	近くにない。池田にはあるがここにはない
46	D	コスパ	近いから。こしかない。箕面にあればそこへ行く
47	D	コスパ	近いこしかない。
48	D	コスパ	他が夏しか営業していない
49	D	コスパ	箕面市に他にプールがない
50	D	コスパ	近いから 近くに他にプールがない
51	D	コスパ	近くにないから
52	D	コスパ	プールがない
53	D	コスパ	箕面市にプールがない
54	D	コスパ	プールがない
55	D	コスパ	箕面に温水がないから、後レーニングジムがある
56	D	コスパ	箕面市内に温水プールがないから
57	D	コスパ	箕面に温水プールがない。近い
58	D	コスパ	昔から箕面市には温水プールがない
59	D	コスパ	近いから。近くにない
60	D	コスパ	屋根付きのプールが欲しかった。市営を探したが無かった
61	D	コスパ	近くにプールがないから
62	D	コスパ	近くにこういった施設がない
63	D	コスパ	屋内プールがないから来ている(箕面市)。飛び込み台の設置
64	D	コスパ	近いところがない
65	D	コスパ	近くにプールが無いからこちらへ来ている。
66	D	コスパ	近くにないから来ている。
67	D	コスパ	他に設備が充実しているところが無くこちらが比較的充実しているため
68	D	コスパ	箕面に屋内の温水プールがない為
69	D	コスパ	他にないから利用
70	D	コスパ	箕面市に屋内プールない為
71	D	コスパ	近くにあり温水プールが箕面市にない為
72	D	コスパ	箕面市にない為来ている
73	D	コスパ	ここにしかない(近いところ)
74	D	コスパ	箕面市に温水プールが少ないから(吹田市、豊中市の方が充実している)
75	D	コスパ	こしかないから
76	D	コスパ	近いところがない

3. 3. 現在のプール利用者の利用目的

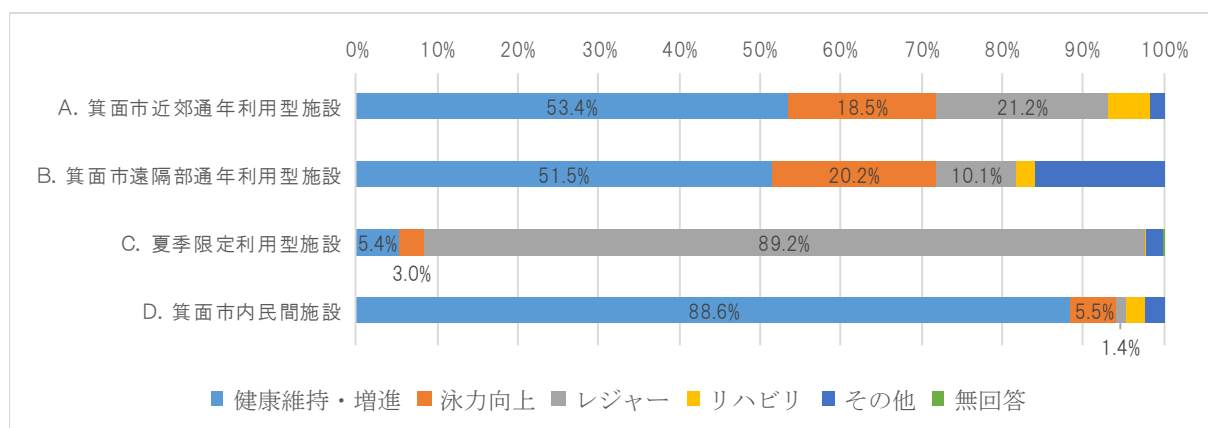
施設出口調査の結果から、現にプールを利用している利用者の利用目的は図表 I -65 のとおりである。

C 夏季限定利用型施設ではレジャー目的の利用がほとんどを占めている。

A, B, D の通年利用型施設では、市外施設で半数以上が、市民民間施設では9割近くを健康増進目的の利用が占めている。

【図表 I -65】施設の類型別プールの利用目的

選択項目	A		B		C		D	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
健康維持・増進	274	53.4%	368	51.5%	45	5.4%	387	86.6%
泳力向上	95	18.5%	144	20.2%	25	3.0%	24	5.4%
レジャー	109	21.2%	72	10.1%	744	89.2%	6	1.3%
リハビリ	27	5.3%	15	2.1%	3	0.4%	10	2.2%
その他	8	1.6%	115	16.1%	16	1.9%	10	2.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	10	2.2%
合計	513	100%	714	100%	834	100%	447	100%



3. 4. 新たなプールが整備された場合の利用意向

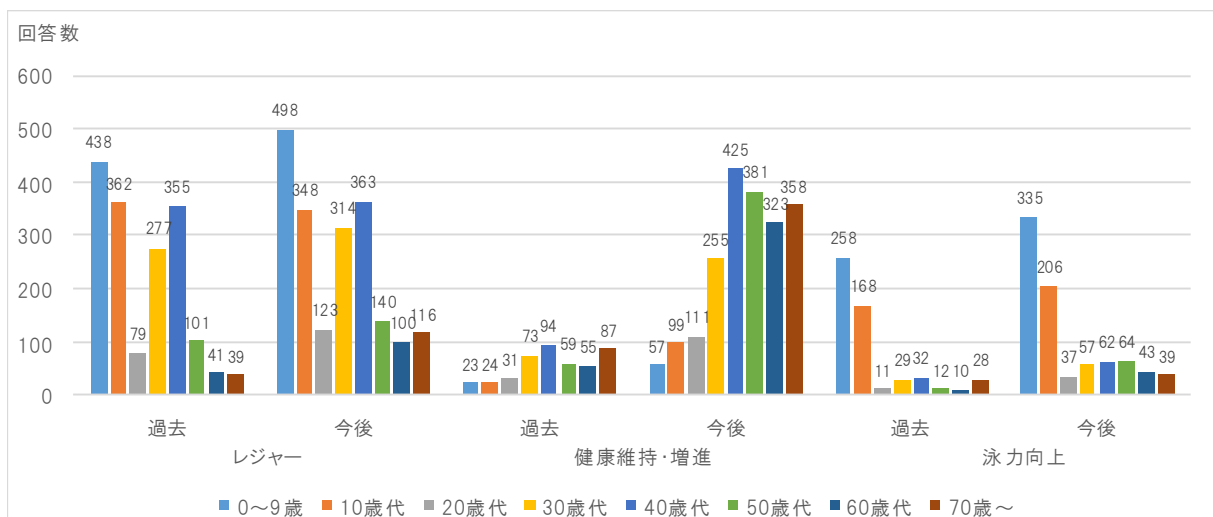
市民アンケート調査結果から、過去5年間にプールを利用した人数と、今後希望するプール（※）が整備された場合に利用意向がある人数を年代別、利用目的別に比較する。

全回答者数 4,822 人中、過去の利用人数は 2,145 人（44.5%）だったものが、新たなプール整備された場合の利用意向では、3,609 人（74.8%）と約 1.7 倍に増加する。

特に健康維持目的の利用意向の増加が顕著である。

【図表 I -66】プールの利用現況と希望するプールが整備された場合の利用意向の増減（年代別）

年齢層	利用目的												利用者数 (ユニーク数)			回答者数
	レジャー			健康維持・増進			泳力向上			その他						
	過去	今後	増減率	過去	今後	増減率	過去	今後	増減率	過去	今後	増減率	過去	今後	増減率	
0～9歳	438	498	114%	23	57	248%	258	335	130%	14	7	50%	503	597	119%	655
10歳代	362	348	96%	24	99	413%	168	206	123%	14	10	71%	430	500	116%	635
20歳代	79	123	156%	31	111	358%	11	37	336%	7	2	29%	106	211	199%	358
30歳代	277	314	113%	73	255	349%	29	57	197%	3	6	200%	313	439	140%	552
40歳代	355	363	102%	94	425	452%	32	62	194%	5	5	100%	413	636	154%	805
50歳代	101	140	139%	59	381	646%	12	64	533%	7	19	271%	151	449	297%	598
60歳代	41	100	244%	55	323	587%	10	43	430%	5	20	400%	95	356	375%	485
70歳～	39	116	297%	87	358	411%	28	39	139%	19	55	289%	134	421	314%	734
合計	1692	2002	118%	446	2009	450%	548	843	154%	74	124	168%	2145	3609	168%	4822



※上記の利用意向の前提となっている「希望するプール」についての回答は図表 I -67 のとおりである。

【図表 I -67】新たに整備するプールに希望する施設（複数回答）

希望するプール設備	屋内		屋外		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
水中運動に適したプール	1172	78.9%	54	3.6%	1182	79.6%
25mの競泳用プール	987	66.5%	142	9.6%	1045	70.4%
子どもが楽しめるプール	619	41.7%	746	50.2%	950	64.0%
幼児用プール	701	47.2%	375	25.3%	877	59.1%
その他	149	10.0%	63	4.2%	177	11.9%

3. 5. 新たなプール整備によるプール利用頻度の変化

市民利用意向調査の結果から、新たなプールを整備した場合にプールの利用頻度がどう変化するかを利用目的別に見る。図表 I -68 は、利用目的別に、「過去 5 年間にプールを利用した頻度」と「希望するプールが整備された場合、どれくらいの頻度で利用したいか」を比較し、その増減数を示したものである。

顕著な変化が見られるのは、レジャー目的と健康増進目的で、まず、レジャー目的においては、「年に 1,2 回」が大きく減る一方、「月に 1,2 回」が大幅に増え、「週に 1,2 回」の増加も含め、新たなプールが整備されると利用頻度が上がると想定される。

健康増進目的においては、「月に 1,2 回」「週に 1,2 回」が大幅に増加する。減少する項目がないことから、健康増進目的のプール利用が純増するものと想定される。

【図表 I -68】プールの利用頻度における現況と希望するプールが整備された場合との増減

利用目的	年に1,2回			月に1,2回			週に1,2回			ほぼ毎日			その他		
	過去	今後	増減	過去	今後	増減	過去	今後	増減	過去	今後	増減	過去	今後	増減
レジャー	1,477	1,165	-312	121	635	514	30	160	130	2	10	8	62	32	-30
健康維持・増進	147	240	93	136	896	760	128	768	640	24	88	64	11	17	6
泳力向上	90	89	-1	76	248	172	331	456	125	30	36	6	21	14	-7
その他	26	10	-16	9	39	30	18	47	29	9	22	13	12	6	-6
合計	1,740	1,504	-236	342	1,818	1,476	507	1,431	924	65	156	91	106	69	-37

回答者数 4,822 人で年間 81,876 回の利用回数増加となることから、平均で 1 人あたり年間 17 回のプール利用が増える計算になる。過去の利用回数が平均 1 人あたり年間 9 回であったものが、年間 26 回へと増加することになる。特に健康増進目的での利用回数の増加が顕著に見られる。

【図表 I -69】新たなプール整備により増加する年間利用者数

利用目的	年に1,2回			月に1,2回			週に1,2回			ほぼ毎日			合計		
	過去	今後	増減	過去	今後	増減	過去	今後	増減	過去	今後	増減	過去	今後	増減
レジャー	1,477	1,165	-312	1,452	7,620	6,168	1,500	8,000	6,500	400	2,000	1,600	4,829	18,785	13,956
健康維持・増進	147	240	93	1,632	10,752	9,120	6,400	38,400	32,000	4,800	17,600	12,800	12,979	66,992	54,013
泳力向上	90	89	-1	912	2,976	2,064	16,550	22,800	6,250	6,000	7,200	1,200	23,552	33,065	9,513
その他	26	10	-16	108	468	360	900	2,350	1,450	1,800	4,400	2,600	2,834	7,228	4,394
合計	1,740	1,504	-236	4,104	21,816	17,712	25,350	71,550	46,200	13,000	31,200	18,200	44,194	126,070	81,876

3. 6. 考察のまとめ

以上の考察より、箕面市における課題と施設利用（整備）効果として、以下のようにとりまとめる。

- ・箕面市では、健康増進目的での利用が可能な通年利用型のプール資源と夏季利用施設でのレジャー設備が不足している。
- ・新たなプール整備により、利用者数・利用頻度ともに大幅に増加する。
- ・通年利用型の新たなプールは、特に中高年層の健康増進に資する可能性が高い。

4. プール設備以外のオプション機能にかかる市民意向

4. 1. 市民の要望があった施設機能

(1) 市民利用意向調査

本委託で実施した市民利用意向調査の結果のうち、市民の要望があったプール設備以外のオプション機能について整理した。

健康維持の観点から、ジムや温浴施設、サウナ、岩盤浴、マッサージ等の設備。カフェや飲食店、軽食などの飲食物の提供する施設の併設や、持ち込み可能な飲食スペース、交流スペースとして活用もできる休憩スペースや観覧・待合スペース。コンビニや売店などのスポーツグッズや調度品が購入できる店舗。子どもの遊び場、憩いの場としてのキッズスペースや公園。趣味としての図書館、ヨガやピラティスができるスタジオ。また、体育館やグラウンドを併設し、その他のスポーツも楽しめるよう求める声が挙がった。

【図表 I -70】 主な回答（回答数が全体の1%を超える回答のみを記載）

ジム(492)／カフェ(445)／温浴施設(273)／飲食店(144)／サウナ(93)／軽食(65)／駐車場(64)／図書館(51)／休憩所(48)／シャワー(46)／コンビニ(45)／売店(41)／キッズスペース(38)／公園(35)／マッサージ(34)／スタジオ(22)／観覧・待合スペース(20)／飲食スペース(19)／体育館・グラウンド(19)／岩盤浴(15)
--

※括弧内は回答数を示す。

(2) 施設出口調査（箕面市民の回答）

本委託で実施した施設出口調査の結果のうち、箕面市に整備する温水プールに求める機能について、箕面市民の回答を整理した。

市民全体の意見として、温浴施設、トレーニングジム、サウナの機能を求める声が多い。施設の分類から意見をみると、市外の公設プールの利用者では、トレーニングジムや売店の機能の要望が最も高く、温浴施設、レストラン、サウナの機能の要望も少なからずある。一方、民間のプールである「コスパみのお」では、レストラン、売店の要望は低く、トレーニングジム、温浴施設の機能の要望が非常に高い。

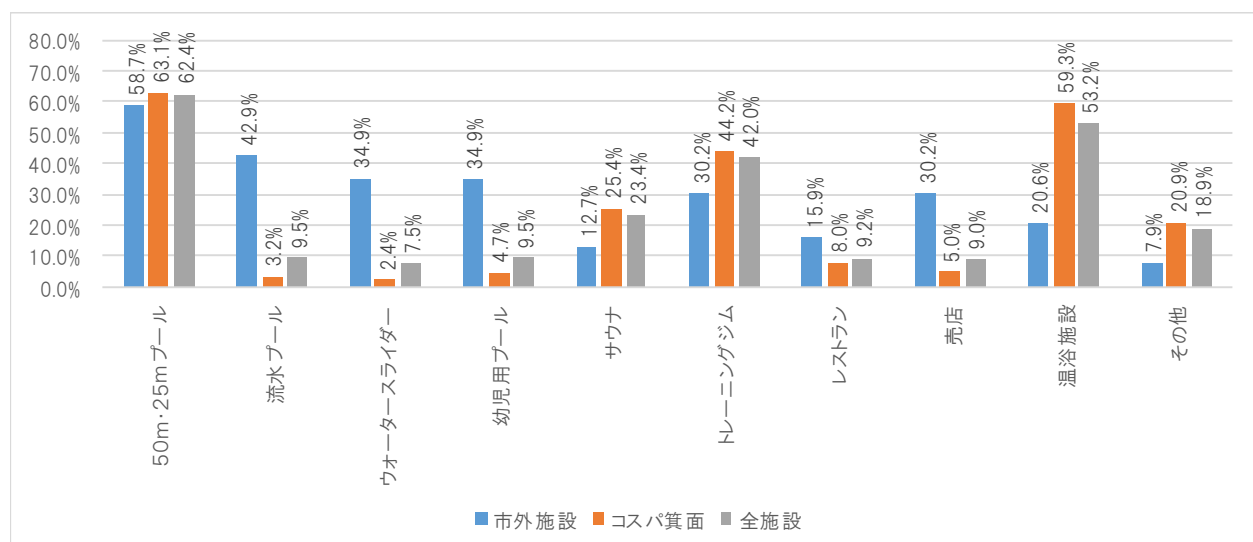
【図表 I -71】 整備する総合水泳・水遊場に求める機能・設備

選択項目	A～C市外施設 (N=63)		コスパみのお (N=339)		A～D全施設 (N=402)	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
50m・25mプール	37	58.7%	214	63.1%	251	62.4%
流水プール	27	42.9%	11	3.2%	38	9.5%
ウォータースライダー	22	34.9%	8	2.4%	30	7.5%
幼児用プール	22	34.9%	16	4.7%	38	9.5%
サウナ	8	12.7%	86	25.4%	94	23.4%
トレーニングジム	19	30.2%	150	44.2%	169	42.0%
レストラン	10	15.9%	27	8.0%	37	9.2%
売店	19	30.2%	17	5.0%	36	9.0%
温浴施設	13	20.6%	201	59.3%	214	53.2%
その他	5	7.9%	71	20.9%	76	18.9%

○「その他」の回答

- ・スタジオ(9)
- ・ジャグジー(9)
- ・水泳教室がある施設(2)
- ・飛び込み用プール(2)
- ・駐車場の設置(2)
- ・バリアフリーに対応した施設(2)
- ・料金が安い施設(2)

※括弧内は回答数を示す



※グレーのハッチにはプール機能の設備を示す

4. 2. プール設備以外のオプション機能の検討

箕面市民の要望があったプール以外のオプション機能を整理する。

「サウナ・温浴施設・岩盤浴」は健康維持目的の利用者からのニーズが高いが、公衆浴場法の適応を受けるため、運営・維持管理のハードルが高い。

健康増進目的の機能として、トレーニング機器のジム機能を希望する声が多く、健康維持目的の施設整備をする際には、必要な設備だと考える。また、マッサージ機能としてのマッサージチェアの設置は、血圧計などの健康管理機器とともにスペースを設けて設置することが望ましいと考えられる。

カフェや軽食といった飲食物販機能の要望が高く、周辺施設事例でも夏季で多く利用されている実態があることや、箕面市プール整備地に隣接する第二総合運動場に体育館やグラウンド、テニスコートといったスポーツの機能が集積していることを考慮すると、飲食・物販機能の設備を整備することが望ましいと考えられる。

機能集積の分類にあたる設備については、周辺施設の事例では健康維持やレクリエーションの観点からプール施設の利用促進となっていると考えられるため整備が望ましい。

【図表 I -72】 プール設備以外のオプション機能

分類	附帯設備	備考
健康増進目的の機能	サウナ	温度により、採暖室とは異なる。 ※公衆浴場法の適応を受ける
	温浴施設	※公衆浴場法の適応を受ける
	岩盤浴	※公衆浴場法の適応を受ける
	トレーニングジム	トレーニング機器のあるジム機能
	スタジオ	ヨガやピラティス、ダンス等の教室(健康維持の目的での利用が多く見込まれる)
	マッサージ	マッサージチェアを想定
飲食・物販機能	カフェ・軽食	
	飲食店	本格的な飲食(健康を考えたメニューなど)
	コンビニ	
	売店	水泳グッズの販売
機能集積	キッズスペース	屋内のキッズルームを想定
	公園	ウォーキング・ランニングコースや芝生広場などを想定
	体育館 グラウンド	その他スポーツ(バドミントン、卓球、サッカー、野球)との併用利用を目的としている

第Ⅱ章 近隣施設事例からの収支分析

1. 検討対象とするプールの類型

プールには、学校のプールから民間の大型レジャープールまで様々なタイプが存在するが、学校、幼稚園、保育所等を除き、不特定多数が利用できる運営形態で市町村が設置するプールとしては、主に以下の3類型となる。

○屋内温水プール

健康増進目的の自由遊泳、水中歩行を中心に、子ども向け水泳教室、中高年層向け健康講座などを開催しているケースであり、多くは、25メートルプールを5～8レーン程度備え、通常営業である。

併せて、幼児用の水深が浅いプールを備える施設も見受けられ、幼児用プールに小規模なスライダーなどの簡易なレジャー設備がある場合もある。

○屋外プール

25メートルプールあるいは50メートルプールのいずれかを備える施設が多く、夏季のみの営業である。

○屋内外併設型プール

屋内温水プールと、屋外プールを併設するタイプで、屋内の部分は通年、屋外の部分は基本的に夏季のみの営業である。屋外には、ウォータースライダーなどのアトラクションを備える場合もある。

箕面市を含む北摂7市において、市が設置するプールは14施設あり、うち6施設が屋内温水プール、4施設が屋外のみ、残る4施設が屋内外併設型となっている。

屋外のための3施設のうち2施設が箕面市のプールで、屋内温水プールを有していないのは箕面市のみである。他の市では、少なくとも1つの屋内温水プールあるいは屋内外併設型プールが設置されている状況である。

設置市ごとに、これらの施設を上記類型に基づいて整理すると、次表のとおりである。

【図表Ⅱ-1】北摂7市の公設プール

市名	施設名（建設年）	類型	主なプール設備
豊中市	市立ニノ切温水プール (1987 年)	屋内温水	25m×成人用7レーン 25m×幼児用3レーン
	市立豊島温水プール (2000 年)	屋内温水	25m×7レーン 子ども用プール3レーン
池田市	市立五月山体育館 (1996 年)	屋内温水	25m×7レーン 幼児用プール
吹田市	市立北千里市民プール (1966 年)	屋外のみ	50m×9レーン 子ども用プール 幼児用プール
	市立片山市民プール (1962 年)	屋内外併設	(屋内)25m×8レーン (屋外)25m×6レーン 50m×9レーン 幼児用プール
高槻市	市立市民プール (2003 年)	屋内外併設	(屋内)25m×7レーン リラクゼーションプール 流水プール 幼児用プール (屋外)50m×9レーン
	市立前島熱利用センター (1995 年)	屋内温水	25m×6レーン
	市立番田温水プール (1998 年)	屋内温水	25m×4レーン 幼児用プール
茨木市	市立五十鈴市民プール (1981 年)	屋内外併設	(屋内)25m×7レーン (屋外)50m×9レーン 幼児用プール
	市立西河原市民プール (1993 年)	屋内外併設	(屋内)25m×7レーン リラクゼーションプール ジェットプール スリーピングプール (屋外)ウォータースライダー リバーライド 流水プール 幼児用プール
	市立中条市民プール (1978 年)	屋外のみ	50m×9レーン 25m×7レーン 幼児用プール
摂津市	市立温水プール (1982 年)	屋内温水	25m×8レーン 幼児用プール
箕面市	市立第一市民プール (1988 年)	屋外のみ	50m×6レーン 子ども用プール 幼児用プール
	市立第二市民プール (1980 年)	屋外のみ	25m×4レーン 幼児用プール3レーン

前章の市民利用意向調査及び施設出口調査の結果から、箕面市には屋内温水プールが不足していること、市民は健康増進目的でのプール利用意向を強く示していることから、本章以降における検討対象からは「屋外プールのみ」の施設を除外し、屋内温水プールあるいは屋内外併設型プールを検討対象とする。

2. プール設備の整備モデル

収支分析に使用する事例を選定するため、プール設備について、整備モデルを設定する。

この整備モデルは、市民利用意向調査及び施設出口調査の結果を参考に作成するが、あくまで他市施設の事例とひかくするため仮想的に設定するものであり、現時点において「このような施設をつくるのがよい」等の価値判断を含むものではないことに留意されたい。

2. 1. 市民利用意向調査の結果から

市民利用意向調査結果から、市民が「希望するプール設備」は図表Ⅱ-2のとおりである。

屋内温水プールには、25mプール（水中運動に適したプール、25m競泳用プール）、子どもが楽しめるプール、幼児用プールの希望が高い。また、屋外プールには、子どもが楽しめるプールの希望が高く、また、幼児用プールについても回答者の4分の1が希望している。

【図表Ⅱ-2】希望するプール設備

希望するプール設備	屋内		屋外	
	回答数	割合	回答数	割合
水中運動に適したプール	1,172	78.9%	54	3.6%
25mの競泳用プール	987	66.5%	142	9.6%
子どもが楽しめるプール	619	41.7%	746	50.2%
幼児用プール	701	47.2%	375	25.3%
その他	149	10.0%	63	4.2%

「その他」の主な回答

流水プール(25)／50mプール(20)／飛び込み用プール(20)／造波プール(5)

※括弧内は回答数を示す

※「風呂」等のプール以外の設備は除外

2. 2. 施設出口調査の結果から

施設出口調査では、箕面市民のみを対象に、プールに求める機能・設備を尋ねたところ、その回答は図表Ⅱ-3のとおりである。

なお、施設出口調査は、市外の公共施設6施設、市内の民間施設1施設（コ・ス・パみのお）で行ったところ、両者で回答傾向が大きく異なったことから、回答を分けて掲載する。

市外施設を利用している箕面市民は、一般的な25mプール、50mプールのほか、流水プール、ウォータースライダー等のアトラクション、幼児用プールに高い希望を示している。一方、コ・ス・パみのおの利用者は、25mプール、50mプールに回答が集中している。

【図表Ⅱ-3】プールに求める機能・設備

選択項目	市外6施設		コ・ス・パみのお	
	回答数	割合	回答数	割合
50m・25mプール	37	58.7%	214	63.1%
流水プール	27	42.9%	11	3.2%
ウォータースライダー	22	34.9%	8	2.4%
幼児用プール	22	34.9%	16	4.7%
その他	5	7.9%	71	20.9%

2. 3. 整備モデルの設定

前項の結果から、屋内温水プール及び屋内外併設型プールそれぞれのプール設備について、整備モデルを以下のとおり設定した。

屋内の「造波プール」は、市民利用意向調査・施設出口調査のいずれでも希望が多かった、屋内の「子どもが楽しめるプール」として仮に設定したもので、流水プールよりも小さなスペースで整備できる利点がある。

【図表Ⅱ-4】整備モデル

種別	整備内容
屋内	25mプール(8レーン)
	造波プール
	幼児用プール
	プールサイド
屋外	流水プール
	幼児用プール
	ウォータースライダー
	(プールサイド)

3. モデル事例の収支分析

3. 1. モデル事例の選定

収支試算を行うにあたり、整備モデルに近い公共施設をモデル事例として、その実際の収支を分析することとする。

近隣市が設置するプール（図表Ⅱ-1 参照）のうち、屋内温水プールでは豊中市立豊島温水プール、五月山体育館、摂津市立温水プールが、屋内外併設型プールでは茨木市立西河原市民プールが前項の整備モデルに近い。

屋内温水プールについては、類似している3施設のうち、建設年が最も新しい豊中市立豊島温水プールをモデル事例とし、屋内外併設型プールについては茨木市立西河原市民プールをモデル事例として収支を分析する。

両施設の年間利用者数、広さ、利用料金、主な設備等は次表のとおりである。

【図表Ⅱ-5】豊島温水プール・西河原市民プールの基礎データ

	豊島温水プール (屋内温水プール)	西河原市民プール (屋内外併設型)
年間利用者数	105,128人	125,876人
延べ床面積	約4,000㎡	約7,400㎡
水面面積	約600㎡	約1,080㎡
建設年	2000年	1993年
利用料金	一般: 600円 中学生以下: 300円	一般: 1,000円 中学生以下: 500円
主なプール設備 ○: 屋内設備 ●: 屋外設備	○25mプール ・成人用7レーン ・幼児用3レーン	○25mプール×7レーン ○リラクゼーションプール ○ジェットプール ○スライダープール ○フロアープール ○幼児用プール ●ウォータースライダー ●リバーライド ●流水プール ●幼児用プール
主な附帯設備 (必須施設を除く)	ジャグジー トレーニング室	喫茶室 会議室 トレーニング室

※西河原の水面面積は非公表のため茨木市HPの画像から推定

※「主な付帯施設」は、更衣室等の必須施設を除いて掲載

3. 2. モデル事例2施設の収支（実績値）

モデル事例2施設の平成29年度の収支は、公表資料から次表のとおりである。

【図表Ⅱ-6】豊島温水プール・西河原市民プールの収支

[単位：千円]

			豊島温水プール (屋内温水プール)	西河原市民プール (屋内屋外併設)	備 考
収入	利用料	利用料(プール)	28,314	79,806	一般利用
		利用料(駐車場)	0	14,242	
	事業費	水泳教室受講料	36,320	34,602	水泳教室(指定管理事業)
	計		64,634	128,650	
支出	人件費	運営管理費	71,770	73,441	プール管理用人件費 豊島はバックオフィス業務を含む
		その他指定管理業務分		25,354	水泳教室開催にかかる人件費 豊島は不可分
		小計	71,770	98,795	
	事務費	旅費交通費	176	262	出張費等
		備品消耗品費	1,568	4,708	施設維持管理等にかかる備品、消耗品費購入費 屋外プールは塩素が抜けるのが早く薬品の消費大
		通信運搬費	554	541	切手代等
		小計	2,298	5,511	
	管理費	修繕費	9,034	960	西河原は、50万円以上は市負担。 豊島は2千万円まで指定管理者負担(指定管理料に積算し、残額は市に返金)
		光熱水費	28,157	50,992	電気、ガス、水道代等
		委託料	740	24,597	清掃員、設備点検、夏季駐車場誘導員、 駐車場保守員、駐車場警備員等
		広告料	0	1,833	市バス広告、JR広告、電柱広告、施設案内チラシ印刷費等
		賃借料	264	3,193	各種機器リース料
		保険料	298	555	施設賠償責任保険、教室傷害保険
		雑費	28	268	両替手数料、収入印紙等
		負担金	0	7,000	本社負担金
		小計	38,521	89,398	
	計		112,589	193,704	
収支差			-47,955	-65,054	

[出典]豊島温水プール：“豊中市立豊島体育館ほか施設の管理運営に関する事業報告書”（豊中市 HP から）

西河原市民プール：“指定管理施設評価結果”（茨木市 HP から）

3. 3. データの補正

<除外する支出の特定>

前表の支出には、それぞれの施設独特の経費が含まれている。例えば、西河原市民プールにおいて、有料駐車場を運営するための委託料、トレーニングルーム内のマシンリース料等である。

本稿では、純粋にプールの収支を見る必要があることから、入手できた資料から、これら純粋なプール運営にかかる支出ではないものをできる限り特定し、実績値の支出から除くこととする。

西河原市民プールについて、資料及びヒアリングにより特定できたこれらの支出は、次表のとおりである。

なお、豊島温水プールにおいては詳細な資料が入手できず、これらの支出を特定することはできなかった。

【図表Ⅱ-7】試算から除外する支出（西河原市民プール）

[単位：千円]

	素の収支	補正額	補正後の収支	除外した支出
運営管理費	73,441	0	73,441	—
その他指定管理業務分	25,354	0	25,354	—
旅費交通費	262	0	262	—
備品消耗品	4,708	0	4,708	—
通信運搬費	541	0	541	—
修繕費	960	0	960	—
光熱水費	50,992	0	50,992	—
委託料	24,597	20,000	4,597	有料駐車場運営関係経費
広告料	1,833	1,833	0	広告料全額
賃借料	3,193	2,929	264	トレーニングマシン、無線機等のリース料
保険料	555	0	555	—
雑費	268	240	28	トレーニングマシン運搬費用
本社管理料	7,000	0	7,000	—

<光熱水費の比較と補正>

モデル事例2施設は、延べ床面積、水面面積の差だけでなく、屋外設備の夏季営業の有無、駐車場の運営形態、修繕費における市と指定管理者の責任分担の違い等があり、単純に数値だけで比較することは難しいが、単純比較が可能な項目として、光熱水費に着目する。

光熱水費には、電気料金、ガス料金、水道料金、燃料費が含まれていることから、次表にこれらの内訳と両施設の比率を示す。

【図表Ⅱ-8】豊島温水プール・西河原市民プールの光熱水費比較

	豊島温水プール	西河原市民プール	比率
光熱水費(千円)	28,157	50,992	1:1.8
電気料金(千円)	10,654	23,538	1:1.2
ガス料金(千円)	7,303	13,920	1:1.9
水道料金(千円)	10,200	13,534	1:1.3
燃料費(千円)	26	0	—
延べ床面積(㎡)	4,000	7,400	1:1.9
水面面積(㎡)	600	1,080	1:1.8

光熱水費全体では、豊島：西河原＝1：1.8 で、延べ床面積あるいは水面面積の比率にほぼ等しい。

しかしながら、内訳を見ると、他の項目に比べて電気料金の比率が高い。西河原市民プールは屋外施設があるため延べ床面積、水面面積ともに広いが、屋外施設は照明設備がないため電気使用量に大きな影響を与えるとは考えにくいことから、施設の建設年による照明機器の性能差であると推測される。

よって、分析にあたっては、電気料金の比率を光熱水費全体の比率に合わせ、西河原市民プールにおける電気料金を豊島温水プールの 1.8 倍、19,177 千円に補正する。これにより、西河原市民プールの光熱水費は、次表のとおりとなる。

【図表Ⅱ-9】豊島温水プール・西河原市民プールの光熱水費（補正後）

	豊島温水プール	西河原市民プール	
		実績値	補正後
光熱水費(千円)	28,157	50,992	46,631
電気料金(千円)	10,654	23,538	19,177
ガス料金(千円)	7,303	13,920	13,920
水道料金(千円)	10,200	13,534	13,534
燃料費(千円)	26	0	0

(数値を補正した項目)

また、水面面積が西河原市民プールのほうが広いにもかかわらず水道料金が西河原市民プールのほうが低廉な理由は、水質保全の手法の差などが影響していると推測できるが、箕面市が今後整備するプールにおいてどのような手法をとるかまで現時点で仮定しにくいことから、水道料金については補正しないこととした。

＜利用料収入の補正＞

西河原市民プールにおいて、支出から有料駐車場関係経費を除くのと同様に、利用料収入のうち駐車場利用料 14,242 千円は 0 円に補正する。

3. 4. 補正後のモデル事例の収支

前項までの補正を反映したモデル事例の収支は、次表のとおりである。

【図表Ⅱ-10】補正後の豊島温水プール・西河原市民プールの収支

[単位：千円]

			豊島温水プール (屋内温水プール)	西河原市民プール (屋内屋外併設)
収入	利用料	利用料(プール)	28,314	79,806
		利用料(駐車場)	0	0
	事業費	水泳教室受講料	36,320	34,602
	計		64,634	114,408
支出	人件費	運営管理費	71,770	73,441
		その他指定管理業務分		25,354
		小計		71,770
	事務費	旅費交通費	176	262
		備品消耗品費	1,568	4,708
		通信運搬費	554	541
		小計		2,298
	管理費	修繕費	9,034	960
		光熱水費	28,157	46,631
		委託料	740	4,597
		広告料	0	0
		賃借料	264	264
		保険料	298	555
		雑費	28	28
		負担金	0	7,000
		小計		38,521
	計		112,589	164,341
収支差			-47,955	-49,933

(数値を補正した項目)

4. 西河原市民プールにおけるシーズン分析

4. 1. シーズン分析の意義

西河原市民プールは、通年営業の屋内温水プール設備と夏季のみ営業する屋外プール設備があるため、夏季と夏季以外の収入・支出、利用者数等を分析することにより、屋内温水プールのみの場合と、屋外プールを併設する場合との差分を見ることができる。

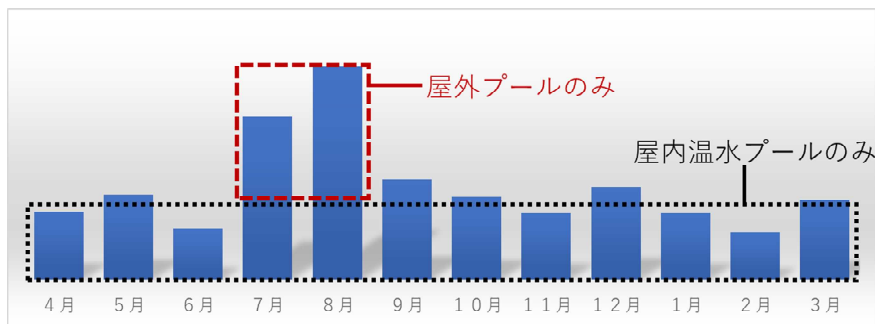
これにより、屋内温水プールのみの施設と屋外プールを併設する施設のどちらが収益が高いかを検証するとともに、切り出した屋外プール分の利用者数や収入・支出の数値を、屋内温水プールのみの施設に足すことによって、「もしこの屋内温水プールのみの施設に屋外プールを併設したとしたら」という仮定で仮想モデルの試算が可能になる。

4. 2. シーズン分析の考え方

シーズン分析は、次の手順で行う。

- ① 夏季（7月・8月）の収入・支出を求める
- ② 夏季以外（4～6月、9～3月）の収入・支出の平均値を求める
- ③ $② \times 12$ か月 = 屋内温水プールのみの収入・支出とみなす
- ④ $① - ② \times 2$ = 屋外プールのみの収入・支出とみなす

【図表Ⅱ-11】 シーズン分析のイメージ図



※西河原市民プールの屋外プールの夏季営業期間は7月1日から9月10日だが、分析は月単位とし、7月・8月の2か月間を夏季営業期間とみなす。

4. 3. 月別データの補正

月別データにおいても、項番 3.3.「データの補正」と同様の補正を行う必要がある。

月別に正確な補正すべき数値を特定することは不可能であるため、年間の補正前の素の数値と補正後の数値の比率を補正係数として各月に乗じて算出する。

【図表Ⅱ-12】補正する項目の補正係数 [単位：千円]

補正した項目	補正前	補正後	補正係数
利用料(駐車場)	14,242	0	皆減
光熱水費	50,992	46,631	0.914
委託料	24,597	4,597	0.187
広告料	1,833	0	皆減
賃借料	3,193	264	0.083
雑費	268	28	0.104

4. 3. 1. 西河原市民プールの月別収支（素のデータ）

西河原市民プールの月別収支（補正前の素のデータ）は、次表のとおりである。
項番 3.3.で補正した項目については、最右欄に補正係数を記載した。

【図表Ⅱ-13】西河原市民プールの月別収支（補正前の素のデータ） [単位：円]

項 目			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計	補正係数
収入	利用料金	利用料（プール）	1,664,250	2,309,000	2,678,000	27,270,960	37,381,210	3,596,200	888,250	1,066,750	926,750	725,500	479,750	819,120	79,805,740	
		利用料（駐車場）	538,750	616,900	639,600	3,431,900	5,171,600	710,650	342,200	579,070	495,800	357,120	435,950	922,430	14,241,970	皆減
	事業費	水泳教室	11,550,900	9,809,200	940,400	0	2,100	1,074,600	-1,200	10,097,600	1,144,200	33,000	-39,300	-9,600	34,601,900	
	計		13,753,900	12,735,100	4,258,000	30,702,860	42,554,910	5,381,450	1,229,250	11,743,420	2,566,750	1,115,620	876,400	1,731,950	128,649,610	
支出	人件費	運営管理	4,290,360	3,959,450	4,282,082	9,249,917	11,924,538	8,969,931	4,217,829	4,416,232	6,901,330	4,046,385	5,775,170	5,407,441	73,440,665	
		人件費	2,390,741	2,255,782	3,279,058	1,038,637	299,290	429,416	467,644	3,060,879	3,307,608	1,874,553	3,597,533	3,352,835	25,353,976	
		小計	6,681,101	6,215,232	7,561,140	10,288,554	12,223,828	9,399,347	4,685,473	7,477,111	10,208,938	5,920,938	9,372,703	8,760,276	98,794,641	
	事務費	旅費交通費	21,300	18,960	25,960	30,200	21,600	23,020	3,240	26,360	27,280	14,500	25,240	24,180	261,840	
		備品消耗品費	436,638	251,599	492,076	825,256	836,644	338,287	256,354	251,861	162,558	243,154	179,133	434,503	4,708,063	
		通信運搬費	96,595	40,783	70,802	55,761	39,221	34,033	43,077	28,798	36,285	29,784	28,555	37,156	540,850	
		小計	554,533	311,342	588,838	911,217	897,465	395,340	302,671	307,019	226,123	287,438	232,928	495,839	5,510,753	
	管理費	修繕費	15,120	1,407	155,147	318,689	19,797	162,000	105,900	2,944	2,491	38,848	101,465	36,372	960,180	
		光熱水費	3,106,707	2,066,552	3,846,104	3,495,826	7,946,086	1,813,995	6,103,728	3,383,758	5,963,968	3,809,030	4,554,395	4,901,474	50,991,623	0.914
		委託料	1,769,215	1,741,133	1,769,215	2,142,342	2,661,009	2,115,623	2,069,584	2,069,584	2,081,855	2,046,215	2,054,005	2,077,374	24,597,154	0.187
		広告料	0	349,056	577,800	17,820	0	249,480	0	40,000	0	0	0	599,172	1,833,328	皆減
		賃借料	237,932	213,278	645,278	308,318	308,318	200,102	213,278	213,278	213,278	213,278	213,278	213,278	3,192,894	0.083
		保険料	555,049	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	555,049	
		雑費	0	0	0	2,916	1,500	2,000	0	4,880	16,200	0	0	239,600	267,096	0.104
		負担金	583,000	583,000	583,000	583,000	583,000	583,000	583,000	583,000	583,000	583,000	583,000	587,000	7,000,000	
		小計	6,267,023	4,954,426	7,576,544	6,868,911	11,519,710	5,126,200	9,075,490	6,297,444	8,860,792	6,690,371	7,506,143	8,654,270	89,397,324	
	計		13,502,657	11,481,000	15,726,522	18,068,682	24,641,003	14,920,887	14,063,634	14,081,574	19,295,853	12,898,747	17,111,774	17,910,385	193,702,718	

[出典]茨木市立西河原市民プール 指定管理者 シンコースポーツ株式会社からの提供資料

上表を見ると、収入のうち水泳教室受講料の月別変動が激しく、また、7月・8月にはほぼ0となっている。夏季に水泳教室を開催していないためと考えられるが、プール設備（屋外・屋内）の違いによる収支の違いを見極めるための分析においては、運用の変動による収支変動に左右されず、できるだけ純粋に設備の違いによる差異を見るべきであることから、シーズン分析においては、水泳教室に係る収支を除くこととする。

なお水泳教室に関する収支とは、収入は「水泳教室受講料」であり、支出は、人件費のうち「その他指定管理業務分」（水泳教室分の人件費）全額が該当する。

4. 3. 2. 西河原市民プールの月別収支（補正後）

前項の素のデータに補正を加えたものが次表である。

【図表Ⅱ-14】西河原市民プールの月別収支（補正後） [単位：円]

項 目			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	合計	補正係数	
収入	利用料金	利用料（プール）	1,664,250	2,309,000	2,678,000	27,270,960	37,381,210	3,596,200	888,250	1,066,750	926,750	725,500	479,750	819,120	79,805,740		
		利用料（駐車場）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	皆減
	事業費	水泳教室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	除外
	計		1,664,250	2,309,000	2,678,000	27,270,960	37,381,210	3,596,200	888,250	1,066,750	926,750	725,500	479,750	819,120	79,805,740		
支出	人件費	運営管理	4,290,360	3,959,450	4,282,082	9,249,917	11,924,538	8,969,931	4,217,829	4,416,232	6,901,330	4,046,385	5,775,170	5,407,441	73,440,665		
		人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	除外
		小計	4,290,360	3,959,450	4,282,082	9,249,917	11,924,538	8,969,931	4,217,829	4,416,232	6,901,330	4,046,385	5,775,170	5,407,441	73,440,665		
	事務費	旅費交通費	21,300	18,960	25,960	30,200	21,600	23,020	3,240	26,360	27,280	14,500	25,240	24,180	261,840		
		備品消耗品費	436,638	251,599	492,076	825,256	836,644	338,287	256,354	251,861	162,558	243,154	179,133	434,503	4,708,063		
		通信運搬費	96,595	40,783	70,802	55,761	39,221	34,033	43,077	28,798	36,285	29,784	28,555	37,156	540,850		
		小計	554,533	311,342	588,838	911,217	897,465	395,340	302,671	307,019	226,123	287,438	232,928	495,839	5,510,753		
	管理費	修繕費	15,120	1,407	155,147	318,689	19,797	162,000	105,900	2,944	2,491	38,848	101,465	36,372	960,180		
		光熱水費	2,839,530	1,888,829	3,515,339	3,195,185	7,262,723	1,657,991	5,578,807	3,092,755	5,451,067	3,481,453	4,162,717	4,479,947	46,606,343		0.914
		委託料	330,843	325,592	330,843	400,618	497,609	395,622	387,012	387,012	389,307	382,642	384,099	388,469	4,599,668		0.187
		広告料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		皆減
		賃借料	19,748	17,702	53,558	25,590	25,590	16,608	17,702	17,702	17,702	17,702	17,702	17,702	265,008		0.083
		保険料	555,049	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	555,049		
		雑費	0	0	0	303	156	208	0	508	1,685	0	0	24,918	27,778		0.104
		負担金	583,000	583,000	583,000	583,000	583,000	583,000	583,000	583,000	583,000	583,000	583,000	587,000	7,000,000		
		小計	4,343,290	2,816,530	4,637,887	4,523,385	8,388,875	2,815,429	6,672,421	4,083,921	6,445,252	4,503,645	5,248,983	5,534,408	60,014,026		
	計		9,188,183	7,087,322	9,508,807	14,684,519	21,210,878	12,180,700	11,192,921	8,807,172	13,572,705	8,837,468	11,257,081	11,437,688	138,965,444		
収支差			-7,523,933	-4,778,322	-6,830,807	12,586,441	16,170,332	-8,584,500	-10,304,671	-7,740,422	-12,645,955	-8,111,968	-10,777,331	-10,618,568	-59,159,704		

4. 4. 収支のシーズン分析

始めに、夏季（7・8月）の収支と夏季以外（4～6月・9～3月）の収支の平均を求める。なお、夏季収支の平均は、計算には使用しないが、夏季以外の数値との対比のため参考として記載している。

【図表Ⅱ-15】夏季/夏季以外の収支と平均

夏季	収入	支出	夏期以外	収入	支出
7月	27,270,960	14,684,519	4月	1,664,250	9,188,183
8月	37,381,210	21,210,878	5月	2,309,000	7,087,322
計	64,652,170	35,895,397	6月	2,678,000	9,508,807
平均	32,326,085	17,947,699	9月	3,596,200	12,180,700
収支差(月平均)			10月	888,250	11,192,921
			11月	1,066,750	8,807,172
			12月	926,750	13,572,705
			1月	725,500	8,837,468
			2月	479,750	11,257,081
			3月	819,120	11,437,688
			計	15,153,570	103,070,047
			平均	1,515,357	10,307,005
			収支差(月平均)		-8,791,648

次に、屋内温水プールのための収支を、「夏季以外の平均×12 か月」で求める。

【図表Ⅱ-16】屋内温水プールのための収支

屋内収支	収入	支出
夏季以外平均	1,515,357	10,307,005
通年ベース	18,184,284	123,684,060
収支差(月平均)		-105,499,776

屋外プールのための収支は、「夏季2 か月計」から「夏季以外平均×2 か月」を引いた差分で求める。

【図表Ⅱ-17】屋外プールのための収支

屋外収支	収入	支出
夏季2か月計	64,652,170	35,895,398
夏季以外平均×2か月	3,030,714	20,614,010
差分(=屋外のみ収支)	61,621,456	15,281,388
屋外のみ月平均	30,810,728	7,640,694
収支差(月平均)		23,170,034

4. 5. 利用者数のシーズン分析

月別の利用者数は公表されていないため、利用料収入から逆算して求める必要がある。

西河原市民プールの利用料金は、一般 1,000 円、中学生以下 500 円であるが、年間利用者数の一般と中学生以下の内訳も示されていないことから、月別の利用者数は、「プール利用料金÷利用者数」で利用者 1 人あたりの利用単価を求めたうえで、「月別のプール利用料金÷利用単価」により求める。

【図表Ⅱ-18】西河原市民プールの利用単価と月別利用者数

	プール利用料金(円)	利用者数(人)
4月	1,664,250	2,625
5月	2,309,000	3,642
6月	2,678,000	4,224
7月	27,270,960	43,014
8月	37,381,210	58,961
9月	3,596,200	5,672
10月	888,250	1,400
11月	1,066,750	1,683
12月	926,750	1,462
1月	725,500	1,144
2月	479,750	757
3月	819,120	1,292
計	79,805,740	125,876
夏季計		101,975
夏期以外計		23,901
夏季平均		50,988
夏期以外平均		2,390

年間プール利用料金	79,805,740円
年間利用者数	125,876人
利用単価	634円

次に、前項の収支のシーズン分析と同様の手順で、屋外プールの有無にかかわらず施設を利用する「通年の利用者数」と、屋外プールが営業している期間のみ利用する夏季利用者数を求める。

なお、通年の利用者数は、「夏季以外の平均×12 か月」で求める。

【図表Ⅱ-19】屋内温水プールのみの利用者

通年利用者	利用者数(人)
夏季以外平均	2,390
通年ベース	28,680

夏季利用者数は、「夏季 2 か月計」から「夏季以外平均×2 か月」を引いた差分で求める。

【図表Ⅱ-20】屋外プールのみの利用者

夏季利用者	利用者数(人)
夏季2か月計	101,975
夏季以外平均×2か月	4,780
差分(夏季のみ利用者)	97,195
夏季のみの月平均	48,598

5. 仮想モデルの収支試算

次の仮想モデルを設定し、前項のシーズン分析結果から収支を試算する。

- (1) 豊島温水プールに、西河原市民プール相当の屋外プールを併設した場合
- (2) 西河原市民プールに屋外プールがなく、屋内温水プールのみの場合

5. 1. 仮想モデル（1）豊島温水プールに屋外プールを併設した場合

仮想モデル（1）の試算の基本的な考え方としては、豊島温水プールの実績値に、シーズン分析で算出した西河原市民プールの屋外プールのみの収支を足して算出する。

しかしながら、シーズン分析から得た収入は、西河原市民プールの料金設定（一般 1,000 円・中学生以下 500 円）に依っているため、豊島温水プールの料金設定（一般 600 円・中学生以下 300 円）よりも高くなっている。

そこで、豊島温水プールが今の料金設定のまま、屋外プールを併設した場合の収支を試算するためには、収入を補正する必要がある。

補正方法としては「夏季利用者数」に豊島温水プールの利用単価を乗じて、夏季のプール利用料金収入を算出する。

【図表Ⅱ-21】豊島温水プールの利用単価と夏季利用料金収入

年間プール利用料金	28,314,000円
年間利用者数	105,128人
利用単価	269円
夏季利用者数	97,195人
利用単価	269円
夏季利用料金収入	26,145,455円

仮想モデル（1）の収入は、豊島温水プールの実績値に、上記で算出した夏季利用料金収入を足して求める。

支出については、豊島温水プールの実績値に、シーズン分析で求めた屋外プール分の支出を足して求める。

利用者数についても、支出と同様、シーズン分析で求めた夏季利用者数を足して求める。

【図表Ⅱ-22】仮想モデル（１）の収支と利用者

[単位：千円]

		豊島温水プール (仮想：屋内外併設)	備 考	図 表
収入(千円)	実績(屋内)	64,634	豊島収入実績	Ⅱ-10
	屋外収入	26,145	夏季利用料収入(豊島料金)	Ⅱ-21
	計	90,779		
支出(千円)	実績(屋内)	112,589	豊島の支出実績	Ⅱ-10
	屋外支出	15,281	西河原の屋外支出	Ⅱ-17
	計	127,870		
収支差(千円)		-37,091		
利用者数(人)	実績(屋内)	105,128	豊島の利用者数実績	Ⅱ-5
	夏季利用者	97,195	西河原の夏季利用者数	Ⅱ-20
	計	202,323		

５．２．仮想モデル（２）西河原市民プールが屋内温水プールのみの場合

想定モデル（２）については、シーズン分析で算出した西河原市民プールの屋内のみの収支に、シーズン分析では除外した水泳教室関係の収支を再算入して収支を求める。なお、水泳教室関係の収支とは、収入は「水泳教室受講料」、支出は「その他指定管理料（＝水泳教室分の人件費）」である。

利用者数については、シーズン分析で算出した屋内利用者数を使用する。

【図表Ⅱ-23】仮想モデル（２）の収支と利用者数

[単位：千円]

		西河原市民プール (仮想：屋内のみ)	備 考	図 表
収入(千円)	屋内収入	18,184	西河原の屋内収入	Ⅱ-16
	水泳教室受講料	34,602	西河原の収入実績	Ⅱ-6
	計	52,786		
支出(千円)	屋内支出	123,684	西河原の屋内支出	Ⅱ-16
	水泳教室分人件費	25,354	西河原の支出実績	Ⅱ-6
	計	149,038		
収支差(円)		-96,252		
利用者数(人)	屋内利用者数	28,680	西河原の通年利用者	Ⅱ-19

6. 収支分析のまとめ

項番 1.3.4.「補正後のモデル事例の収支」と項番 1.5.「仮想モデルの収支試算」の結果をまとめると、次表のとおりである。

【図表Ⅱ-24】収支分析のまとめ表

分析パターン	A	B	C	D
類型	屋内温水プールのみ		屋内外併設	
施設名	豊島温水プール	西河原市民プール	西河原市民プール	豊島温水プール
分析タイプ	(実績値)	(仮想モデル)	(実績ベース)	(仮想モデル)
収入(千円)	64,634	52,786	114,408	90,779
支出(千円)	112,589	149,038	164,341	127,870
収支差(千円)	-47,955	-96,252	-49,933	-37,091
利用者数(人)	105,128	28,682	125,876	202,323
利用料金	一般:600円 中学生以下:300円	一般:1,000円 中学生以下:500円	一般:1,000円 中学生以下:500円	一般:600円 中学生以下:300円

6. 1. 概略

全体として、どの分析パターンにおいても収支が黒字に転ずることはなく、年間 3 千 7 百万円から 9 千 7 百万円程度の赤字となる結果となった。

いずれのパターンも、豊島温水プール、西河原市民プールの実績あるいはそこから展開した試算であるため、これら 2 施設の現在の運営手法に基づく収支試算である。よって、例えば、西河原市民プールでは、屋外プール施設を夏季営業期間以外に活用していないが、新たに整備するプールではその活用を検討するなど、運営面での収支改善の余地がある。

また、西河原市民プールにおける水泳教室による収支を見ると 924 万円の黒字で、教室開催が全体の収支を改善していることから、新たなプールでも教室開催によって収支改善を図ることができると考えられる。

なお、これら 2 施設は、西河原市民プールが 1993 年、豊島温水プールが 2000 年に建設されており、それぞれ 26 年前、19 年前の建築物であることから、特に光熱費については、省エネ技術の進展によりさらなる圧縮の可能性が高い。

6. 2. パターン間の比較分析

6. 2. 1. プール設備（屋内／屋外）と収支の関係

次に、分析パターン間の比較により、プール設備と利用料金について分析する。

分析パターンAとD、あるいはBとCは、それぞれ同じ施設において屋外プールの有無による差を見ることができるモデルである。

そこで、AとDを比べると、屋内温水プールのみでのAよりも屋外プールがあるDの方が赤字が約1,100万円少なく、BとCの比較では、屋内温水プールのみでのBよりも屋外プールがあるCのほうが赤字が約4,600万円少ない。よって、屋内温水プールのみでの施設よりも、屋内外併設型のほうが収支が良くなるとわかる。

屋内外併設型とするには、屋外プールの整備費分のイニシャルコストが必要だが、ランニングコスト低減の観点からは屋内温水プールのみではなく、屋外プールを併設することが望ましいという結果となった。

【図表Ⅱ-25】分析パターンのまとめ

	実績値または 実績ベース	仮想モデル
屋内温水プール	豊島 A 利用者数：105,128人 料金：600円・300円 収支差：-47,955千円	西河原 B 利用者数：28,680人 料金：1000円・500円 収支差：-96,252千円
屋内外併設型 プール	西河原 C 利用者数：125,876人 料金：1000円・500円 収支差：-49,933千円	豊島 D 利用者数：202,323人 料金：600円・300円 収支差：-37,091千円

6. 2. 2. 利用料金と利用者数、収支の関係

次に、AとBはいずれも屋内温水プールのみ、CとDはいずれも屋内外併設型であるため、これらの比較から利用料金と利用者数、収支の関係を見る。

AとBでは利用者数に3.7倍もの差があることから、Bでは相当の料金抵抗があることがわかる。収支においても、BはAの2倍の赤字を出していることから、屋内温水プールの場合には、利用料金を高くしすぎると、利用者数の減少とそれに伴う収支の悪化を招くと推定される。

一方、CとDでは、利用者数、収支差とも、差は1.6倍程度であり、A・B間よりは格差が小さい。このことから、屋外プールの利用者にとっては、比較的高額な料金設定であっても料金抵抗が少ないことがわかる。

なお、屋内温水プールの場合と、屋外プールの場合とを比較して、料金抵抗が大きく異なる傾向にあるのは、一般的に、屋内温水プールの利用者が年間を通じての習慣的な利用が多く、夏季の屋外@プールはレジャー目的の臨時的な利用が多いことも無関係ではないと推測される。日常的な利用においては、料金設定も重要であるが、アクセス性、周辺人口の規模、近隣競合施設の有無などの立地環境も大きな要素となることに留意する必要がある。

6. 3. 夏季料金を変更した場合の試算

項番 1.6.2.2.のお利用料金に係る考察結果から、仮に、夏季料金を西河原市民プール相当（一般 1000 円・中学生以下 500 円）、夏季以外の料金を豊島温水プール相当（一般 600 円・中学生以下 300 円）にした場合の仮想モデルを設定し、収支を試算する。

モデルとしては、パターン B の派生型であり、試算方法は、項番 1.5.1.「仮想モデル（1）豊島温水プールに屋外プールを併設した場合の試算」において、夏季の利用料金収入を補正せず、シーズン分析で求めた数値を使用する。その他の算定はパターン B と同一である。

この場合、収支はほぼ均衡する試算結果となった。屋内温水プールのみ、屋内外併設型プールのいずれも、利用者数にかかわらず支出はほぼ一定であるため、利用者数の確保と料金設定が収入を左右し、ひいては収支を左右する。

特に、夏季の利用者数の確保と料金設定がランニングコストに大きく影響するポイントであり、上記試算は、場合によっては赤字運営を回避できる可能性を示唆しているものである。

【図表Ⅱ-26】夏季利用料金変更モデルの収支

[単位：千円]

		豊島温水プール (仮想：屋内外併設)	備 考	図 表
収入(千円)	実績(屋内)	64,634	豊島収入実績	Ⅱ-10
	屋外収入	61,621	西河原の屋外収入	Ⅱ-17
	計	126,255		
支出(千円)	実績(屋内)	112,589	豊島の支出実績	Ⅱ-10
	屋外支出	15,281	西河原の屋外支出	Ⅱ-17
	計	127,870		
収支差(千円)		-1,615		
利用者数(人)	実績(屋内)	105,128	豊島の利用者数実績	Ⅱ-5
	夏季利用者	97,195	西河原の夏季利用者数	Ⅱ-20
	計	202,323		

第Ⅲ章 整備費の試算

1. 試算モデルの設定

整備費を試算するにあたっては、施設規模を設定する必要がある。

プール設備については、第Ⅱ章 項番 2.3.「整備モデルの設定」で設定したものを使用し、更衣室やプールサイドなどプールとして機能するための必須設備や、ロビーや事務室など施設として通常備える設備等を加えて、それぞれに面積を設定する。

また、ここでは具体的な設定はしないが、モデル事例2施設にあるジャグジー、トレーニングルーム、カフェ相当の「オプション設備」の面積を仮に加えることとする。(ジャグジー40㎡、トレーニングルーム・カフェ各100㎡想定)

【図表Ⅲ-1】試算モデルの設定

<試算モデル1：屋内温水プールのみ>

種別	整備内容	面積(㎡)
プール設備	25mプール(8レーン)	400
	造波プール	200
	幼児用プール	40
	(プールサイド)	700
プール 附帯設備	更衣室・シャワールーム	400
	採暖室	50
	観覧席	200
	機械電気室	400
施設機能	ロビー	300
	事務室	200
	倉庫	100
	駐車場(平面)・200台	5,000
オプション設備(仮)		240
屋内面積合計(延べ床面積)		3,230
屋外面積合計		0
駐車場・駐輪場		6,200
建築面積		2,500
延べ床面積(1F)		2,500
延べ床面積(2F)		730
延べ床面積(合計)		3,230

<試算モデル2：屋内外併設型>

種別	整備内容	面積(㎡)
プール設備	25mプール(8レーン)	400
	造波プール	200
	幼児用プール	40
	(プールサイド)	800
プール 附帯設備	流水プール	600
	幼児用プール	60
	ウォータースライダー	—
	(プールサイド)	1,200
プール 附帯設備	更衣室・シャワールーム	500
	採暖室	50
	観覧席	200
	機械電気室	600
施設機能	ロビー	300
	事務室	200
	倉庫	100
	駐車場(平面)・200台	6,250
オプション設備(仮)		240
屋内面積合計(延べ床面積)		3,630
屋外面積合計		1,860
駐車場・駐輪場		7,650
建築面積		2,900
延べ床面積(1F)		2,900
延べ床面積(2F)		730
延べ床面積(合計)		3,630

なお、このモデルはあくまで整備費試算のための仮設定であり、この面積が必須あるいは最適である等の価値判断を含んでいないことに留意されたい。

2. 整備地と試算モデル面積の検証

2. 1. 整備地について

平成 29 年（2017 年）1 月に箕面市スポーツ施設・温水プール整備検討特命チームが出した「箕面市における総合水泳・水遊場の検討について【中間報告】～総合水泳・水遊場の候補地の選定までの経過報告～」において、プール整備の最有力候補地は、「第二総合運動場調整池・西の池」とされている。

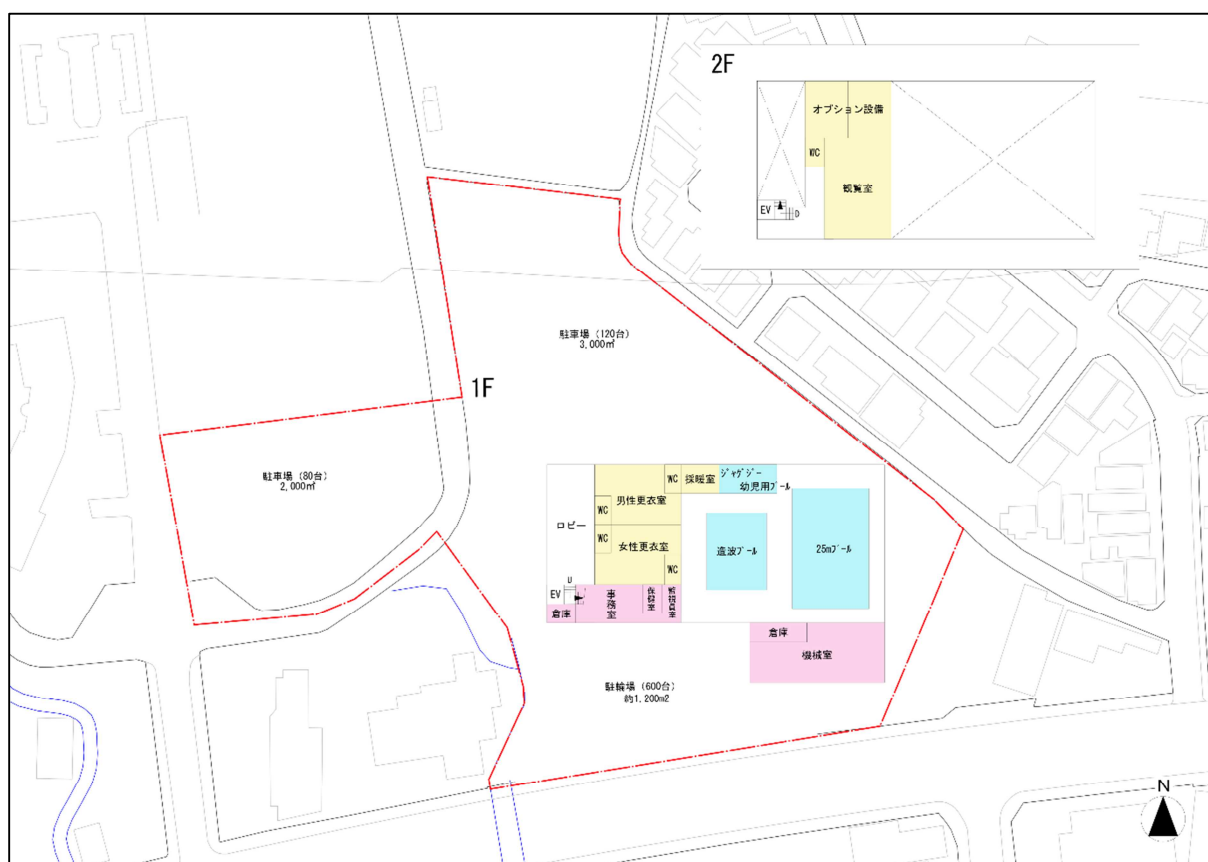
敷地面積は、約 8,300 m²、高さ制限は 12m である。

2. 2. 仮配置図による面積の検証

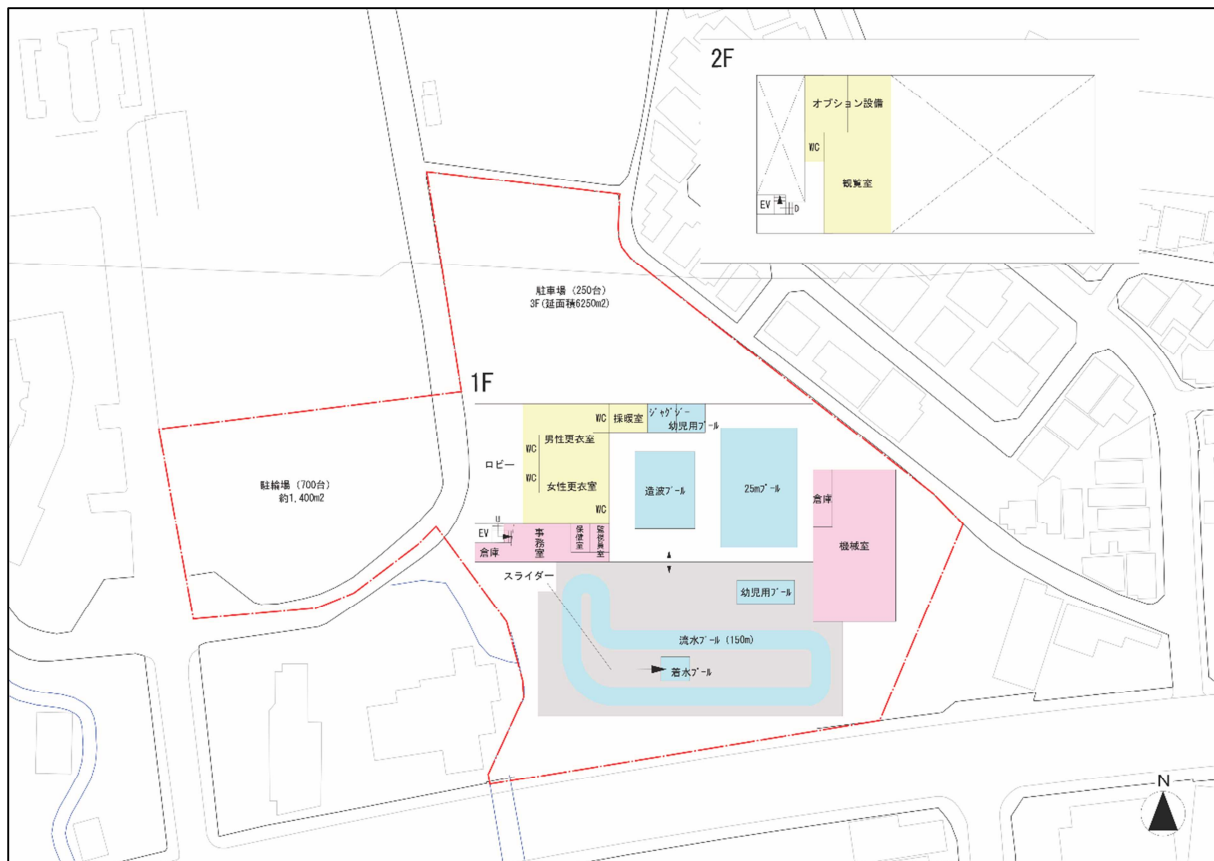
上記の整備地に対して、項番 1.「試算モデルの設定」で設定したモデルが建設可能な規模かどうかを検証するため、仮の配置図を作成した。

なお、駐車場・駐輪場については、第二総合運動場との兼用を考慮せず、単独施設として設定したものである。

【図表Ⅲ-2】試算モデル 1 の仮配置図



【図表Ⅲ-3】試算モデル2の仮配置図



上記の検証から、いずれの試算モデルも、候補地の敷地面積で建設可能な規模である。

なお、試算モデルにおける駐車場・駐輪場の面積は、敷地面積に建築面積を当てはめ、残った面積を割り振ったもので、台数は、自動車1台あたり25㎡、自転車1台あたり2㎡として割り戻したものである。台数については、需要予測から算定したものではないため、今後改めて検証が必要である。

また、これはあくまで仮のレイアウトであり、試算モデルの面積が現実的な規模となっているかを検証しているに過ぎない。進入路の位置や場内動線、第二総合運動場を含めた周辺施設あるいは周辺住宅との関係性などについては一切考慮していないことに留意されたい。

3. 整備事例の分析

整備費試算の基礎数値を得るため、公設プールの事例を収集した。

【図表Ⅲ-4】整備事例（屋内温水プールのための施設）

施設名		豊島温水プール	ニノ切温水プール	堺市立のびやか健康館	北見市民温水プール	戸田市スポーツセンター	木曽町温水プール	なぐわし公園PiKOA
設置者		大阪府豊中市	大阪府豊中市	大阪府堺市	北海道北見市	埼玉県戸田市	長野県木曽町	埼玉県川崎市
竣工年		2000年	1987年	2004年	2015年	2017年	2017年	2012年
敷地面積		9,988㎡	30,647㎡	26,500㎡	14,136㎡	24,399㎡	2,239㎡	20,891㎡
建築面積		2,682㎡	1,974㎡	6,732㎡	3,172㎡	1,864㎡	(不明)	5,847㎡
延べ床面積		4,015㎡	2,955㎡	9,866㎡	2,997㎡	2,434㎡	1,633㎡	7,075㎡
施設内容	屋内	25m×7コース 幼児用3コース	25m×8コース 幼児プール 会議室	25m×7コース マッサージプール ウォーキング専用プール ファミリープール 露天風呂 サウナ マシンジム スタジオ 屋内スポーツ練習場	25m×8コース 多目的プール 幼児用プール バブルプール コミュニティ室 トレーニング室	25m×7コース 幼児用プール	25m×5コース 低学年用×2コース 歩行用プール ジャグジー トレーニングルーム 多目的ルーム	25m×6コース 歩行用プール 幼児用プール 温浴施設 多目的ホール
		平面81台	平面77台(+近隣15台)	平面224台(+近隣787台)	平面158台	平面105台	平面3台	平面200台
	駐輪場	平面45台	平面32台	平面70台	平面30台	平面100台	0台	平面60台
概算工事費		2,769,315千円	1,278,494千円	3,722,503千円	2,099,246千円	1,380,240千円	739,390千円	3,038,830千円
駐車場・駐輪場整備費		21,150千円	19,890千円	57,400千円	40,100千円	28,250千円	750千円	51,200千円
建物整備費		2,748,165千円	1,258,604千円	3,665,103千円	2,059,146千円	1,351,990千円	738,640千円	2,987,630千円
延べ床面積あたりの整備費単価		684千円/㎡	426千円/㎡	371千円/㎡	687千円/㎡	555千円/㎡	452千円/㎡	422千円/㎡

※プール施設に併設、あるいは近隣で
駐車場の兼用が可能な施設がある
場合は、その駐車場台数を併記した

【図表Ⅲ-5】整備事例（屋内温水プールのための施設）

施設名		西河原市民プール	呉市営プール	まほろば健康パーク・ スィムピア奈良	美原総合スポーツセンター	新富士見市民温水プール
設置者		大阪府茨木市	広島県呉市	奈良県大和郡山市	大阪府堺市	滋賀県大津市
竣工年		1993年	2019年	2014年	2009年	2018年
敷地面積		13,700㎡	21,200㎡	118,000㎡	(不明)	8,533㎡
建築面積		2,629㎡	3,271㎡	6,444㎡	2,954㎡	1,804㎡
延べ床面積		7,438㎡	3,800㎡	7,996㎡	2,935㎡	2,357㎡
施設内容	屋内	25m×7コース リラクゼーションプール ジェットプール スライダープール フロアープール 幼児用プール	25m×8コース 健康づくりプール	25m×10コース 歩行用プール ジャグジー トレーニングジム フィットネススタジオ	25m×7コース トレーニングジム スタジオ	25m×5コース 幼児用プール
		ウォータースライダー 流水プール 幼児用プール	子どもプール スポーツパーク 多目的広場	50m×10コース 流水プール 幼児用プール スライダー 園地 ジョギング・サイクリングコース	多目的グラウンド テニスコート 4面	温浴施設 サウナ アリーナスタジオ マルチスタジオ トレーニングジム
	駐車場	立体266台(+近隣66台)	平面100台(+81台)	平面580台	平面200台	平面70台
		駐輪場	平面700台	平面150台	平面200台	平面50台
概算工事費		4,809,770千円	2,477,660千円	5,300,000千円	2,000,000千円	2,154,800千円
駐車場・駐輪場整備費		721,028千円	28,000千円	149,000千円	54,000千円	18,500千円
建物整備費		4,088,742千円	2,449,660千円	5,151,000千円	1,946,000千円	2,136,300千円
延べ床面積あたりの整備費単価		550千円/㎡	645千円/㎡	644千円/㎡	663千円/㎡	906千円/㎡

[出典]「概算工事費」まではインターネットでの公表情報及び各施設管理者へのヒアリング
「駐車場・駐輪場整備費」、「建物整備費」、「延べ床面積あたりの工事費単価」は試算値(次頁参照)

3. 1. 駐車場・駐輪場整備費

図表Ⅲ-4・Ⅲ-5の「駐車場・駐輪場整備費」は、駐車場の整備費を、立体駐車場で2,658千円/台（箕面駅前第一駐車場事例の消費税率を10%に補正）、平面の場合は外構整備費10千円/㎡として、駐車場（25㎡/台）で250千円/台、駐輪場（2㎡/台）で20千円/台とし、各施設の駐車場・駐輪場台数にこの単価を乗じて試算した。

【図表Ⅲ-6】駐車場・駐輪場整備費

施設名称			駐車場	駐輪場	駐車場・駐輪場整備費
屋内温水プール	豊島温水プール	台数 整備費	平面81台 20,250千円	平面45台 900千円	21,150千円
	二ノ切温水プール	台数 整備費	平面77台 19,250千円	平面32台 640千円	19,890千円
	堺市立のびやか健康館	台数 整備費	平面224台 56,000千円	平面70台 1,400千円	57,400千円
	北見市民温水プール	台数 整備費	平面158台 39,500千円	平面30台 600千円	40,100千円
	戸田市スポーツセンター	台数 整備費	平面105台 26,250千円	平面100台 2,000千円	28,250千円
	木曽町温水プール	台数 整備費	平面3台 750千円	0台 0千円	750千円
	なぐわし公園PiKOA	台数 整備費	平面200台 50,000千円	平面60台 1,200千円	51,200千円
屋内外併設プール	西河原市民プール	台数 整備費	立体266台 707,028千円	平面700台 14,000千円	721,028千円
	呉市営プール	台数 整備費	平面100台 25,000千円	平面150台 3,000千円	28,000千円
	まほろば健康パーク	台数 整備費	平面580台 145,000千円	平面200台 4,000千円	149,000千円
	美原総合スポーツセンター	台数 整備費	平面200台 50,000千円	平面200台 4,000千円	54,000千円
	新富士見市民温水プール	台数 整備費	平面70台 17,500千円	平面50台 1,000千円	18,500千円

3. 2. 建物整備費

図表Ⅲ-4・Ⅲ-5の「建物整備費」は、「概算工事費」から前項の「駐車場・駐輪場整備費」を引いて算出したものである。

3. 3. 建物の平均整備費単価

図表Ⅲ-4・Ⅲ-5の「延べ床面積あたりの整備費単価」の平均値を用いて、試算モデルの概算整備費を算出する。

ただし、屋内・屋外併設型の事例のうち、新富士見市民プール（滋賀県大津市）は、主な設備にアリーナスタジオを含むなど他の事例に比べて工事費単価が突出しているため、特異値とみなして除外することとした。

なお、各事例の概算工事費は税込み表示で、建設年によって税率が異なることから、建設当時の税率を税率 10%に補正した上で、工事費単価の平均を求める。

※補正計算式：工事費単価/（1＋当時税率）×110%

【図表Ⅲ-7】工事費単価（屋内温水プールのみの施設）

施設名	延べ床面積あたりの 整備費単価	建設当時の 消費税率	税率補正後の 整備単価
豊島温水プール	684千円/㎡	5%	717千円/㎡
三ノ切温水プール	426千円/㎡	0%	469千円/㎡
堺市立のびやか健康館	371千円/㎡	5%	389千円/㎡
北見市民温水プール	687千円/㎡	8%	700千円/㎡
戸田市スポーツセンター	555千円/㎡	8%	565千円/㎡
木曽町温水プール	452千円/㎡	8%	460千円/㎡
なぐわしPiKOA	422千円/㎡	5%	442千円/㎡
平均			535千円/㎡

【図表Ⅲ-8】工事費単価（屋内・屋外併設型の施設）

施設名	延べ床面積あたりの 整備費単価	建設当時の 消費税率	税率補正後の 整備単価
西河原市民プール	550千円/㎡	3%	587千円/㎡
呉市営プール	645千円/㎡	8%	657千円/㎡
まほろば健康パーク	644千円/㎡	8%	656千円/㎡
美原総合スポーツセンター	663千円/㎡	3%	708千円/㎡
平均			652千円/㎡

4. 概算整備費

前項の整備費単価（税率補正後）に、項番 1.「試算モデルの設定」で設定した延床面積を乗じて概算工事費を算出する。

なお、仮に今後最短でプールの整備に着手したとしても、整備工事あるいは PFI 事業の契約は早くても 2020 年になると想定されるため、現在から 2020 年までの 2 年分の物価上昇率（年 2%）を考慮して補正し、概算整備費とする。

※補正計算式：概算工事費（物価上昇考慮なし）×102%×102%

【図表Ⅲ-9】概算工事費

	延べ床面積あたりの 工事面積	試算モデルの 延べ床面積	概算工事費 （物価上昇考慮なし）	概算工事費 （物価上昇2%）
屋内温水プールのみの施設	535千円/㎡	3,230㎡	1,728,050千円	1,797,863千円
屋内外併設型の施設	652千円/㎡	3,630㎡	2,366,760千円	2,462,377千円

5. 駐車場・駐輪場の整備費（参考）

試算モデルでは、隣接する第二総合運動場との関係を考慮せずに駐車場・駐輪場の面積を設定しているが、実際には、駐車場・駐輪場などの屋外設備は一体的に運用される可能性が高く、整備位置、整備台数ともに今後精査されるべきとの考え方から、前項の概算工事費の試算には、駐車場と駐輪場の整備費を含んでいない。

参考までに、以下に試算モデルの駐車場・駐輪場の整備費を試算する（整備費単価の設定は、項番 3.1.「駐車場・駐輪場整備費」に準じる）。

○屋内温水プールのみの施設

（平面駐車場）5,000 ㎡×10 千円＝50,000 千円

（平面駐輪場）1,200 ㎡×10 千円＝12,000 千円

○屋内・屋外併設型プールの施設

（平面駐車場）250 台×2,685 千円＝664,500 千円

（平面駐輪場）1,400 ㎡×10 千円＝14,000 千円

第Ⅳ章 事業者ヒアリング

1. 運営事業者ヒアリング

1. 1. ヒアリングの内容

同種施設に実績のある運営事業者を抽出しヒアリング調査を行うことにより、事業への関心度、コスト削減の可能性や収支改善の提案、年間利用者数を想定する際に重要だと思われる条件・要素について意見を聴取することとした。

ヒアリング対象として、公営プール施設の指定管理を多く受託している民間事業者4社を選定してヒアリングを実施した。

ヒアリング項目としては、下記の事項とした。

<運営事業者ヒアリング項目>

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① プール等の運営手法として PFI などの民活手法が導入される可能性があります。参画へのご興味はありますか。(理由もご教示下さい。)② 施設の内容について、より利用者が増加したり、収支が改善するアイデア等がありましたらご教示下さい。③ 利用者数を予測する際に必要となる要因について、ご意見等がございましたらご教示下さい。 |
|---|

1. 2. ヒアリングの結果

各社の回答は次項の図表Ⅳ-1 のとおりとなり、参画を検討する事業者が存在することを確認し、利用者増加につながるアイデアを聴取できた。

また、運営事業者が利用者数を想定する際に重要である条件・要素は「A.周辺人口」「B.利用料金」「C.駐車台数」「D.魅力的な施設」「E.競合施設数」であることが想定できる。次章では、これらの条件・要素から箕面市プール整備地における想定利用者数を導くこととする。

【図表Ⅳ-1】各社のヒアリング回答比較

質問/事業者名（五十音順）		A 社	B 社	C 社	D 社
① プール等の運営手法としてPFIなどの民活手法が導入される可能性があります。参画へのご興味はありますか。	参画へのご興味	あります。 弊社グループのノウハウを活用できると考えています。	あります。	非常に興味があります。	興味があります。
	理由	・当該施設の近隣の公設プールを指定管理者として8年間管理運営した経験や温水プール等の整備（開発）事例を数多く有していること、また水泳教室等を全国で多数運営していることから、良好な収支で経営できる能力を有すると考えるからです。	・弊社は、K市の温水プールや県営のプールでの、PFIに関する実績があり、これらの実績や経験により、今回の件をととして自治体や地域の方々に貢献出来るからです。	・市営のスポーツセンター・屋外プールにおける施設運営管理業務受注実績があり、是非ともプール施設運営管理を得意とする弊社が、当事業の実現にご協力させて頂ければと思っております。	・弊社のスポーツ施設運営サービス事業取り組み方針に沿ったためです。
② 施設の内容について、より利用者が増加したり、収支が改善するアイデア等がありましたらご教示下さい。		・設計段階からローコストオペレーションを企図した整備が必要です。 ・駐車場の増設。 ・屋外プール周辺に喫茶コーナーの設置 ・カフェの営業を夏季および土曜・日曜・祝日とする。 ・屋外プールサイドに有料家族テントやビーチベッドなど設置。 ・プールサイドでの飲食可(持ち込み禁止)。	・トレーニングルームを作り、施設をフィットネススタイルにすることにより、利用者増がはかれると考えます。 ・屋外プールの利用者は、 駐車場の台数によって増減する傾向が強い です。よって駐車台数を確保することが必要だと考えます。	施設の利用促進や交流機能に貢献する機能や施設として、飲食提供や物品販売などの民間収益事業の実施が可能であれば、弊社が管理する類似施設で実施しているコンテンツの提供は可能です（自主事業教室・屋外プール閑散期の活用など）。	夏季の来場者数を確保するためには、施設内容だけでなく、ある程度、余裕のある面積が必要であり、市の案だと少し狭いと考えられる。
③ 利用者数を予測する際に必要となる要因について、ご意見等がございましたらご教示下さい。		・自社では、先ず スクール商圈（実際に通える範囲で半径5km程度）の人口 を確認します。次に人口に立地等を考慮した独自のノウハウで参加率を設定して、スクールの人数を予測します。 ・屋外プールの利用者数は、ぶれることが多いが近隣施設の利用者を参考にして 施設規模、施設内容、駐車台数等 を勘案して比較で設定します。	・自社では、 商圈人口（5km位）と競合施設 を確認し、独自の利用率の結果と勘案して調整して利用者数の想定を行います。	・屋内プールの利用者数は、 周辺人口、利用料金、近隣に類似施設があるか、立地・アクセス面 はどうか等によって、利用者数が左右されと考えます。 ・屋外プールの利用者数は、新規開業の公営プールの利用者数の予測は、よく似た既存の施設の利用者数をもとに、立地、 施設の内容等 を勘案して算定します。	・夏季は、施設内容と駐車場のキャパシティーで来場者数が決まるので、 駐車台数の確保が必要 である。 ・自社での利用者数の想定は、次のとおりです。 ①既存プールの利用者数から、 商圈の人口等を比較して想定 する。 ②夏のプールの利用者数はキャパシティーから逆算する。気持ちよく泳ぐには3㎡/人が必要で、その施設の水面積÷3㎡がピーク時の最大利用数として、滞在時間2時間程度を想定して一日の利用者を試算する。

※回答中、下線を付した箇所が、運営事業者が利用者数を想定する際に重要である条件・要素に該当する。

第Ⅴ章 立地条件を考慮した収支の計算

第Ⅱ章では、立地条件を考慮せず西河原市民プールと豊島温水プールの事例をもとに収支の試算を行い、実現可能性を検討した。

そこで、本章では「全体構想・基本計画」を策定していくうえで収支試算の更なる精査が必要である考え、現段階で前章の事業者ヒアリングにより明らかとなった、年間利用者数を想定する際に重要となる条件・要素（「A.周辺人口」「B.利用料金」「C.駐車台数」「D.施設の魅力」「E.競合施設数」）について検討し、年間利用者数の想定の精度を上げたうえで収支の試算を行うこととする。

立地条件等を考慮した収支の試算を行う手順として、まず、周辺プール施設事例における年間利用者数を想定する際に重要となる条件・要素（「A.周辺人口」「B.利用料金」「C.駐車台数」「D.施設の魅力」「E.競合施設数」）の実情の調査を行う。そして、各条件・要素ごとに個々の施設について評価点を付与し、各条件・要素が利用者数の増減に影響を与える度合い（寄与倍率）（詳細は後述）から、周辺プール施設事例の年間利用者数試算値を算出する。この年間利用者数試算値と周辺プール施設事例の年間利用者数の実績を比較することで、評価点と寄与倍率の考え方から年間利用者数を算出する試算モデルの確からしさについて検証する。

次に、箕面市プール整備地において、年間利用者数を想定する際に重要となる条件・要素（「A.周辺人口」「B.利用料金」「C.駐車台数」「D.施設の魅力」「E.競合施設数」）を考慮し、整備レベル及び利用料金の組み合わせパターンを設定する。設定した条件・要素から箕面市プール整備地における年間利用者数試算値を算出する。

最後に、箕面市プール整備地における年間利用者数試算値を用いて、利用料収入を試算し、収支の試算を行う。ただし、現段階では施設の整備内容に伴う支出の精度をこれ以上あげることができないため、これについては、「全体構想・基本計画」の策定の際の検討事項とすることとし、第Ⅲ章の際に試算したものを採用することとする。

1. 屋内プール施設事例における利用者数の試算モデル化

1. 1. 立地条件の整理

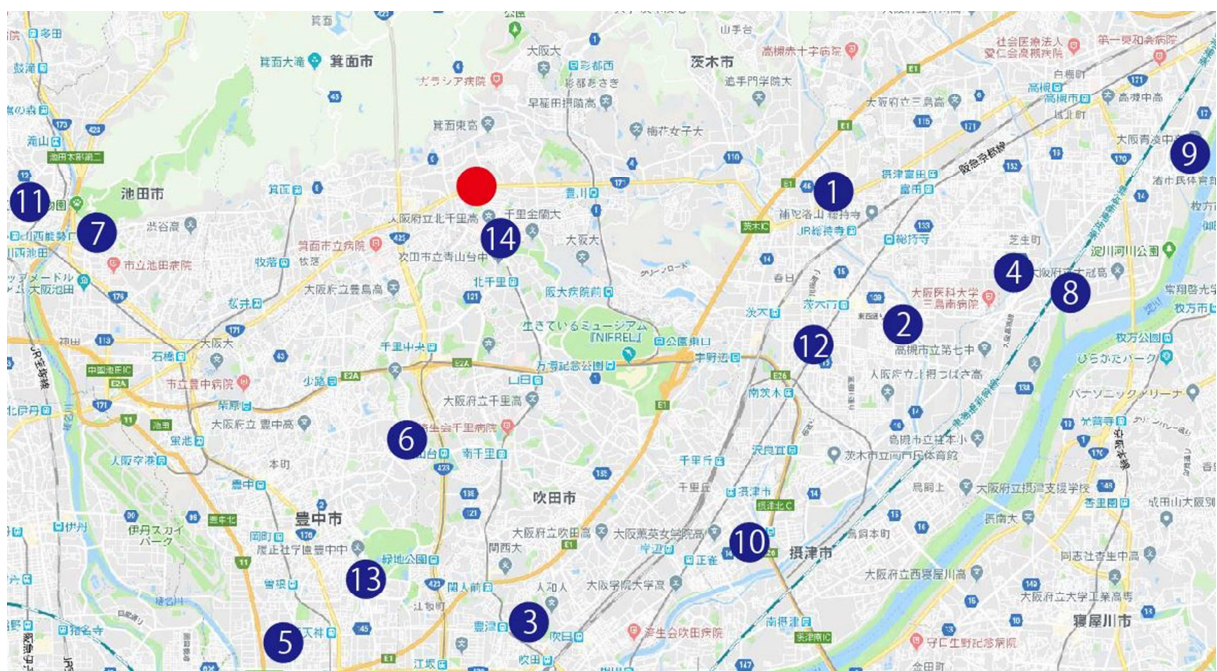
(1) 調査対象

調査対象としたプール施設は、箕面市近郊に位置する公設のプール施設に加え、大阪府内における屋外プールを含めた。

【図表V-1】 調査対象としたプール施設

No.	市名	施設名	類型	備考
1	茨木市	市立西河原市民プール	屋内外併設	箕面市近郊
2	茨木市	市立五十鈴市民プール		
3	吹田市	市立片山市民プール		
4	高槻市	市立市民プール		
5	豊中市	市立豊島温水プール	屋内のみ	
6	豊中市	市立ニノ切温水プール		
7	池田市	市立五月山体育館		
8	高槻市	市立前島熱利用センター		
9	高槻市	市立番田温水プール		
10	摂津市	市立温水プール		
11	川西市	市立市民温水プール		
12	茨木市	市立中条市民プール	屋外のみ	
13	豊中市	府営服部緑地ウォーターランド		
14	吹田市	市立北千里市民プール		
15	大阪市	市立長居公園プール	屋内外併設	大阪府内
16	枚方市	市立王仁公園プール	屋外のみ	
17	堺市	府営浜寺公園プール	屋外のみ	

【図表V-2】 箕面市近郊のプール施設の分布



(2) 調査項目

利用者数を想定する際に重要である条件・要素について各施設の実情の調査項目・内容は図表V-3のとおりである。

【図表V-3】調査項目と調査内容

調査項目		調査内容
年間利用者数 (H29 年度)	①屋内(一般利用)	屋内の一般の年間利用者数 ただし、屋内外併設施設の事例では1～6月、9～12月の一般の利用者数とする
	②屋内(教室利用)	教室やプログラムの年間利用者数 ※1
	③屋内計	①屋内(一般利用)と②屋内(教室利用)を合計した年間利用者数
	④屋外	屋外の年間利用者数 ただし、屋内外併設施設の事例は、7,8月の一般の利用者数とする
	⑤合計	上記①、②、④を合計した年間利用者数
A.周辺人口	①2km圏域	施設を中心に描いた半径2kmの円の内部に居住している人口 ※2
	②5km圏域	施設を中心に描いた半径5kmの円の内部に居住している人口 ※2
B.利用料金	①定価(大人・小人)	利用料金の定価
	②割引制度等	割引・減免制度の内容
C.駐車台数	駐車台数	駐車台数
D.施設の魅力	①屋外	屋外プールの整備内容とその面積
	②屋内	屋内プールの整備内容
	③教室	教室プログラムの実施状況・教室利用者数
	④駅前拠点からの距離	最寄駅から施設への移動時間(徒歩)
	⑤附帯設備等	施設の附帯設備や周辺施設
E.競合施設数	①屋内外併設	各施設の半径5km圏内における屋内外併設のプール施設数
	②屋内のみ	各施設の半径5km圏内における屋内のみのプール施設数
	③屋外のみ	各施設の半径5km圏内における屋外のみのプール施設数

※1 水泳教室の利用者は教室料金を支払い、一般利用料金は支払わないため、「屋内」の利用については、教室やプログラムの利用者数とそれ以外の一般利用者数で区別した。

※2 「2 km圏域」は徒歩・自転車でアクセスが考えられる圏域である。

「5 km圏域」は車でアクセスが考えられる圏域である。

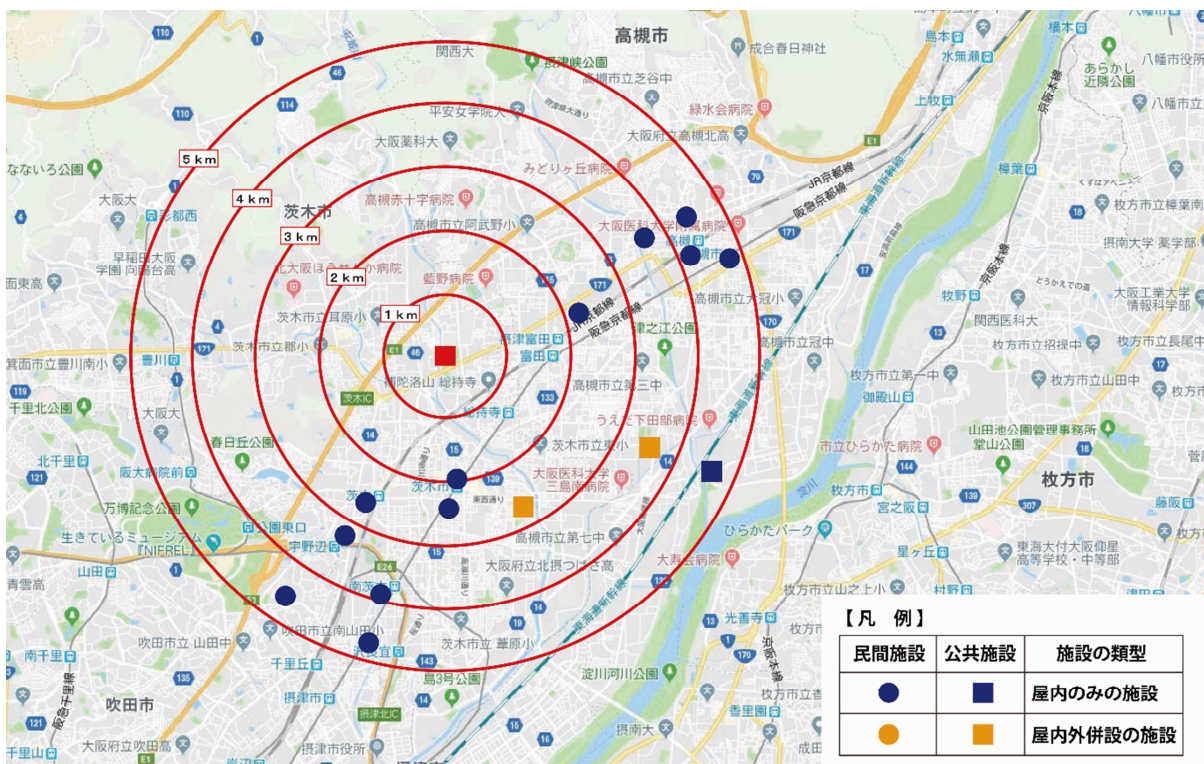
(3) 調査方法

利用者数を想定する際に重要である条件・要素の調査方法は図表V-4のとおりである。

【図表V-4】 調査方法

調査項目		調査方法
年間利用者数	①屋内(一般利用) ②屋内(教室利用) ④屋外	・市、府及び運営事業者の報告書の閲覧 ・市、府及び運営事業者へのヒアリング
A.周辺人口	①2km圏域 ②5km圏域	・総務省統計局が整備し、独立行政法人統計センターが運用管理をしている政府統計(GIS:jSTAT MAP)を活用し、各圏域の人口を算出
B.利用料金	①定価(大人・小人) ②割引制度等	・市、府及び運営事業者のホームページの閲覧 ・市、府及び運営事業者へのヒアリング
C.駐車台数	駐車台数	・市、府及び運営事業者のホームページの閲覧
D.施設の魅力	①屋外 ②屋内 ③教室	・市、府及び運営事業者のホームページの閲覧 ・市、府及び運営事業者へのヒアリング
	④駅前拠点からの距離	・インターネット上で最寄駅から施設までの距離により移動時間を算出(徒歩)
	⑤附帯設備等	・市、府及び運営事業者のホームページの閲覧
E.競合施設数	①屋内外併設 ②屋内のみ ③屋外のみ	・インターネット上で「プール」または「水泳」、「スイミング」の検索で示される施設数(公設・民間を区別)

【図表V-5】 西河原市民プールの圏域と競合施設分布図(屋内)



（４）調査結果

施設事例における利用者数を想定する際に重要である条件・要素（立地条件等）を整理した。

【図表Ⅴ-6】施設事例における条件・要素（立地条件等）の整理

条件・要素		年間利用者数（H29年度） （人）					A. 周辺人口 （人）		B. 利用料金 ①(円)・②(点)				C. 駐車台数 （台）	D. 施設の魅力 （点）					E. 競合施設数 （件）			
小項目		①	②	③	④	⑤	2km 圏域	5km 圏域	①				②	台数	①	②	③	④	⑤	①	②	③
		屋内 （一般利用）	屋内 （教室利用）	屋内計	屋外	合計			屋内		屋外		割引 制度等		屋外	屋内	教室	駅前拠点 からの距離	附帯 設備等	屋内外 併設	屋内 のみ	屋外 のみ
									大人	小人	大人	小人										
No.	施設名称			①＋②		③＋④																
1	西河原市民プール	21,325	34,498	55,823	104,551	160,375	113,191	535,307	1000	500	1000	500	図表V-7 参照	266	図表V-8 参照					2	13	1
2	五十鈴市民プール	15,284	63,956	79,240	19,077	98,317	137,925	614,685	700	300	250	120		0						2	13	2
3	片山市民プール	58,446	88,106	146,552	72,095	218,707	159,839	930,721	350	150	300	150		0						0	22	1
4	高槻市市民プール	79,188	24,465	103,653	41,817	145,470	98,731	647,865	500	250	500	250		180						2	16	2
5	豊島温水プール	105,128	57,807	162,935	—	162,935	129,303	838,597	600	300	—	—		82						1	17	—
6	二ノ切温水プール	100,266	56,229	156,495	—	156,495	155,225	791,991	600	300	—	—		77						1	20	—
7	五月山体育館	118,426	22,100	140,526	—	140,526	90,962	444,480	800	400	—	—		130						0	7	—
8	前島熱利用センター	59,182	23,119	82,301	—	82,301	79,287	543,049	500	250	—	—		100						1	11	—
9	市立番田温水プール	25,125	43,073	68,198	—	68,198	84,904	653,955	500	250	—	—		27						3	13	—
10	摂津市立温水プール	38,336	55,284	93,620	—	93,620	93,389	748,680	450	220	—	—		25						2	15	—
11	川西市市民温水プール	65,334	15,512	80,846	—	80,846	78,773	396,888	800	400	—	—		376						0	7	—
12	中条市民プール	—	134	—	28,050	28,184	157,874	569,392	—	—	250	120		0						3	—	0
13	服部緑地ウォーターランド	—	—	—	110,392	110,392	164,804	871,266	—	—	1030	510		909						1	—	0
14	北千里市民プール	—	—	—	47,116	47,116	80,840	490,208	—	—	300	150		0						0	—	1
15	長居公園プール	（不詳）	（不詳）	125,163	86,892	212,055	202,738	1,041,735	700	350	400	150		744						1	—	3
16	王仁公園プール	—	—	—	75,433	75,433	68,590	347,485	—	—	900	450		250						0	—	1
17	浜寺公園プール	—	—	—	108,661	108,661	61,665	365,707	—	—	930	410		1100						0	—	4

【図表V-7】施設事例における立地条件等の整理（B.利用料金②割引制度等）

No.	施設名称	割引制度等						特記事項
		定期券	回数券	団体利用	料金: 子ども	減免	その他	
		内容	内容	内容	内容 (小人料金以外)	内容	内容	
1	西河原 市民プール	一般(夏季以外): 10,000円 一般(夏季): 8,000円 中学生以下、65歳以上、障害者及び介助者: 5,000円	【通年】 一般(11回分): 10,000円 中学生以下、65歳以上、障害者及び介助者(11回分): 5000円	団体(30人以上): 個人料金の半額 ※夏季は団体料金の適用なし	3歳未満: 無料	65歳以上: 半額 障害者の介助者は障害者料金で入水可 障害をもつ中学生、小学生、3歳以上の幼児は、「中学生以下・65歳以上・障害者」の普通料金の半額		
2	五十鈴 市民プール	一般(夏季以外): 7,000円 一般(夏季): なし 中学生以下、65歳以上、障害者及び介助者: 3,000円	【夏季以外】 一般(11回分): 7,000円 中学生以下、65歳以上、障害者及び介助者(11回分): 3,000円 【夏季】 一般(11回分): 2,500円 中学生以下、65歳以上、障害者及び介助者(11回分): 1,200円	団体(30人以上): 個人料金の半額 ※夏季は団体料金の適用なし	3歳未満: 無料	65歳以上: 半額 障害者の介助者は障害者料金で入水可 障害をもつ中学生、小学生、3歳以上の幼児は、「中学生以下・65歳以上・障害者」の普通料金の半額	ポイント制を実施 夏季以外: 一回くると7P 70Pに達すると一回無料(夏季以外) 夏季: 一回くると5P 50Pに達すると一回無料 ※回数券と同様	
3	片山 市民プール		【夏季以外】 一般(11回分): 3,500円 中学生以下、65歳以上、障害者(11回分): 1,500円 【夏季】 一般(11回分): 3,000円 中学生以下、65歳以上、障害者(11回分): 1,500円			個人使用する障害者の使用料: 無料 障害の程度等により、障害者1人につき複数人の介助者を必要とする場合、当該介助者: 無料 65歳以上、生活保護世帯、ひとり親家庭: 半額		・市外在住の人は倍料金 ただし、市内に在学、在勤のかたは市内在住と同じ料金 ・減免を受けられるのは、市内在住者に限る ・夏季は2時間料金夏季以外は1時間料金
4	高槻市 市民プール		【大人】 一般(11回分): 5,000円 障害者一般(11回分): 2,500円 【小人】 中学生以下、65歳以上、障害者(11回分): 2,500円 中学生以下の障害児、65歳以上の障害者(11回分): 1,200円		3歳未満: 無料	65歳以上: 半額 障害者及び介助者: 年齢に応じた区分料金の半額例)親(介助者)と小学生の場合、大人料金の半額(250円) + 子ども料金の半額(120円)		
5	豊島 温水プール		一般(11回分): 6,000円 中学生以下、65歳以上、障害者(11回分): 3,000円	30人以上の団体は2割引き	未就学児: 無料	65歳以上: 半額(市内在住のみ) 市内在住の障害者、または、市の国保加入者: 半額 障害者介助者: 無料	2時間/回の料金であるため、1時間で退出した場合は、次回1時間無料券が配られる	
6	二ノ切 温水プール		一般(11回分): 6,000円 中学生以下、65歳以上、障害者(11回分): 3,000円	30人以上の団体は2割引き	未就学児: 無料	65歳以上: 半額(市内在住のみ) 市内在住の障害者、または、市の国保加入者: 半額 障害者介助者: 無料	2時間/回の料金であるため、1時間で退出した場合は、次回1時間無料券が配られる	
7	五月山 体育館	一般(夏季以外): 4,800円 一般(夏季): 2,400円 中学生以下、70歳以上、障害者(夏季以外): 2,400円 中学生以下70歳以上、障害者(夏季): 1,200円 ※別途トレーニングルームとの共通利用券もあり 共通券の場合は夏季半額はなし	一般(11回分): 8,000円 中学生以下、70歳以上、障害者(11回分): 4,000円		小学3年生未満: 無料 中学生以下: 一般料金の半額	70歳以上: 半額 障害者の介助者: 無料		・市外在住の人は倍料金 ただし、市内に在学、在勤のかたは市内在住と同じ料金
8	前島熱利用 センター		【大人】 一般(11回分): 5,000円 障害者一般(11回分): 2,500円 【小人】 中学生以下、65歳以上、障害者(11回分): 2,500円 中学生以下の障害児、65歳以上の障害者(11回分): 1,200円	30人以上 所定料金の90%に相当する額 50人以上 所定料金の80%に相当する額 100人以上 所定料金の70%に相当する額	未就学児: 無料	65歳以上: 半額 障害者及び介助者: 年齢に応じた区分料金の半額例)親(介助者)と小学生の場合、大人料金の半額(250円) + 子ども料金の半額(120円)	(レーン貸しあり: 平日14,000円/時間、土日祝17,000円/時間)	
9	市立番田 温水プール		【大人】 一般(11回分): 5,000円 障害者一般(11回分): 2,500円 【小人】 中学生以下、65歳以上、障害者(11回分): 2,500円 中学生以下の障害児、65歳以上の障害者(11回分): 1,200円	30人以上 所定料金の90%に相当する額 50人以上 所定料金の80%に相当する額 100人以上 所定料金の70%に相当する額	未就学児: 無料	65歳以上: 半額 障害者及び介助者: 年齢に応じた区分料金の半額例)親(介助者)と小学生の場合、大人料金の半額(250円) + 子ども料金の半額(120円)	(レーン貸しあり: 平日14,000円/時間、土日祝17,000円/時間) ※実際にはプールのレーンが少ないので利用できないことが多い	
10	摂津市立 温水プール		一般(11回分): 4,500円 3歳以上中学生以下(11回分): 2,200円 65歳以上(摂津市民): 2,200円		3歳未満: 無料 市内在住の小学2年生までの児童: 無料 市内在住の小学生3年生から中学生まで: 半額(子ども料金220円の半額で110円)	摂津市内在住の65歳以上: 220円 生活保護受給者: 無料 児童扶養手当、特別児童扶養手当受給者およびその児童: 無料 遺族基礎年金受給者: 無料 被爆者健康手帳の交付を受けている方: 無料		
11	川西市 市民温水プール				3歳未満: 無料	65歳以上: 半額 障害者: 半額 障害者の介助者: 無料 市内(伊丹、宝塚、三田、猪名川を含む)に住所を有する中学生半額(通常、中学生は大人料金)	・プリペイドカードを4,000円で販売(4,800円分使用可能) ・市内在住の満3歳から小学校就学の始期に達するまでの幼児とその付添者及び小学生並びに中学生が、市民温水プールを第2土曜日の午前11時30分までに使用する場合は、無料とする(原則8月・9月を除く) ・閉館1時間前の利用は半額	

【図表V-8】施設事例における立地条件等の整理（D.施設の魅力）

No.	施設名称	D. 施設の魅力					
		①屋外		②屋内	③教室	④駅前拠点からの距離	⑤附帯設備等
		内容	面積	内容	内容	内容	内容
1	西河原市民プール	・流水プール　・ウォータースライダー ・リバーライド　・幼児用プール	約5000㎡	・25m×7レーン ・リラクゼーションプール ・ジェットプール・スリーピングプール ・幼児用プール・スライダー	・夏季以外で実施 ・35プログラム/週 ・教室利用者数：34,498人	・最寄駅より徒歩約28分 （令和元年現在は最寄駅から徒歩約15分）	トレーニング室・スタジオ 公園・グラウンド 軽食・喫茶室（夏季のみ） 会議室
2	五十鈴市民プール	・50mプール×9レーン	約3000㎡	・25mプール×7レーン ・幼児用プール	・年間を通じて実施 ・40プログラム/週 ・教室利用者数：63,956人	・最寄駅から徒歩約17分	トレーニング室 ミーティング室
3	片山市民プール	・50m×9レーン ・25m×6レーン ・幼児用プール　・すべり台	約7000㎡	・25m×6レーン	・年間を通じて実施 ・38プログラム/週 ・教室利用者数：88,106人	・最寄駅から徒歩約8分	トレーニング室 体育館 公園 図書館
4	高槻市市民プール	・50mプール×9レーン	約3000㎡	・25m×7レーン ・リラクゼーションプール ・流水プール　・幼児プール	・年間を通じて実施 ・16プログラム/週 ・教室利用者数：24,465人 ※自主事業で、週16プログラムを実施している （通年利用者数にはカウントされている）	・最寄駅から徒歩約35分	トレーニング室・スタジオ 図書館・グラウンド 陸上競技場・体育館
5	豊島温水プール	—		・25mプール×7レーン ・幼児用プール×3レーン ・ジャグジー	・年間を通じて実施 ・38プログラム/週 ・教室利用者数：57,807人	・最寄駅から徒歩約13分	トレーニング室 武道館・体育館 緑地広場・グラウンド
6	二ノ切温水プール	—		・25mプール×7レーン ・幼児用プール×3レーン	・年間を通じて実施 ・38プログラム/週 ・教室利用者数：56,229人	・最寄駅から徒歩約10分	公園・グラウンド 会議室
7	五月山体育館	—		・25m×7レーン ・幼児用プール ・ジャグジー	・年間を通じて実施 ・28プログラム/週 ・教室利用者数：22,100人	・最寄駅から徒歩約13分	トレーニング室・スタジオ 浴室・体育館・公園・会議室
8	前島熱利用センター	—		・25m×6レーン	・年間を通じて実施 ・46プログラム/週 ・教室利用者数：23,119人	・最寄駅から徒歩約42分	スタジオ・浴室 卓球・カラオケ 多目的ルーム・大広間・茶室・会議室
9	市立番田温水プール	—		・25m×4レーン ・幼児用プール ・ジャグジー	・年間を通じて実施 ・39プログラム/週 ・教室利用者数：43,073人	・最寄駅から徒歩約35分	—
10	摂津市立温水プール	—		・25m×8レーン ・幼児用プール ・ジャグジー	・年間を通じて実施 ・47プログラム/週 ・教室利用者数：55,284人	・最寄駅から徒歩約10分	—
11	川西市市民温水プール	—		・25m×6レーン ・こども用プール　・幼児用プール ・ワールプール（ジャグジー）	・年間を通じて実施 ・26プログラム/週 ・教室利用者数：15,512人	・最寄駅から徒歩約10分	スタジオ・体育館 芝生広場・会議室
12	中条市民プール	・50m×9レーン ・25m×7レーン ・幼児用プール	約5000㎡	—	・夏期に短期で実施 ・教室利用者数：134人	・最寄駅から徒歩約10分	トレーニング室・体育館
13	服部緑地ウォーターランド	・流水プール×1周250m ・スライダー　・なぎさプール ・幼児プール　・すべり台	約30000㎡	—	—	・最寄駅から徒歩約18分	公園広場・児童遊技場・庭園 体育館・グラウンド・競技場 BBQ場
14	北千里市民プール	・50m×9レーン ・こども用プール　・幼児用プール ・すべり台	約12000㎡	—	—	・最寄駅から徒歩約15分	公園広場 児童遊戯場 体育館
15	長居公園プール	・一般用プール ・児童用プール　・幼児用プール ・さざなみプール ・スライダー　・すべり台　・着水プール	約8000㎡	・25mプール×8レーン ・幼児用プール	—	・最寄駅から徒歩約7分	公園・児童遊戯場・庭園 陸上競技場・トレーニング室・クライミングジム BBQ場
16	王仁公園プール	・50m×9レーン ・流水プール　・造波プール ・幼児用プール　・すべり台	約10000㎡	—	—	・最寄駅から徒歩約10分	公園広場・児童遊戯場 ピオトープ グラウンド・テニスコート等
17	浜寺公園プール	・50m×9レーン ・25m×6レーン×2 ・変形大プール　・幼児用プール ・スライダー×2	約40000㎡	—	—	・最寄駅から徒歩約6分	公園広場・児童遊戯場 交通遊園場・庭園 グラウンド・テニスコート等

1. 2. 利用者数試算値の算出

(1) 算出に用いる施設事例

屋内プール施設事例における利用者数試算値の算出の際に用いる施設事例は、以下のとおりである。

【図表V-9】 屋内の利用者数試算値の算出に用いる施設事例

No.	市名	施設名	類型
1	茨木市	市立西河原市民プール	屋内外併設
2	茨木市	市立五十鈴市民プール	
3	吹田市	市立片山市民プール	
4	高槻市	市立市民プール	
5	豊中市	市立豊島温水プール	屋内のみ
6	豊中市	市立ニノ切温水プール	
7	池田市	市立五月山体育館	
8	高槻市	市立前島熱利用センター	
9	高槻市	市立番田温水プール	
10	摂津市	市立温水プール	
11	川西市	市立市民温水プール	

(2) 算出に用いる条件・要素

屋内プール施設事例における利用者数試算値の算出の際に用いる条件・要素は、「A.周辺人口」「B.利用料金」「C.駐車台数」「D.施設の魅力」「E.競合施設数」とする（図表V-10）。ただし、屋内外併設の施設において、屋外プールの魅力の発現は、7,8月に限られる（屋内プールのみの施設はそもそも屋外プールの魅力はない）ため、「D.施設の魅力①屋外」の条件・要素は対象外とする。また、屋外プールのみの施設は競合施設になりえないため、「E.競合施設数③屋外のみ」の条件・要素は対象外とする。

【図表V-10】屋内プール施設事例における利用者数試算値の算出に用いる条件・要素

条件・要素	小項目	備考
A.周辺人口	①2km圏域	
	②5km圏域	
B.利用料金	①定価(大人・小人)	7, 8月以外の利用料金の定価を採用する
	②割引制度等	
C.駐車台数	駐車台数	
D.施設の魅力	①屋外	7, 8月以外の月は、屋外プールを利用できないため対象外とする
	②屋内	
	③教室	
	④駅前拠点からの距離	
	⑤附帯設備等	
E.競合施設数	①屋内外併設	
	②屋内のみ	
	③屋外のみ	屋外のための施設は対象外とする

※黒のハッチのかかった項目は、屋内プール施設事例における利用者数試算値の算出から除く

(3) 評価点の算出

前項で調査・整理した利用者数を想定する際に重要である条件・要素は、数値や量などの定量データ（「A.周辺人口」、「B.利用料金①定価」、「C.駐車台数」、「E.競合施設数」と、数値や量で表現できないプールの整備内容や附帯設備の機能といった定性データ（「B.利用料金②割引制度等」、「D.施設の魅力」）に区別し、以降の検討を行う（図表V-11）。

これらの条件・要素に対して、「評価点」を算出する。「評価点」の算出は、定量データ・定性データを区別して行うこととする。

【図表V-11】条件・要素における定量・定性の分類

条件・要素	調査項目	定量・定性
A.周辺人口	①2km圏域	定量
	②5km圏域	
B.利用料金	①定価(大人・小人)	定量
	②割引制度等	定性
C.駐車台数	駐車台数	定量
D.施設の魅力	①屋外	定性
	②屋内	
	③教室	
	④駅前拠点からの距離	
	⑤附帯設備等	
E.競合施設数	①屋内外併設	定量
	②屋内のみ	
	③屋外のみ	

（４）定量的な条件・要素の評価点の算出

定量的に示される条件・要素（「A.周辺人口」、「B.利用料金①定価」、「C.駐車台数」、「E.競合施設数」）については次に示す方法で評価点の算出を行う。

項番 1. 1. 「立地条件の整理」で調査した各条件・要素のうち、屋内プール施設事例における利用者数試算値の算出の際に用いる定量的な条件・要素は、図表 V-12 のとおりであり、各条件・要素の小項目ごとに平均を算出した。

【図表 V-12】利用者数試算値の算出に用いる条件・要素の整理（屋内）

条件・要素		A. 周辺人口 (人)		B. 利用料金 (円)		C. 駐車台数 (台)	E. 競合施設数 (件)		
小項目		2km 圏域	5km 圏域	①定価		台数	①	②	合計
				大人	小人		屋内外 併設	屋内 のみ	
No.	施設名称	計算式							①+②
屋内外併設	1 西河原市民プール	113,191	535,307	1000	500	266	2	13	15
	2 五十鈴市民プール	137,925	614,685	700	300	0	2	13	15
	3 片山市民プール	159,839	930,721	350	150	0	0	22	22
	4 高槻市市民プール	98,731	647,865	500	250	180	2	16	18
屋内のみ	5 豊島温水プール	129,303	838,597	600	300	82	1	17	18
	6 ニノ切温水プール	155,225	791,991	600	300	77	1	20	21
	7 五月山体育館	90,962	444,480	800	400	130	0	7	7
	8 前島熱利用センター	79,287	543,049	500	250	100	1	11	12
	9 市立番田温水プール	84,904	653,955	500	250	27	3	13	16
	10 摂津市立温水プール	93,389	748,680	450	220	25	2	15	17
	11 川西市市民温水プール	78,773	396,888	800	400	376	0	7	7
平均		111,048	649,656	618	302	115	1	14	15

＜「A.周辺人口」の評価点の算出方法＞

- i) 「A.周辺人口」の「2 km圏域人口」施設全体の平均と、「2 km圏域人口」の実数のばらつきに応じて各施設の偏差値を算出した。
- ii) 「A.周辺人口」の「5 km圏域人口」施設全体の平均と、「5 km圏域人口」の実数のばらつきに応じて各施設の偏差値を算出した。
- iii) 施設ごとに、「2 km圏域人口」の偏差値と「5 km圏域人口」の偏差値から平均の偏差値を算出した。
- iv) 施設ごとの「A.周辺人口」の平均の偏差値に対して、図表V-13 のとおりの基準で評価点を算出した。

【図表V-13】偏差値による評価点の設定基準

基準	評価点(点)
65≦(偏差値)	5
55≦(偏差値)<65	4
45≦(偏差値)<55	3
35≦(偏差値)<45	2
(偏差値)<35	1

【図表V-14】「A.周辺人口」の評価点の算出（屋内）

類型	A. 周辺人口		実数(人)		偏差値			評価点
	No.	施設名称	2km圏域	5km圏域	2km圏域	5km圏域	平均	
屋内外併設	1	西河原市民プール	113,191	535,307	50.7	42.8	46.8	3
	2	五十鈴市民プール	137,925	614,685	59.4	47.8	53.6	3
	3	片山市民プール	159,839	930,721	67.1	67.7	67.4	5
	4	高槻市市民プール	98,731	647,865	45.7	49.9	47.8	3
屋内のみ	5	豊島温水プール	129,303	838,597	56.4	61.9	59.2	4
	6	二ノ切温水プール	155,225	791,991	65.5	59.0	62.2	4
	7	五月山体育館	90,962	444,480	43.0	37.1	40.0	2
	8	前島熱利用センター	79,287	543,049	38.9	43.3	41.1	2
	9	市立番田温水プール	84,904	653,955	40.9	50.3	45.6	3
	10	摂津市立温水プール	93,389	748,680	43.8	56.2	50.0	3
	11	川西市市民温水プール	78,773	396,888	38.7	34.1	36.4	2
平均			111,048	649,656	50	50	50	3

<「B.利用料金①定価」の評価点の算出方法>

- i) 「B.利用料金①定価」の「大人料金」施設全体の平均と、「B.利用料金①定価」の「大人料金」の実数のばらつきに応じて各施設の偏差値を算出した。
- ii) 「B.利用料金①定価」の「小人料金」施設全体の平均と、「B.利用料金①定価」の「小人料金」の実数のばらつきに応じて各施設の偏差値を算出した。
- iii) 施設ごとに、「大人料金」の偏差値と「小人料金」の偏差値から平均の偏差値を算出した。
- iv) 施設ごとの「B.利用料金①定価」の平均の偏差値に対して、図表V-13のと通りの基準で評価点を算出した。

【図表V-15】「B.利用料金①定価」の評価点の算出（屋内）

類型	B利用料金①定価		実数(円)		偏差値			評価点
	No.	施設名称	大人	小人	大人	小人	平均	
屋内外併設	1	西河原市民プール	1,000	500	28.9	28.8	28.9	1
	2	五十鈴市民プール	700	300	45.5	50.2	47.8	3
	3	片山市民プール	350	150	64.8	66.2	65.5	5
	4	高槻市市民プール	500	250	56.5	55.5	56.0	4
屋内のみ	5	豊島温水プール	600	300	51.0	50.2	50.6	3
	6	二ノ切温水プール	600	300	51.0	50.2	50.6	3
	7	五月山体育館	800	400	40.0	39.5	39.7	2
	8	前島熱利用センター	500	250	56.5	55.5	56.0	4
	9	市立番田温水プール	500	250	56.5	55.5	56.0	4
	10	摂津市立温水プール	450	220	59.3	58.7	59.0	4
	11	川西市市民温水プール	800	400	40.0	39.5	39.7	2
平均			618	302	50	50	50	3

＜「C.駐車台数」の評価点の算出方法＞

- i) 「C.駐車台数」施設全体の平均と、「C.駐車台数」の実数のばらつきに応じて各施設の偏差値を算出した。
- ii) 施設ごとの「C.駐車台数」の偏差値に対して、図表V-13のと通りの基準で評価点を算出した。ただし、駐車台数が0台の施設事例は、評価点を「0」点とした。

【図表V-16】「C.駐車台数」の評価点の算出（屋内）

C. 駐車台数			実数(台)	偏差値	評価点
類型	No.	施設名称			
屋内外併設	1	西河原市民プール	266	63.4	4
	2	五十鈴市民プール	0	39.8	0
	3	片山市民プール	0	39.8	0
	4	高槻市市民プール	180	55.8	4
屋内のみ	5	豊島温水プール	82	47.1	3
	6	二ノ切温水プール	77	46.7	3
	7	五月山体育館	130	51.3	3
	8	前島熱利用センター	100	48.7	3
	9	市立番田温水プール	27	42.2	2
	10	摂津市立温水プール	25	42.1	2
	11	川西市市民温水プール	376	73.1	5
平均			115	50	3

＜「E.競合施設数」の評価点の算出方法＞

- i) 「E.競合施設数（合計）」施設全体の平均と、「E.競合施設数（合計）」の実数のばらつきに応じて各施設の偏差値を算出した。
- ii) 施設ごとの「E.競合施設数（合計）」の偏差値に対して、図表V-13のと通りの基準で評価点を算出した。

【図表V-17】「E.競合施設数」の評価点の算出（屋内）

E. 競合施設数			実数(件)	偏差値	評価点
類型	No.	施設名称			
屋内外併設	1	西河原市民プール	15	50.6	3
	2	五十鈴市民プール	15	50.6	3
	3	片山市民プール	22	35.7	2
	4	高槻市市民プール	18	44.2	2
屋内のみ	5	豊島温水プール	18	44.2	2
	6	二ノ切温水プール	21	37.8	2
	7	五月山体育館	7	67.6	5
	8	前島熱利用センター	12	56.9	4
	9	市立番田温水プール	16	48.5	3
	10	摂津市立温水プール	17	46.3	3
	11	川西市市民温水プール	7	67.6	5
平均			15	50	3

（５）定性的な条件・要素の評価点の算出

定性的に示される条件・要素について、各施設の内容を考慮したうえで基準を設定し、評価点を算出する。

○「B.利用料金②割引制度等」について

「B.利用料金②割引制度等」の内容について、図表V-18の基準のとおり評価点を算出する。

【図表V-18】割引制度等の内容における評価点の設定基準

基準	評価点
割引率が非常に高く、利用者数増に極めて大きく寄与している	5
割引率が高く、利用者数増に大きく寄与している	4
割引制度があり、利用者数増に寄与している	3
割引率が低く、利用者数増に少し寄与している	2
割引率が非常に低く、利用者数増にごくわずかに寄与している	1
割引制度がない	0

○「D.施設の魅力」について

「D.施設の魅力」の各小項目について、図表V-19の基準のとおり評価点を算出する。

【図表V-19】「D.施設の魅力」における評価点の設定基準

基準					評価点
①屋外	②屋内	③教室	④駅前拠点からの距離	⑤附帯設備等	
非常に大きな流水プール、スライダー等のレジャープールがある。または、屋外プール面積が非常に広い	非常に大きな流水プール、スライダーなどのレジャープールがある	年間を通じて多くのプログラムの実施しており、教室利用者が非常に多い	駅直結	利用者増が見込める附帯設備が5つ以上ある	5
大きな流水プール、スライダー等のレジャープールがある。または、屋外プールの面積が広い	大きな流水プール、スライダーなどのレジャープールがある	年間を通じて多くのプログラムの実施しており、教室利用者が多い	最寄駅から徒歩5分未満	利用者増が見込める附帯設備が4つある	4
小さな流水プール、スライダー等のレジャープールがあり、屋外プールの面積が比較的広い	小さな流水プール、スライダーなどのレジャープールがある	多くのプログラムの実施しており、教室利用者が平均並である	最寄駅から徒歩10分未満	利用者増が見込める附帯設備が3つある	3
小さな流水プール、スライダー等のレジャープールがある	ジャグジーなどのリラックスできるプールがある	多くのプログラムの実施しており、教室利用者がやや少ない	最寄駅から徒歩15分未満	利用者増が見込める附帯設備が2つある	2
屋外プールが整備されている	屋内プールが整備されている	プログラムを実施しているが、教室利用者が少ない	最寄駅から徒歩20分未満	利用者増が見込める附帯設備が1つある	1
屋外プールが整備されていない	屋内プールが整備されていない	プログラムが実施されていない	最寄駅から徒歩でのアクセスが現実的でない	特記すべき附帯設備がない	0

【図表 V-20】各施設の「B.利用料金②割引制度等」における評価点の設定

類型	No.	施設名称	割引制度等						特記事項	評価点
			定期券	回数券	団体利用	料金：子ども	減免	その他		
			内容	内容	内容	内容 (小人料金以外)	内容	内容		
屋内外併設	1	西河原 市民プール	一般(夏季以外):10,000円 一般(夏季):8,000円 中学生以下、65歳以上、障害者及び介助者:5,000円	【通年】 一般(11回分):10,000円 中学生以下、65歳以上、障害者及び介助者(11回分):5000円	団体(30人以上):個人料金の半額 ※夏季は団体料金の適用なし	3歳未満:無料	65歳以上:半額 障害者の介助者は障害者料金で入水可 障害をもつ中学生、小学生、3歳以上の幼児は、「中学生以下・65歳以上・障害者」の普通料金の半額			1
	2	五十鈴 市民プール	一般(夏季以外):7,000円 一般(夏季):なし 中学生以下、65歳以上、障害者及び介助者:3,000円	【夏季以外】 一般(11回分):7,000円 中学生以下、65歳以上、障害者及び介助者(11回分):3,000円 【夏季】 一般(11回分):2,500円 中学生以下、65歳以上、障害者及び介助者(11回分):1,200円	団体(30人以上):個人料金の半額 ※夏季は団体料金の適用なし	3歳未満:無料	65歳以上:半額 障害者の介助者は障害者料金で入水可 障害をもつ中学生、小学生、3歳以上の幼児は、「中学生以下・65歳以上・障害者」の普通料金の半額	ポイント制を実施 夏季以外:一回くると7P 70Pに達すると一回無料(夏季以外) 夏季:一回くると5P 50Pに達すると一回無料 ※回数券と同様		1
	3	片山 市民プール		【夏季以外】 一般(11回分):3,500円 中学生以下、65歳以上、障害者(11回分):1,500円 【夏季】 一般(11回分):3,000円 中学生以下、65歳以上、障害者(11回分):1,500円			個人使用する障害者の使用料:無料 障害の程度等により、障害者1人につき複数人の介助者を必要とする場合、当該介助者:無料 65歳以上、生活保護世帯、ひとり親家庭:半額		・市外在住の人は倍料金 ただし、市内に在学、在勤のかたは市内在住と同じ料金 ・減免を受けられるのは、市内在住者に限る ・夏季は2時間料金夏季以外は1時間料金	1
	4	高槻市 市民プール		【大人】 一般(11回分):5,000円 障害者一般(11回分):2,500円 【小人】 中学生以下、65歳以上、障害者(11回分):2,500円 中学生以下の障害児、65歳以上の障害者(11回分):1,200円		3歳未満:無料	65歳以上:半額 障害者及び介助者:年齢に応じた区分料金の半額例)親(介助者)と小学生の場合、大人料金の半額(250円)+子ども料金の半額(120円)			1
屋内のみ	5	豊島 温水プール		一般(11回分):6,000円 中学生以下、65歳以上、障害者(11回分):3,000円	30人以上の団体は2割引	未就学児:無料	65歳以上:半額(市内在住のみ) 市内在住の障害者、または、市の国保加入者:半額 障害者介助者:無料	2時間/回の料金であるため、1時間で退出した場合は、次回1時間無料券が配られる		5
	6	ニノ切 温水プール		一般(11回分):6,000円 中学生以下、65歳以上、障害者(11回分):3,000円	30人以上の団体は2割引	未就学児:無料	65歳以上:半額(市内在住のみ) 市内在住の障害者、または、市の国保加入者:半額 障害者介助者:無料	2時間/回の料金であるため、1時間で退出した場合は、次回1時間無料券が配られる		5
	7	五月山 体育館	一般(夏季以外):4,800円 一般(夏季):2,400円 中学生以下、70歳以上、障害者(夏季以外):2,400円 中学生以下70歳以上、障害者(夏季):1,200円 ※別途トレーニングルームとの共通利用券もあり 共通券の場合は夏季半額はなし	一般(11回分):8,000円 中学生以下、70歳以上、障害者(11回分):4,000円		小学3年生未満:無料 中学生以下:一般料金の半額	70歳以上:半額 障害者の介助者:無料		・市外在住の人は倍料金 ただし、市内に在学、在勤のかたは市内在住と同じ料金	5
	8	前島熱利用 センター		【大人】 一般(11回分):5,000円 障害者一般(11回分):2,500円 【小人】 中学生以下、65歳以上、障害者(11回分):2,500円 中学生以下の障害児、65歳以上の障害者(11回分):1,200円	30人以上 所定料金の90%に相当する額 50人以上 所定料金の80%に相当する額 100人以上 所定料金の70%に相当する額	未就学児:無料	65歳以上:半額 障害者及び介助者:年齢に応じた区分料金の半額例)親(介助者)と小学生の場合、大人料金の半額(250円)+子ども料金の半額(120円)	(レーン貸しあり:平日14,000円/時間、土日祝17,000円/時間)		1
	9	市立番田 温水プール		【大人】 一般(11回分):5,000円 障害者一般(11回分):2,500円 【小人】 中学生以下、65歳以上、障害者(11回分):2,500円 中学生以下の障害児、65歳以上の障害者(11回分):1,200円	30人以上 所定料金の90%に相当する額 50人以上 所定料金の80%に相当する額 100人以上 所定料金の70%に相当する額	未就学児:無料	65歳以上:半額 障害者及び介助者:年齢に応じた区分料金の半額例)親(介助者)と小学生の場合、大人料金の半額(250円)+子ども料金の半額(120円)	(レーン貸しあり:平日14,000円/時間、土日祝17,000円/時間) ※実際にはプールのレーンが少ないので利用できないことが多い		1
	10	摂津市立 温水プール		一般(11回分):4,500円 3歳以上中学生以下(11回分):2,200円 65歳以上(摂津市民):2,200円		3歳未満:無料 市内在住の小学2年生までの児童:無料 市内在住の小学生3年生から中学生まで:半額(子ども料金220円の半額で110円)	摂津市内在住の65歳以上:220円 生活保護受給者:無料 児童扶養手当、特別児童扶養手当受給者およびその児童:無料 遺族基礎年金受給者:無料 被爆者健康手帳の交付を受けている方:無料			1
	11	川西市 市民温水プール				3歳未満:無料	65歳以上:半額 障害者:半額 障害者の介助者:無料 市内(伊丹、宝塚、三田、猪名川を含む)に住所を有する中学生半額 (通常、中学生は大人料金)	・プリペイドカードを4,000円で販売(4,800円分使用可能) ・市内在住の満3歳から小学校就学の始期に達するまでの幼児とその付添者及び小学生並びに中学生が、市民温水プールを第2土曜日の午前11時30分までに使用する場合は、無料とする(原則8月・9月を除く) ・閉館1時間前の利用は半額		2

※配点1点：青のハッチで示す項目

※配点4点：赤のハッチで示す項目

【図表V-21】各施設の「D.施設の魅力」における評価点の設定（屋内）

類型	No.	施設名称	D. 施設の魅力										
			①屋外			②屋内		③教室		④駅前拠点からの距離		⑤附帯設備等	
			内容	面積	評価点 (点)	内容	評価点 (点)	内容	評価点 (点)	内容	評価点 (点)	内容	評価点 (点)
屋内外併設	1	西河原市民プール	・流水プール ・ウオータースライダー ・リバーライド ・幼児用プール	約5000㎡	5	・25m×7レーン ・リラクゼーションプール ・ジェットプール ・スリーピングプール ・幼児用プール・スライダー	4	・夏季以外で実施 ・35プログラム/週 ・教室利用者数:34,498人	3	・最寄駅より徒歩約28分 (令和元年現在是最寄駅から徒歩約15分)	0	トレーニング室・スタジオ① 公園・グラウンド① 軽食・喫茶室(夏季のみ) 会議室	2
	2	五十鈴市民プール	・50mプール×9レーン	約3000㎡	1	・25mプール×7レーン ・幼児用プール	1	・年間を通じて実施 ・40プログラム/週 ・教室利用者数:63,956人	4	・最寄駅から徒歩約17分	1	トレーニング室① ミーティング室	1
	3	片山市民プール	・50m×9レーン ・25m×6レーン ・幼児用プール ・すべり台	約7000㎡	2	・25m×6レーン	1	・年間を通じて実施 ・38プログラム/週 ・教室利用者数:88,106人	5	・最寄駅から徒歩約8分	3	トレーニング室① 体育館① 公園① 図書館①	4
	4	高槻市市民プール	・50mプール×9レーン	約3000㎡	1	・25m×7レーン ・リラクゼーションプール ・流水プール ・幼児プール	3	・年間を通じて実施 ・16プログラム/週 ・教室利用者数:24,465人 ※自主事業で、週16プログラムを実施している(通年利用者数にはカウントされている)	3	・最寄駅から徒歩約35分	0	トレーニング室・スタジオ① 図書館① グラウンド① 陸上競技場① 体育館①	5
屋内のみ	5	豊島温水プール	—		0	・25mプール×7レーン ・幼児用プール×3レーン ・ジャグジー	2	・年間を通じて実施 ・38プログラム/週 ・教室利用者数:57,807人	4	・最寄駅から徒歩約13分	2	トレーニング室① 武道館・体育館① 緑地広場・グラウンド①	3
	6	二ノ切温水プール	—		0	・25mプール×7レーン ・幼児用プール×3レーン	1	・年間を通じて実施 ・38プログラム/週 ・教室利用者数:56,229人	4	・最寄駅から徒歩約10分	2	公園・グラウンド① 会議室	1
	7	五月山体育館	—		0	・25m×7レーン ・幼児用プール ・ジャグジー	2	・年間を通じて実施 ・28プログラム/週 ・教室利用者数:22,100人	2	・最寄駅から徒歩約13分	2	トレーニング室・スタジオ① 浴室① 体育館① 公園① 会議室	4
	8	前島熱利用センター	—		0	・25m×6レーン	1	・年間を通じて実施 ・46プログラム/週 ・教室利用者数:23,119人	2	・最寄駅から徒歩約42分	0	スタジオ① 浴室① 卓球・カラオケ① 多目的ルーム・大広間・茶室① 会議室	4
	9	市立番田温水プール	—		0	・25m×4レーン ・幼児用プール ・ジャグジー	2	・年間を通じて実施 ・39プログラム/週 ・教室利用者数:43,073人	3	・最寄駅から徒歩約35分	0	—	0
	10	摂津市立温水プール	—		0	・25m×8レーン ・幼児用プール ・ジャグジー	2	・年間を通じて実施 ・47プログラム/週 ・教室利用者数:55,284人	4	・最寄駅から徒歩約10分	2	—	0
	11	川西市市民温水プール	—		0	・25m×6レーン ・こども用プール ・幼児用プール ・ワールプール(ジャグジー)	2	・年間を通じて実施 ・26プログラム/週 ・教室利用者数:15,512人	1	・最寄駅から徒歩約10分	2	スタジオ① 体育館① 芝生広場① 会議室	3
備考			※面積は屋外プールとプールサイド等の面積を示し、屋内プール面積や駐車場等の面積は含まない					—		—		・施設の附帯設備や周辺施設機能を整理した ・右側の数字が1点を評価した附帯設備 ・右側に数字のない設備は利用者増につながるとは考えにくいため、0点とした	

（６）各条件・要素の寄与倍率の算出

各条件・要素は、利用者数の増減に寄与する度合いがそれぞれ異なることが考えられるため、それぞれの条件・要素と利用者数の関係性をグラフ化し、各グラフの傾きの比率からその度合い（「寄与倍率」という）を設定する。各条件・要素の寄与倍率の算出方法は次に示すとおりとなる。

＜寄与倍率算出の手順１＞

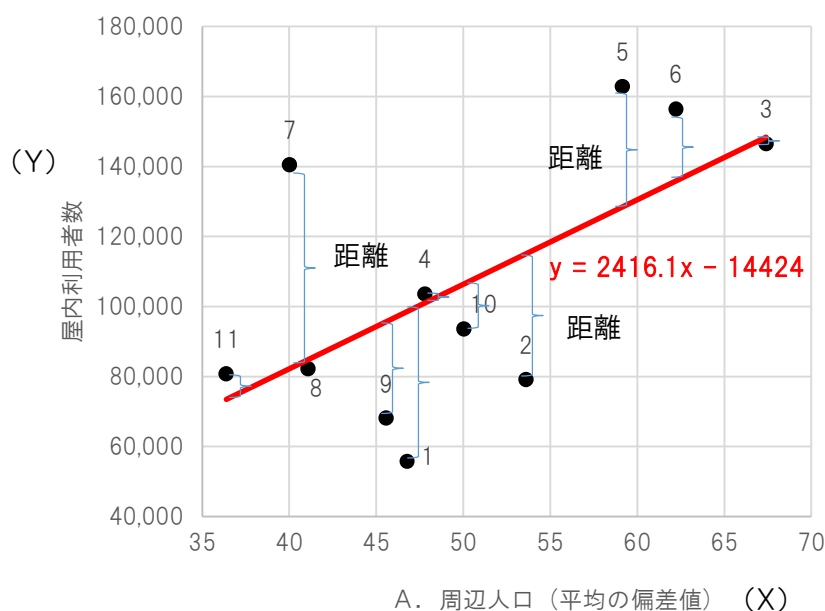
項番 1. 1. 「立地条件の整理」でまとめた各条件・要素（「A.周辺人口」「B.利用料金」「C.駐車台数」「D.施設の魅力」「E.競合施設数」）と屋内利用者数の相関関係をグラフ化し、グラフの傾きを算出する。

なおグラフの傾きは、２つの事柄の相関関係を明らかにする統計手法の中で最も広く用いられている回帰分析の最小二乗法（※）を採用し、算出した。

※参考：最小二乗法の考え方

最小二乗法とは、「グラフの方程式から各データまでの距離を最小にすれば、数学的に直線が1本のみ決定される」方法であり、あるデータXの値からYのデータを予測する際の分析として用いられる。

本章では、Yを「屋内（屋外）の年間利用者数実績」、Xを「A.周辺人口」「B.利用料金」「C.駐車台数」「D.施設の魅力」「E.競合施設数」の偏差値として、それぞれのグラフの方程式を算出した。

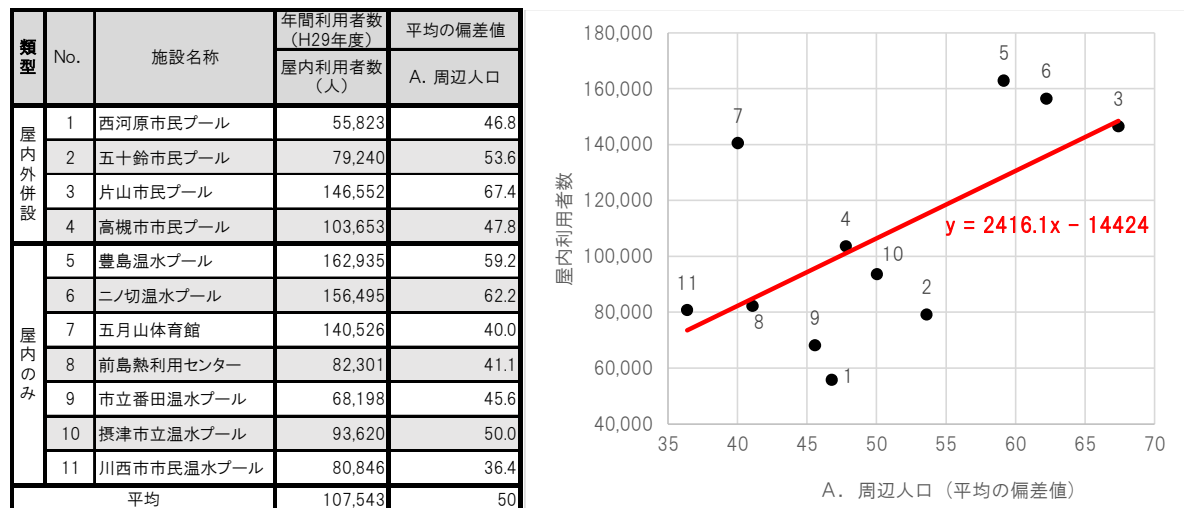


参考文献：一般社団法人日本建築学会,「建築・都市計画のための調査・分析方法[改訂版]」,
井上書院,2012 年

○「A.周辺人口」と「屋内利用者数」の相関関係のグラフ化

「屋内利用者数」と、「A.周辺人口」の「2 km圏域人口」と「5 km圏域人口」の平均の偏差値をグラフ化し、グラフの傾き「2416」を算出した。

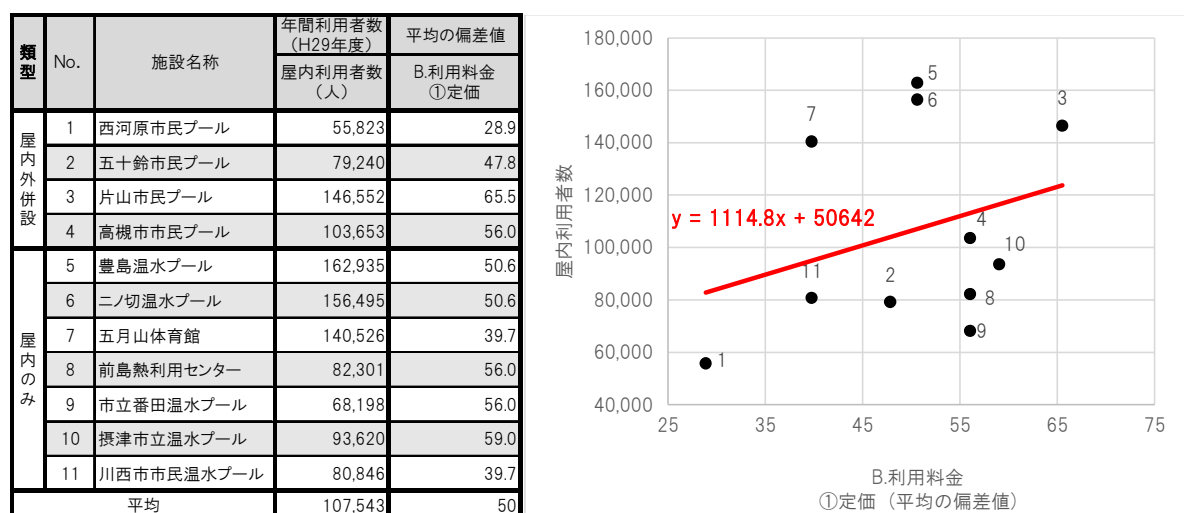
【図表V-22】「屋内利用者数」と「A.周辺人口」の相関関係



○「B.利用料金①定価」と「屋内利用者数」の相関関係のグラフ化

「屋内利用者数」と、「B.利用料金①定価」の「大人料金」と「小人料金」の平均の偏差値をグラフ化し、グラフの傾き「1115」を算出した。

【図表V-23】「屋内利用者数」と「B.利用料金①定価」の相関関係



○「B.利用料金②割引制度」と「屋内利用者数」の相関関係のグラフ化

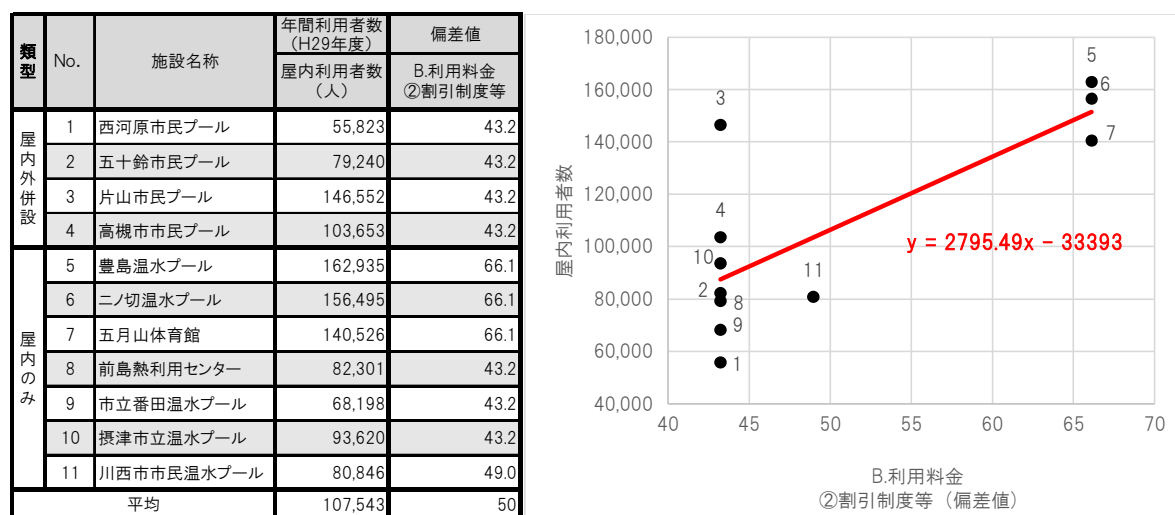
- i) 図表V-20 で算出した「B.利用料金②割引制度」の評価点から 11 施設の平均を算出した。
- ii) i) で算出した平均と、それぞれの施設の「B.利用料金②割引制度」の評価点のばらつきに応じて各施設の偏差値を算出した。

【図表V-24】「B.利用料金②割引制度」の偏差値

B利用料金②割引制度等			評価点 (点)	偏差値
類型	No.	施設名称		
屋内外併設	1	西河原市民プール	1	43.2
	2	五十鈴市民プール	1	43.2
	3	片山市民プール	1	43.2
	4	高槻市市民プール	1	43.2
屋内のみ	5	豊島温水プール	5	66.1
	6	ニノ切温水プール	5	66.1
	7	五月山体育館	5	66.1
	8	前島熱利用センター	1	43.2
	9	市立番田温水プール	1	43.2
	10	摂津市立温水プール	1	43.2
	11	川西市市民温水プール	2	49.0
平均			2.2	50

- iii) 「屋内利用者数」と「B.利用料金②割引制度」の偏差値をグラフ化し、グラフの傾き「2795」を算出した。

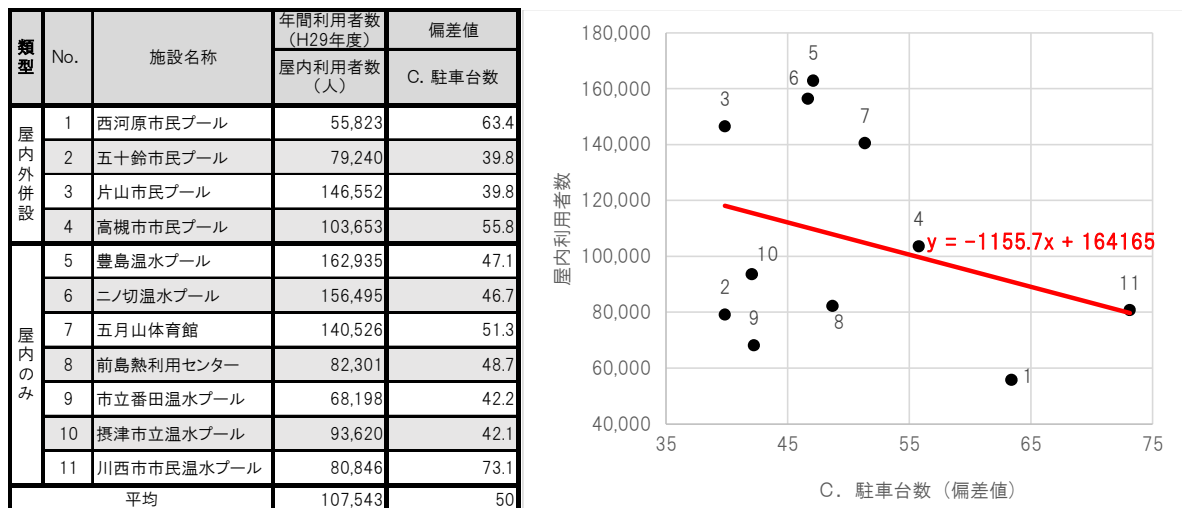
【図表V-25】「屋内利用者数」と「B.利用料金②割引制度」の相関関係



○「C.駐車台数」と「屋内利用者数」の相関関係のグラフ化

「屋内利用者数」と「C.駐車台数」の偏差値をグラフ化し、グラフの傾き「-1156」を算出した。

【図表V-26】「屋内利用者数」と「C.駐車台数」の相関関係



※ グラフの傾きがマイナスであれば、本来は「負の相関」を意味するが、現実には「C. 駐車台数」が増えるにつれ、利用者が減るとは考えにくい。

よって、この傾きは「相関がない」ものとして扱う。

○「D.施設の魅力②屋内」と「屋内利用者数」の相関関係のグラフ化

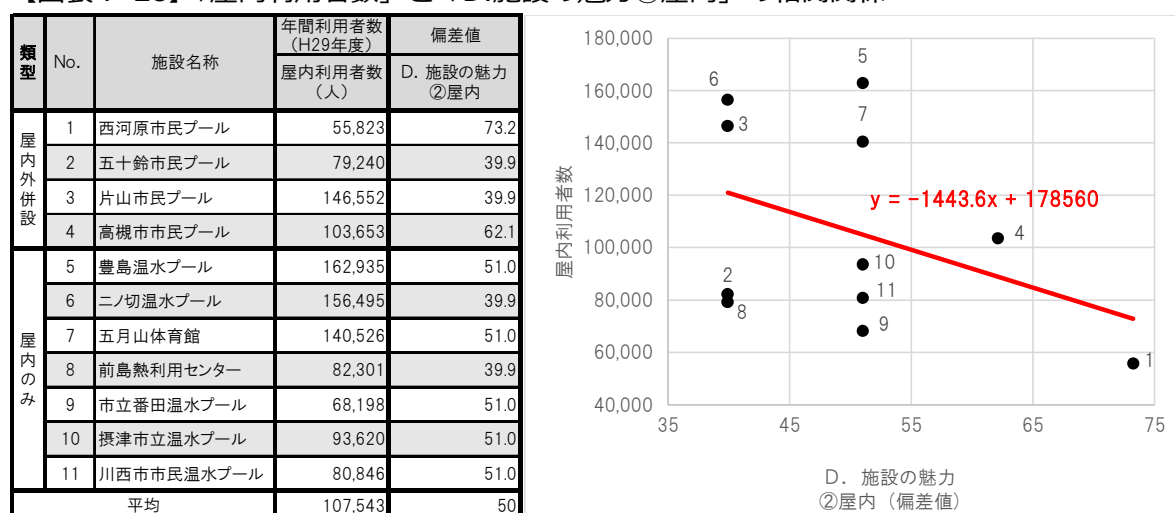
- i) 図表V-21で算出した「D.施設の魅力②屋内」の評価点から11施設の平均を算出した。
- ii) i)で算出した平均と、それぞれの施設の「D.施設の魅力②屋内」の評価点のばらつきに応じて各施設の偏差値を算出した。

【図表V-27】「D.施設の魅力②屋内」の偏差値

D. 施設の魅力 ②屋内			評価点 (点)	偏差値
類型	No.	施設名称		
屋内外併設	1	西河原市民プール	4	73.2
	2	五十鈴市民プール	1	39.9
	3	片山市民プール	1	39.9
	4	高槻市市民プール	3	62.1
屋内のみ	5	豊島温水プール	2	51.0
	6	ニノ切温水プール	1	39.9
	7	五月山体育館	2	51.0
	8	前島熱利用センター	1	39.9
	9	市立番田温水プール	2	51.0
	10	摂津市立温水プール	2	51.0
	11	川西市市民温水プール	2	51.0
平均			1.9	50

- iii) 「屋内利用者数」とii)で算出した「D.施設の魅力②屋内」の偏差値をグラフ化し、グラフの傾き「-1444」を算出した。

【図表V-28】「屋内利用者数」と「D.施設の魅力②屋内」の相関関係



- ※ グラフの傾きがマイナスであれば、本来は「負の相関」を意味するが、現実には「D.施設の魅力②屋内」が増えるにつれ、利用者が減るとは考えにくい。よって、この傾きは「相関がない」ものとして扱う。

○「D.施設の魅力③教室」と「屋内利用者数」の相関関係のグラフ化

- i) 図表V-21で算出した「D.施設の魅力③教室」の評価点から11施設の平均を算出した。
- ii) i)で算出した平均と、それぞれの施設の「D.施設の魅力③教室」の評価点のばらつきに応じて各施設の偏差値を算出した。

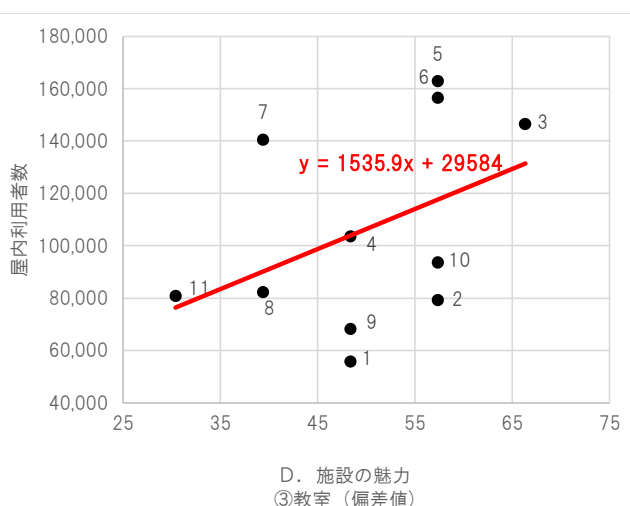
【図表V-29】「D.施設の魅力③教室」の偏差値

D. 施設の魅力 ③教室			評価点 (点)	偏差値
類型	No.	施設名称		
屋内外併設	1	西河原市民プール	3	48.4
	2	五十鈴市民プール	4	57.3
	3	片山市民プール	5	66.3
	4	高槻市市民プール	3	48.4
屋内のみ	5	豊島温水プール	4	57.3
	6	二ノ切温水プール	4	57.3
	7	五月山体育館	2	39.4
	8	前島熱利用センター	2	39.4
	9	市立番田温水プール	3	48.4
	10	摂津市立温水プール	4	57.3
	11	川西市市民温水プール	1	30.4
平均			3.2	50

- iii) 「屋内利用者数」とii)で算出した「D.施設の魅力③教室」の偏差値をグラフ化し、グラフの傾き「1536」を算出した。

【図表V-30】「屋内利用者数」と「D.施設の魅力③教室」の相関関係

類型	No.	施設名称	年間利用者数 (H29年度)	偏差値
			屋内利用者数 (人)	D. 施設の魅力 ③教室
屋内外併設	1	西河原市民プール	55,823	48.4
	2	五十鈴市民プール	79,240	57.3
	3	片山市民プール	146,552	66.3
	4	高槻市市民プール	103,653	48.4
屋内のみ	5	豊島温水プール	162,935	57.3
	6	二ノ切温水プール	156,495	57.3
	7	五月山体育館	140,526	39.4
	8	前島熱利用センター	82,301	39.4
	9	市立番田温水プール	68,198	48.4
	10	摂津市立温水プール	93,620	57.3
	11	川西市市民温水プール	80,846	30.4
平均			107,543	50



○「D.施設の魅力④駅前拠点からの距離」と「屋内利用者数」の相関関係のグラフ化

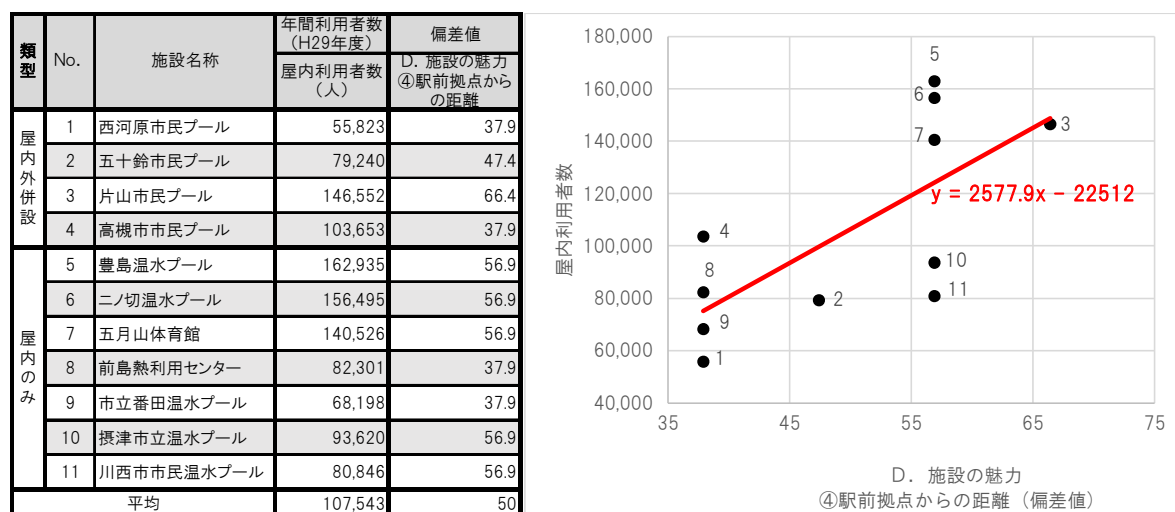
- i) 図表V-21 で算出した「D.施設の魅力④駅前拠点からの距離」の評価点から 11 施設の平均を算出した。
- ii) i) で算出した平均と、それぞれの施設の「D.施設の魅力④駅前拠点からの距離」の評価点のばらつきに応じて各施設の偏差値を算出した。

【図表V-31】「D.施設の魅力④駅前拠点からの距離」の偏差値

D. 施設の魅力 ④駅前拠点からの距離			評価点 (点)	偏差値
類型	No.	施設名称		
屋内外併設	1	西河原市民プール	0	37.9
	2	五十鈴市民プール	1	47.4
	3	片山市民プール	3	66.4
	4	高槻市市民プール	0	37.9
屋内のみ	5	豊島温水プール	2	56.9
	6	ニノ切温水プール	2	56.9
	7	五月山体育館	2	56.9
	8	前島熱利用センター	0	37.9
	9	市立番田温水プール	0	37.9
	10	摂津市立温水プール	2	56.9
	11	川西市市民温水プール	2	56.9
平均			1.3	50

- iii) 「屋内利用者数」と ii) で算出した「D.施設の魅力④駅前拠点からの距離」の偏差値をグラフ化し、グラフの傾き「2578」を算出した。

【図表V-32】「屋内利用者数」と「D.施設の魅力④駅前拠点からの距離」の相関関係



○「D.施設の魅力⑤付帯設備等」と「屋内利用者数」の相関関係のグラフ化

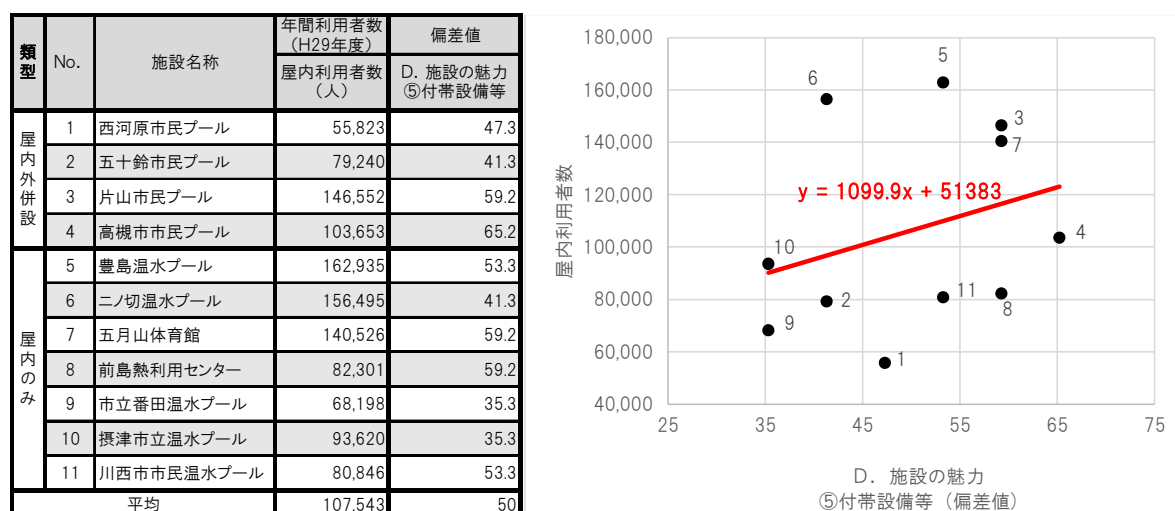
- i) 図表V-21 で算出した「D.施設の魅力⑤付帯設備等」の評価点から 11 施設の平均を算出した。
- ii) i) で算出した平均と、それぞれの施設の「D.施設の魅力⑤付帯設備等」の評価点のばらつきに応じて各施設の偏差値を算出した。

【図表V-33】「D.施設の魅力⑤付帯設備等」の偏差値

D. 施設の魅力 ⑤付帯設備等			評価点 (点)	偏差値
類型	No.	施設名称		
屋内外併設	1	西河原市民プール	2	47.3
	2	五十鈴市民プール	1	41.3
	3	片山市民プール	4	59.2
	4	高槻市市民プール	5	65.2
屋内のみ	5	豊島温水プール	3	53.3
	6	二ノ切温水プール	1	41.3
	7	五月山体育館	4	59.2
	8	前島熱利用センター	4	59.2
	9	市立番田温水プール	0	35.3
	10	摂津市立温水プール	0	35.3
	11	川西市市民温水プール	3	53.3
平均			2.5	50

- iii) 「屋内利用者数」と ii) で算出した「D.施設の魅力⑤付帯設備等」の偏差値をグラフ化し、グラフの傾き「1100」を算出した。

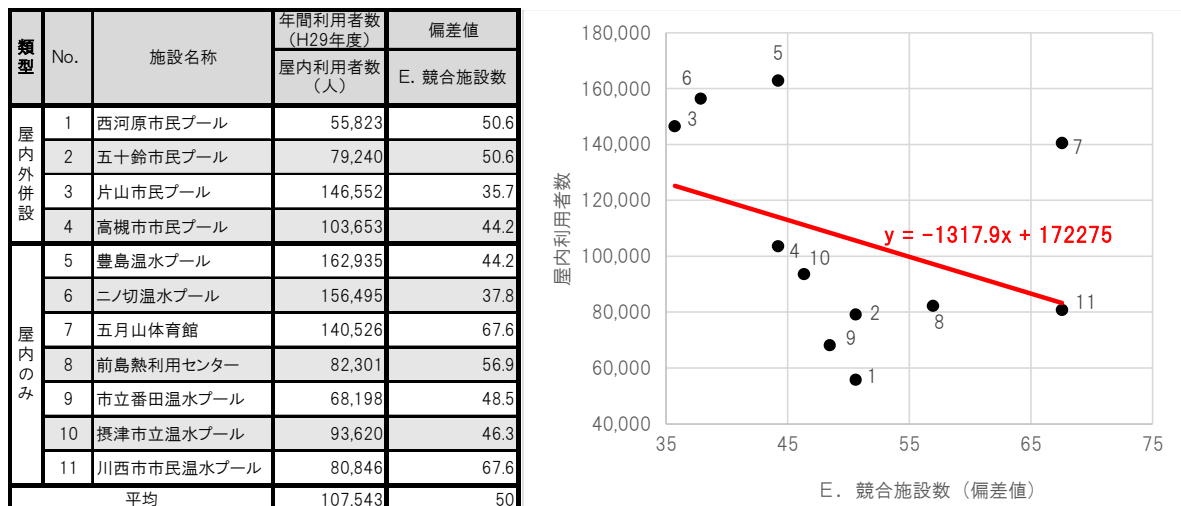
【図表V-34】「屋内利用者数」と「D.施設の魅力⑤付帯設備等」の相関関係



○「E.競合施設数」と「屋内利用者数」の相関関係のグラフ化

「屋内利用者数」と「E.競合施設数」の偏差値をグラフ化し、グラフの傾き「-1318」を算出した。

【図表 V-35】「屋内利用者数」と「E.競合施設数」の相関関係



※ グラフの傾きがマイナスであれば、本来は「負の相関」を意味するが、現実には「E.競合施設」が減るにつれ、利用者が減るとは考えにくい。

よって、この傾きは「相関がない」ものとして扱う。

＜寄与倍率算出の手順 2＞

寄与倍率算出の手順 1 で算出した各条件・要素と屋内利用者数とのグラフの傾きを整理し、「B.利用料金①定価」を「10」として、グラフの傾きの比率により、寄与倍率を算出した。

【図表 V-36】屋内プール施設事例における寄与倍率の設定

項目	A. 周辺人口	B. 利用料金		C. 駐車台数	D. 施設の魅力				E. 競合施設数
		①	②		②	③	④	⑤	
		定価	割引制度等		屋内	教室	駅前拠点からの距離	附帯設備等	
相関関係	非常に強い相関	相関	非常に強い相関	相関なし	相関なし	強い相関	非常に強い相関	相関	相関なし
グラフの傾き	2,416	1,115	2,795	-1,156	-1,444	1,536	2,578	1,100	-1,318
寄与倍率 (比率)	22	10	25	—	—	14	23	10	—

1. 3. 試算モデルの検証

(1) 試算モデルによる年間利用者数試算値の算出

前項までに算出した条件・要素の各施設の評価点と寄与倍率について、図表V-38のとおり整理した。

○手順1

- ・(4) 定量的な条件・要素の評価点の算出及び(5) 定性的な条件・要素の評価点の算出で求めた各施設の【評価点】に(6) 各条件・要素の寄与倍率の算出で求めた【寄与倍率】を乗算し、【寄与倍率を加味した評価点】を算出する。

例) 豊島温水プールにおける「A. 周辺人口」の【寄与倍率を加味した評価点】の算出

$$\begin{aligned} \text{式:} & (\text{「A. 周辺人口」の評価点:4}) \times (\text{「A. 周辺人口」の寄与倍率:22}) \\ & = 4 \times 22 = 88 \end{aligned}$$

○手順2

- ・各条件・要素の【寄与倍率を加味した評価点】を合計し、施設ごとの【寄与倍率を加味した評価点の合計】を算出する。

例) 豊島温水プールにおける【寄与倍率を加味した評価点の合計】の算出

$$\begin{aligned} \text{式:} & (\text{「A. 周辺人口」の【寄与倍率を加味した評価点:88】}) \\ & + (\text{「B. 利用料金①定価」の【寄与倍率を加味した評価点:30】}) \\ & + (\text{「B. 利用料金②割引制度等」の【寄与倍率を加味した評価点:125】}) \\ & + (\text{「C. 駐車台数」の【寄与倍率を加味した評価点:0】}) \\ & + (\text{「D. 施設の魅力②屋内」の【寄与倍率を加味した評価点:0】}) \\ & + (\text{「D. 施設の魅力③教室」の【寄与倍率を加味した評価点:56】}) \\ & + (\text{「D. 施設の魅力④駅前拠点からの距離」の【寄与倍率を加味した評価点:46】}) \\ & + (\text{「D. 施設の魅力⑤附帯設備等」の【寄与倍率を加味した評価点:30】}) \\ & + (\text{「E. 競合施設数」の【寄与倍率を加味した評価点:0】}) \\ & = 88 + 30 + 125 + 0 + 0 + 56 + 46 + 30 + 0 = 375 \end{aligned}$$

○手順3

- ・施設ごとの【年間利用者数「屋内（一般利用）」と「屋内（教室利用）」の合計】を【寄与倍率を加味した評価点の合計】で除算し、【寄与倍率を加味した評価点1点あたりの利用者数】を算出する。

例) 豊島温水プールにおける【寄与倍率を加味した評価点1点あたりの利用者数】の算出

$$\begin{aligned} \text{式:} & (\text{【年間利用者数「屋内(一般利用)」と「屋外(教室利用)」の合計:162,935】}) \\ & \div (\text{【寄与倍率を加味した評価点の合計:375】}) \\ & = 162,935 \div 375 = 434.49 \end{aligned}$$

○手順4

- ・屋内プール施設事例 11 施設の【寄与倍率を加味した評価点1点あたりの利用者数】から【寄与倍率を加味した評価点1点あたりの利用者数の平均】を算出する。

例) 【寄与倍率を加味した評価点1点あたりの利用者数の平均】の算出

$$\begin{aligned} & \text{式: } \{ (\text{西河原市民プールの【寄与倍率を加味した評価点1点あたりの利用者数:342.47】}) \\ & \quad + (\text{五十鈴市民プールの【寄与倍率を加味した評価点1点あたりの利用者数:377.33】}) \\ & \quad + (\text{片山プールの【寄与倍率を加味した評価点1点あたりの利用者数:402.62】}) \\ & \quad + (\text{高槻市市民プールの【寄与倍率を加味した評価点1点あたりの利用者数:464.81】}) \\ & \quad + (\text{豊島温水プールの【寄与倍率を加味した評価点1点あたりの利用者数:434.49】}) \\ & \quad + (\text{二ノ切温水プールの【寄与倍率を加味した評価点1点あたりの利用者数:440.83】}) \\ & \quad + (\text{五月山体育館の【寄与倍率を加味した評価点1点あたりの利用者数:463.78】}) \\ & \quad + (\text{前島熱利用センターの【寄与倍率を加味した評価点1点あたりの利用者数:464.98】}) \\ & \quad + (\text{市立番田温水プールの【寄与倍率を加味した評価点1点あたりの利用者数:394.21】}) \\ & \quad + (\text{摂津市立温水プールの【寄与倍率を加味した評価点1点あたりの利用者数:401.80】}) \\ & \quad + (\text{川西市市民温水プールの【寄与倍率を加味した評価点1点あたりの利用者数:396.30】}) \} \\ & \div (11 \text{ 施設}) \\ & = (342.47+377.33+402.62+464.81+434.49+440.83+463.78+464.98 \\ & \quad +394.21+401.80+396.30) \div 11 = 416.69 \end{aligned}$$

○手順5

- ・施設ごとの【寄与倍率を加味した評価点の合計】に【寄与倍率を加味した評価点1点あたりの利用者数の平均】を乗算し、【屋内の利用者数試算値】を算出する。

例) 豊島温水プールにおける【屋内の利用者数試算値】の算出

$$\begin{aligned} & \text{式: } (\text{【寄与倍率を加味した評価点の合計:375】}) \\ & \quad \times (\text{【寄与倍率を加味した評価点1点あたりの利用者数の平均:416.69】}) \\ & = 375 \times 416.69 = 156,259 \end{aligned}$$

（２）試算モデルの検証結果

（１）で求めた屋内の年間利用者数試算値と屋内の年間利用者数実績の誤差を算出し、試算モデルの検証を行う。

○手順 6

- ・施設ごとの【年間利用者数「屋内（一般利用）」と「屋内（教室利用）」の合計】を【屋内の利用者数試算値】で除算し、【屋内の年間利用者数実績と屋内の利用者数試算値の誤差】を算出する（図表 V-37）。

例）豊島温水プールにおける【屋内の年間利用者数実績と屋内の利用者数試算値の誤差】の算出

$$\begin{aligned} & \text{式：（【年間利用者数「屋内（一般利用）」と「屋内（教室利用）」の合計：162,935】）} \\ & \quad \div \text{（【屋内の利用者数試算値：156,259】）} \\ & = 162,935 \div 156,259 = 1.04 = 104(\%) \end{aligned}$$

【図表 V-37】 屋内の年間利用者数実績と屋内の利用者数試算値、及びその誤差

類型	No.	施設名称	屋内の年間利用者数実績（人）			屋内の利用者数試算値（人）	屋内の年間利用者数実績と屋内の利用者数試算値の誤差（％）
			一般利用	教室利用	屋内計		
		計算式			①	②	①÷②
屋内 外併設	1	西河原市民プール	21,325	34,498	55,823	67,920	82%
	2	五十鈴市民プール	15,284	63,956	79,240	87,505	91%
	3	片山市民プール	58,446	88,106	146,552	151,675	97%
	4	高槻市市民プール	79,188	24,465	103,653	92,922	112%
屋内のみ	5	豊島温水プール	105,128	57,807	162,935	156,259	104%
	6	二ノ切温水プール	100,266	56,229	156,495	147,925	106%
	7	五月山体育館	118,426	22,100	140,526	126,257	111%
	8	前島熱利用センター	59,182	23,119	82,301	73,754	112%
	9	市立番田温水プール	25,125	43,073	68,198	72,087	95%
	10	摂津市立温水プール	38,336	55,284	93,620	97,089	96%
	11	川西市市民温水プール	65,334	15,512	80,846	85,005	95%

○結果

以上、手順 1 ～ 6 より、【屋内の年間利用者数実績と屋内の利用者数試算値の誤差】が 10%程度に収まる（西河原市民プールを除く（※））ため、試算モデルの信頼性が一定あるといえる。

- ※ 西河原市民プールだけが、【屋内の年間利用者数実績と屋内の利用者数試算値の誤差】が 10%程度に収まっていないが、その理由は、平成 29 年（2017 年）9 月 11 日から 10 月 10 日まで緊急修繕により閉館していた影響をうけ、例年より【年間利用者数実績】が少なかったためと考えられる。

【図表V-38】屋内プール施設事例における評価点と寄与倍率の整理

条件・要素			(H29年度)年間利用者数（人）			評価点（点）									
記号			利用者数			A	B		C	D				E	い
小項目			屋内			周辺人口	利用料金		駐車台数	施設の魅力				競合施設数	合計
			①	②	③		①	②		②	③	④	⑤		
			一般利用	教室利用	屋内計		定価	割引 制度等		屋内	教室	駅前拠点 からの距離	附帯 設備等		
類型	No.	計算式 施設名称			①+②										A+B+ C+D+E
屋 内 外 併 設	1	西河原市民プール	21,325	34,498	55,823	3	1	1	4	4	3	0	2	3	21
	2	五十鈴市民プール	15,284	63,956	79,240	3	3	1	0	1	4	1	1	3	17
	3	片山市民プール	58,446	88,106	146,552	5	5	1	0	1	5	3	4	2	26
	4	高槻市市民プール	79,188	24,465	103,653	3	4	1	4	3	3	0	5	2	25
屋 内 の み	5	豊島温水プール	105,128	57,807	162,935	4	3	5	3	2	4	2	3	2	28
	6	二ノ切温水プール	100,266	56,229	156,495	4	3	5	3	1	4	2	1	2	25
	7	五月山体育館	118,426	22,100	140,526	2	2	5	3	2	2	2	4	5	27
	8	前島熱利用センター	59,182	23,119	82,301	2	4	1	3	1	2	0	4	4	21
	9	市立番田温水プール	25,125	43,073	68,198	3	4	1	2	2	3	0	0	3	18
	10	摂津市立温水プール	38,336	55,284	93,620	3	4	1	2	2	4	2	0	3	21
	11	川西市市民温水プール	65,334	15,512	80,846	2	2	2	5	2	1	2	3	5	24
寄与倍率			—			22	10	25	—	—	14	23	10	—	—

【図表V-39】屋内プール施設事例における利用者数試算値

条件・要素			(H29年度)年間利用者数（人）			寄与倍率を加味した評価点（点）											各施設の利用者数試算値		
記号			利用者数			A	B		C	D				E	い	ろ		は	に
小項目			屋内			周辺人口	利用料金		駐車台数	施設の魅力				競合施設数	合計	寄与倍率を加味した評価点 1点あたりの利用者数		屋内の 利用者数試算値 （人）	（実績）/ （利用者数試算値） （％）
			①	②	③		①	②		②	③	④	⑤			①	②		
			一般利用	教室利用	屋内計		定価	割引 制度等		屋内	教室	駅前拠点 からの距離	附帯 設備等			実数 （人/点）	平均 （人/点）		
類型	No.	計算式 施設名称			①+②	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率				評価点 × 寄与倍率	A+B+C+D+E	利用者数③ ÷ （い）	（ろ）①の合計 ÷ 11	（い）×（ろ）②	利用者数③ ÷ （は）
屋 内 外 併 設	1	西河原市民プール	21,325	34,498	55,823	66	10	25	0	0	42	0	20	0	163	342.47	416.69	67,920	82%
	2	五十鈴市民プール	15,284	63,956	79,240	66	30	25	0	0	56	23	10	0	210	377.33		87,505	91%
	3	片山市民プール	58,446	88,106	146,552	110	50	25	0	0	70	69	40	0	364	402.62		151,675	97%
	4	高槻市市民プール	79,188	24,465	103,653	66	40	25	0	0	42	0	50	0	223	464.81		92,922	112%
屋 内 の み	5	豊島温水プール	105,128	57,807	162,935	88	30	125	0	0	56	46	30	0	375	434.49		156,259	104%
	6	二ノ切温水プール	100,266	56,229	156,495	88	30	125	0	0	56	46	10	0	355	440.83		147,925	106%
	7	五月山体育館	118,426	22,100	140,526	44	20	125	0	0	28	46	40	0	303	463.78		126,257	111%
	8	前島熱利用センター	59,182	23,119	82,301	44	40	25	0	0	28	0	40	0	177	464.98		73,754	112%
	9	市立番田温水プール	25,125	43,073	68,198	66	40	25	0	0	42	0	0	0	173	394.21		72,087	95%
	10	摂津市立温水プール	38,336	55,284	93,620	66	40	25	0	0	56	46	0	0	233	401.80		97,089	96%
	11	川西市市民温水プール	65,334	15,512	80,846	44	20	50	0	0	14	46	30	0	204	396.30		85,005	95%

2. 屋外プール施設事例における利用者数の試算モデル化

2. 1. 立地条件の整理

項番 1. 1. 「立地条件の整理」を参照（P.9, 図表V-6）。

2. 2. 利用者数試算値の算出

（1）算出に用いる施設事例

屋外プール施設事例における利用者数試算値の算出の際に用いる施設は、以下のとおりとする。

【図表V-40】屋外の利用者数試算値の算出に用いる施設事例

No.	市名	施設名	類型
1	茨木市	市立西河原市民プール	屋内外併設
2	茨木市	市立五十鈴市民プール	
3	吹田市	市立片山市民プール	
4	高槻市	市立市民プール	
5	大阪市	市立長居公園プール	
6	茨木市	市立中条市民プール	屋外のみ
7	豊中市	府営服部緑地ウォーターランド	
8	吹田市	市立北千里市民プール	
9	枚方市	市立王仁公園プール	
10	堺市	府営浜寺公園プール	

（2）算出に用いる条件・要素

屋外プール施設事例における利用者数試算値の算出の際に用いる条件・要素は「A.周辺人口」「B.利用料金」「C.駐車台数」「D.施設の魅力」「E.競合施設数」とする（図表V-41）。ただし、「D.施設の魅力③教室」の条件・要素は、屋内の試算に含めたため対象外とする。また、屋内プールのみの施設は競合施設となりえないため、「E.競合施設数②屋内のみ」の条件・要素は対象外とする。

【図表 V-41】屋外プール施設事例における利用者数試算値の算出に用いる条件・要素

条件・要素	小項目	備考
A.周辺人口	①2km圏域	
	②5km圏域	
B.利用料金	①定価(大人・小人)	7, 8月の利用料金の定価を採用する
C.駐車台数	駐車台数	
D.施設の魅力	①屋外	
	②屋内	
	③教室	屋内の算出に含めたため対象外とする
	④駅前拠点からの距離	
	⑤附帯設備等	
E.競合施設数	①屋内外併設	教室利用のみの民間施設は対象外とする
	②屋内のみ	屋内のみの施設は対象外とする(競合施設となりえないため)
	③屋外のみ	教室利用のみの民間施設は対象外とする

※黒のハッチのかかった項目は、屋外プール施設事例における利用者数試算値の算出から除く

(3) 評価点の算出

前項で調査・整理した利用者数を想定する際に重要である条件・要素は、数値や量などの定量データ(「A.周辺人口」、「B.利用料金①定価」、「C.駐車台数」、「E.競合施設数」と、数値や量で表現できないプールの整備内容や附帯設備の機能といった定性データ(D.施設の魅力)に区別し、以降の検討を行う(図表 V-11)。

これらの条件・要素に対して、「評価点」を算出した。「評価点」の算出は、定量データ・定性データを区別して行うこととする。

【図表 V-11】条件・要素における定量・定性の分類(再掲)

条件・要素	調査項目	定量・定性
A.周辺人口	①2km圏域	定量
	②5km圏域	
B.利用料金	①定価(大人・小人)	定量
C.駐車台数	駐車台数	定量
D.施設の魅力	①屋外	定性
	②屋内	
	③教室	
	④駅前拠点からの距離	
	⑤附帯設備等	
E.競合施設数	①屋内外併設	定量
	②屋内のみ	
	③屋外のみ	

(4) 定量的な条件・要素の評価点の算出

定量的に示される条件・要素（「A.周辺人口」、「B.利用料金①定価」、「C.駐車台数」、「E.競合施設数」）については次に示す方法で評価点の算出を行う。

項番 1. 1. 「立地条件の整理」で調査した各条件・要素のうち、屋外施設事例における利用者数試算値の算出の際に用いる定量的な条件・要素は図表 V-42 のとおりであり、各条件・要素の小項目ごとに平均を算出した。

【図表 V-42】屋外施設事例における利用者数試算値算出に用いる条件・要素の整理

条件・要素			A. 周辺人口 (人)		B. 利用料金 (円)		C. 駐車台数 (台)	E. 競合施設数 (件)			
小項目			2km 圏域	5km 圏域	屋外		台数	①	③	合計	
					大人	小人		屋内外 併設	屋外 のみ		
No.	施設名称		計算式							①+③	
屋 内 外 併 設	1	西河原市民プール		113,191	535,307	1000	500	266	2	1	3
	2	五十鈴市民プール		137,925	614,685	250	120	0	2	2	4
	3	片山市民プール		159,839	930,721	300	150	0	0	1	1
	4	高槻市市民プール		98,731	647,865	500	250	180	2	2	4
	5	長居公園プール		202,738	1,041,735	400	150	744	1	3	4
屋 外 の み	6	中条市民プール		157,874	569,392	250	120	0	3	0	3
	7	服部緑地ウォーターランド		164,804	871,266	1030	510	909	1	0	1
	8	北千里市民プール		80,840	490,208	300	150	0	0	1	1
	9	王仁公園プール		68,590	347,485	900	450	250	0	1	1
	10	浜寺公園プール		61,665	365,707	930	410	1100	0	4	4
平均				124,620	641,437	586	281	345	1	2	3

＜「A.周辺人口」の評価点の算出方法＞

項番 1. 2. 「利用者数試算値の算出」の＜「A.周辺人口」の評価点の算出方法＞と同様に算出する。

【図表 V-13】偏差値による評価点の設定基準（再掲）

基準	評価点(点)
65≦(偏差値)	5
55≦(偏差値)<65	4
45≦(偏差値)<55	3
35≦(偏差値)<45	2
(偏差値)<35	1

【図表 V-43】「A.周辺人口」の評価点の算出（屋外）

A. 周辺人口			実数(人)		偏差値			評価点
類型	No.	施設名称	2km圏域	5km圏域	2km圏域	5km圏域	平均	
屋内 外 併 設	1	西河原市民プール	113,191	535,307	47.4	45.3	46.3	3
	2	五十鈴市民プール	137,925	614,685	53.0	48.8	50.9	3
	3	片山市民プール	159,839	930,721	57.9	62.9	60.4	4
	4	高槻市市民プール	98,731	647,865	44.2	50.3	47.3	3
	5	長居公園プール	202,738	1,041,735	67.4	67.9	67.7	5
屋 外 の み	6	中条市民プール	157,874	569,392	57.4	46.8	52.1	3
	7	服部緑地ウォーターランド	164,804	871,266	59.0	60.3	59.6	4
	8	北千里市民プール	80,840	490,208	40.2	43.2	41.7	2
	9	王仁公園プール	68,590	347,485	37.5	36.8	37.2	2
	10	浜寺公園プール	61,665	365,707	35.9	37.7	36.8	2
平均			124,620	641,437	50	50	50	3

＜「B.利用料金①定価」の評価点の算出方法＞

項番 1. 2. 「利用者数試算値の算出」の＜「B.利用料金①定価」の評価点の算出方法＞と同様に算出する。

【図表V-44】「B.利用料金①定価」の評価点の算出（屋外）

類型	B利用料金①定価		実数(円)		偏差値			評価点
	No.	施設名称	大人	小人	大人	小人	平均	
屋内 外併設	1	西河原市民プール	1,000	500	37.0	36.1	36.6	2
	2	五十鈴市民プール	250	120	60.5	60.2	60.4	4
	3	片山市民プール	300	150	59.0	58.3	58.6	4
	4	高槻市市民プール	500	250	52.7	52.0	52.3	3
	5	長居公園プール	400	150	55.8	58.3	57.1	4
屋外のみ	6	中条市民プール	250	120	60.5	60.2	60.4	4
	7	服部緑地ウォーターラン	1,030	510	36.1	35.5	35.8	2
	8	北千里市民プール	300	150	40.2	39.3	39.7	2
	9	王仁公園プール	900	450	39.2	41.8	40.5	2
	10	浜寺公園プール	930	410	59.3	58.7	59.0	4
平均			586	281	50	50	50	3

＜「C.駐車台数」の評価点の算出方法＞

項番 1. 2. 「利用者数試算値の算出」の＜「C.駐車台数」の評価点の算出方法＞と同様に算出する。

【図表V-45】「C.駐車台数」の評価点の算出（屋外）

類型	C. 駐車台数		実数(台)	偏差値	評価点
	No.	施設名称			
屋内 外併設	1	西河原市民プール	266	48.0	3
	2	五十鈴市民プール	0	41.3	0
	3	片山市民プール	0	41.3	0
	4	高槻市市民プール	180	45.8	3
	5	長居公園プール	744	60.1	4
屋外のみ	6	中条市民プール	0	41.3	0
	7	服部緑地ウォーターランド	909	65.1	5
	8	北千里市民プール	0	41.3	0
	9	王仁公園プール	250	47.6	3
	10	浜寺公園プール	1,100	69.1	5
平均			345	50	2

＜「E.競合施設数」の評価点の算出方法＞

項番 1. 2. 「利用者数試算値の算出」の＜「E.競合施設数」の評価点の算出方法＞と同様に算出する。

【図表 V-46】「E.競合施設数」の評価点の算出（屋外）

E. 競合施設数			実数(件)	偏差値	評価点
類型	No.	施設名称			
屋内 外 併 設	1	西河原市民プール	3	46.1	3
	2	五十鈴市民プール	4	38.3	2
	3	片山市民プール	1	61.7	4
	4	高槻市市民プール	4	38.3	2
	5	長居公園プール	4	38.3	2
屋 外 の み	6	中条市民プール	3	46.1	3
	7	服部緑地ウォーターランド	1	61.7	4
	8	北千里市民プール	1	61.7	4
	9	王仁公園プール	1	61.7	4
	10	浜寺公園プール	4	46.1	3
平均			3	50	3

（５）定性的な条件・要素の評価点の算出

定性的に示される条件・要素について、各施設の内容を考慮したうえで基準を設定し、評価点を算出する。

○「D.施設の魅力」について

「D.施設の魅力」の各小項目について、図表 V-19 の基準のとおり評価点を算出する。

【図表 V-19】「D.施設の魅力」における評価点の設定基準（再掲）

基準					評価点
①屋外	②屋内	③教室	④駅前拠点からの距離	⑤附帯設備等	
非常に大きな流水プール、スライダー等のレジャープールがある。または、屋外プール面積が非常に広い	非常に大きな流水プール、スライダーなどのレジャープールがある	年間を通じて多くのプログラムの実施しており、教室利用者数が非常に多い	駅直結	利用者増が見込める附帯設備が5つ以上ある	5
大きな流水プール、スライダー等のレジャープールがある。または、屋外プールの面積が広い	大きな流水プール、スライダーなどのレジャープールがある	年間を通じて多くのプログラムの実施しており、教室利用者数が多い	最寄駅から徒歩5分未満	利用者増が見込める附帯設備が4つある	4
小さな流水プール、スライダー等のレジャープールがあり、屋外プールの面積が比較的広い	小さな流水プール、スライダーなどのレジャープールがある	多くのプログラムの実施しており、教室利用者数が平均並である	最寄駅から徒歩10分未満	利用者増が見込める附帯設備が3つある	3
小さな流水プール、スライダー等のレジャープールがある	ジャグジーなどのリラックスできるプールがある	多くのプログラムの実施しており、教室利用者数がやや少ない	最寄駅から徒歩15分未満	利用者増が見込める附帯設備が2つある	2
屋外プールが整備されている	屋内プールが整備されている	プログラムを実施しているが、教室利用者数が少ない	最寄駅から徒歩20分未満	利用者増が見込める附帯設備が1つある	1
屋外プールが整備されていない	屋内プールが整備されていない	プログラムが実施されていない	最寄駅から徒歩でのアクセスが現実的でない	特記すべき附帯設備がない	0

【図表V-47】各施設の「D.施設の魅力」における評価点の設定（屋外）

	No.	施設名称	D. 施設の魅力										
			①屋外			②屋内		③教室		④駅前拠点からの距離		⑤附帯設備等	
			内容	面積	評価点 (点)	内容	評価点 (点)	内容	評価点 (点)	内容	評価点 (点)	プール以外の設備	評価点 (点)
屋 内 外 併 設	1	西河原市民プール	・流水プール ・ウォータースライダー ・リバーライド ・幼児用プール	約5000㎡	5	・25m×7レーン ・リラクゼーションプール ・ジェットプール ・スリーピングプール ・幼児用プール・スライダー	4	・夏季以外で実施 ・35プログラム/週 ・教室利用者数:34,498人	3	・最寄駅より徒歩約28分 (令和元年現在は最寄駅から徒 歩約15分)	0	公園広場① 児童遊戯場① 庭園(バラ園)① グラウンド・トレーニング室・スタジオ① 軽食・喫茶室(夏季のみ)① 会議室	5
	2	五十鈴市民プール	・50mプール×9レーン	約3000㎡	1	・25mプール×7レーン ・幼児用プール	1	・年間を通じて実施 ・40プログラム/週 ・教室利用者数:63,956人	4	・最寄駅から徒歩約17分	1	トレーニング室① 会議室	1
	3	片山市民プール	・50m×9レーン ・25m×6レーン ・幼児用プール ・すべり台	約7000㎡	3	・25m×6レーン	1	・年間を通じて実施 ・38プログラム/週 ・教室利用者数:88,106人	5	・最寄駅から徒歩約8分	3	公園広場① 児童遊戯場① 庭園(バラ園)① 体育館・トレーニング室① 図書館①	5
	4	高槻市市民プール	・50mプール×9レーン	約3000㎡	1	・25m×7レーン ・リラクゼーションプール ・流水プール ・幼児プール	3	・年間を通じて実施 ・16プログラム/週 ・教室利用者数:24,465人 ※自主事業で、週16プログラムを 実施している(通年利用者数には カウントされている)	3	・最寄駅から徒歩約35分	0	図書館① グラウンド・陸上競技場・体育館・トレーニン グ室・スタジオ①	2
	5	長居公園プール	・一般用プール ・児童用プール ・幼児用プール ・さざなみプール ・スライダー、すべり台、着水プール	約8000㎡	4	・25mプール×8レーン ・幼児用プール	1	—	—	・最寄駅から徒歩約7分	3	公園① 児童遊戯場① 庭園① 陸上競技場・トレーニング室・クライミングジ ム① BBQ場①	5
屋 外 の み	6	中条市民プール	・50m×9レーン ・25m×7レーン ・幼児用プール	約5000㎡	1	—	0	・夏季に短期で実施 ・教室利用者数:134人	0	・最寄駅から徒歩約10分	2	トレーニング室・体育館①	1
	7	服部緑地ウォーターランド	・流水プール×1周250m ・スライダー ・なぎさプール ・幼児プール(すべり台あり)	約30000㎡	5	—	0	—	—	・最寄駅から徒歩約18分	1	公園広場① 児童遊技場① 庭園① 体育館・グラウンド・競技場① BBQ場①	5
	8	北千里市民プール	・50m×9レーン ・こども用プール ・幼児用プール ・すべり台	約12000㎡	3	—	0	—	—	・最寄駅から徒歩約15分	1	公園広場① 児童遊戯場① 体育館①	3
	9	王仁公園プール	・50m×9レーン ・流水プール ・造波プール ・幼児用プール ・すべり台	約10000㎡	4	—	0	—	—	・最寄駅から徒歩約10分	2	公園広場① 児童遊戯場① ピオトープ① グラウンド・テニスコート等①	4
	10	浜寺公園プール	・50m×9レーン ・25m×6レーン×2 ・変形大プール ・幼児用プール ・スライダー×2	約40000㎡	5	—	0	—	—	・最寄駅から徒歩約6分	3	公園広場① 児童遊戯場① 交通遊園場①(※機関車等の乗物が利用 可能なため別途評価) 庭園① グラウンド・テニスコート等①	5
備考			※面積は屋外プールとプールサイド等の面積を示し、屋内プール 面積や駐車場等の面積は含まない			—		—		—		・施設の附帯設備や周辺施設機能を整理した ・右側の数字が1点を評価した附帯設備 ※その際、下記のジャンル毎に1点とした (公園広場・庭園やピオトープ・児童遊園・スポーツ関 係・図書館・その他集客要素) ・右側に数字のない設備は利用者増につながるとは考 えにくいため0点とした	

（６）各条件・要素の寄与倍率の算出

項番 1. 2. 「利用者数試算値の算出」の（６）各条件・要素の寄与倍率の算出と同様に算出する。

＜寄与倍率算出の手順 1＞

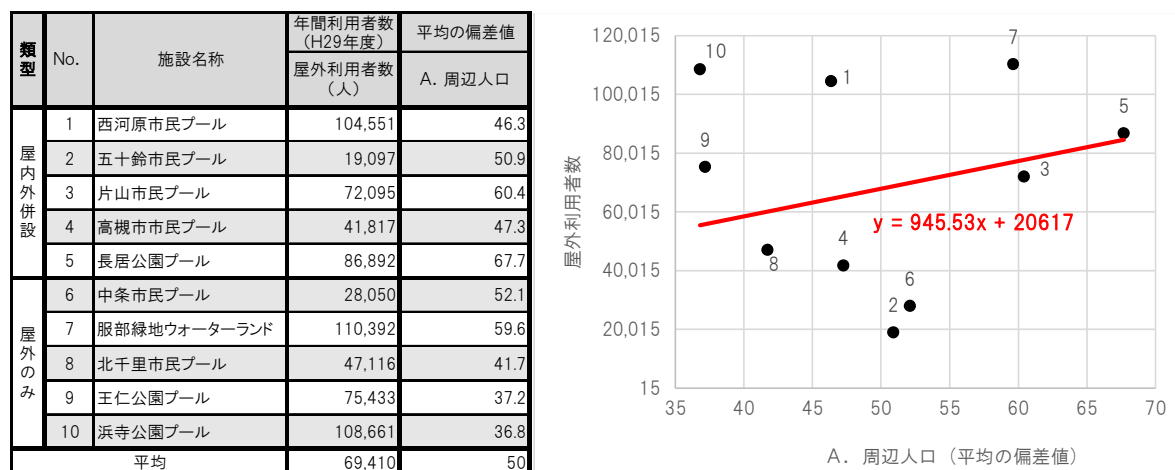
項番 1. 1. 「立地条件の整理」でまとめた各条件・要素（「A.周辺人口」「B.利用料金」「C.駐車台数」「D.施設の魅力」「E.競合施設数」）と屋外利用者数の相関関係をグラフ化し、グラフの傾きを算出する。

なお、相関関係のグラフ化は、項番 1. 2. 「利用者数試算値の算出」の（６）各条件・要素の寄与倍率の算出と同様に算出する。

○「A.周辺人口」と「屋外利用者数」の相関関係のグラフ化

「屋外利用者数」と、「A.周辺人口」の「2 km圏域人口」と「5 km圏域人口」の平均の偏差値をグラフ化し、グラフの傾き「946」を算出した。

【図表V-48】「屋外利用者数」と「A.周辺人口」の相関関係

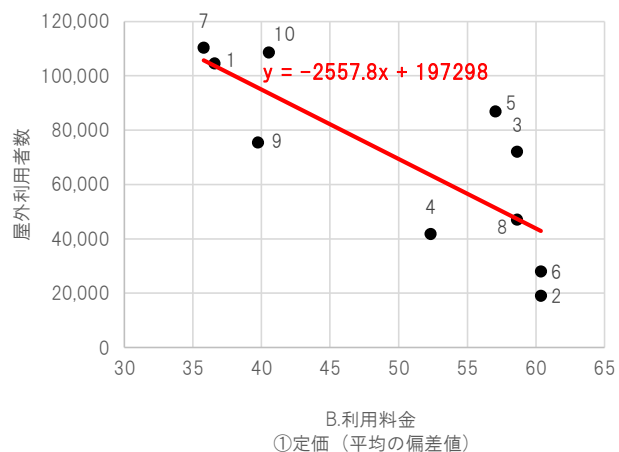


○「B.利用料金①定価」と「屋外利用者数」の相関関係のグラフ化

「屋外利用者数」と、「B.利用料金①定価」の「大人料金」と「小人料金」の平均の偏差値をグラフ化し、グラフの傾き「-2558」を算出した。

【図表V-49】「屋外利用者数」と「B.利用料金①定価」の相関関係

類型	No.	施設名称	年間利用者数 (H29年度)	平均の偏差値
			屋外利用者数 (人)	B.利用料金 ①定価
屋内外併設	1	西河原市民プール	104,551	36.6
	2	五十鈴市民プール	19,097	60.4
	3	片山市民プール	72,095	58.6
	4	高槻市市民プール	41,817	52.3
	5	長居公園プール	86,892	57.1
屋外のみ	6	中条市民プール	28,050	60.4
	7	服部緑地ウォーターランド	110,392	35.8
	8	北千里市民プール	47,116	58.6
	9	王仁公園プール	75,433	39.7
	10	浜寺公園プール	108,661	40.5
平均			69,410	50

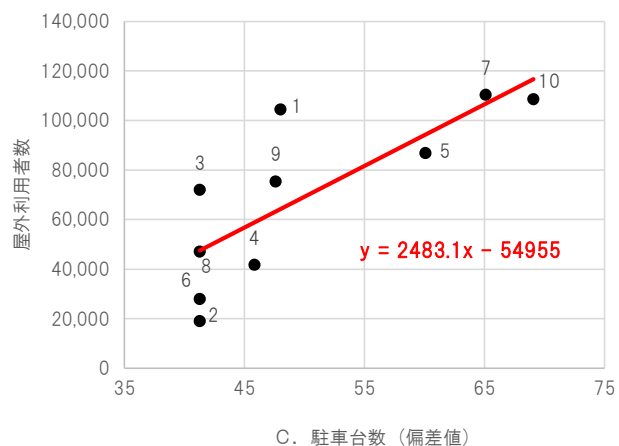


○「C.駐車台数」と「屋外利用者数」の相関関係のグラフ化

「屋外利用者数」と「C.駐車台数」の偏差値をグラフ化し、グラフの傾き「2483」を算出した。

【図表V-50】「屋外利用者数」と「C.駐車台数」の相関関係

類型	No.	施設名称	年間利用者数 (H29年度)	偏差値
			屋外利用者数 (人)	C. 駐車台数
屋内外併設	1	西河原市民プール	104,551	48.0
	2	五十鈴市民プール	19,097	41.3
	3	片山市民プール	72,095	41.3
	4	高槻市市民プール	41,817	45.8
	5	長居公園プール	86,892	60.1
屋外のみ	6	中条市民プール	28,050	41.3
	7	服部緑地ウォーターランド	110,392	65.1
	8	北千里市民プール	47,116	41.3
	9	王仁公園プール	75,433	47.6
	10	浜寺公園プール	108,661	69.1
平均			69,410	50



○「D.施設の魅力①屋外」と「屋外利用者数」の相関関係のグラフ化

i) 図表V-47で算出した「D.施設の魅力①屋外」の評価点から10施設の平均を算出した。

ii) i)で算出した平均と、それぞれの施設の「D.施設の魅力①屋外」の評価点のばらつきに応じて各施設の偏差値を算出した。

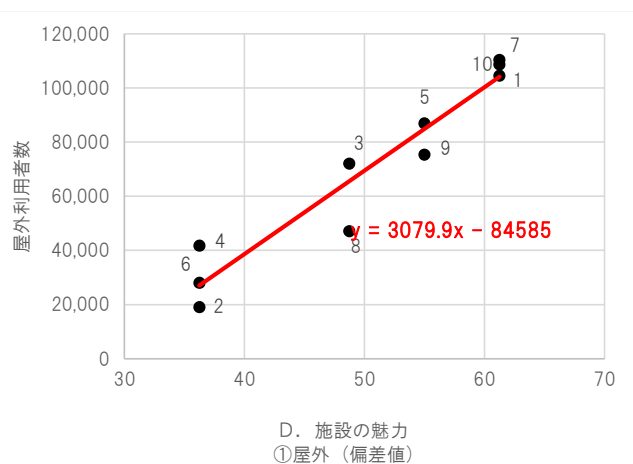
【図表V-51】「D.施設の魅力①屋外」の偏差値

D. 施設の魅力 ①屋外			評価点 (点)	偏差値
類型	No.	施設名称		
屋内 外併 設	1	西河原市民プール	5	61.3
	2	五十鈴市民プール	1	36.3
	3	片山市民プール	3	48.8
	4	高槻市市民プール	1	36.3
	5	長居公園プール	4	55.0
屋 外 の み	6	中条市民プール	1	36.3
	7	服部緑地ウォーターランド	5	61.3
	8	北千里市民プール	3	48.8
	9	王仁公園プール	4	55.0
	10	浜寺公園プール	5	61.3
平均			3.2	50

iii) 「屋外利用者数」とii)で算出した「D.施設の魅力①屋外」の偏差値をグラフ化し、グラフの傾き「3080」を算出した。

【図表V-52】「屋外利用者数」と「D.施設の魅力①屋外」の相関関係

類型	No.	施設名称	年間利用者数 (H29年度)	偏差値
			屋外利用者数 (人)	D. 施設の魅力 ①屋外
屋内 外併 設	1	西河原市民プール	104,551	61.3
	2	五十鈴市民プール	19,097	36.3
	3	片山市民プール	72,095	48.8
	4	高槻市市民プール	41,817	36.3
	5	長居公園プール	86,892	55.0
屋 外 の み	6	中条市民プール	28,050	36.3
	7	服部緑地ウォーターランド	110,392	61.3
	8	北千里市民プール	47,116	48.8
	9	王仁公園プール	75,433	55.0
	10	浜寺公園プール	108,661	61.3
平均			69,410	50



○「D.施設の魅力②屋内」と「屋外利用者数」の相関関係のグラフ化

i) 図表V-47で算出した「D.施設の魅力②屋内」の評価点から10施設の平均を算出した。

ii) i)で算出した平均と、それぞれの施設の「D.施設の魅力②屋内」の評価点のばらつきに応じて各施設の偏差値を算出した。

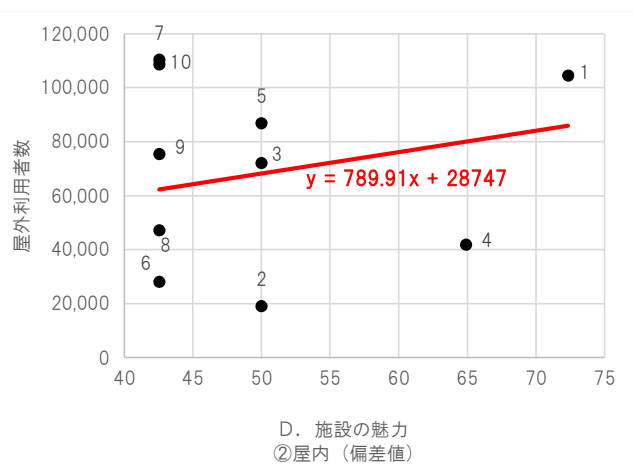
【図表V-53】「D.施設の魅力②屋内」の偏差値

D. 施設の魅力 ②屋内			評価点 (点)	偏差値
類型	No.	施設名称		
屋内外併設	1	西河原市民プール	4	72.4
	2	五十鈴市民プール	1	50.0
	3	片山市民プール	1	50.0
	4	高槻市市民プール	3	64.9
	5	長居公園プール	1	50.0
屋外のみ	6	中条市民プール	0	42.5
	7	服部緑地ウォーターランド	0	42.5
	8	北千里市民プール	0	42.5
	9	王仁公園プール	0	42.5
	10	浜寺公園プール	0	42.5
平均			1.0	50

iii) 「屋外利用者数」とii)で算出した「D.施設の魅力②屋内」の偏差値をグラフ化し、グラフの傾き「790」を算出した。

【図表V-54】「屋外利用者数」と「D.施設の魅力②屋内」の相関関係

類型	No.	施設名称	年間利用者数 (H29年度)	偏差値
			屋外利用者数 (人)	D. 施設の魅力 ②屋内
屋内外併設	1	西河原市民プール	104,551	72.4
	2	五十鈴市民プール	19,097	50.0
	3	片山市民プール	72,095	50.0
	4	高槻市市民プール	41,817	64.9
	5	長居公園プール	86,892	50.0
屋外のみ	6	中条市民プール	28,050	42.5
	7	服部緑地ウォーターランド	110,392	42.5
	8	北千里市民プール	47,116	42.5
	9	王仁公園プール	75,433	42.5
	10	浜寺公園プール	108,661	42.5
平均			69,410	50



○「D.施設の魅力④駅前拠点からの距離」と「屋外利用者数」の相関関係のグラフ化

- i) 図表V-47で算出した「D.施設の魅力④駅前拠点からの距離」の評価点から10施設の平均を算出した。
- ii) i)で算出した平均と、それぞれの施設の「D.施設の魅力④駅前拠点からの距離」の評価点のばらつきに応じて各施設の偏差値を算出した。

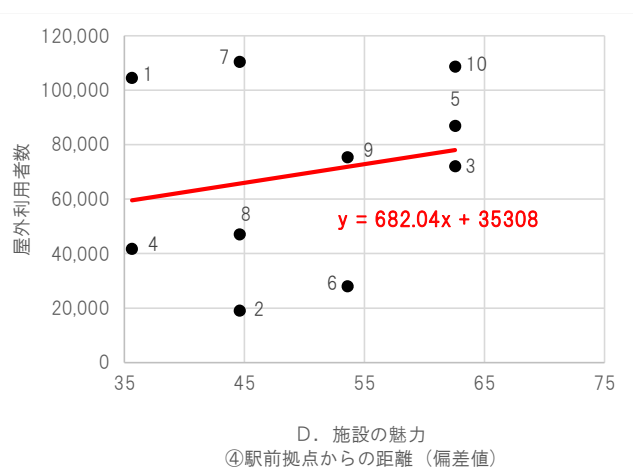
【図表V-55】「D.施設の魅力④駅前拠点からの距離」の偏差値

D. 施設の魅力 ④駅前拠点からの距離			評価点 (点)	偏差値
類型	No.	施設名称		
屋内 外併 設	1	西河原市民プール	0	35.6
	2	五十鈴市民プール	1	44.6
	3	片山市民プール	3	62.6
	4	高槻市市民プール	0	35.6
	5	長居公園プール	3	62.6
屋外 のみ	6	中条市民プール	2	53.6
	7	服部緑地ウォーターランド	1	44.6
	8	北千里市民プール	1	44.6
	9	王仁公園プール	2	53.6
	10	浜寺公園プール	3	62.6
平均			1.6	50

- iii) 「屋外利用者数」とii)で算出した「D.施設の魅力④駅前拠点からの距離」の偏差値をグラフ化し、グラフの傾き「682」を算出した。

【図表V-56】「屋外利用者数」と「D.施設の魅力④駅前拠点からの距離」の相関関係

類型	No.	施設名称	年間利用者数 (H29年度)	偏差値
			屋外利用者数 (人)	D. 施設の魅力 ④駅前拠点からの 距離
屋内 外併 設	1	西河原市民プール	104,551	35.6
	2	五十鈴市民プール	19,097	44.6
	3	片山市民プール	72,095	62.6
	4	高槻市市民プール	41,817	35.6
	5	長居公園プール	86,892	62.6
屋外 のみ	6	中条市民プール	28,050	53.6
	7	服部緑地ウォーターランド	110,392	44.6
	8	北千里市民プール	47,116	44.6
	9	王仁公園プール	75,433	53.6
	10	浜寺公園プール	108,661	62.6
平均			69,410	50



○「D.施設の魅力⑤付帯設備等」と「屋外利用者数」の相関関係のグラフ化

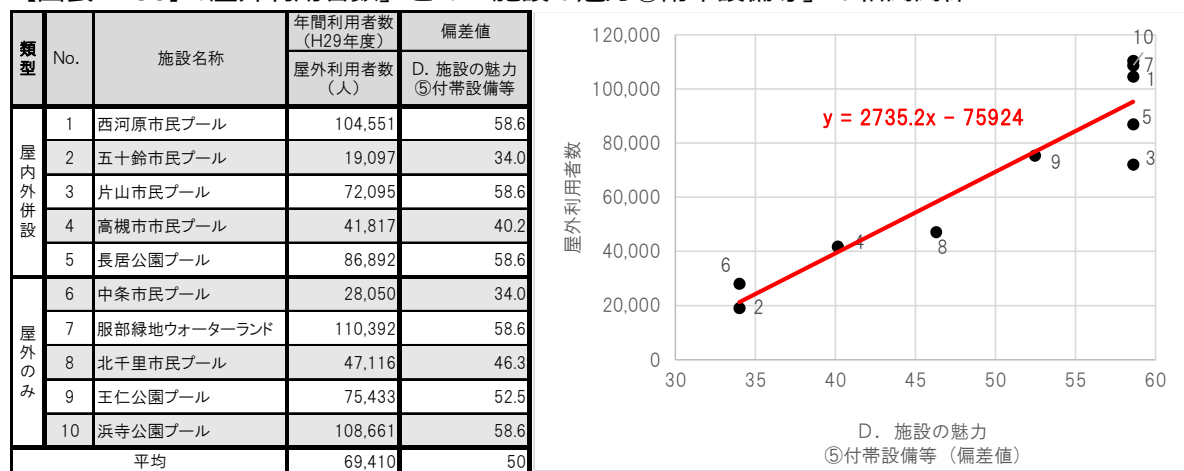
- i) 図表V-47で算出した「D.施設の魅力⑤付帯設備等」の評価点から10施設の平均を算出した。
- ii) i)で算出した平均と、それぞれの施設の「D.施設の魅力⑤付帯設備等」の評価点のばらつきに応じて各施設の偏差値を算出した。

【図表V-57】「D.施設の魅力⑤付帯設備等」の偏差値

D. 施設の魅力 ⑤付帯設備等			評価点 (点)	偏差値
類型	No.	施設名称		
屋内 外併 設	1	西河原市民プール	5	58.6
	2	五十鈴市民プール	1	34.0
	3	片山市民プール	5	58.6
	4	高槻市市民プール	2	40.2
	5	長居公園プール	5	58.6
屋外 のみ	6	中条市民プール	1	34.0
	7	服部緑地ウォーターランド	5	58.6
	8	北千里市民プール	3	46.3
	9	王仁公園プール	4	52.5
	10	浜寺公園プール	5	58.6
平均			3.6	50

- iii) 「屋外利用者数」とii)で算出した「D.施設の魅力⑤付帯設備等」の偏差値をグラフ化し、グラフの傾き「2735」を算出した。

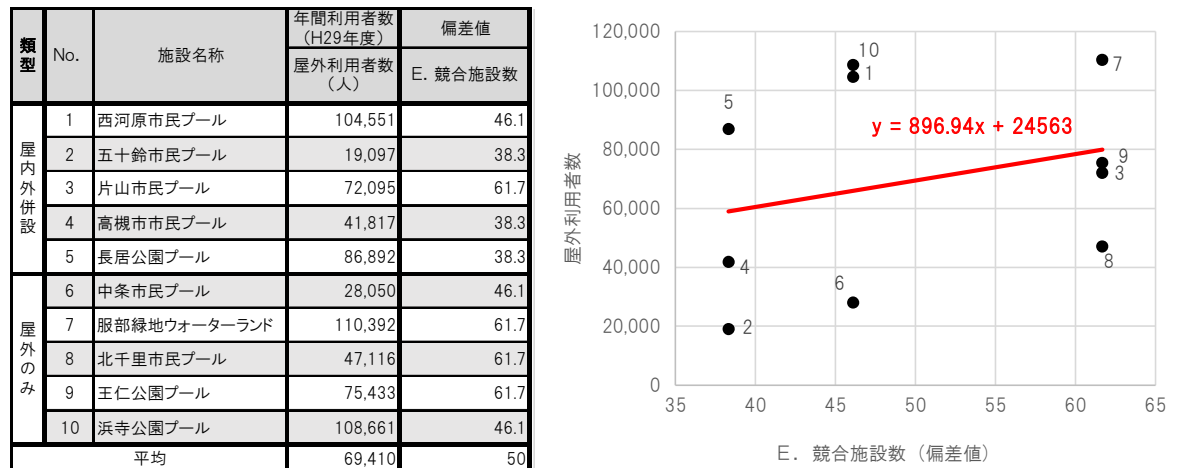
【図表V-58】「屋外利用者数」と「D.施設の魅力⑤付帯設備等」の相関関係



○「E.競合施設数」と「屋外利用者数」の相関関係のグラフ化

「屋外利用者数」と「E.競合施設数」の偏差値をグラフ化し、グラフの傾き「897」を算出した。

【図表V-59】「屋外利用者数」と「E.競合施設数」の相関関係



<寄与倍率算出の手順2>

寄与倍率算出の手順1で算出した各条件・要素と屋外利用者数とのグラフの傾きを整理し、「A.周辺人口」を「10」として、グラフの傾きの比率により、寄与倍率を算出した。

【図表V-60】屋外プール施設事例における寄与倍率の設定

条件・項目	A. 周辺人口	B. 利用料金	C. 駐車台数	D. 施設の魅力				E. 競合施設数
				①	②	④	⑤	
				屋外	屋内	駅前拠点からの距離	附帯設備等	
相関関係	相関	相関なし	非常に強い相関	非常に強い相関	相関	相関	非常に強い相関	相関
グラフの傾き	946	-2,558	2,483	3,080	790	682	2,735	897
寄与倍率 (比率)	10	—	26	33	8	7	29	9

2. 3. 試算モデルの検証

(1) 試算モデルによる年間利用者数試算値の算出

前項までに算出した条件・要素の評価点と寄与倍率について、図表V-62 のとおり整理した。

○手順1

- ・(4) 定量的な条件・要素の評価点の算出、及び、(5) 定性的な条件・要素の評価点の算出で求めた各施設の【評価点】に(6) 各条件・要素の寄与倍率の算出で求めた【寄与倍率】を乗算し、【寄与倍率を加味した評価点】を算出する。

例) 中条市民プールにおける「A. 周辺人口」の【寄与倍率を加味した評価点】の算出

$$\begin{aligned} \text{式:} & (\text{「A. 周辺人口」の評価点:3}) \times (\text{「A. 周辺人口」の寄与倍率:10}) \\ & = 3 \times 10 = 30 \end{aligned}$$

○手順2

- ・各条件・要素の【寄与倍率を加味した評価点】を合計し、施設ごとの【寄与倍率を加味した評価点の合計】を算出する。

例) 中条市民プールにおける【寄与倍率を加味した評価点の合計】の算出

$$\begin{aligned} \text{式:} & (\text{「A. 周辺人口」の【寄与倍率を加味した評価点:30】}) \\ & + (\text{「B. 利用料金①定価」の【寄与倍率を加味した評価点:0】}) \\ & + (\text{「C. 駐車台数」の【寄与倍率を加味した評価点:0】}) \\ & + (\text{「D. 施設の魅力①屋外」の【寄与倍率を加味した評価点:33】}) \\ & + (\text{「D. 施設の魅力②屋内」の【寄与倍率を加味した評価点:0】}) \\ & + (\text{「D. 施設の魅力④駅前拠点からの距離」の【寄与倍率を加味した評価点:14】}) \\ & + (\text{「D. 施設の魅力⑤附帯設備等」の【寄与倍率を加味した評価点:29】}) \\ & + (\text{「E. 競合施設数」の【寄与倍率を加味した評価点:27】}) \\ & = 30 + 0 + 0 + 33 + 0 + 14 + 29 + 27 = 133 \end{aligned}$$

○手順3

- ・施設ごとの【年間利用者数「屋外」】を【寄与倍率を加味した評価点の合計】で除算し、【寄与倍率を加味した評価点1点あたりの利用者数】を算出する。

例) 中条市民プールにおける【寄与倍率を加味した評価点1点あたりの利用者数】の算出

$$\begin{aligned} \text{式:} & (\text{【年間利用者数「屋外」:28,050】}) \div (\text{【寄与倍率を加味した評価点の合計:133】}) \\ & = 28,050 \div 133 = 210.90 \end{aligned}$$

○手順4

- ・屋外プール施設事例 10 施設の【寄与倍率を加味した評価点 1 点あたりの利用者数】から【寄与倍率を加味した評価点 1 点あたりの利用者数の平均】を算出する。

例) 【寄与倍率を加味した評価点 1 点あたりの利用者数の平均】の算出

$$\begin{aligned} & \text{式: } \{ (\text{西河原市民プールの【寄与倍率を加味した評価点 1 点あたりの利用者数: 219.18】}) \\ & \quad + (\text{五十鈴市民プールの【寄与倍率を加味した評価点 1 点あたりの利用者数: 152.78】}) \\ & \quad + (\text{片山プールの【寄与倍率を加味した評価点 1 点あたりの利用者数: 206.58】}) \\ & \quad + (\text{高槻市市民プールの【寄与倍率を加味した評価点 1 点あたりの利用者数: 173.51】}) \\ & \quad + (\text{長居公園プールの【寄与倍率を加味した評価点 1 点あたりの利用者数: 181.78】}) \\ & \quad + (\text{中条市民プールの【寄与倍率を加味した評価点 1 点あたりの利用者数: 210.90】}) \\ & \quad + (\text{服部緑地ウォーターランドの【寄与倍率を加味した評価点 1 点あたりの利用者数: 211.07】}) \\ & \quad + (\text{北千里市民プールの【寄与倍率を加味した評価点 1 点あたりの利用者数: 189.22】}) \\ & \quad + (\text{王仁公園プールの【寄与倍率を加味した評価点 1 点あたりの利用者数: 190.49】}) \\ & \quad + (\text{浜寺公園プールの【寄与倍率を加味した評価点 1 点あたりの利用者数: 213.90】}) \} \\ & \quad \div (10 \text{ 施設}) \\ & = (219.18 + 152.78 + 206.58 + 173.51 + 181.78 + 210.90 + 211.07 + 189.22 + 190.49 + 213.90) \\ & \quad \div 10 = 194.94 \end{aligned}$$

○手順5

- ・施設ごとの【寄与倍率を加味した評価点の合計】に【寄与倍率を加味した評価点 1 点あたりの利用者数の平均】を乗算し、【屋外の利用者数試算値】を算出する。

例) 中条市民プールにおける【屋外の利用者数試算値】の算出

$$\begin{aligned} & \text{式: } (\text{【寄与倍率を加味した評価点の合計: 133】}) \\ & \quad \times (\text{【寄与倍率を加味した評価点 1 点あたりの利用者数の平均: 194.94】}) \\ & = 133 \times 194.94 = 25,927 \end{aligned}$$

（２）試算モデルの検証結果

（１）で求めた屋外の年間利用者数試算値と屋外の年間利用者数実績の誤差を算出し、試算モデルの検証を行う。

○手順 6

- ・施設ごとの【年間利用者数「屋外」】を【屋外の利用者数試算値】で除算し、【屋外の年間利用者数実績と屋外の利用者数試算値の誤差】を算出する（図表 V-61）。

例）中条市民プールにおける【屋外の年間利用者数実績と屋外の利用者数試算値の誤差】の算出

$$\begin{aligned} & \text{式：} (【年間利用者数「屋外」の合計：28,050】) \div (【屋外の利用者数試算値：25,927】) \\ & = 28,050 \div 25,927 = 1.08 = 108(\%) \end{aligned}$$

【図表 V-61】屋外の年間利用者数実績と屋外の利用者数試算値、及びその誤差

類型	No.	施設名称	屋外の年間利用者数実績 (人)	屋外の利用者数試算値 (人)	屋外の年間利用者数実績と 屋外の利用者数試算値の 誤差 (%)
		計算式	①	②	①÷②
屋内外併設	1	西河原市民プール	104,551	92,986	112%
	2	五十鈴市民プール	19,097	24,368	78%
	3	片山市民プール	72,095	68,034	106%
	4	高槻市市民プール	41,817	46,981	89%
	5	長居公園プール	86,892	93,181	93%
屋外のみ	6	中条市民プール	28,050	25,927	108%
	7	服部緑地ウォーターランド	110,392	101,954	108%
	8	北千里市民プール	47,116	48,540	97%
	9	王仁公園プール	75,433	77,196	98%
	10	浜寺公園プール	108,661	99,030	110%

○結果

以上、手順 1～6 より、【屋外の年間利用者数実績と屋外の利用者数試算値の誤差】が 10%程度に収まる（五十鈴市民プールを除く（※））ため、試算モデルの信頼性が一定あるといえる。

- ※ 五十鈴市民プールだけが、【屋外の年間利用者数実績と屋外の利用者数試算値の誤差】が 10%程度に収まっていないが、その理由は、「E.競合施設数」の調査対象とした 5km 圏外ではあるが、約 6km の距離に「ひらかたパーク」が競合しており、その影響をうけ、【年間利用者実績】が少なかったためと考えられる。

なお、五十鈴市民プール以外に「ひらかたパーク」が競合しているのは高槻市市民プールであるが、高槻市市民プールと「ひらかたパーク」は 5 km 圏内であり、その影響はすでに試算の中に反映されているため、【屋外の年間利用者数実績と屋外の利用者数試算値の誤差】は 10%程度に収まっている。

【図表V-62】屋外プール施設事例における評価点と寄与倍率の整理

条件・要素			(H29年度)年間利用者数（人）	評価点（点）								
記号			利用者数	A	B	C	D				E	い
小項目			④	周辺人口	利用料金	駐車台数	施設の魅力				競合施設数	合計
			屋外				①	②	④	⑤		
							屋外	屋内	駅前拠点 からの距離	附帯設備等		
類型	No.	施設名称 計算式									A+B+C+D+E	
屋内外併設	1	西河原市民プール	104,551	3	2	3	5	4	0	5	3	25
	2	五十鈴市民プール	19,097	3	4	0	1	1	1	1	2	13
	3	片山市民プール	72,095	4	4	0	3	1	3	5	4	24
	4	高槻市市民プール	41,817	3	3	3	1	3	0	2	2	17
	5	長居公園プール	86,892	5	2	4	4	1	3	5	2	26
屋外のみ	6	中条市民プール	28,050	3	4	0	1	0	2	1	3	14
	7	服部緑地ウォーターランド	110,392	4	1	5	5	0	1	5	4	25
	8	北千里市民プール	47,116	2	4	0	3	0	1	3	4	17
	9	王仁公園プール	75,433	2	2	3	4	0	2	4	4	21
	10	浜寺公園プール	108,661	2	2	5	5	0	3	5	3	25
寄与倍率			—	10	—	26	33	8	7	29	9	—

【図表V-63】屋外プール施設事例における利用者数試算値

条件・要素			(H29年度)年間利用者数（人）	寄与倍率を加味した評価点（点）										各施設の利用者数試算値			
記号			利用者数	A	B	C	D				E	い	ろ		は	に	
小項目			④	周辺人口	利用料金	駐車台数	施設の魅力				競合施設数	合計	寄与倍率を加味した評価点 1点あたりの利用者数		屋外の 利用者数試算値 （人）	（実績）/ （利用者数試算値） （％）	
			屋外				屋内	駅前拠点 からの距離	④	⑤			①	②			
													実数 （人/点）	平均 （人/点）			
類型	No.	施設名称	計算式	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率				評価点 × 寄与倍率	A+B+ C+D+E	利用者数④ ÷ （い）	（ろ）①の合計 ÷ 10	（い）×（ろ）②	利用者数④ ÷ （は）	
屋内外併設	1	西河原市民プール		104,551	30	0	78	165	32	0	145	27	477	219.18	194.94	92,986	112%
	2	五十鈴市民プール		19,097	30	0	0	33	8	7	29	18	125	152.78		24,368	78%
	3	片山市民プール		72,095	40	0	0	99	8	21	145	36	349	206.58		68,034	106%
	4	高槻市市民プール		41,817	30	0	78	33	24	0	58	18	241	173.51		46,981	89%
	5	長居公園プール		86,892	50	0	104	132	8	21	145	18	478	181.78		93,181	93%
屋外のみ	6	中条市民プール		28,050	30	0	0	33	0	14	29	27	133	210.90		25,927	108%
	7	服部緑地ウォーターランド		110,392	40	0	130	165	0	7	145	36	523	211.07		101,954	108%
	8	北千里市民プール		47,116	20	0	0	99	0	7	87	36	249	189.22		48,540	97%
	9	王仁公園プール		75,433	20	0	78	132	0	14	116	36	396	190.49		77,196	98%
	10	浜寺公園プール		108,661	20	0	130	165	0	21	145	27	508	213.90		99,030	110%

3. 箕面市プール整備地での利用者数試算値の算出

項番1.「屋内プール施設事例における利用者数の試算モデル化」及び、項番2.「屋外プール施設事例における利用者数の試算モデル化」で検証した、評価点・寄与倍率の考え方で立地条件等から年間利用者数を試算するモデルは一定の信頼性があることが確認できた。この考え方にもとづき、箕面市プール整備地での年間利用者数を試算する。

箕面市プール整備地の年間利用者数を想定する際に重要となる条件・要素（「A.周辺人口」「B.利用料金」「C.駐車台数」「D.施設の魅力」「E.競合施設数」）を設定する必要がある。なお、「A.周辺人口」、「D.施設の魅力④駅前拠点からの距離」、「E.競合施設数」は箕面市プール整備地の立地条件から自ずと決定されるので、年間利用者数を試算するうえで設定する条件・要素は、「B.利用料金」、「C.駐車台数」、「D.施設の魅力①屋外、②屋内、③教室、⑤附帯設備等」の条件・要素となる。

よって、「A.周辺人口」、「D.施設の魅力④駅前拠点からの距離」、「E.競合施設数」については、箕面市プール整備地の立地条件を調査したデータを採用する、それ以外の条件・要素については、試算モデルを数パターン設定し、年間利用者数の試算を行うこととする。

【図表 V-64】 年間利用者数を想定する際に重要となる条件・要素の設定

条件・要素		調査内容	条件・要素の設定
A.周辺人口	①2km圏域	施設を中心に描いた半径2kmの円の内部に居住している人口	プール整備地の立地条件から自ずと決定
	②5km圏域	施設を中心に描いた半径5kmの円の内部に居住している人口	
B.利用料金	①定価(大人・小人)	利用料金の定価	試算モデルにより数パターン設定
	②割引制度等	割引・減免制度の内容	試算モデルにより数パターン設定
C.駐車台数	駐車台数	駐車台数	試算モデルにより数パターン設定
D.施設の魅力	①屋外	屋外プールの整備内容とその面積	試算モデルにより数パターン設定
	②屋内	屋内プールの整備内容	試算モデルにより数パターン設定
	③教室	教室プログラムの実施状況・教室利用者数	試算モデルにより数パターン設定
	④駅前拠点からの距離	最寄駅から施設への移動時間(徒歩)	プール整備地の立地条件から自ずと決定
	⑤附帯設備等	施設の附帯設備や周辺施設	試算モデルにより数パターン設定
E.競合施設数	①屋内外併設	各施設の半径5km圏内における屋内外併設のプール施設数	プール整備地の立地条件から自ずと決定
	②屋内のみ	各施設の半径5km圏内における屋内のみのプール施設数	
	③屋外のみ	各施設の半径5km圏内における屋外のみのプール施設数	

3. 1. 箕面市プール整備地により決定される条件・要素の整理

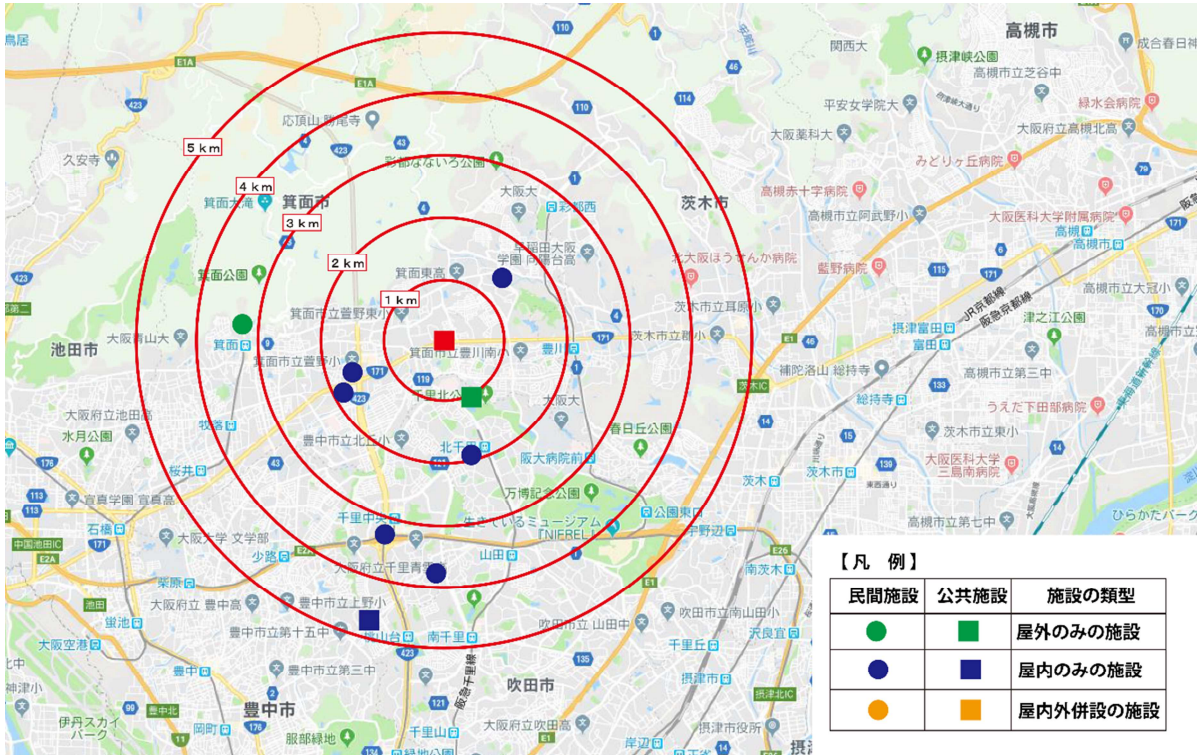
箕面市プール整備地である「第二総合運動場調整池・西の池」における「A.周辺人口」、「D.施設の魅力④駅前拠点からの距離」及び「E.競合施設数」について、前項1. 1.「立地条件の整理」と同様の調査方法で整理した。

「A.周辺人口」は、箕面市プール整備地を中心とした半径2 km、5 km圏域の人口を調査した。「D.施設の魅力④駅前拠点からの距離」は、現在整備が進められている箕面萱野駅を最寄駅として、インターネット上で施設までの距離により移動時間を算出した。「E.競合施設数」は、箕面市プール整備地を中心とした半径5 kmの円内において、インターネット上で「プール」、「水泳」または「スイミング」の検索で示される施設数を調査した。

【図表V-65】箕面市プール整備地の立地条件等の整理

条件・要素	A. 周辺人口 (人)		D. 施設の魅力 (点)	E. 競合施設数 (件)		
小項目	2km 圏域	5km 圏域	④	①	②	③
			駅前拠点からの距離	屋内外 併設	屋内 のみ	屋外 のみ
箕面市プール整備地	66,416	369,707	最寄駅から徒歩約19分 (箕面萱野駅)	0	7	2

【図表V-66】箕面市プール整備地の競合施設の分布図

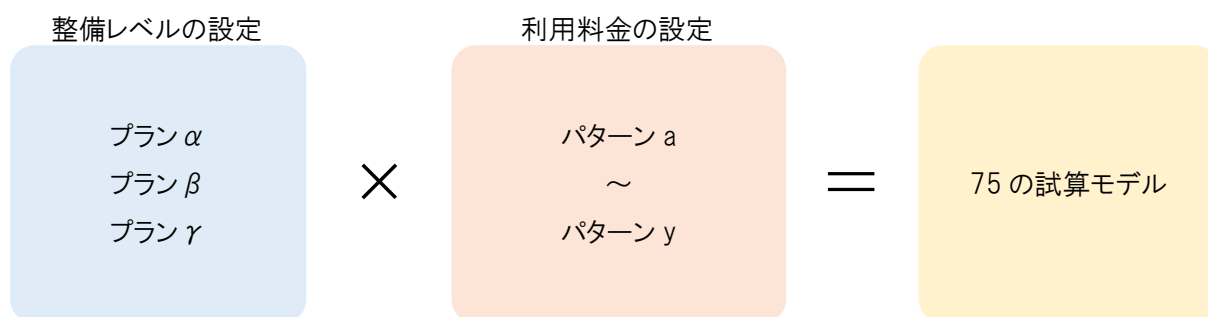


3. 2. 整備レベルごとの評価点設定

「B.利用料金」・「C.駐車台数」・「D.施設の魅力」を前項でまとめた施設事例の情報をもとに、整備レベルを設定する。

整備レベル設定の際、駐車台数や屋内外のプールの整備内容、附帯設備等の施設の整備内容と割引制度や教室プログラムの施設運営のサービス内容について、比較的高レベルの条件・要素をそなえるものをプラン α 、比較的低レベルの条件・要素をそなえるものをプラン γ 、中程度のレベルのものをプラン β と設定した。また、利用料金の定価の違う複数パターンを設定し、各プラン内での料金の多寡に応じた利用者数と収支の変化を比較し、箕面市プール整備地での収支の試算を行う。

【図表 V-67】 試算モデルの設定イメージ



(1) 整備レベルに応じたプランの設定について

「施設の整備内容と施設運営のサービス内容」の具体的な条件・要素を設定する。ただし、敷地面積が約 8,300 m²、高さ制限が 12mの箕面市プール整備地では、「駐車台数を 1,000 台整備」や「大きな公園の整備」などの現実的でない条件・要素は採用しないものとする。

<プラン α ：比較的高レベルの条件・要素をそなえる施設>

(屋内の利用者数試算にかかる条件・要素)

- ・「B.利用料金②割引制度等」は、「2 時間/回の料金とし、1 時間で退場した場合は、次回 1 時間無料券の配布を行う」、「高齢者・障害者割引・回数券」の制度とする（豊島・二ノ切事例【評価点 5】）。
- ・「D.施設の魅力③教室」は、58,319 人規模の教室プログラムを実施する（【評価点 4】の教室利用者数の平均）。
- ・「D.施設の魅力⑤附帯設備等」は、「体育館、トレーニングルーム、グラウンド、

スタジオ、テニスコート」とする（箕面市プール整備地の周辺機能を考慮【評価点5】）。

（屋外の利用者数試算にかかる条件・要素）

- ・「C.駐車台数」は、「250台（立体駐車場：3F）」とする（西河原事例【評価点3】）。
- ・「D.施設の魅力①屋外」は、「流水プール、スライダー、リバーライド、幼児プール（滑り台つき）」とする（西河原事例を参考【評価点5】）。
- ・「D.施設の魅力②屋内」は、「25mプール、リラクゼーションプール、ジェットプール、スリーピングプール、幼児用プール、スライダー」とする（西河原事例【評価点4】）
- ・「D.施設の魅力⑤附帯設備等」は、「体育館、トレーニングルーム・スタジオ、グラウンド、軽食・喫茶、ビオトープ」とする（箕面市プール整備地の周辺機能を考慮【評価点5】）。

<プランβ：中程度レベルの条件・要素をそなえる施設>

（屋内の利用者数試算にかかる条件・要素）

- ・「B.利用料金②割引制度等」は、「市内在住の満3歳から小学校就学の始期に達するまでの幼児とその付添者及び小学生並びに中学生が、第二土曜日の午前11時30分までに使用する場合は無料。及び閉館1時間前の利用は半額」、「高齢者・障害者割引・回数券」の制度とする（川西事例【評価点2】）。
- ・「D.施設の魅力③教室」は、34,498人規模の教室プログラムを実施する（西河原事例【評価点3】）。
- ・「D.施設の魅力⑤附帯設備等」は、「体育館、トレーニングルーム、グラウンド」とする（箕面市プール整備地の周辺機能を考慮【評価点3】）。

（屋外の利用者数試算にかかる条件・要素）

- ・「C.駐車台数」は、「80台（平面）」とする（豊島・二ノ切事例【評価点2】）。
- ・「D.施設の魅力①屋外」は、「スライダー（小）、流水プール（小）」とする（参考事例なし【評価点3】）。
- ・「D.施設の魅力②屋内」は、「25mプール、ジャグジー、幼児用プール、滑り台」とする（高槻事例【評価点3】）。
- ・「D.施設の魅力⑤附帯設備等」は、「体育館、トレーニングルーム・スタジオ、グラウンド」とする（箕面市プール整備地の周辺機能を考慮【評価点3】）。

＜プランγ：比較的低レベルの条件・要素をそなえる施設＞

（屋内の利用者数試算にかかる条件・要素）

- ・「B.利用料金②割引制度等」は、「高齢者・障害者割引・回数券」の制度とする（片山事例【評価点1】）。
- ・「D.施設の魅力③教室」は、15,512人規模の教室プログラムを実施する（川西事例【評価点1】）。
- ・「D.施設の魅力⑤附帯設備等」は、「体育館、トレーニングルーム、グラウンド」とする（箕面市プール整備地の周辺機能を考慮【評価点3】）。

（屋外の利用者数試算にかかる条件・要素）

- ・「C.駐車台数」は、「30台（平面）」とする（番田・摂津事例【評価点1】）。
- ・「D.施設の魅力①屋外」は、「25mプール」とする（参考事例なし【評価点1】）。
- ・「D.施設の魅力②屋内」は、「25mプール、幼児用プール」とする（五十鈴事例【評価点1】）。
- ・「D.施設の魅力⑤附帯設備等」は、「体育館、トレーニングルーム・スタジオ、グラウンド」とする（箕面市プール整備地の周辺機能を考慮【評価点3】）。

【図表V-68】整備レベルに応じた各プランの設定内容

設定プラン	A. 周辺人口 (人)		B. 利用料金 ①(円)・②(点)				C. 駐車台数 (台)	D. 施設の魅力 (点)						E. 競合施設数 (件)				
	①	②	①		②		台数	①	②	③	④	⑤(屋内)	⑤(屋外)	屋内		屋外		
	2km 圏域	5km 圏域	定価(屋内)		定価(屋外)			割引制度等(屋内のみ)	屋外	屋内	教室	駅前拠点 からの距離	附帯設備等	附帯設備等	①	②	①	③
			大人	小人	大人	小人									屋内外 併設	屋内 のみ	屋内外 併設	屋外 のみ
プランα	66,416	369,707	—	—	—	—	250台 (立体駐車場3F)	流水プール スライダー リバーライド 幼児プール (滑り台つき)	25mプール リラクゼーションプール ジェットプール スリーピングプール 幼児用プール スライダー	58,319人規模 (五十鈴、豊島、 二ノ切、摂津市民 の教室利用者の 平均より)	最寄駅から 徒歩約19分 (箕面萱野駅)	体育館① トレーニングルーム① グラウンド① スタジオ① テニスコート①	体育館① トレーニングルーム・スタ ジオ① グラウンド① 軽食・喫茶① ピオトープ①	0	7	0	2	
プランβ	66,416	369,707	—	—	—	—	80台 (平面)	スライダー(小) 流水プール(小)	25mプール ジャグジー 幼児用プール (滑り台つき)	34,498人規模 (西河原より)	最寄駅から 徒歩約19分 (箕面萱野駅)	体育館① トレーニングルーム① グラウンド①	体育館① トレーニングルーム・スタ ジオ① グラウンド①	0	7	0	2	
プランγ	66,416	369,707	—	—	—	—	30台	25mプール	25mプール 幼児用プール	15,512人規模 (川西市民より)	最寄駅から 徒歩約19分 (箕面萱野駅)	体育館① トレーニングルーム① グラウンド①	体育館① トレーニングルーム① グラウンド①	0	7	0	2	
備考	整備地より固定		図表2-71にて設定				文字の右の数字は 評価点の配点を示す				整備地より固定		文字の右の数字は評価 点の配点を示す	整備地より固定				

※青のハッチは屋内の利用者数試算値算出にかかる項目として内容を設定

※緑のハッチは屋外の利用者数試算値算出にかかる項目として内容を設定

【表 2-69】整備レベルに応じた各プランの設定内容における評価点

設定プラン	A. 周辺人口 (人)	評価点（点）													
		B. 利用料金			C. 駐車台数	D. 施設の魅力						E. 競合施設数			
		①		②	台数	①	②	③	④	⑤(屋内)	⑤(屋外)	屋内		屋外	
		屋内	屋外	割引制度等(屋内のみ)		屋外	屋内	教室	駅前拠点 からの距離	附帯設備等	附帯設備等	①	②	①	③
												屋内外 併設	屋内 のみ	屋内外 併設	屋外 のみ
プランα	1	—	—	5	3	5	4	4	1	5	5	5		3	
プランβ	1	—	—	2	3	3	3	3	1	3	3	5		3	
プランγ	1	—	—	1	1	1	1	1	1	3	3	5		3	

※青のハッチは屋内の利用者数試算値算出にかかる項目として内容を設定

※緑のハッチは屋外の利用者数試算値算出にかかる項目として内容を設定

(2) 利用料金の設定について

次に具体的な「B.利用料金（定価）」を設定する。その際、屋内の「B.利用料金（定価）」の評価点1～5点と屋外の「B.利用料金（定価）」の評価点1～5点の組み合わせである25パターンで設定した。

項番1. 2.「利用者数試算値の算出」の＜「B. 利用料金①定価」の評価点の算出方法＞では、近隣各施設の利用料金にばらつきが生じている。この場合、偏差値を使うことで平均からのばらつきを定量的かつ公平に判断することができるため、各施設ごとに利用料金の偏差値を算出し、その偏差値に対し図表V-13のとおり評価点を算出した。ここで、各評価点となる「B.利用料金（定価）」の偏差値の基準には幅があるが、各評価点における平均的な利用料金により収入を試算できるよう、各評価点における偏差値の中央値に値する利用料金を採用することとし、これを偏差値から逆算して算出した。

例えば、偏差値45～55は「評価点3」になるため、利用料金700円（偏差値47.8）も利用料金600円（偏差値50.6）も、ともに「評価点3」となる。「評価点3」の中央値から試算する利用料金を逆算することで、利用料金、利用者数及び収支の試算の整合性をとることができる。「評価点3」から逆算される利用料金は620円であり、いわば、700円と600円の代表値として620円が決定されることになる。

なお、「評価点4」・「評価点3」・「評価点2」の偏差値の中央値が60・50・40と偏差値10ごとで区分されていることから、評価点5点の偏差値を70、評価点1点の偏差値を30とした。

つまり、屋内及び屋外の「B.利用料金（定価）」で設定する偏差値は「70【評価点5】」「60【評価点4】」「50【評価点3】」「40【評価点2】」「30【評価点1】」とし、それぞれの「B.利用料金（定価）」は図表V-70のとおりとなる。また、評価点5点の屋外の「B.利用料金（定価）」はマイナスとなるため、0円とする。なお、小人料金は大人料金の半額とし、10円未満は切り捨てとした。

【図表V-13】偏差値による評価点の設定基準（再掲）

基準	評価点(点)
65≤(偏差値)	5
55≤(偏差値)<65	4
45≤(偏差値)<55	3
35≤(偏差値)<45	2
(偏差値)<35	1

【図表 V-70】 偏差値の中央値に値する「B.利用料金（定価）」の設定

B.利用料金(定価)							
屋内				屋外			
評価点 (点)	偏差値の 中央値	大人 (円)	小人 (円)	評価点 (点)	偏差値の 中央値	大人 (円)	小人 (円)
5	70	260	130	5	70	0	0
4	60	440	220	4	60	310	150
3	50	620	310	3	50	640	320
2	40	800	400	2	40	970	480
1	30	980	490	1	30	1300	650

また、屋内の「B.利用料金（定価）」の評価点 1～5 点と屋外の「B.利用料金（定価）」の評価点 1～5 点の組み合わせは図表 V-71 のとおりの 25 パターンとなる。

【図表 V-71】 屋内及び屋外の「B.利用料金（定価）」の設定

利用料金(円)						
利用料金の 組み合わせ パターン	屋内			屋外		
	定価 (大人)	定価 (小人)	評価点	定価 (大人)	定価 (小人)	評価点
a	260	130	5	0	0	5
b	260	130	5	310	150	4
c	260	130	5	640	320	3
d	260	130	5	970	480	2
e	260	130	5	1300	650	1
f	440	220	4	0	0	5
g	440	220	4	310	150	4
h	440	220	4	640	320	3
i	440	220	4	970	480	2
j	440	220	4	1300	650	1
k	620	310	3	0	0	5
l	620	310	3	310	150	4
m	620	310	3	640	320	3
n	620	310	3	970	480	2
o	620	310	3	1300	650	1
p	800	400	2	0	0	5
q	800	400	2	310	150	4
r	800	400	2	640	320	3
s	800	400	2	970	480	2
t	800	400	2	1300	650	1
u	980	490	1	0	0	5
v	980	490	1	310	150	4
w	980	490	1	640	320	3
x	980	490	1	970	480	2
y	980	490	1	1300	650	1

3. 3. 屋内の利用者数試算値の算出

項番 1. 3. 「試算モデルの検証」で検証した試算モデルで屋内の利用者数試算値を算出した。

【図表V-72】試算モデルにおける屋内の評価点と寄与倍率の整理（プランα）

条件・要素	評価点（点）									
記号	A	B		C	D				E	い
小項目	周辺人口	利用料金		駐車台数	施設の魅力				競合施設数	合計
		①	②		②	③	④	⑤		
		定価	割引制度等		屋内	教室	駅前拠点からの距離	附帯設備等		
利用料金の 組み合わせパターン	計算式									A+B+ C+D+E
a	1	5	5	—	—	4	1	5	5	26
b	1	5	5	—	—	4	1	5	5	26
c	1	5	5	—	—	4	1	5	5	26
d	1	5	5	—	—	4	1	5	5	26
e	1	5	5	—	—	4	1	5	5	26
f	1	4	5	—	—	4	1	5	5	25
g	1	4	5	—	—	4	1	5	5	25
h	1	4	5	—	—	4	1	5	5	25
i	1	4	5	—	—	4	1	5	5	25
j	1	4	5	—	—	4	1	5	5	25
k	1	3	5	—	—	4	1	5	5	24
l	1	3	5	—	—	4	1	5	5	24
m	1	3	5	—	—	4	1	5	5	24
n	1	3	5	—	—	4	1	5	5	24
o	1	3	5	—	—	4	1	5	5	24
p	1	2	5	—	—	4	1	5	5	23
q	1	2	5	—	—	4	1	5	5	23
r	1	2	5	—	—	4	1	5	5	23
s	1	2	5	—	—	4	1	5	5	23
t	1	2	5	—	—	4	1	5	5	23
u	1	1	5	—	—	4	1	5	5	22
v	1	1	5	—	—	4	1	5	5	22
w	1	1	5	—	—	4	1	5	5	22
x	1	1	5	—	—	4	1	5	5	22
y	1	1	5	—	—	4	1	5	5	22
寄与倍率	22	10	25	—	—	14	23	10	—	—

【図表V-73】試算モデルにおける屋内の利用者数試算値（プランα）

条件・要素	寄与倍率を加味した評価点（点）										利用者数試算値	
記号	A	B		C	D				E	い	ろ	は
小項目	周辺人口	利用料金		駐車台数	施設の魅力				競合施設数	合計	寄与倍率を加味した評価点 1点あたりの利用者数	屋内の 利用者数試算値 （人）
		①	②		②	③	④	⑤				
		定価	割引制度等		屋内	教室	駅前拠点からの距離	附帯設備等			平均（人/点）	
計算式 利用料金の 組み合わせパターン	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率				評価点 × 寄与倍率	A+B+ C+D+E	図表V-39より	（い）×（ろ）
a	22	50	125	0	0	56	23	50	0	326	416.69	135,841
b	22	50	125	0	0	56	23	50	0	326	416.69	135,841
c	22	50	125	0	0	56	23	50	0	326	416.69	135,841
d	22	50	125	0	0	56	23	50	0	326	416.69	135,841
e	22	50	125	0	0	56	23	50	0	326	416.69	135,841
f	22	40	125	0	0	56	23	50	0	316	416.69	131,674
g	22	40	125	0	0	56	23	50	0	316	416.69	131,674
h	22	40	125	0	0	56	23	50	0	316	416.69	131,674
i	22	40	125	0	0	56	23	50	0	316	416.69	131,674
j	22	40	125	0	0	56	23	50	0	316	416.69	131,674
k	22	30	125	0	0	56	23	50	0	306	416.69	127,507
l	22	30	125	0	0	56	23	50	0	306	416.69	127,507
m	22	30	125	0	0	56	23	50	0	306	416.69	127,507
n	22	30	125	0	0	56	23	50	0	306	416.69	127,507
o	22	30	125	0	0	56	23	50	0	306	416.69	127,507
p	22	20	125	0	0	56	23	50	0	296	416.69	123,340
q	22	20	125	0	0	56	23	50	0	296	416.69	123,340
r	22	20	125	0	0	56	23	50	0	296	416.69	123,340
s	22	20	125	0	0	56	23	50	0	296	416.69	123,340
t	22	20	125	0	0	56	23	50	0	296	416.69	123,340
u	22	10	125	0	0	56	23	50	0	286	416.69	119,173
v	22	10	125	0	0	56	23	50	0	286	416.69	119,173
w	22	10	125	0	0	56	23	50	0	286	416.69	119,173
x	22	10	125	0	0	56	23	50	0	286	416.69	119,173
y	22	10	125	0	0	56	23	50	0	286	416.69	119,173

【図表V-74】試算モデルにおける屋内の評価点と寄与倍率の整理（プランβ）

条件・要素	評価点（点）									
記号	A	B		C	D				E	い
小項目	周辺人口	利用料金		駐車台数	施設の魅力				競合施設数	合計
		①	②		②	③	④	⑤		
		定価	割引制度等		屋内	教室	駅前拠点からの距離	附帯設備等		
利用料金の 組み合わせパターン	計算式									A+B+ C+D+E
a	1	5	2	—	—	3	1	3	5	20
b	1	5	2	—	—	3	1	3	5	20
c	1	5	2	—	—	3	1	3	5	20
d	1	5	2	—	—	3	1	3	5	20
e	1	5	2	—	—	3	1	3	5	20
f	1	4	2	—	—	3	1	3	5	19
g	1	4	2	—	—	3	1	3	5	19
h	1	4	2	—	—	3	1	3	5	19
i	1	4	2	—	—	3	1	3	5	19
j	1	4	2	—	—	3	1	3	5	19
k	1	3	2	—	—	3	1	3	5	18
l	1	3	2	—	—	3	1	3	5	18
m	1	3	2	—	—	3	1	3	5	18
n	1	3	2	—	—	3	1	3	5	18
o	1	3	2	—	—	3	1	3	5	18
p	1	2	2	—	—	3	1	3	5	17
q	1	2	2	—	—	3	1	3	5	17
r	1	2	2	—	—	3	1	3	5	17
s	1	2	2	—	—	3	1	3	5	17
t	1	2	2	—	—	3	1	3	5	17
u	1	1	2	—	—	3	1	3	5	16
v	1	1	2	—	—	3	1	3	5	16
w	1	1	2	—	—	3	1	3	5	16
x	1	1	2	—	—	3	1	3	5	16
y	1	1	2	—	—	3	1	3	5	16
寄与倍率	22	10	25	—	—	14	23	10	—	—

【図表V-75】試算モデルにおける屋内の利用者数試算値（プランβ）

条件・要素	寄与倍率を加味した評価点（点）										利用者数試算値	
記号	A	B		C	D				E	い	ろ	は
小項目	周辺人口	利用料金		駐車台数	施設の魅力				競合施設数	合計	寄与倍率を加味した評価点 1点あたりの利用者数	屋内の 利用者数試算値 （人）
		①	②		②	③	④	⑤				
		定価	割引制度等		屋内	教室	駅前拠点からの距離	附帯設備等			平均（人／点）	
計算式 利用料金の 組み合わせパターン	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率				評価点 × 寄与倍率	A+B+ C+D+E	図表V-39より	（い）×（ろ）
a	22	50	50	0	0	42	23	30	0	217	416.69	90,422
b	22	50	50	0	0	42	23	30	0	217	416.69	90,422
c	22	50	50	0	0	42	23	30	0	217	416.69	90,422
d	22	50	50	0	0	42	23	30	0	217	416.69	90,422
e	22	50	50	0	0	42	23	30	0	217	416.69	90,422
f	22	40	50	0	0	42	23	30	0	207	416.69	86,255
g	22	40	50	0	0	42	23	30	0	207	416.69	86,255
h	22	40	50	0	0	42	23	30	0	207	416.69	86,255
i	22	40	50	0	0	42	23	30	0	207	416.69	86,255
j	22	40	50	0	0	42	23	30	0	207	416.69	86,255
k	22	30	50	0	0	42	23	30	0	197	416.69	82,088
l	22	30	50	0	0	42	23	30	0	197	416.69	82,088
m	22	30	50	0	0	42	23	30	0	197	416.69	82,088
n	22	30	50	0	0	42	23	30	0	197	416.69	82,088
o	22	30	50	0	0	42	23	30	0	197	416.69	82,088
p	22	20	50	0	0	42	23	30	0	187	416.69	77,921
q	22	20	50	0	0	42	23	30	0	187	416.69	77,921
r	22	20	50	0	0	42	23	30	0	187	416.69	77,921
s	22	20	50	0	0	42	23	30	0	187	416.69	77,921
t	22	20	50	0	0	42	23	30	0	187	416.69	77,921
u	22	10	50	0	0	42	23	30	0	177	416.69	73,754
v	22	10	50	0	0	42	23	30	0	177	416.69	73,754
w	22	10	50	0	0	42	23	30	0	177	416.69	73,754
x	22	10	50	0	0	42	23	30	0	177	416.69	73,754
y	22	10	50	0	0	42	23	30	0	177	416.69	73,754

【図表V-76】試算モデルにおける屋内の評価点と寄与倍率の整理（プラン*r*）

条件・要素	評価点（点）									
記号	A	B		C	D				E	い
小項目	周辺人口	利用料金		駐車台数	施設の魅力				競合施設数	合計
		①	②		②	③	④	⑤		
		定価	割引制度等		屋内	教室	駅前拠点からの距離	附帯設備等		
利用料金の 組み合わせパターン	計算式									A+B+ C+D+E
a	1	5	1	—	—	1	1	3	5	17
b	1	5	1	—	—	1	1	3	5	17
c	1	5	1	—	—	1	1	3	5	17
d	1	5	1	—	—	1	1	3	5	17
e	1	5	1	—	—	1	1	3	5	17
f	1	4	1	—	—	1	1	3	5	16
g	1	4	1	—	—	1	1	3	5	16
h	1	4	1	—	—	1	1	3	5	16
i	1	4	1	—	—	1	1	3	5	16
j	1	4	1	—	—	1	1	3	5	16
k	1	3	1	—	—	1	1	3	5	15
l	1	3	1	—	—	1	1	3	5	15
m	1	3	1	—	—	1	1	3	5	15
n	1	3	1	—	—	1	1	3	5	15
o	1	3	1	—	—	1	1	3	5	15
p	1	2	1	—	—	1	1	3	5	14
q	1	2	1	—	—	1	1	3	5	14
r	1	2	1	—	—	1	1	3	5	14
s	1	2	1	—	—	1	1	3	5	14
t	1	2	1	—	—	1	1	3	5	14
u	1	1	1	—	—	1	1	3	5	13
v	1	1	1	—	—	1	1	3	5	13
w	1	1	1	—	—	1	1	3	5	13
x	1	1	1	—	—	1	1	3	5	13
y	1	1	1	—	—	1	1	3	5	13
寄与倍率	22	10	25	—	—	14	23	10	—	—

【図表V-77】試算モデルにおける屋内の利用者数試算値（プランγ）

条件・要素	寄与倍率を加味した評価点（点）										利用者数試算値	
記号	A	B		C	D				E	い	ろ	は
小項目	周辺人口	利用料金		駐車台数	施設の魅力				競合施設数	合計	寄与倍率を加味した評価点 1点あたりの利用者数	屋内の 利用者数試算値 （人）
		①	②		②	③	④	⑤				
		定価	割引制度等		屋内	教室	駅前拠点からの距離	附帯設備等				
計算式 利用料金の 組み合わせパターン	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率				評価点 × 寄与倍率	A+B+ C+D+E	図表V-39より	（い）×（ろ）
a	22	50	25	0	0	14	23	30	0	164	416.69	68,337
b	22	50	25	0	0	14	23	30	0	164	416.69	68,337
c	22	50	25	0	0	14	23	30	0	164	416.69	68,337
d	22	50	25	0	0	14	23	30	0	164	416.69	68,337
e	22	50	25	0	0	14	23	30	0	164	416.69	68,337
f	22	40	25	0	0	14	23	30	0	154	416.69	64,170
g	22	40	25	0	0	14	23	30	0	154	416.69	64,170
h	22	40	25	0	0	14	23	30	0	154	416.69	64,170
i	22	40	25	0	0	14	23	30	0	154	416.69	64,170
j	22	40	25	0	0	14	23	30	0	154	416.69	64,170
k	22	30	25	0	0	14	23	30	0	144	416.69	60,003
l	22	30	25	0	0	14	23	30	0	144	416.69	60,003
m	22	30	25	0	0	14	23	30	0	144	416.69	60,003
n	22	30	25	0	0	14	23	30	0	144	416.69	60,003
o	22	30	25	0	0	14	23	30	0	144	416.69	60,003
p	22	20	25	0	0	14	23	30	0	134	416.69	55,836
q	22	20	25	0	0	14	23	30	0	134	416.69	55,836
r	22	20	25	0	0	14	23	30	0	134	416.69	55,836
s	22	20	25	0	0	14	23	30	0	134	416.69	55,836
t	22	20	25	0	0	14	23	30	0	134	416.69	55,836
u	22	10	25	0	0	14	23	30	0	124	416.69	51,670
v	22	10	25	0	0	14	23	30	0	124	416.69	51,670
w	22	10	25	0	0	14	23	30	0	124	416.69	51,670
x	22	10	25	0	0	14	23	30	0	124	416.69	51,670
y	22	10	25	0	0	14	23	30	0	124	416.69	51,670

3. 4. 屋外の利用者数試算値の算出

項番 2. 3. 「試算モデルの検証」で検証した試算モデルで屋外の利用者数試算値を算出した。

【図表 V-78】試算モデルにおける屋外の評価点と寄与倍率の整理（プランα）

条件・要素	評価点（点）								
記号	A	B	C	D				E	い
小項目	周辺人口	利用料金	駐車台数	施設の魅力				競合施設数	合計
		①		①	②	④	⑤		
		定価		屋外	屋内	駅前拠点からの距離	附帯設備等		
利用料金の 組み合わせパターン	計算式								A+B+ C+D+E
a	1	5	3	5	4	1	5	3	27
b	1	4	3	5	4	1	5	3	26
c	1	3	3	5	4	1	5	3	25
d	1	2	3	5	4	1	5	3	24
e	1	1	3	5	4	1	5	3	23
f	1	5	3	5	4	1	5	3	27
g	1	4	3	5	4	1	5	3	26
h	1	3	3	5	4	1	5	3	25
i	1	2	3	5	4	1	5	3	24
j	1	1	3	5	4	1	5	3	23
k	1	5	3	5	4	1	5	3	27
l	1	4	3	5	4	1	5	3	26
m	1	3	3	5	4	1	5	3	25
n	1	2	3	5	4	1	5	3	24
o	1	1	3	5	4	1	5	3	23
p	1	5	3	5	4	1	5	3	27
q	1	4	3	5	4	1	5	3	26
r	1	3	3	5	4	1	5	3	25
s	1	2	3	5	4	1	5	3	24
t	1	1	3	5	4	1	5	3	23
u	1	5	3	5	4	1	5	3	27
v	1	4	3	5	4	1	5	3	26
w	1	3	3	5	4	1	5	3	25
x	1	2	3	5	4	1	5	3	24
y	1	1	3	5	4	1	5	3	23
寄与倍率	10	—	26	33	8	7	29	9	—

【図表 V-79】 試算モデルにおける屋外の利用者数試算値（プラン α）

条件・要素	寄与倍率を加味した評価点（点）										利用者数試算値
記号	A	B	C	D				E	い	ろ	は
小項目	周辺人口	利用料金	駐車台数	施設の魅力				競合施設数	合計	寄与倍率を加味した評価点 1点あたりの利用者数	屋外の 利用者数試算値 （人）
		①		②	④	⑤	平均（人／点）				
		屋外		屋内	駅前拠点からの距離	附帯設備等					
計算式 利用料金の 組み合わせパターン	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率				評価点 × 寄与倍率	A+B+ C+D+E	図表V-63より	（い）×（ろ）
a	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
b	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
c	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
d	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
e	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
f	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
g	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
h	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
i	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
j	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
k	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
l	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
m	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
n	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
o	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
p	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
q	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
r	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
s	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
t	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
u	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
v	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
w	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
x	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452
y	10	0	78	165	32	7	145	27	464	194.94	90,452

【図表V-80】試算モデルにおける屋外の評価点と寄与倍率の整理（プランβ）

条件・要素	評価点（点）								
記号	A	B	C	D				E	い
小項目	周辺人口	利用料金	駐車台数	施設の魅力				競合施設数	合計
		①		①	②	④	⑤		
		定価		屋外	屋内	駅前拠点からの距離	附帯設備等		
利用料金の 組み合わせパターン	計算式								A+B+ C+D+E
a	1	5	2	3	3	1	3	3	21
b	1	4	2	3	3	1	3	3	20
c	1	3	2	3	3	1	3	3	19
d	1	2	2	3	3	1	3	3	18
e	1	1	2	3	3	1	3	3	17
f	1	5	2	3	3	1	3	3	21
g	1	4	2	3	3	1	3	3	20
h	1	3	2	3	3	1	3	3	19
i	1	2	2	3	3	1	3	3	18
j	1	1	2	3	3	1	3	3	17
k	1	5	2	3	3	1	3	3	21
l	1	4	2	3	3	1	3	3	20
m	1	3	2	3	3	1	3	3	19
n	1	2	2	3	3	1	3	3	18
o	1	1	2	3	3	1	3	3	17
p	1	5	2	3	3	1	3	3	21
q	1	4	2	3	3	1	3	3	20
r	1	3	2	3	3	1	3	3	19
s	1	2	2	3	3	1	3	3	18
t	1	1	2	3	3	1	3	3	17
u	1	5	2	3	3	1	3	3	21
v	1	4	2	3	3	1	3	3	20
w	1	3	2	3	3	1	3	3	19
x	1	2	2	3	3	1	3	3	18
y	1	1	2	3	3	1	3	3	17
寄与倍率	10	—	26	33	8	7	29	9	—

【図表 V-81】試算モデルにおける屋外の利用者数試算値（プランβ）

条件・要素	寄与倍率を加味した評価点（点）										利用者数試算値
記号	A	B	C	D				E	い	ろ	は
小項目	周辺人口	利用料金	駐車台数	施設の魅力				競合施設数	合計	寄与倍率を加味した評価点 1点あたりの利用者数	屋外の 利用者数試算値 （人）
		①		②	④	⑤	平均（人／点）				
		屋外		屋内	駅前拠点からの距離	附帯設備等					
計算式 利用料金の 組み合わせパターン	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率				評価点 × 寄与倍率	A+B+ C+D+E	図表V-63より	（い）×（ろ）
a	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
b	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
c	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
d	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
e	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
f	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
g	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
h	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
i	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
j	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
k	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
l	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
m	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
n	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
o	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
p	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
q	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
r	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
s	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
t	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
u	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
v	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
w	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
x	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652
y	10	0	52	99	24	7	87	27	306	194.94	59,652

【図表V-82】試算モデルにおける屋外の評価点と寄与倍率の整理（プランr）

条件・要素	評価点（点）								
記号	A	B	C	D				E	い
小項目	周辺人口	利用料金	駐車台数	施設の魅力				競合施設数	合計
		①		①	②	④	⑤		
		定価		屋外	屋内	駅前拠点からの距離	附帯設備等		
利用料金の 組み合わせパターン	計算式								A+B+ C+D+E
a	1	5	1	1	1	1	3	3	16
b	1	4	1	1	1	1	3	3	15
c	1	3	1	1	1	1	3	3	14
d	1	2	1	1	1	1	3	3	13
e	1	1	1	1	1	1	3	3	12
f	1	5	1	1	1	1	3	3	16
g	1	4	1	1	1	1	3	3	15
h	1	3	1	1	1	1	3	3	14
i	1	2	1	1	1	1	3	3	13
j	1	1	1	1	1	1	3	3	12
k	1	5	1	1	1	1	3	3	16
l	1	4	1	1	1	1	3	3	15
m	1	3	1	1	1	1	3	3	14
n	1	2	1	1	1	1	3	3	13
o	1	1	1	1	1	1	3	3	12
p	1	5	1	1	1	1	3	3	16
q	1	4	1	1	1	1	3	3	15
r	1	3	1	1	1	1	3	3	14
s	1	2	1	1	1	1	3	3	13
t	1	1	1	1	1	1	3	3	12
u	1	5	1	1	1	1	3	3	16
v	1	4	1	1	1	1	3	3	15
w	1	3	1	1	1	1	3	3	14
x	1	2	1	1	1	1	3	3	13
y	1	1	1	1	1	1	3	3	12
寄与倍率	10	—	26	33	8	7	29	9	—

【図表 V-83】試算モデルにおける屋外の利用者数試算値（プラン r）

条件・要素	寄与倍率を加味した評価点（点）										利用者数試算値	
記号	A	B	C	D				E	い	ろ	は	
小項目	周辺人口	利用料金	駐車台数	施設の魅力				競合施設数	合計	寄与倍率を加味した評価点 1点あたりの利用者数	屋外の 利用者数試算値 （人）	
		①		②	④		⑤			平均（人／点）		
		屋外		屋内	駅前拠点からの距離		附帯設備等					
計算式 利用料金の 組み合わせパターン	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率	評価点 × 寄与倍率				評価点 × 寄与倍率	A+B+ C+D+E	図表V-63より	（い）×（ろ）	
a	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
b	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
c	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
d	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
e	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
f	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
g	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
h	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
i	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
j	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
k	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
l	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
m	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
n	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
o	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
p	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
q	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
r	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
s	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
t	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
u	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
v	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
w	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
x	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598
y	10	0	26	33	8	7		87	27	198	194.94	38,598

3. 5. 試算モデルによる年間利用者数試算値

前述の屋内及び屋外における年間利用者数試算値を図表V-84、図表V-85、図表V-86のように整理した。

【図表V-84】試算モデルの年間利用者数試算値（プランα）

設定プラン	利用料金の 組み合わせ パターン	年間利用者数試算値（人）				
		①	②	③	④	⑤
		屋内 （一般利用）	屋内 （教室利用）	屋内計	屋外	合計
プランα	a	77,522	58,319	135,841	90,452	226,293
	b	77,522	58,319	135,841	90,452	226,293
	c	77,522	58,319	135,841	90,452	226,293
	d	77,522	58,319	135,841	90,452	226,293
	e	77,522	58,319	135,841	90,452	226,293
	f	73,355	58,319	131,674	90,452	222,126
	g	73,355	58,319	131,674	90,452	222,126
	h	73,355	58,319	131,674	90,452	222,126
	i	73,355	58,319	131,674	90,452	222,126
	j	73,355	58,319	131,674	90,452	222,126
	k	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959
	l	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959
	m	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959
	n	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959
	o	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959
	p	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792
	q	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792
	r	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792
	s	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792
	t	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792
	u	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626
	v	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626
	w	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626
	x	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626
	y	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626

【図表 V -85】 試算モデルの年間利用者数試算値（プランβ）

設定プラン	利用料金の 組み合わせ パターン	年間利用者数試算値（人）				
		①	②	③	④	⑤
		屋内 （一般利用）	屋内 （教室利用）	屋内計	屋外	合計
プランβ	a	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073
	b	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073
	c	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073
	d	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073
	e	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073
	f	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906
	g	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906
	h	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906
	i	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906
	j	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906
	k	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740
	l	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740
	m	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740
	n	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740
	o	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740
	p	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573
	q	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573
	r	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573
	s	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573
	t	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573
	u	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406
	v	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406
	w	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406
	x	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406
	y	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406

【図表 V -86】 試算モデルの年間利用者数試算値（プラン r）

設定プラン	利用料金の 組み合わせ パターン	年間利用者数試算値（人）				
		①	②	③	④	⑤
		屋内 （一般利用）	屋内 （教室利用）	屋内計	屋外	合計
プラン r	a	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935
	b	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935
	c	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935
	d	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935
	e	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935
	f	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768
	g	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768
	h	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768
	i	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768
	j	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768
	k	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601
	l	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601
	m	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601
	n	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601
	o	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601
	p	40,324	15,512	55,836	38,598	94,435
	q	40,324	15,512	55,836	38,598	94,435
	r	40,324	15,512	55,836	38,598	94,435
	s	40,324	15,512	55,836	38,598	94,435
	t	40,324	15,512	55,836	38,598	94,435
	u	36,158	15,512	51,670	38,598	90,268
	v	36,158	15,512	51,670	38,598	90,268
	w	36,158	15,512	51,670	38,598	90,268
	x	36,158	15,512	51,670	38,598	90,268
	y	36,158	15,512	51,670	38,598	90,268

4. 試算モデルの収支の試算

前項で設定した各試算モデルに対して収支の計算を行う。

本章での試算は、収入については上記で試算した利用者数試算値を適用するため、第Ⅱ章より試算の精度は向上する。一方、支出については、第Ⅱ章の数値をそのまま使わざるをえず、試算の精度が向上するものではない。今後、「全体構想・基本計画」策定の際に、収支の試算の精度を向上させる必要があることに留意されたい。

4. 1. 割引制度の利用率

プランαで設定した「B.利用料金②割引制度等」は、利用料収入を試算する際に、大きく影響を及ぼすと考えられるため、豊島温水プール、二ノ切温水プールの評価点4点に該当する下記の割引制度の利用率を豊中市へのヒアリングにて調査した。結果として、この割引制度の利用率は屋内（一般利用）の利用者数の約50%であることが明らかとなった。

【図表V-87】 割引制度の利用率

施設名	(H29)年間利用者数(人)	該当する割引制度	評価点 (配点)	利用率
	①屋内(一般利用)			
豊島温水プール	105,128	2時間/回の料金であるため、1時間で退出した場合は、次回1時間無料券が配られる。	4点	約50%
二ノ切温水プール	100,266	2時間/回の料金であるため、1時間で退出した場合は、次回1時間無料券が配られる。	4点	約50%

※該当する割引制度の利用者数は豊中市へのヒアリングによる

また、プランβで設定した「B.利用料金②割引制度等」の内容（「市内在住の満3歳から小学校就学の始期に達するまでの幼児とその付添者及び小学生並びに中学生が、第二土曜日の午前11時30分までに使用する場合は無料。及び閉館1時間前の利用は半額」）の利用率は得ることが出来なかったため、利用料収入の試算では考慮しないこととした。

4. 2. 大人と小人の利用割合

大人と小人の利用割合は、周辺施設事例の実績で明らかとなっている利用割合の平均を用いて利用料収入を試算することとした。

【図表V-88】大人と小人の利用割合

施設名	所管	利用者数(人)				利用割合			
		屋内		屋外		屋内		屋外	
		大人	小人	大人	小人	大人	小人	大人	小人
西河原市民プール	茨木市	17,020	4,305	46,344	58,207	79.8%	20.2%	44.3%	55.7%
五十鈴市民プール	茨木市	9,680	5,604	9,645	9,452	63.3%	36.7%	50.5%	49.5%
片山市民プール	吹田市	69,013	13,249	17,593	30,686	83.9%	16.1%	36.4%	63.6%
中条市民プール	茨木市	—	—	11,847	16,203	—	—	42.2%	57.8%
服部緑地ウォーターランド	大阪府	—	—	54,737	55,655	—	—	49.6%	50.4%
北千里市民プール	吹田市	—	—	21,084	26,032	—	—	44.7%	55.3%
浜寺公園プール	大阪府	—	—	43,228	48,419	—	—	47.2%	52.8%
長居公園プール	大阪市	90,079	27,907	34,434	49,618	76.3%	23.7%	41.0%	59.0%
平均						75.8%	24.2%	44.5%	55.5%

4. 3. 利用料収入の試算

図表V-88の大人と小人の利用割合を用いて、プランαの年間利用者数試算値の内訳を算出した。

なお、プランαの案では、①屋内（一般利用）の割引制度の利用率が50%のため、図表V-88の大人と小人の利用割合（75.8%：24.2%）を乗じ、屋内（一般利用）の（大人：小人）の利用割合を（37.9%：12.1%）とした。

【図表V-89】年間利用者数試算値の内訳（プランα）

プランα	年間利用者数試算値（人）					年間利用者数試算値の内訳（人）						
						①’			②	④’		⑤
						屋内（一般利用）			屋内 （教室利用） 【100%】	屋外		合計
	定価での利用		割引制度等での利用		定価での利用							
	屋内 （一般利用）	屋内 （教室利用）	③	④	⑤	大人 【37.9%】	小人 【12.1%】	無料券の使用 【50%】		大人 【44.5%】	小人 【55.5%】	
計算式 利用料金の 組み合わせパターン			①＋②		③＋④	①屋内（一般利用） ×37.9%	①屋内（一般利用） ×12.1%	①屋内（一般利用） ×50.0%	②	④屋外 ×44.5%	④屋外 ×55.5%	
a	77,522	58,319	135,841	90,452	226,293	29,399	9,362	38,761	58,319	40,249	50,204	226,293
b	77,522	58,319	135,841	90,452	226,293	29,399	9,362	38,761	58,319	40,249	50,204	226,293
c	77,522	58,319	135,841	90,452	226,293	29,399	9,362	38,761	58,319	40,249	50,204	226,293
d	77,522	58,319	135,841	90,452	226,293	29,399	9,362	38,761	58,319	40,249	50,204	226,293
e	77,522	58,319	135,841	90,452	226,293	29,399	9,362	38,761	58,319	40,249	50,204	226,293
f	73,355	58,319	131,674	90,452	222,126	27,819	8,859	36,678	58,319	40,249	50,204	222,126
g	73,355	58,319	131,674	90,452	222,126	27,819	8,859	36,678	58,319	40,249	50,204	222,126
h	73,355	58,319	131,674	90,452	222,126	27,819	8,859	36,678	58,319	40,249	50,204	222,126
i	73,355	58,319	131,674	90,452	222,126	27,819	8,859	36,678	58,319	40,249	50,204	222,126
j	73,355	58,319	131,674	90,452	222,126	27,819	8,859	36,678	58,319	40,249	50,204	222,126
k	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959	26,239	8,356	34,594	58,319	40,249	50,204	217,959
l	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959	26,239	8,356	34,594	58,319	40,249	50,204	217,959
m	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959	26,239	8,356	34,594	58,319	40,249	50,204	217,959
n	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959	26,239	8,356	34,594	58,319	40,249	50,204	217,959
o	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959	26,239	8,356	34,594	58,319	40,249	50,204	217,959
p	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792	24,658	7,852	32,511	58,319	40,249	50,204	213,792
q	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792	24,658	7,852	32,511	58,319	40,249	50,204	213,792
r	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792	24,658	7,852	32,511	58,319	40,249	50,204	213,792
s	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792	24,658	7,852	32,511	58,319	40,249	50,204	213,792
t	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792	24,658	7,852	32,511	58,319	40,249	50,204	213,792
u	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626	23,078	7,349	30,427	58,319	40,249	50,204	209,626
v	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626	23,078	7,349	30,427	58,319	40,249	50,204	209,626
w	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626	23,078	7,349	30,427	58,319	40,249	50,204	209,626
x	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626	23,078	7,349	30,427	58,319	40,249	50,204	209,626
y	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626	23,078	7,349	30,427	58,319	40,249	50,204	209,626

次に、年間利用者数試算値の内訳（人）に利用料金を乗算し、利用料収入を算出した。
 その際、②屋内（教室利用）の利用料収入は、利用料収入の実績が把握できている西河原の実績
 34,602 千円（利用者数：34,498 人）とプランαの利用者数（58,319 人）から算出する（※）。

※②屋内(教室利用)の収入の算出式
 (プランαの教室利用者数) ÷ (西河原の教室利用者数実績) × (西河原の教室利用収入)
 =58,319(人) ÷ 34,498(人) × 34,602(千円)=58,495(千円)

【図表 V-90】利用料収入の試算（プランα）

プラン α	B.利用料金①定価(円)				利用料収入(千円)						
	屋内		屋外		①'			②	④'		合計
					屋内(一般利用)				屋外		
	定価での利用		割引制度等での利用	屋内 (教室利用)	定価での利用						
	い	ろ	は		に	大人	小人	無料券の使用	大人	小人	
計算式					(年間利用者数試算値 の内訳) ×い÷1000	(年間利用者数試算値 の内訳) ×ろ÷1000	(年間利用者数試算値 の内訳) ×0(円)	※	(年間利用者数 試算値の内訳) ×は÷1000	(年間利用者数 試算値の内訳) ×に÷1000	①'+②+④'
利用料金の 組み合わせパターン											
a	260	130	0	0	7,644	1,217	0	58,495	0	0	67,356
b	260	130	310	150	7,644	1,217	0	58,495	12,477	7,531	87,363
c	260	130	640	320	7,644	1,217	0	58,495	25,759	16,065	109,180
d	260	130	970	480	7,644	1,217	0	58,495	39,041	24,098	130,494
e	260	130	1300	650	7,644	1,217	0	58,495	52,323	32,632	152,311
f	440	220	0	0	12,240	1,949	0	58,495	0	0	72,684
g	440	220	310	150	12,240	1,949	0	58,495	12,477	7,531	92,692
h	440	220	640	320	12,240	1,949	0	58,495	25,759	16,065	114,508
i	440	220	970	480	12,240	1,949	0	58,495	39,041	24,098	135,823
j	440	220	1300	650	12,240	1,949	0	58,495	52,323	32,632	157,639
k	620	310	0	0	16,268	2,590	0	58,495	0	0	77,353
l	620	310	310	150	16,268	2,590	0	58,495	12,477	7,531	97,361
m	620	310	640	320	16,268	2,590	0	58,495	25,759	16,065	119,177
n	620	310	970	480	16,268	2,590	0	58,495	39,041	24,098	140,492
o	620	310	1300	650	16,268	2,590	0	58,495	52,323	32,632	162,308
p	800	400	0	0	19,727	3,141	0	58,495	0	0	81,362
q	800	400	310	150	19,727	3,141	0	58,495	12,477	7,531	101,370
r	800	400	640	320	19,727	3,141	0	58,495	25,759	16,065	123,187
s	800	400	970	480	19,727	3,141	0	58,495	39,041	24,098	144,501
t	800	400	1300	650	19,727	3,141	0	58,495	52,323	32,632	166,318
u	980	490	0	0	22,617	3,601	0	58,495	0	0	84,712
v	980	490	310	150	22,617	3,601	0	58,495	12,477	7,531	104,720
w	980	490	640	320	22,617	3,601	0	58,495	25,759	16,065	126,537
x	980	490	970	480	22,617	3,601	0	58,495	39,041	24,098	147,851
y	980	490	1300	650	22,617	3,601	0	58,495	52,323	32,632	169,668

図表 V-88 の大人と小人の利用割合を用いて、プランβの年間利用者数試算値の内訳を算出した。

【図表 V-91】 年間利用者数試算値の内訳（プランβ）

プランβ	年間利用者数試算値（人）					年間利用者数試算値の内訳（人）						
						①'			②	④'		⑤
	屋内（一般利用）					屋内 （教室利用） 【100%】	屋外		合計			
	定価での利用		割引制度等での利用	定価での利用								
	① 屋内 （一般利用）	② 屋内 （教室利用）	③ 屋内計	④ 屋外	⑤ 合計		大人 【75.8%】	小人 【24.2%】		—	大人 【44.5%】	小人 【55.5%】
計算式			①＋②		③＋④	①屋内（一般利用） × 75.8%	①屋内（一般利用） × 24.2%		②	④屋外 × 44.5%	④屋外 × 55.5%	
利用料金の 組み合わせパターン												
a	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073	42,416	13,507	0	34,498	26,543	33,108	150,073
b	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073	42,416	13,507	0	34,498	26,543	33,108	150,073
c	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073	42,416	13,507	0	34,498	26,543	33,108	150,073
d	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073	42,416	13,507	0	34,498	26,543	33,108	150,073
e	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073	42,416	13,507	0	34,498	26,543	33,108	150,073
f	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906	39,256	12,501	0	34,498	26,543	33,108	145,906
g	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906	39,256	12,501	0	34,498	26,543	33,108	145,906
h	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906	39,256	12,501	0	34,498	26,543	33,108	145,906
i	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906	39,256	12,501	0	34,498	26,543	33,108	145,906
j	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906	39,256	12,501	0	34,498	26,543	33,108	145,906
k	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740	36,096	11,494	0	34,498	26,543	33,108	141,740
l	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740	36,096	11,494	0	34,498	26,543	33,108	141,740
m	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740	36,096	11,494	0	34,498	26,543	33,108	141,740
n	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740	36,096	11,494	0	34,498	26,543	33,108	141,740
o	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740	36,096	11,494	0	34,498	26,543	33,108	141,740
p	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573	32,935	10,488	0	34,498	26,543	33,108	137,573
q	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573	32,935	10,488	0	34,498	26,543	33,108	137,573
r	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573	32,935	10,488	0	34,498	26,543	33,108	137,573
s	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573	32,935	10,488	0	34,498	26,543	33,108	137,573
t	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573	32,935	10,488	0	34,498	26,543	33,108	137,573
u	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406	29,775	9,482	0	34,498	26,543	33,108	133,406
v	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406	29,775	9,482	0	34,498	26,543	33,108	133,406
w	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406	29,775	9,482	0	34,498	26,543	33,108	133,406
x	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406	29,775	9,482	0	34,498	26,543	33,108	133,406
y	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406	29,775	9,482	0	34,498	26,543	33,108	133,406

次に、年間利用者数試算値の内訳（人）に利用料金を乗算し、利用料収入を算出した。

その際、②屋内（教室利用）の利用料収入は、西河原の実績 34,602 千円（利用者数：34,498 人）とした（※）。

【図表 V-92】利用料収入の試算（プランβ）

プランβ	B.利用料金①定価				利用料収入(千円)						
	屋内		屋外		①'			②	④'		合計
					屋内(一般利用)				屋外		
	定価での利用		割引制度等での利用	定価での利用							
	い	ろ	は	に	大人	小人	—	屋内 (教室利用)	大人	小人	
計算式					(年間利用者数試算値 の内訳) ×い÷1000	(年間利用者数試算値 の内訳) ×ろ÷1000		※	(年間利用者数 試算値の内訳) ×は÷1000	(年間利用者数 試算値の内訳) ×に÷1000	①'+②+④'
利用料金の 組み合わせパターン											
a	260	130	0	0	11,028	1,756	0	34,602	0	0	47,386
b	260	130	310	150	11,028	1,756	0	34,602	8,228	4,966	60,581
c	260	130	640	320	11,028	1,756	0	34,602	16,988	10,595	74,969
d	260	130	970	480	11,028	1,756	0	34,602	25,747	15,892	89,025
e	260	130	1300	650	11,028	1,756	0	34,602	34,506	21,520	103,413
f	440	220	0	0	17,273	2,750	0	34,602	0	0	54,625
g	440	220	310	150	17,273	2,750	0	34,602	8,228	4,966	67,819
h	440	220	640	320	17,273	2,750	0	34,602	16,988	10,595	82,207
i	440	220	970	480	17,273	2,750	0	34,602	25,747	15,892	96,264
j	440	220	1300	650	17,273	2,750	0	34,602	34,506	21,520	110,651
k	620	310	0	0	22,379	3,563	0	34,602	0	0	60,544
l	620	310	310	150	22,379	3,563	0	34,602	8,228	4,966	73,739
m	620	310	640	320	22,379	3,563	0	34,602	16,988	10,595	88,127
n	620	310	970	480	22,379	3,563	0	34,602	25,747	15,892	102,183
o	620	310	1300	650	22,379	3,563	0	34,602	34,506	21,520	116,571
p	800	400	0	0	26,348	4,195	0	34,602	0	0	65,145
q	800	400	310	150	26,348	4,195	0	34,602	8,228	4,966	78,340
r	800	400	640	320	26,348	4,195	0	34,602	16,988	10,595	92,728
s	800	400	970	480	26,348	4,195	0	34,602	25,747	15,892	106,784
t	800	400	1300	650	26,348	4,195	0	34,602	34,506	21,520	121,172
u	980	490	0	0	29,179	4,646	0	34,602	0	0	68,427
v	980	490	310	150	29,179	4,646	0	34,602	8,228	4,966	81,622
w	980	490	640	320	29,179	4,646	0	34,602	16,988	10,595	96,009
x	980	490	970	480	29,179	4,646	0	34,602	25,747	15,892	110,066
y	980	490	1300	650	29,179	4,646	0	34,602	34,506	21,520	124,454

図表 V-88 の大人と小人の利用割合を用いて、プラン r の年間利用者数試算値の内訳を算出した。

【図表 V-93】 年間利用者数試算値の内訳（プラン r）

プラン	年間利用者数試算値（人）					年間利用者数試算値の内訳（人）						
						①'			②	④'		⑤
	① 屋内（一般利用）					② 屋内 （教室利用） 【100%】	④'		⑤ 合計			
							定価での利用			割引制度等での利用		
							大人 【75.8%】	小人 【24.2%】		—		
①	②	③	④	⑤	大人 【75.8%】	小人 【24.2%】	—	② 屋内 （教室利用） 【100%】	大人 【44.5%】	小人 【55.5%】	合計	
① 屋内 （一般利用）	② 屋内 （教室利用）	③ 屋内計	④ 屋外	⑤ 合計	大人 【75.8%】	小人 【24.2%】	—	② 屋内 （教室利用） 【100%】	大人 【44.5%】	小人 【55.5%】	合計	
計算式			①＋②		③＋④	①屋内（一般利用） × 75.8%	①屋内（一般利用） × 24.2%		②	④屋外 × 44.5%	④屋外 × 55.5%	
利用料金の 組み合わせパターン			①＋②		③＋④	①屋内（一般利用） × 75.8%	①屋内（一般利用） × 24.2%		②	④屋外 × 44.5%	④屋外 × 55.5%	
a	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935	40,066	12,759	0	15,512	17,175	21,423	106,935
b	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935	40,066	12,759	0	15,512	17,175	21,423	106,935
c	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935	40,066	12,759	0	15,512	17,175	21,423	106,935
d	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935	40,066	12,759	0	15,512	17,175	21,423	106,935
e	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935	40,066	12,759	0	15,512	17,175	21,423	106,935
f	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768	36,906	11,752	0	15,512	17,175	21,423	102,768
g	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768	36,906	11,752	0	15,512	17,175	21,423	102,768
h	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768	36,906	11,752	0	15,512	17,175	21,423	102,768
i	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768	36,906	11,752	0	15,512	17,175	21,423	102,768
j	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768	36,906	11,752	0	15,512	17,175	21,423	102,768
k	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601	33,745	10,746	0	15,512	17,175	21,423	98,601
l	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601	33,745	10,746	0	15,512	17,175	21,423	98,601
m	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601	33,745	10,746	0	15,512	17,175	21,423	98,601
n	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601	33,745	10,746	0	15,512	17,175	21,423	98,601
o	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601	33,745	10,746	0	15,512	17,175	21,423	98,601
p	40,324	15,512	55,836	38,598	94,435	30,585	9,740	0	15,512	17,175	21,423	94,435
q	40,324	15,512	55,836	38,598	94,435	30,585	9,740	0	15,512	17,175	21,423	94,435
r	40,324	15,512	55,836	38,598	94,435	30,585	9,740	0	15,512	17,175	21,423	94,435
s	40,324	15,512	55,836	38,598	94,435	30,585	9,740	0	15,512	17,175	21,423	94,435
t	40,324	15,512	55,836	38,598	94,435	30,585	9,740	0	15,512	17,175	21,423	94,435
u	36,158	15,512	51,670	38,598	90,268	27,424	8,733	0	15,512	17,175	21,423	90,268
v	36,158	15,512	51,670	38,598	90,268	27,424	8,733	0	15,512	17,175	21,423	90,268
w	36,158	15,512	51,670	38,598	90,268	27,424	8,733	0	15,512	17,175	21,423	90,268
x	36,158	15,512	51,670	38,598	90,268	27,424	8,733	0	15,512	17,175	21,423	90,268
y	36,158	15,512	51,670	38,598	90,268	27,424	8,733	0	15,512	17,175	21,423	90,268

次に、年間利用者数試算値の内訳（人）に利用料金を乗算し、利用料収入を算出した。
 その際、②屋内（教室利用）の利用料収入は、利用料収入の実績が把握できている西河原の実績
 34,602 千円（利用者数：34,498 人）とプラン ｾ の利用者数（15,512 人）から算出する（※）。

※②屋内(教室利用)の収入の算出式
 (プラン ｾ の教室利用者数) ÷ (西河原の教室利用者数実績) × (西河原の教室利用収入)
 =15,512(人) ÷ 34,498(人) × 34,602(千円)=15,559(千円)

【図表 V-94】利用料収入の試算（プラン ｾ ）

プラン ｾ	B.利用料金①定価				利用料収入(千円)						
	屋内		屋外		①'			② 屋内 (教室利用)	④'		合計
					屋内(一般利用)				屋外		
	定価での利用		割引制度等での利用	定価での利用							
	い	ろ	は	に	大人	小人	—	大人	小人		
大人	小人	大人	小人	大人	小人	—	大人	小人			
計算式 利用料金の 組み合わせパターン					(年間利用者数試算値 の内訳) ×い÷1000	(年間利用者数試算値 の内訳) ×ろ÷1000		※	(年間利用者数 試算値の内訳) ×は÷1000	(年間利用者数 試算値の内訳) ×に÷1000	①'+②+④'
a	260	130	0	0	10,417	1,659	0	15,559	0	0	27,635
b	260	130	310	150	10,417	1,659	0	15,559	5,324	3,213	36,172
c	260	130	640	320	10,417	1,659	0	15,559	10,992	6,855	45,482
d	260	130	970	480	10,417	1,659	0	15,559	16,660	10,283	54,578
e	260	130	1300	650	10,417	1,659	0	15,559	22,328	13,925	63,887
f	440	220	0	0	16,239	2,586	0	15,559	0	0	34,383
g	440	220	310	150	16,239	2,586	0	15,559	5,324	3,213	42,921
h	440	220	640	320	16,239	2,586	0	15,559	10,992	6,855	52,230
i	440	220	970	480	16,239	2,586	0	15,559	16,660	10,283	61,326
j	440	220	1300	650	16,239	2,586	0	15,559	22,328	13,925	70,635
k	620	310	0	0	20,922	3,331	0	15,559	0	0	39,812
l	620	310	310	150	20,922	3,331	0	15,559	5,324	3,213	48,350
m	620	310	640	320	20,922	3,331	0	15,559	10,992	6,855	57,660
n	620	310	970	480	20,922	3,331	0	15,559	16,660	10,283	66,755
o	620	310	1300	650	20,922	3,331	0	15,559	22,328	13,925	76,065
p	800	400	0	0	24,468	3,896	0	15,559	0	0	43,923
q	800	400	310	150	24,468	3,896	0	15,559	5,324	3,213	52,460
r	800	400	640	320	24,468	3,896	0	15,559	10,992	6,855	61,770
s	800	400	970	480	24,468	3,896	0	15,559	16,660	10,283	70,865
t	800	400	1300	650	24,468	3,896	0	15,559	22,328	13,925	80,175
u	980	490	0	0	26,876	4,279	0	15,559	0	0	46,714
v	980	490	310	150	26,876	4,279	0	15,559	5,324	3,213	55,252
w	980	490	640	320	26,876	4,279	0	15,559	10,992	6,855	64,561
x	980	490	970	480	26,876	4,279	0	15,559	16,660	10,283	73,657
y	980	490	1300	650	26,876	4,279	0	15,559	22,328	13,925	82,966

4. 4. 収支の試算

試算モデルの年間利用者数試算値と収入、支出を整理し、収支を試算した。
その際、第Ⅱ章で西河原と豊島の事例から試算したD案の支出を用いた。
このD案の試算には、教室利用者数実績が含まれているため、西河原の教室利用実績
25,354（千円）を除いた支出とした（※1）。
プランαの水泳教室人件費は、実績が把握できている西河原の実績 25,354 千円
（利用者数：34,498 人）とプランαの利用者数（58,319 人）から算出する（※2）。

※1 第Ⅱ章D案の補正
（第Ⅱ章D案の支出）－（西河原の水泳教室分人件費）
＝127,870(千円)－25,354(千円)＝102,516(千円)

※2 水泳教室人件費の算出式(プランα)
（プランαの教室利用者数）÷（西河原の教室利用者数実績）×（西河原の水泳教室人件費）
＝58,319(人)÷34,498(人)×25,354(千円)＝42,861(千円)

【図表V-95】立地条件を考慮した収支の試算（プランα）

設定プラン	利用料金(円)							年間利用者数試算値（人）					収入(千円)	支出(千円)		収支差(千円)
	利用料金の 組み合わせ パターン	屋内			屋外			①	②	③	④	⑤	利用料収入	「第二次中間報告」D案 (※1)	水泳教室人件費 (※2)	
		定価 (大人)	定価 (小人)	評価点	定価 (大人)	定価 (小人)	評価点	屋内 (一般利用)	屋内 (教室利用)	屋内計	屋外	合計				
プランα	a	260	130	5	0	0	5	77,522	58,319	135,841	90,452	226,293	67,356	102,516	42,861	-78,021
	b	260	130	5	310	150	4	77,522	58,319	135,841	90,452	226,293	87,363	102,516	42,861	-58,014
	c	260	130	5	640	320	3	77,522	58,319	135,841	90,452	226,293	109,180	102,516	42,861	-36,197
	d	260	130	5	970	480	2	77,522	58,319	135,841	90,452	226,293	130,494	102,516	42,861	-14,883
	e	260	130	5	1300	650	1	77,522	58,319	135,841	90,452	226,293	152,311	102,516	42,861	6,934
	f	440	220	4	0	0	5	73,355	58,319	131,674	90,452	222,126	72,684	102,516	42,861	-72,693
	g	440	220	4	310	150	4	73,355	58,319	131,674	90,452	222,126	92,692	102,516	42,861	-52,685
	h	440	220	4	640	320	3	73,355	58,319	131,674	90,452	222,126	114,508	102,516	42,861	-30,869
	i	440	220	4	970	480	2	73,355	58,319	131,674	90,452	222,126	135,823	102,516	42,861	-9,554
	j	440	220	4	1300	650	1	73,355	58,319	131,674	90,452	222,126	157,639	102,516	42,861	12,262
	k	620	310	3	0	0	5	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959	77,353	102,516	42,861	-68,024
	l	620	310	3	310	150	4	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959	97,361	102,516	42,861	-48,017
	m	620	310	3	640	320	3	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959	119,177	102,516	42,861	-26,200
	n	620	310	3	970	480	2	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959	140,492	102,516	42,861	-4,885
	o	620	310	3	1300	650	1	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959	162,308	102,516	42,861	16,931
	p	800	400	2	0	0	5	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792	81,362	102,516	42,861	-64,015
	q	800	400	2	310	150	4	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792	101,370	102,516	42,861	-44,007
	r	800	400	2	640	320	3	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792	123,187	102,516	42,861	-22,190
	s	800	400	2	970	480	2	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792	144,501	102,516	42,861	-876
	t	800	400	2	1300	650	1	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792	166,318	102,516	42,861	20,941
	u	980	490	1	0	0	5	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626	84,712	102,516	42,861	-60,665
	v	980	490	1	310	150	4	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626	104,720	102,516	42,861	-40,657
	w	980	490	1	640	320	3	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626	126,537	102,516	42,861	-18,840
	x	980	490	1	970	480	2	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626	147,851	102,516	42,861	2,474
	y	980	490	1	1300	650	1	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626	169,668	102,516	42,861	24,291

試算モデルの年間利用者数試算値と収入、支出を整理し、収支を試算した。

その際、第Ⅱ章で西河原と豊島の事例から試算したD案の支出を用いた。

このD案の試算には、教室利用者数実績が含まれているため、西河原の教室利用実績
25,354（千円）を除いた支出とした（※）。

プランβの水泳教室人件費は、実績が把握できている西河原の実績 25,354 千円とした。

※第Ⅱ章D案の補正

（第Ⅱ章D案の支出）－（西河原の水泳教室分人件費）
＝127,870(千円)－25,354(千円)＝102,516(千円)

【図表V-96】立地条件を考慮した収支の試算（プランβ）

設定プラン	利用料金(円)							年間利用者数試算値（人）					収入(千円)	支出(千円)		収支差(千円)
	利用料金の 組み合わせ パターン	屋内			屋外			①	②	③	④	⑤	利用料収入	「第二次中間報告」D案 (※1)	水泳教室人件費	
		定価 (大人)	定価 (小人)	評価点	定価 (大人)	定価 (小人)	評価点	屋内 (一般利用)	屋内 (教室利用)	屋内計	屋外	合計				
プランβ	a	260	130	5	0	0	5	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073	47,386	102,516	25,354	-80,484
	b	260	130	5	310	150	4	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073	60,581	102,516	25,354	-67,289
	c	260	130	5	640	320	3	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073	74,969	102,516	25,354	-52,901
	d	260	130	5	970	480	2	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073	89,025	102,516	25,354	-38,845
	e	260	130	5	1300	650	1	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073	103,413	102,516	25,354	-24,457
	f	440	220	4	0	0	5	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906	54,625	102,516	25,354	-73,245
	g	440	220	4	310	150	4	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906	67,819	102,516	25,354	-60,051
	h	440	220	4	640	320	3	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906	82,207	102,516	25,354	-45,663
	i	440	220	4	970	480	2	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906	96,264	102,516	25,354	-31,606
	j	440	220	4	1300	650	1	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906	110,651	102,516	25,354	-17,219
	k	620	310	3	0	0	5	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740	60,544	102,516	25,354	-67,326
	l	620	310	3	310	150	4	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740	73,739	102,516	25,354	-54,131
	m	620	310	3	640	320	3	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740	88,127	102,516	25,354	-39,743
	n	620	310	3	970	480	2	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740	102,183	102,516	25,354	-25,687
	o	620	310	3	1300	650	1	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740	116,571	102,516	25,354	-11,299
	p	800	400	2	0	0	5	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573	65,145	102,516	25,354	-62,725
	q	800	400	2	310	150	4	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573	78,340	102,516	25,354	-49,530
	r	800	400	2	640	320	3	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573	92,728	102,516	25,354	-35,142
	s	800	400	2	970	480	2	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573	106,784	102,516	25,354	-21,086
	t	800	400	2	1300	650	1	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573	121,172	102,516	25,354	-6,698
	u	980	490	1	0	0	5	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406	68,427	102,516	25,354	-59,443
	v	980	490	1	310	150	4	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406	81,622	102,516	25,354	-46,248
	w	980	490	1	640	320	3	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406	96,009	102,516	25,354	-31,861
	x	980	490	1	970	480	2	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406	110,066	102,516	25,354	-17,804
	y	980	490	1	1300	650	1	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406	124,454	102,516	25,354	-3,416

試算モデルの年間利用者数試算値と収入、支出を整理し、収支を試算した。

その際、第Ⅱ章で西河原と豊島の事例から試算したD案の支出を用いた。

このD案の試算には、教室利用者数実績が含まれているため、西河原の教室利用実績25,354（千円）を除いた支出とした（※1）。

プランrの水泳教室人件費は、実績が把握できている西河原の実績25,354千円（利用者数：34,498人）とプランrの利用者数（15,512人）から算出する（※2）。

※1 第Ⅱ章D案の補正
（第Ⅱ章D案の支出）－（西河原の水泳教室分人件費）
＝127,870(千円)－25,354(千円)＝102,516(千円)

※2 水泳教室人件費の算出式(プランr)
（プランrの教室利用者数）÷（西河原の教室利用者数実績）×（西河原の水泳教室人件費）
＝15,512(人)÷34,498(人)×25,354(千円)＝11,400(千円)

【図表V-97】立地条件を考慮した収支の試算（プランr）

設定プラン	利用料金(円)							年間利用者数試算値（人）					収入(千円)	支出(千円)		収支差(千円)
	利用料金の 組み合わせ パターン	屋内			利用料金(円)			①	②	③	④	⑤	利用料収入	「第二次中間報告」D案 (※1)	水泳教室人件費 (※2)	
		定価 (大人)	定価 (小人)	評価点	定価 (大人)	定価 (小人)	評価点	屋内 (一般利用)	屋内 (教室利用)	屋内計	屋外	合計				
プラン A	a	260	130	5	0	0	5	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935	27,635	102,516	11,400	-86,282
	b	260	130	5	310	150	4	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935	36,172	102,516	11,400	-77,744
	c	260	130	5	640	320	3	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935	45,482	102,516	11,400	-68,434
	d	260	130	5	970	480	2	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935	54,578	102,516	11,400	-59,339
	e	260	130	5	1300	650	1	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935	63,887	102,516	11,400	-50,029
	f	440	220	4	0	0	5	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768	34,383	102,516	11,400	-79,534
	g	440	220	4	310	150	4	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768	42,921	102,516	11,400	-70,996
	h	440	220	4	640	320	3	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768	52,230	102,516	11,400	-61,686
	i	440	220	4	970	480	2	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768	61,326	102,516	11,400	-52,591
	j	440	220	4	1300	650	1	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768	70,635	102,516	11,400	-43,281
	k	620	310	3	0	0	5	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601	39,812	102,516	11,400	-74,104
	l	620	310	3	310	150	4	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601	48,350	102,516	11,400	-65,567
	m	620	310	3	640	320	3	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601	57,660	102,516	11,400	-56,257
	n	620	310	3	970	480	2	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601	66,755	102,516	11,400	-47,161
	o	620	310	3	1300	650	1	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601	76,065	102,516	11,400	-37,852
	p	800	400	2	0	0	5	40,324	15,512	55,836	38,598	94,435	43,923	102,516	11,400	-69,994
	q	800	400	2	310	150	4	40,324	15,512	55,836	38,598	94,435	52,460	102,516	11,400	-61,456
	r	800	400	2	640	320	3	40,324	15,512	55,836	38,598	94,435	61,770	102,516	11,400	-52,146
	s	800	400	2	970	480	2	40,324	15,512	55,836	38,598	94,435	70,865	102,516	11,400	-43,051
	t	800	400	2	1300	650	1	40,324	15,512	55,836	38,598	94,435	80,175	102,516	11,400	-33,741
	u	980	490	1	0	0	5	36,158	15,512	51,670	38,598	90,268	46,714	102,516	11,400	-67,202
	v	980	490	1	310	150	4	36,158	15,512	51,670	38,598	90,268	55,252	102,516	11,400	-58,665
	w	980	490	1	640	320	3	36,158	15,512	51,670	38,598	90,268	64,561	102,516	11,400	-49,355
	x	980	490	1	970	480	2	36,158	15,512	51,670	38,598	90,268	73,657	102,516	11,400	-40,260
	y	980	490	1	1300	650	1	36,158	15,512	51,670	38,598	90,268	82,966	102,516	11,400	-30,950

4. 5. 現実的な試算モデルの抽出

まず、全てのプランにおいて、屋外の利用料金が0円となるのは非現実的であるため、屋外の【評価点5】を含むパターンは除くこととする。

プランαの試算モデルは、整備レベルが比較的高いため、あまりにも低い利用料金は非現実的である。よって、屋内の【評価点4・5】、屋外の【評価点4】を含むパターンは除くこととする。

プランγの試算モデルは、整備レベルが比較的低いため、あまりにも高い利用料金は、非現実的である。よって、屋内の【評価点1・2】、屋外の【評価点1・2】を含むパターンは除くこととする。

プランβの試算モデルは、整備レベルが中程度であるため、利用料金に比較的幅をもたせることが可能であることから、全パターンを採用することとする。

以上のとおり、各プランで設定した整備レベルを踏まえ、非現実的な利用料金の組み合わせパターン（図表V-98でハッチをかけた利用料金の組み合わせパターン）は、除くこととする。

【図表V-98】立地条件を考慮した収支の試算（プランα～プランγ）

設定プラン	利用料金(円)						年間利用者数試算値（人）					収入(千円)	支出(千円)		収支差(千円)	
	利用料金の 組み合わせ パターン	屋内			屋外			①	②	③	④	⑤	利用料収入	「第二次中間報告」D案 (※1)		水泳教室人件費 (※2)
		定価 (大人)	定価 (小人)	評価点	定価 (大人)	定価 (小人)	評価点	屋内 (一般利用)	屋内 (教室利用)	屋内計	屋外	合計				
プランα	a	260	130	5	0	0	5	77,522	58,319	135,841	90,452	226,293	67,356	102,516	42,861	-78,021
	b	260	130	5	310	150	4	77,522	58,319	135,841	90,452	226,293	87,363	102,516	42,861	-58,014
	c	260	130	5	640	320	3	77,522	58,319	135,841	90,452	226,293	109,180	102,516	42,861	-36,197
	d	260	130	5	970	480	2	77,522	58,319	135,841	90,452	226,293	130,494	102,516	42,861	-14,883
	e	260	130	5	1300	650	1	77,522	58,319	135,841	90,452	226,293	152,311	102,516	42,861	6,934
	f	440	220	4	0	0	5	73,355	58,319	131,674	90,452	222,126	72,684	102,516	42,861	-72,693
	g	440	220	4	310	150	4	73,355	58,319	131,674	90,452	222,126	92,692	102,516	42,861	-52,685
	h	440	220	4	640	320	3	73,355	58,319	131,674	90,452	222,126	114,508	102,516	42,861	-30,869
	i	440	220	4	970	480	2	73,355	58,319	131,674	90,452	222,126	135,823	102,516	42,861	-9,554
	j	440	220	4	1300	650	1	73,355	58,319	131,674	90,452	222,126	157,639	102,516	42,861	12,262
	k	620	310	3	0	0	5	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959	77,353	102,516	42,861	-68,024
	l	620	310	3	310	150	4	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959	97,361	102,516	42,861	-48,017
	m	620	310	3	640	320	3	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959	119,177	102,516	42,861	-26,200
	n	620	310	3	970	480	2	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959	140,492	102,516	42,861	-4,885
	o	620	310	3	1300	650	1	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959	162,308	102,516	42,861	16,931
	p	800	400	2	0	0	5	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792	81,362	102,516	42,861	-64,015
	q	800	400	2	310	150	4	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792	101,370	102,516	42,861	-44,007
	r	800	400	2	640	320	3	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792	123,187	102,516	42,861	-22,190
	s	800	400	2	970	480	2	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792	144,501	102,516	42,861	-876
	t	800	400	2	1300	650	1	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792	166,318	102,516	42,861	20,941
プランβ	u	980	490	1	0	0	5	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626	84,712	102,516	42,861	-60,665
	v	980	490	1	310	150	4	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626	104,720	102,516	42,861	-40,657
	w	980	490	1	640	320	3	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626	126,537	102,516	42,861	-18,840
	x	980	490	1	970	480	2	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626	147,851	102,516	42,861	2,474
	y	980	490	1	1300	650	1	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626	169,668	102,516	42,861	24,291
	a	260	130	5	0	0	5	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073	47,386	102,516	25,354	-80,484
	b	260	130	5	310	150	4	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073	60,581	102,516	25,354	-67,289
	c	260	130	5	640	320	3	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073	74,969	102,516	25,354	-52,901
	d	260	130	5	970	480	2	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073	89,025	102,516	25,354	-38,845
	e	260	130	5	1300	650	1	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073	103,413	102,516	25,354	-24,457
	f	440	220	4	0	0	5	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906	54,625	102,516	25,354	-73,245
	g	440	220	4	310	150	4	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906	67,819	102,516	25,354	-60,051
	h	440	220	4	640	320	3	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906	82,207	102,516	25,354	-45,663
	i	440	220	4	970	480	2	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906	96,264	102,516	25,354	-31,606
	j	440	220	4	1300	650	1	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906	110,651	102,516	25,354	-17,219
	k	620	310	3	0	0	5	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740	60,544	102,516	25,354	-67,326
	l	620	310	3	310	150	4	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740	73,739	102,516	25,354	-54,131
	m	620	310	3	640	320	3	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740	88,127	102,516	25,354	-39,743
	n	620	310	3	970	480	2	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740	102,183	102,516	25,354	-25,687
	o	620	310	3	1300	650	1	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740	116,571	102,516	25,354	-11,299
プランγ	p	800	400	2	0	0	5	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573	65,145	102,516	25,354	-62,725
	q	800	400	2	310	150	4	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573	78,340	102,516	25,354	-49,530
	r	800	400	2	640	320	3	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573	92,728	102,516	25,354	-35,142
	s	800	400	2	970	480	2	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573	106,784	102,516	25,354	-21,086
	t	800	400	2	1300	650	1	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573	121,172	102,516	25,354	-6,698
	u	980	490	1	0	0	5	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406	68,427	102,516	25,354	-59,443
	v	980	490	1	310	150	4	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406	81,622	102,516	25,354	-46,248
	w	980	490	1	640	320	3	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406	96,009	102,516	25,354	-31,861
	x	980	490	1	970	480	2	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406	110,066	102,516	25,354	-17,804
	y	980	490	1	1300	650	1	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406	124,454	102,516	25,354	-3,416
	a	260	130	5	0	0	5	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935	27,635	102,516	11,400	-86,282
	b	260	130	5	310	150	4	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935	36,172	102,516	11,400	-77,744
	c	260	130	5	640	320	3	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935	45,482	102,516	11,400	-68,434
	d	260	130	5	970	480	2	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935	54,578	102,516	11,400	-59,339
	e	260	130	5	1300	650	1	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935	63,887	102,516	11,400	-50,029
	f	440	220	4	0	0	5	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768	34,383	102,516	11,400	-79,534
	g	440	220	4	310	150	4	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768	42,921	102,516	11,400	-70,996
	h	440	220	4	640	320	3	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768	52,230	102,516	11,400	-61,686
	i	440	220	4	970	480	2	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768	61,326	102,516	11,400	-52,591
	j	440	220	4	1300	650	1	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768	70,635	102,516	11,400	-43,281
k	620	310	3	0	0	5	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601	39,812	102,516	11,400	-74,104	
l	620	310	3	310	150	4	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601	48,350	102,516	11,400	-65,567	
m	620	310	3	640	320	3	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601	57,660	102,516	11,400	-56,257	
n	620	310	3	970	480	2	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601	66,755	102,516	11,400	-47,161	
o	620	310	3	1300	650	1	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601	76,065	102,516	11,400	-37,852	
p	800	400	2	0	0	5	40,324	15,512	55,836	38,598	94,435	43,923	102,516	11,400	-69,994	
q	800	400	2													

現実的な試算モデルは図表Ⅴ-99 のとおりである。

【図表Ⅴ-99】 現実的な試算モデルの抽出

設定プラン	利用料金(円)							年間利用者数試算値 (人)					収入(千円)	支出(千円)		収支差(千円)
	利用料金の 組み合わせ パターン	屋内			屋外			①	②	③	④	⑤	利用料収入	「第二次中間報告」D案 (※1)	水泳教室人件費 (※2)	
		定価 (大人)	定価 (小人)	評価点	定価 (大人)	定価 (小人)	評価点	屋内 (一般利用)	屋内 (教室利用)	屋内計	屋外	合計				
プラン α	m	620	310	3	640	320	3	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959	119,177	102,516	42,861	-26,200
	n	620	310	3	970	480	2	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959	140,492	102,516	42,861	-4,885
	o	620	310	3	1300	650	1	69,188	58,319	127,507	90,452	217,959	162,308	102,516	42,861	16,931
	r	800	400	2	640	320	3	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792	123,187	102,516	42,861	-22,190
	s	800	400	2	970	480	2	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792	144,501	102,516	42,861	-876
	t	800	400	2	1300	650	1	65,021	58,319	123,340	90,452	213,792	166,318	102,516	42,861	20,941
	w	980	490	1	640	320	3	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626	126,537	102,516	42,861	-18,840
	x	980	490	1	970	480	2	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626	147,851	102,516	42,861	2,474
	y	980	490	1	1300	650	1	60,854	58,319	119,173	90,452	209,626	169,668	102,516	42,861	24,291
プラン β	b	260	130	5	310	150	4	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073	60,581	102,516	25,354	-67,289
	c	260	130	5	640	320	3	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073	74,969	102,516	25,354	-52,901
	d	260	130	5	970	480	2	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073	89,025	102,516	25,354	-38,845
	e	260	130	5	1300	650	1	55,924	34,498	90,422	59,652	150,073	103,413	102,516	25,354	-24,457
	g	440	220	4	310	150	4	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906	67,819	102,516	25,354	-60,051
	h	440	220	4	640	320	3	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906	82,207	102,516	25,354	-45,663
	i	440	220	4	970	480	2	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906	96,264	102,516	25,354	-31,606
	j	440	220	4	1300	650	1	51,757	34,498	86,255	59,652	145,906	110,651	102,516	25,354	-17,219
	l	620	310	3	310	150	4	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740	73,739	102,516	25,354	-54,131
	m	620	310	3	640	320	3	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740	88,127	102,516	25,354	-39,743
	n	620	310	3	970	480	2	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740	102,183	102,516	25,354	-25,687
	o	620	310	3	1300	650	1	47,590	34,498	82,088	59,652	141,740	116,571	102,516	25,354	-11,299
	q	800	400	2	310	150	4	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573	78,340	102,516	25,354	-49,530
	r	800	400	2	640	320	3	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573	92,728	102,516	25,354	-35,142
	s	800	400	2	970	480	2	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573	106,784	102,516	25,354	-21,086
	t	800	400	2	1300	650	1	43,423	34,498	77,921	59,652	137,573	121,172	102,516	25,354	-6,698
	v	980	490	1	310	150	4	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406	81,622	102,516	25,354	-46,248
	w	980	490	1	640	320	3	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406	96,009	102,516	25,354	-31,861
	x	980	490	1	970	480	2	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406	110,066	102,516	25,354	-17,804
	y	980	490	1	1300	650	1	39,256	34,498	73,754	59,652	133,406	124,454	102,516	25,354	-3,416
プラン γ	b	260	130	5	310	150	4	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935	36,172	102,516	11,400	-77,744
	c	260	130	5	640	320	3	52,825	15,512	68,337	38,598	106,935	45,482	102,516	11,400	-68,434
	g	440	220	4	310	150	4	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768	42,921	102,516	11,400	-70,996
	h	440	220	4	640	320	3	48,658	15,512	64,170	38,598	102,768	52,230	102,516	11,400	-61,686
	l	620	310	3	310	150	4	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601	48,350	102,516	11,400	-65,567
	m	620	310	3	640	320	3	44,491	15,512	60,003	38,598	98,601	57,660	102,516	11,400	-56,257

プランαの場合、抽出したプランすべてで 20 万人以上の利用者数が見込まれ、また収支差は-26,200 千円から 24,291 千円となる。プランβは約 13 万 3 千人から約 15 万人の利用者数が見込まれ、収支差は-67,289 千円から-3,416 千円となる。プランγは約 9 万 8 千人から約 10 万 6 千人の利用者数が見込まれ、収支差は-77,744 千円から-56,257 千円となる。

傾向として、整備レベルが高い（プランα＞プランβ＞プランγ）ほど利用者が多くなり、収支状況も比較的良くなることがわかった。

また、どのプランにおいても、利用料金の設定によって利用者の増減、収支差に大きな影響を与えるため、利用料金の設定は慎重な検討が必要である。

本稿においては、次章で「事業手法の検討」をすすめるにあたり、整備した施設の恩恵を多くの人が受けることができ、また、利用料金の設定が中程度である"プランα・パターンm"を仮に採用するものとする。

第Ⅵ章 事業手法の検討

1. 事業手法の整理

1. 1. 事業手法の想定

本事業を実施する場合に最も効果的な事業手法の選定を行うため、まず導入の可能性のある事業手法の候補を抽出し、定性的な比較を行うことによって、事業手法を想定する。

候補となる事業手法としては、従来型（設計・施工を個別に発注し、施設の竣工後、市が維持管理運営を行う。）、DB(Design Build) + 指定管理（設計・施工を公が一体的に発注し、別途に指定管理者を指定する。）、PFI(Private Finance Initiative：設計・施工・維持管理運営を性能発注で一体的に発注する。)が想定される。

従来型と比較して DB(Design Build) + 指定管理の優位性は、維持管理運営に民間事業者のノウハウを導入できるかどうかである。内閣府の調査では「レクリエーション・スポーツ施設」に指定管理者制度を導入したことにより支出が 4.6%削減した調査結果がある。また、箕面市が直接維持管理していた第一市民プールにおいて水質維持のために「オーバーフロー（プールを満水にし、水をあふれさせることにより、水面の浮遊物を排出する方法）」を過剰に実施していたが、指定管理者制度を導入した結果、民間事業者が、水質は維持したまま年間 200 万円以上の収支を改善した実績がある。プール施設は安全管理を始め施設の維持管理運営に専門知識や技術が必要な施設である。民間事業者が多くの自社施設や公共施設の維持管理運営による豊富な経験と専門知識や専門技術を蓄積している一方、箕面市にはプールが 2 施設しか存在しておらず、民間事業者と比べると維持管理運営についての専門知識や技術が不足している。本事業においてもプールの維持管理運営について、民間の専門知識や技術を活用することが必要である。

さらに、維持管理運営を行う民間事業者が、運営を行うことを前提として設計段階から事業に参画することで民間の専門知識や技術を最大限活用した効率的な維持管理運営を行うことが可能となる。つまり、設計・施工・維持管理運営へ一体的に民間事業者のノウハウを導入することにより、事業全体を効率的、効果的に実施することができる。そのため、設計・施工・維持管理運営を一体的に発注でき、かつ民間事業者が中長期的にサービス向上等に取り組める PFI の導入が適切と考えられる。

PFI を導入した場合、民間資金を活用可能で、プロジェクトファイナンスの導入により経営リスクへの金融機関の監視が期待できることから、PFI を想定事業手法

として検討を行うものとした。

【図表VI-1】事業手法の比較

事業手法	内容	民間ノウハウ 導入	リスク分担	事業期間
従来型 (公設公営型)	設計・施工を公が行い、施設の竣工後も公が維持管理運営を行う。整備に要する資金調達は、全て公が行う。	施設の設計・施工段階と維持管理運営段階で、豊富な民間事業者のノウハウが導入できない。	設計・施工・維持管理運営でのリスクは一体的に公が負う。	公が事業を直接実施するため、期間はない。
DB (Design Build) ＋ 指定管理 (公設民営型)	設計・施工を公が行い、別途に指定管理者を指定する。整備に要する資金調達は、全て公が行う。	維持管理運営段階で、民間事業者のノウハウが導入可能。	設計・施工の公側のリスクと維持管理運営の民間側のリスクが分断され、瑕疵発生時に維持管理運営の瑕疵であるか、設計・施工の瑕疵か切り分けが難しくなる可能性がある。	指定管理の場合、3～10年程度の維持管理運営期間となり、民間事業者の中長期的な取り組みが難しい。
PFI (Private Finance Initiative) (民設民営型)	設計・施工・維持管理運営を性能発注で一体的に民間に発注する。整備に要する資金調達の一部に民間資金を活用可能。	施設の設計・施工・維持管理運営へ一体的に民間事業者のノウハウが導入可能。特に、維持管理運営を意識した施設整備が可能となることで、事業全体の効果的な実施が期待できる。	民間側の設計・施工・維持管理運営のリスク分担が一体的となる。プロジェクトファイナンスを導入した場合、運営リスクについて金融機関の経営監視が期待できる。	PFIの場合、15～20年程度の維持管理運営期間となり、民間事業者の中長期的な取り組みが可能。

1. 2. 想定事業方式

維持管理運営を含む PFI 事業において用いられる事業方式には、下記の各方式があるが、スポーツ施設を含めた先例では BTO 方式が最も多く採用されている。今後、どの方式をとるかは検討する必要があるが、今回は一般的に多く採用されている BTO 方式にて検討を行うものとする。

【図表VI-2】 PFI の各方式の比較

事業方式	内容
BTO(Build・Transfer・Operate)	民間事業者が施設等を建設し、施設完成直後に公共施設等の管理者等に所有権を移転し、民間事業者が維持・管理及び運営を行う事業方式。
BOT(Build・Operate・Transfer)	民間事業者が施設等を建設し、維持・管理及び運営し、事業終了後に公共施設等の管理者等に施設所有権を移転する事業方式。
BOO(Build・Own・Operate)	民間事業者が施設等を建設し、維持・管理及び運営し、事業終了時点で民間事業者が施設を解体・撤去する等の事業方式。

【図表VI-3】 類似施設への PFI 導入の先例

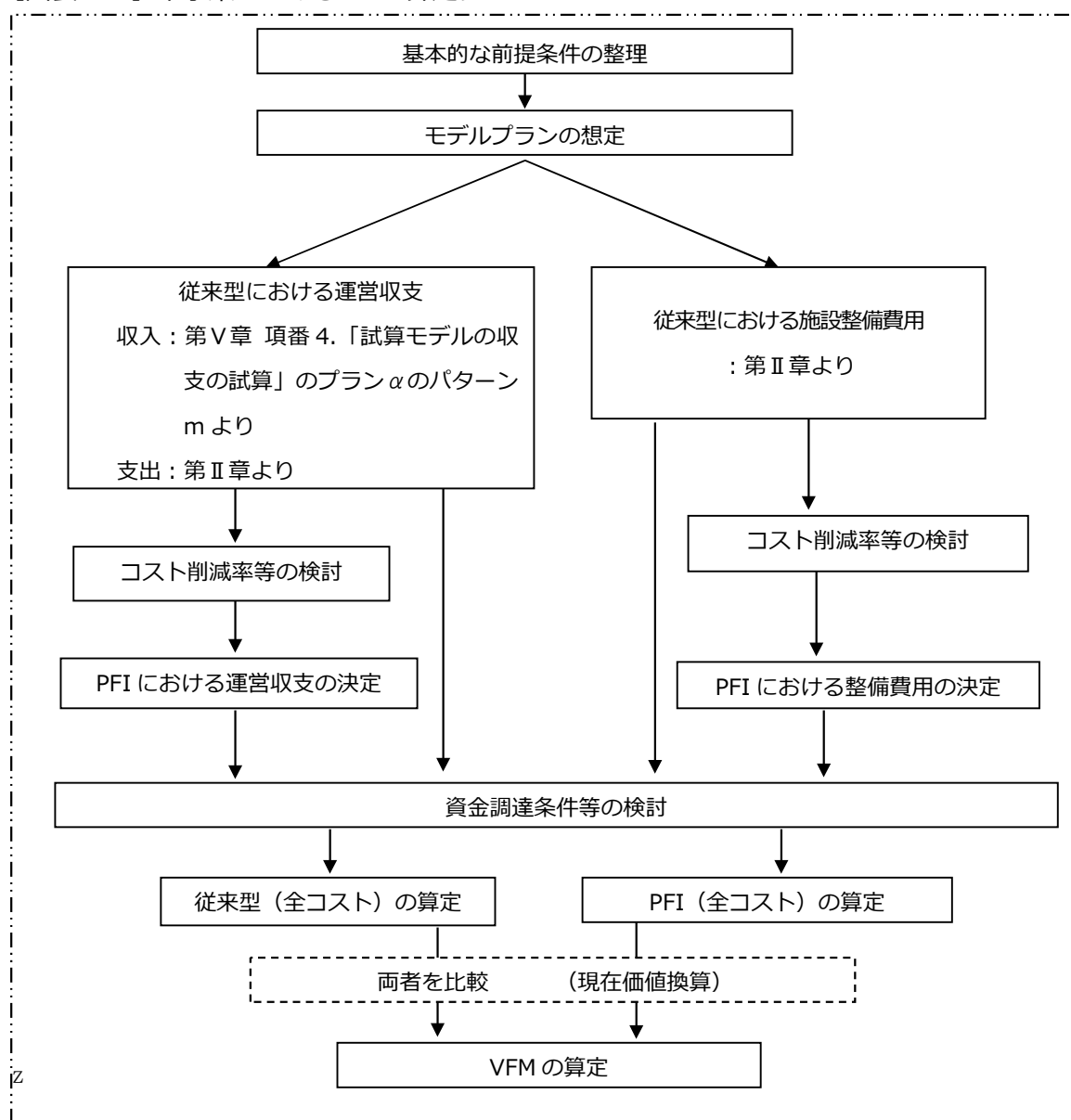
事業名	発注者	事業方式	公告年	事業期間
原山公園再整備運営事業	堺市	BTO	H29	23 年間
新県営プール施設等整備運営事業	奈良県	BTO	H23	18 年間
鹿児島市新鴨池公園水泳プール整備・運営事業	鹿児島市	BTO	H19	18 年間
尼崎の森中央緑地スポーツ健康増進施設整備事業	尼崎市	BTO	H15	20 年間

2. VFMの試算

第Ⅴ章 項番 4.「試算モデルの収支の試算」において検討した事業収入を前提に本事業における VFM（※）を試算する。本事業における VFM 算定フローは下記のとおり。

なお、算定にあたって、特に施設整備費及び支出は、第Ⅱ章の数値を用いるので、今後更なる精度向上が不可欠である。

【図表Ⅵ-4】本事業における VFM 算定フロー



※ VFM (Value For Money) : 支払い (Money) に対して最も価値の高いサービス (Value) を供給するという考え方のことで、従来の方式と比べて PFI の方が総事業費をどれだけ削減できるかを示す割合。内閣府が作成している「V F M (Value For Money) に関する ガイドライン」では、各年度の財政支出の現在価値額の総和を比較することとされている。

2. 1. 従来型における事業費の設定

従来型（設計、施工、維持管理運営を個別に仕様により発注する従来からの事業方式）においては、前記フローのとおり、第Ⅱ章において検討した下記の整備費を採用するものとする。

【図表VI-5】整備費の設定（第Ⅱ章より）※駐車場の整備費は含まない。

項目	延床面積あたりの 工事費単価	試算モデルの 延べ床面積	概算工事費 (物価上昇考慮なし)	概算工事費 (物価上昇2%)
屋内・屋外併設型 の施設	652 千円/㎡	3,630 ㎡	2,366,760 千円	2,462,377 千円

2. 2. PFI における事業費の設定

(1) 施設整備費

PFI においては、設計・施工・維持管理運営を一体とした性能発注により整備することから、一定のコストメリットが発生することが考えられ、上記の従来型における施設整備費に 15%のコスト縮減率を適応するものとする。

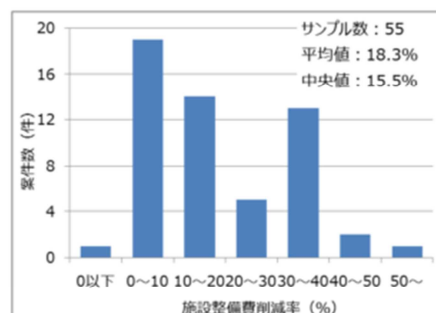
国土交通省が公表している「VFM 簡易モデルマニュアル」では、平成 27 年度までに国土交通省関連の PFI 事業における施設整備費の削減率は、平均 18%、中央値 15.5%とされている。初期の PFI 事業では、実績作りのために非常に大きなコスト削減が提案された事例もあり、18%は近年の実勢より大きな削減率になっていることが考えられ、本事業ではやや保守的に中央値付近の 15%を採用することとした。

【参考】「VFM 簡易モデルマニュアル」（国土交通省）より抜粋

<過去の事例における削減率実績>

削減率を設定するに当たっては、過去の事例において PFI 事業者からの提案により実現された削減率を用いることが考えられます。

国土交通省関連 PFI 事業のうちサービス購入型の PFI 事業において、落札時 VFM における設計・建設・工事監理に係る施設整備費のコスト削減率（＝1－PFI 方式での費用／従来方式での費用）をみると、参考として、過去の事例の平均では、18%の削減が実現されています。



出所: 国土交通省関連 PFI 事業等アンケート (平成 27 年度)

<国土交通省関連 PFI 事業における施設整備費削減率の状況(落札時)>

(2) 維持管理運営費

内閣府が公表している「政策課題分析シリーズ3 指定管理者制度の導入効果」では、「レクリエーション・スポーツ施設」においては、指定管理者制度の導入による支出増減率は、-4.6%とされていることから、PFI 事業として実施する場合における維持管理運営費については、これを参考に従来型の 95%と設定した。

2. 3. VFM の試算

本事業を PFI で実施すると想定した場合に、市の財政負担額とプール設置の目的実現性（費用対効果）を検討するために、VFM の試算を行う。

先ず本事業を従来型で実施する場合の施設整備費、維持管理運営費、想定収入を前記の試算モデルをもとに設定する。施設整備費については、資金調達の内容を設定し、従来型で事業を実施した場合の事業期間中各年度における市の財政負担額を試算する。

次に PFI で事業を実施した場合におけるコスト削減率、収入増加率を検討して、PFI における施設整備費、維持管理運営費、想定収入を設定し、施設整備費については、資金調達の内容を設定し、PFI で事業を実施した場合の事業期間中各年度における市の財政負担額を試算する。

上記の両手法を比較して、各年度の財政負担額の差額の総和を求めることにより VFM を試算し、PFI 手法の一定の検証を行う。

なお、提案時点において事業期間中における大規模修繕が発生するタイミングと金額を的確に提案することは困難であるとの認識が一般的である。近年の PFI 事業では大規模修繕を含むことが事業者のリスクとなり、事業参入の機会を奪ってしまうことから大規模修繕を事業範囲に含まないことが通常である。そのため今回は他事例をもとに、施設について大規模修繕が発生しない期間として 15 年間（維持管理運営期間）を設定した。

ただし、事業期間は、大規模修繕が発生しうる規模や時期について今後十分精査したうえで設定する必要がある。

【図表Ⅵ-6】VFM の試算条件

項目	市が従来型でする場合（PSC ※1）	PFI 事業として実施する場合（PFI）			
事業の方法	通常の公共事業	BTO 方式			
事業期間	15 年間(維持管理運営期間)	15 年間(維持管理運営期間)			
財政支出	施設整備費、維持管理運営費	サービス購入費			
補助金等	本事業では想定しない。	本事業では想定しない。			
施設整備費	第Ⅱ章において検討した概算整備費を採用	一定のコスト縮減を想定 <table><tr><td>施設整備費</td><td>85%</td></tr></table>		施設整備費	85%
施設整備費	85%				
維持管理 運営費	第Ⅱ章において検討した維持管理運営費を採用	民間事業として実施する場合を想定 <table><tr><td>維持管理費関係</td><td>95%</td></tr></table>		維持管理費関係	95%
維持管理費関係	95%				
収入	第Ⅴ章 項番 4. 「試算モデルの収支の試算」で試算したプラン α のパターン m の収入を採用	従来型と同じと想定			
資金調達条件	・一般財源 ・起債（※ 2）：起債利率 1 % 起債償還期間 15 年 内元本据置 3 年	・一般財源 PFI 実施に係る経費 ・民間資金 一般財源以外 (金利は市提示の起債金利に 0.5%を上乗せ)			
割引率（※ 3）	1.7% （過去 20 年の長期国債〔20 年物〕の平均利回り等を参考に設定）				
インフレ率	0% （過去 20 年のインフレ及びデフレ傾向等を参考に設定）				

※1 PSC：(Public Sector Comparator)：公共が自ら実施する場合の事業期間全体を通じた公的財政負担の見込額の現在価値をいう。

※2 起債：一般単独事業（一般事業：充当率 75%）を想定。

※3 割引率：PFI 事業では、地方公共団体等が自ら事業を実施する場合に直近で発生するはずであった費用を、将来に繰り延べて支出することになり、理論上その間の資金運用の機会を得ることができる。その機会費用の考え方にに基づき現在価値に割り引く率。

上記の条件のもとで、VFM の試算を行った結果は、下表のとおりとなった。

施設整備費と維持管理運営費は PFI を導入することにより減少しているが、PFI 導入により民間資金の支払金利と PFI 経費（PFI を導入することにより発生する費用：コンサル費用、弁護士費用、金融機関の手数料等）が発生している。また、SPC（PFI 事業者として民間事業者が設立する特別目的会社）が市へ納める法人市民税も発生すると見込まれる。

試算では、11.5%のVFMが発生する結果となった。

【図表VI-7】 VFM の試算結果（千円）

項目	PSC	PFI	備考
1.整備費	2,462,377	2,093,020	PSC にコスト削減率を適用
2.PFI 経費（官民合計）	0	60,300	市と民間事業者の発生費用を事例から設定
3.維持管理運営費（期間中）	2,180,655	2,176,620	PSC にコスト削減率を適用
4.支払い金利（建中、期間中）	177,636	224,352	起債、民間資金の金利を計算
5.補助金・交付金	0	0	-
6.利用料収入	1,787,655	1,787,655	プランαのパターンmの収入を採用
7.法人市民税	0	7,550	SPC の想定収益から税額を算定
8.期間中の財政負担額	3,033,010	2,759,086	1+2+3+4-5-6-7
9.同現在価値	2,623,979	2,321,496	各年度の財政負担額に現在価値率を乗じて現在価値化した額の事業期間の総和（※）
10.VFM 金額（千円）	-	302,482	PSC の 9 - PFI の 9
11.VFM	-	11.5%	10 ÷ PSC の 9

【図表VI-8】 P F I の場合の現在価値の計算（千円）

n年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9
収支現在価値	30,300	0	7,589	79,167	77,843	133,031	186,740	183,620	180,550

n年度	10	11	12	13	14	15	16	17	18
収支現在価値	177,531	174,564	171,647	168,777	165,956	163,182	160,454	157,772	102,773

収支現在価値 計	2,321,496
----------	-----------

3. 財政負担の試算

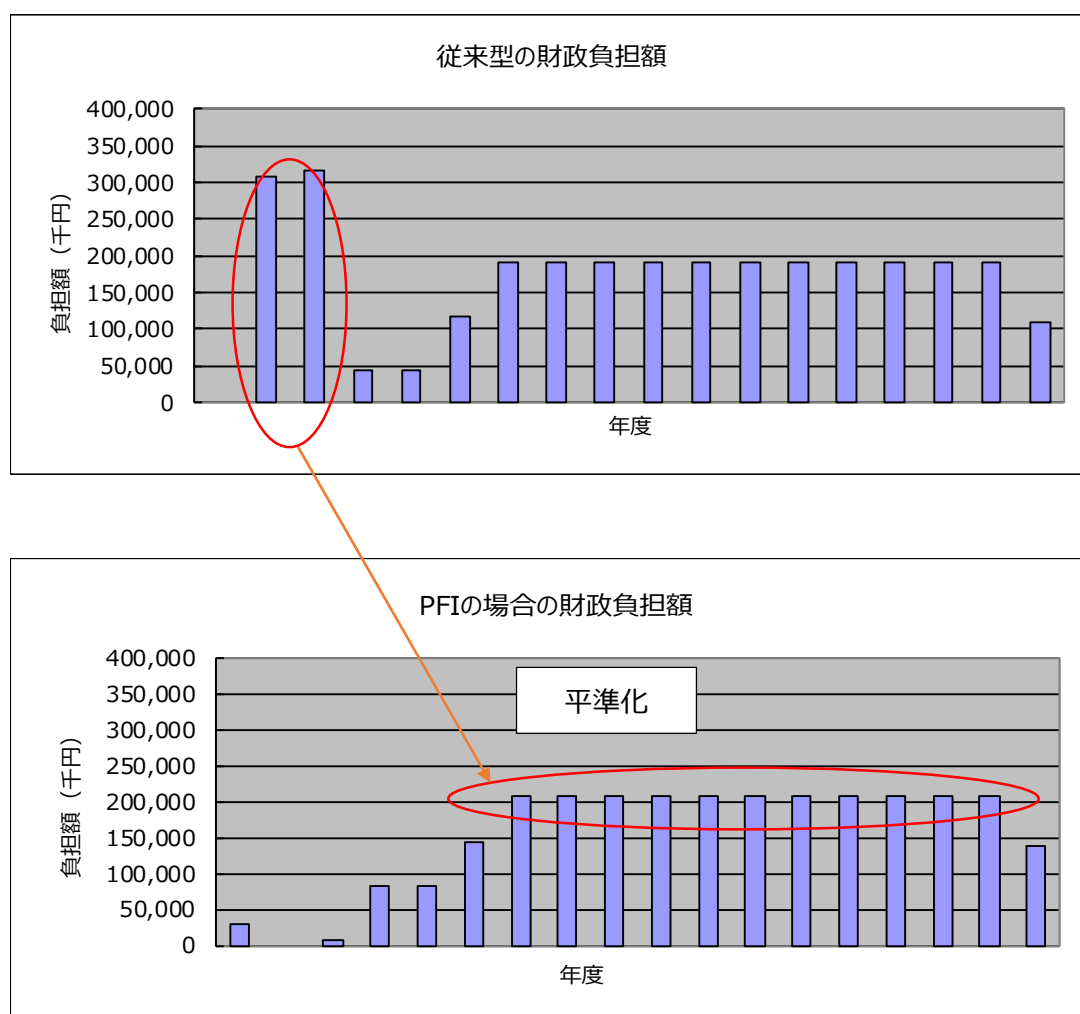
3. 1. 市の財政負担額の試算

VFM の試算結果をもとに、事業期間中における市の財政負担額の整理を行う。

従来型と P F I （ B T O方式）における事業期間中の財政負担額は、前記のとおり、従来型では、3,033,010 千円、P F I （ B T O方式）では 2,759,086 千円と試算されたが、各年度の財政支出をグラフで表すと下図のとおりとなる。

従来型では、事業期間当初に施設整備費のうち起債の対象とならなかった部分が一般財源の支出として発生しているが、P F I では、その部分に民間資金を活用することで財政支出が平準化されており、当該年度の市の支出への影響を緩和することが可能である。

【図表VI-9】財政負担の比較



4. 事業手法

4. 1. 最適事業手法の選定

以上の検討結果をもとに想定事業手法の評価を行い、最適事業手法の選定を行う。

想定事業手法として設定した P F I（B T O方式）について、V F Mの試算を行ったところ、11.5%のV F Mが発生することが確認された。

本事業に P F I を導入することで財政支出の縮減と平準化が期待できることから、P F I が最適な事業手法であると考えられる。

5. 施設の経営（管理・運営）方法について

5. 1. 管理・運営方法の検討

最適事業手法を前提に、施設の管理・運営の方法についての検討を行う。

先例の事業においても、P F I 事業者の収入は、発注者からのサービス購入費に加えて、P F I 事業者を指定管理者とし利用料金制を導入することにより、利用料収入をP F I 事業者の収入とする混合型が採用されており、P F I 事業者が利用者増加を図ることでP F I 事業者インセンティブが発生する仕組みとなっている。

本事業においても同様に施設の経営においては、利用料金制を導入し、PFI 事業者の自主事業（スイミングスクール等）による収入増加の仕組みを組み合わせることにより市の財政負担の低減を図ることが可能になると考えられる。

図表VI-10 のとおり、P F I 事業が導入されている類似施設の多くは混合型が採用されている。また箕面市がこれまで実施しているP F I 事業は、①市立箕面駅前第一駐車場・駐輪場再整備運営事業、②（仮称（当時））箕面船場駅前地区まちづくり拠点施設整備運営事業であり、いずれも施設の整備費と維持管理運営費を含めた「混合型」（①は建設当初の市負担分がP F I 事業期間終了後も利用料金を原資に市へ支払われることを考慮すれば、実質的には「独立採算型」）を採用しているため、「混合型」が有力と考えられる。

【図表VI-10】 P F I 事業が導入されている類似施設の事業形態

事業名	発注者	事業形態
原山公園再整備運営事業	堺市	混合型
新県営プール施設等整備運営事業	奈良県	混合型
鹿児島市新鴨池公園水泳プール整備・運営事業	鹿児島市	混合型
尼崎の森中央緑地スポーツ健康増進施設整備事業	尼崎市	混合型

【図表Ⅵ-11】P F Iの事業形態

形態	内容	P F I 事業者の 収入	適合する施設のイメージ	施設の イメージ
独立採算型	施設の整備、維持管理 運営のすべてのコスト を利用者からの利用 料収入で賄う	公共公益施設の利用 者からの収入のみ	収益性が高く、民間事業者に 十分な経営ノウハウが蓄積 されている施設	駐車場等
サービス購入型	施設の整備、維持管理 運営のすべてのコスト を行政からのサー ビス購入費により賄 う	公共公益施設の管理 者（市町村等）から のサービス購入費の み	本来利用者が負担する利用 料金と施設の整備、維持管理 に要する費用の関連が薄く、 民間事業者の経営努力の発 揮に限界がある施設等	図書館、 庁舎、 火葬場等
混合型	左記の二つの中間型 で、施設の整備、維持 管理運営のコストを 利用者からの利用料 収入と行政からのサー ビス購入費で賄う	公共公益施設の利用 者からの収入と公共 公益施設の管理者 （市町村等）からの サービス購入費	利用料金の設定によっては、 民間事業者による独立採算 も可能となるが、施策として 利用料金の上限を設定する ような施設や、利用料による 整備費用の回収は無理でも 維持管理費用の回収程度は 可能な施設等	健康増進等

6. 事業スケジュール

6. 1. 想定事業スケジュールの策定

事業を実施する場合の想定事業スケジュールの策定を行う。

P F I 事業において、公募手続きの開始から契約締結までに要する標準的な期間は下記のとおりとなる。

【図表VI-12】 想定事業スケジュール

P F I 事業の工程	標準的な所要期間	備考
実施方針の策定、公表	4 ヶ月程度	質疑応答を含む
特定事業選定の公表	1 ヶ月程度	実施方針の質疑回答から
入札公告	3 ヶ月程度	特定事業選定の公表から
提案提出	4 ヶ月程度	入札公告から提案まで
落札者選定	2 ヶ月程度	審査期間
仮契約締結	2 ヶ月程度	契約協議期間
本契約締結	議会の議決が必要なため、議会上程に間に合う時期までに仮契約の締結が必要	

第Ⅶ章 整備に向けた整理

1. 整備地における適用関係法令の整理

1. 1. 整備地の概要

(1) 整備地の位置

箕面市第二総合運動場隣接地（第二総合運動場調整池・西の池）

○住所：箕面市外院1丁目・栗生外院1丁目

○総敷地面積：8,300 m²程度

○用途地域：市街化調整区域

【図表Ⅶ-1】整備地の位置図



【図表Ⅶ-2】整備地の付近見取図



(2) 人口分布と立地

箕面市全域の人口分布を見ると、南北では南側の市街地に人口分布が偏っており、東西では若干西側の人口が多く分布している。整備地は、箕面市南側の市街地における東側エリア（国道 423 号線以东）の概ね中央部分に位置している。

(3) 交通アクセス

敷地に面する幹線道路（国道 171 号線）が東西に伸びており、車では市街地全域から約 30 分でアクセスが可能な立地である。また、比較的平坦な地形に立地していることから、自転車でもアクセスしやすい。公共交通では、オレンジゆずるバス、阪急バス「箕面墓地前」から徒歩 1 分の場所に立地している（現在整備が進められている箕面萱野駅からは徒歩 19 分となる）。

1. 2. 適用関係法令の整理

整備地に適用される主な関係法令（建築基準法、都市計画法等）について整理する。

【図表Ⅶ-3】適用される主な関係法令の概要

No.	関係法令	概要
1	都市計画法	・開発、建築行為を行う場合は許可が必要。 ・許可にあたっては立地基準と技術基準に適合すること。
2	建築基準法	・容積率、建ぺい率、隣地斜線制限、道路斜線制限を適用。
3	箕面市まちづくり推進条例	・市街化調整区域を区分し、10mあるいは12mの高さ制限、北側斜線制限を適用。 ・敷地面積に対して20%以上の緑化面積の規制を適用。
4	景観法	・景観基準を適用。

（1）都市計画法

市街化調整区域での開発・建築行為を行う場合は許可が必要であるが、都市計画法第29条第1項第三号により、条例で定める公益上必要な建築物であれば、許可は不要である。

【参考】

第二十九条 都市計画区域又は準都市計画区域内において開発行為をしようとする者は、あらかじめ、国土交通省令で定めるところにより、都道府県知事（地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百五十二条の十九第一項の指定都市又は同法第二百五十二条の二十二第一項の中核市（以下「指定都市等」という。）の区域内にあつては、当該指定都市等の長。以下この節において同じ。）の許可を受けなければならない。ただし、次に掲げる開発行為については、この限りでない。

- 三 駅舎その他の鉄道の施設、図書館、公民館、変電所その他これらに類する公益上必要な建築物のうち開発区域及びその周辺の地域における適正かつ合理的な土地利用及び環境の保全を図る上で支障がないものとして政令で定める建築物の建築の用に供する目的で行う開発行為

（２）建築基準法

該当の市街化調整区域では、住居系用途地域並みの規制となる。

【図表Ⅶ-4】該当する建築基準法の項目と制限内容

形態規制の区分	関係法令	制限の内容
容積率	建築基準法第 52 条 1-6	200%
全面道路幅員による容積率	建築基準法第 52 条 2-3	40%
建ぺい率	建築基準法第 53 条 1-6	60%
隣地斜線制限	建築基準法第 56 条 1-2 二	1.25
全面道路斜線制限	建築基準法第 56 条 1-1、 別表第3の5	1.25

（３）箕面市まちづくり推進条例による規制

<高さ制限>

市街化調整区域を区分して、地区毎に建築物の高さの最高限度が定められている。
該当する市街化調整区域は、第 3 地区である。

【図表Ⅶ-5】条例による高さの制限内容

関係法令	制限の内容
箕面市まちづくり推進条例第 18 条 施行規則第4条、別表第 12	1 建築物の高さの最高限度は 12mとする。 2 建築物の各部分の高さの最高限度は、当該部分から全面道路の反対側の境界線又は隣地境界線までの真北方向の水平距離に 0.6 を乗じて得たものに 10mを加えたものとする。

<緑化面積>

地上部および建築物上（屋上）について、緑化面積が定められている。

【図表Ⅶ-6】条例による緑化面積の制限内容

関係法令	制限の内容
箕面市まちづくり推進条例第 18 条 施行規則第 4 条、別表第 8	敷地面積に対する割合：20%以上を緑化とする。 建築物上の屋上面積の 10%以上を緑化とする。

(4) 景観法

建築物等の新築等については景観法に基づく届出が必要で、景観計画に定めた基準に適合するよう求められる。

【図表Ⅶ-7】建築物の新築の基準（概要）

対象項目	基準
周辺景観への配慮	・周辺景観との調和、周辺のまちなみに配慮したデザイン ・角地の建築物の配慮、デザインの工夫 ・高低差、河川など特徴ある敷地の特性の活用
配置も含めた形態・意匠への工夫	・外装材の周辺との調和、経年劣化を避ける素材の活用など ・まとまりのある意匠、まちなみに表情を与えるデザイン ・圧迫感や威圧感を与える長大な壁面のボリューム感の軽減 ・屋根や屋上工作物・塔屋の形状や色彩への配慮
低層部及び外構のデザイン	・後退や植栽等によるボリューム感の軽減、潤いとゆとりのある空間の確保 ・1階部分の形態、駐車場、空地の配置、デザインの工夫 ・駐車場、駐輪場、ゴミ置き場などの附属施設のデザインの工夫 ・高木や生け垣を中心とした効果的な植栽 ・ストリートファニチュア、彫刻、モニュメントの配置、デザインの工夫
附帯設備等への工夫	・屋上、外壁に附帯する設備の配置や構造、修景への配慮 ・バルコニーなどへの配慮
色彩	・素材の持つ質感や形態などを考慮した色彩 ・箕面市の緑豊かな景観を美しく引き立て、周辺のまちなみに調和する色彩 ・色数は、できるだけ少なく(サブカラーは同一面の1/3以下、アクセントカラーは同一面の1/20以下) ・建築物の外壁及び工作物の表面の基調色(ベースカラー・サブカラー)として使用する色彩は、 ①色相YRの場合は、彩度4以下 ②色相Y及びRの場合は、彩度3以下 ③色相GY、G、BG、B、PB、P、RPの場合は、彩度2以下 ④ベースカラーは明度6以上9以下、サブカラーは明度5以上9以下 ⑤府道箕面池田線、府道豊中亀岡線、府道箕面池田線、市道小野原中村線及び府道茨木能勢線に画された線から北に位置する区域では、原則としてベースカラー及びサブカラーともに明度6以上8以下 ⑥無彩色にあつては、極端に高明度又は低明度の色を長大な壁面に使用する場合は、周囲の状況に応じて用い方を工夫するとともに、植栽等により柔らかさを出す工夫をする ・アクセントカラーの周辺との連続性、ボリューム感への配慮

以上より、整備地に適用される主な関係法令についてまとめると、下記のとおりとなる。

【図表Ⅶ-8】主な適用関係法令のまとめ

都市計画法(開発許可は都市計画法第 29 条 1 項第三号により不要)	
用途地域	市街化調整区域
建ぺい率	60%
容積率	200%
高度さ制限	12m 北側斜線制限 隣地斜線制限・全面道路斜線制限:1.25
緑化面積	敷地面積に対する緑化面積:20%以上 屋上緑化面積:屋上面積の 10%以上
景観	周辺景観への配慮／配置を含めた形態・意匠への工夫／低層部及び外構へのデザイン／附帯設備等への工夫／色彩等の基準に準ずる。

(4) 課題と今後の検討の方向性

整備地における開発許可は、都市計画法第 29 条第 1 項第三号により不要であるが、法で認められている土地利用についても、市街化の抑制という原則に基づき、条例等に定める市独自の基準に適した土地利用となるよう協議調整を図る必要がある。

また、整備する施設計画が具体的に決まった段階で、図表Ⅶ-9 に示す条例・規則等の適用の可否について検討する必要がある。

【図表Ⅶ-9】その他の関連する条例と要綱、各種基準

<適用条例> ・大阪府屋外広告物条例(昭和 24 年大阪府条例第 79 号) ・大阪府都市公園条例(昭和 32 年大阪府条例第 30 号) ・大阪府建築基準法施行条例(昭和 46 年大阪府条例第4号) ・大阪府自然環境保全条例(昭和 48 年大阪府条例第2号) ・大阪府福祉のまちづくり条例(平成4年大阪府条例第 36 号) ・大阪府生活環境の保全等に関する条例(平成6年大阪府条例第6号) ・大阪府景観条例(平成 10 年大阪府条例第 44 号) ・大阪府温暖化の防止等に関する条例(平成 17 年大阪府条例第 100 号) ・大阪府建築物の敷地等における緑化を促進する制度(平成 18 年)
--

- ・大阪府道の構造の技術的基準及び道路標識の寸法を定める条例(平成 25 年大阪府条例第 12 号)
- ・箕面市下水道条例(昭和 44 年条例第 3 号)
- ・箕面市火災予防条例(昭和 48 年条例第 12 号)
- ・箕面市都市公園条例(昭和 50 年条例第 15 号)
- ・箕面市立自転車駐車場条例(昭和 55 年条例第 20 号)
- ・箕面市自転車等の駐車秩序の確立に関する条例(昭和 60 年条例第 17 号)
- ・箕面市個人情報保護条例(平成 2 年規則第 35 号)
- ・箕面市まちづくり推進条例(平成 9 年条例第 22 号)
- ・箕面市文化財保護条例(平成 9 年条例第 10 号)
- ・箕面市水道事業給水条例(平成 9 年条例第 22 号)
- ・箕面市建築基準法施行条例(平成 12 年条例第 63 号)
- ・箕面市都市景観条例(平成 19 年条例第 35 号)
- ・箕面市における大阪府福祉のまちづくり条例の施行に関する細則(平成 21 年規則第 81 条)
- ・箕面市における大阪府屋外広告物条例の施行に関する規則(平成 22 年規則台 90 号)

<適用要綱・各種基準等>

- ・プールの安全標準指針(平成19年3月文部科学省及び国土交通省)
- ・ウォータースライドの運行維持管理・設計の手引き(平成20年版 日本ウォータースライド安全協会)
- ・遊泳用プールの衛生基準(平成19年5月厚生労働省通知)
- ・構内舗装・排水設計基準(機械設備工事編)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
- ・都市公園技術標準解説書(一般社団法人日本公園緑地協会)
- ・堺市建築物の総合環境配慮に関する要綱(CASBEE堺)
- ・土木工事共通仕様書(堺市土木部)
- ・国土交通省土木工事積算基準(国土交通省大臣官房技術調査課)
- ・土木工事請負必携(大阪府都市整備部)
- ・都市公園における遊具の安全確保に関する指針(改定第2版)(国土交通省)
- ・都市公園の移動円滑化整備ガイドライン(国土交通省)
- ・公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
- ・公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
- ・公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
- ・公共建築工事積算基準(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
- ・公共建築数量積算基準(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
- ・公共建築設備数量積算基準(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

2. 近隣環境対策

2. 1. 騒音対策

整備地の北東には住宅が立地しているため、プールの整備の計画を行う際には、住宅への騒音に十分に配慮した配置や仕様とする必要がある。考えられる配置として、整備する施設の建物を北東側に配置し、建物の開口部や壁、天井等の遮音性能が高い仕様とすることが望ましい（図表Ⅶ-10）。また、必要に応じて北東側の敷地境界線付近に防音壁等を用いて、騒音を減音させることも考えられる。

【図表Ⅶ-10】騒音対策の配置イメージ



2. 2. 交通対策

整備地の周辺には、交通量の多い国道 171 号線の幹線道路が南側に通っている。現在、第二総合運動場の駐車場と国道 171 号線との接点は、「箕面墓地公園前」の交差点となっており、多くの利用者数が想定される夏季では混雑することが想定される。

「箕面墓地公園前」交差点において、171 号線の西から東へ進行する車線に左折専用レーンを設けることや、東から西へ進行する車線の右折専用レーンを延ばすことが対策として考えられる。また、「箕面墓地公園前」交差点の信号を歩車分離式信

号とすることで円滑な右左折が可能となると考えられるが、デメリットとして車両の待ち時間が増加し渋滞が発生する恐れがあるため、交通量や周辺の交差点の状況等を調査したうえで検討する必要がある。

【図表Ⅶ-11】 交通対策のイメージ



2. 3. 必要駐車台数の検討（参考）

第Ⅴ章で試算した年間利用者数試算値のプランにて必要駐車台数についての検討を行う。その際、年間利用者数をもっとも多くなる“プランαのパターンm”を仮に採用することとする。なお、今後の基本計画策定としては第二総合運動場の利用者数を考慮し、駐車場を一体的に整備して周辺施設全体として使いやすい配置計画を行う必要があるが、ここでは、当該施設のみが必要駐車台数としていることに留意されたい。

第Ⅳ章での運営事業者ヒアリングの結果より明らかとなったように、特に駐車台数の確保が必要な時期は、一時的に利用者が集中する夏季である。よって、施設事例における屋外の利用者数実績と駐車台数について図表Ⅶ-12 に整理した。

非常に多くの駐車台数を整備している服部緑地ウォーターランド（909 台）・長居公園プール（744 台）・浜寺公園プール（1100 台）は、プール施設の周辺に大規

模な公園・広場の機能を有しており、周辺施設を含めた地域一帯の敷地規模が非常に大きい。一方、本整備地は、8,300 m²程度の敷地しか有していない点、周辺施設が大規模な公園機能ではない点を考慮すると、これらの施設事例のような駐車台数を整備することは現実的ではない。

比較的多くの駐車台数を整備している西河原市民プール（266 台）、王仁公園プール（250 台）の屋外の利用者数実績はそれぞれ 104,551 人、75,433 人である。このことから、現在想定している“プラン α のパターン m”の屋外の利用者数試算値（90,452 人）と同等の利用者数であるため、整備する駐車台数は 250 台程度でも夏季の一時的な利用者の集中にも耐えうると考えられる。

なお、高槻市民プールは、比較的多くの駐車場台数を整備しているが、第Ⅴ章で分析のとおり、屋外設備としてレジャープールを整備していないこと、半径 5 km 圏内に大型のレジャープールを有する「ひらかたパーク」と競合していることの理由から西河原市民プール、王仁公園プールに比べ、屋外の利用者数の実績が少なくなっていると考えられる。

【図表Ⅶ-12】施設事例における屋外の利用者数実績と駐車台数

施設名称	H29年度実績：屋外の利用者数 （人）	駐車台数 （台）
浜寺公園プール	108,661	1100
服部緑地ウォーターランド	110,392	909
長居公園プール	86,892	744
西河原市民プール	104,551	266
王仁公園プール	75,433	250
高槻市市民プール	41,817	180
片山市民プール	72,095	0
北千里市民プール	47,116	0
中条市民プール	28,050	0
五十鈴市民プール	19,077	0

一方で、より集客が見込まれ、駐車場内での混雑を避けることができることから、より広い駐車台数を求める運営事業者の声が挙がっている。また、第二総合運動場の利用者を考慮した駐車場の一帯整備を行う必要がある。以上の点を考慮し、基本計画策定時には、整備する駐車台数・規模について精査していく必要がある。

3. 今後の検討事項

第Ⅲ章 項番 1.「試算モデルの設定」で設定したモデルは、あくまで仮に設定したモデルであり、第Ⅲ章 項番 2.2.「仮配置図による面積の検証」で使用した配置図についても、試算モデルが整備地の敷地面積で建設可能かどうかを見たにすぎない。今後は、これを一つの参考に、実際に整備するプール設備の種類や面積規模、附帯設備の面積、オプション機能などについて、敷地面積の制約の中、市民のニーズ、市内の他施設とのバランス、あるいは近隣類似施設での利用実態などを総合的に勘案して計画していくこととなる。

また、P F I 事業で整備を進める場合には P F I 事業者から提案を受けたり、あるいは市の直接整備であっても、運営予定事業者を事前の計画段階から選考して、あらかじめ提案を受けることなども考えられる。

次に、今後の検討にあたって留意されたい事項をまとめる。

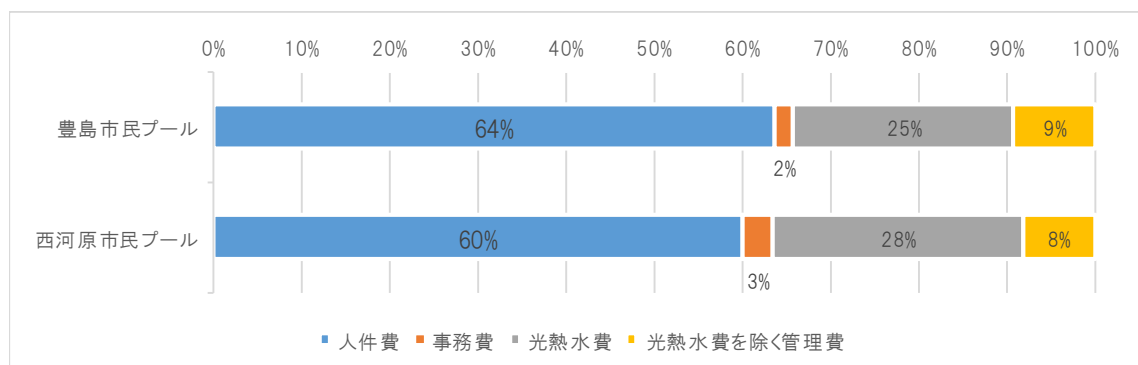
3. 1. 運営動線と省エネ性能

プール施設の運営においては、支出の大半を人件費と光熱水費が占める。

事例モデル 2 施設の例を見ても、支出総額に対して人件費と光熱水費が占める比率は、豊島温水プールで 89%、西河原市民プールで 88%となっている。

【図表Ⅶ-13】事例モデルの計比率

	豊島市民プール		西河原市民プール	
	金額	比率	金額	比率
人件費	71,770千円	64%	98,795千円	60%
事務費	2,298千円	2%	5,511千円	3%
光熱水費	28,157千円	25%	46,631千円	28%
光熱水費を除く管理費	10,364千円	9%	13,404千円	8%
支出計	112,589千円	100%	164,341千円	100%



このことから、いかに人件費と光熱水費を最適化するかが、収支を大きく左右することがわかる。

収支差を圧縮するには、運営動線をよく考えて設計することにより人件費を最大限抑制するとともに、省エネ性能の高い設備を導入して光熱水費を抑えることが必須であり、その点について、具体的な施設計画の段階において、最大限に留意すべき事項であると認識されたい。

3. 2. 屋外プール設備

第Ⅱ章 項番 6.1.「概観」でまとめたように、屋外プール併設は、ランニングコスト低減に資する。屋外プールの収支改善効果の観点からすると、夏季営業期間中の集客性が利用料収入に直結することから、漫然と屋外にプールがあればよいというものではなく、集客性の高い屋外プールとする必要がある。

第Ⅱ章「近隣施設事例からの収支分析」で見たきたとおり、屋内外併設型の西河原市民プールにおいて、夏季の屋外プール利用者は 97,194 人であったところ、箕面市の第一市民プールは 16,522 人、第二市民プールでは 5,774 人) いずれも平成 29 年度実績) であった。この集客実績の差を鑑みると、その大きな要素がアトラクションの有無であることは自明であり、屋外プールの整備内容が集客性と収支改善効果を左右することとなる。

よって、屋外プールの検討にあたっては、夏季営業期間に競合する近隣類似施設の客層や保有アトラクション等を調査して、集客性の高い設備を計画していく必要がある。

また、モデル事例とした西河原市民プールでは、屋外施設を夏季営業期間以外は使用していないが、屋外プールについて夏季以外の有効活用が実現すれば、さらなるランニングコスト低減の可能性があるため、その点についても、P F I 事業者あるいは運営予定事業者の選考の場面において提案を求めるよう検討されたい。

3. 3. 屋内プール設備

平成 30 年の夏は、東日本・西日本で記録的な高温が観測された。夏（6-8 月）の平均気温は、西日本で平年比 + 1.1℃となり、統計開始以降第 2 位の猛暑となった。

箕面市においても、児童生徒の熱中症予防のため、学校での屋外活動を制限し、エアコンを稼働させての体育館での活動に切り替えるなどの対応を行うとともに、学校

プールでの水泳授業、部活動なども一定の気温・水温を超えた場合には制約せざるを得ない状況だった。

屋内プールは、「屋内温水プール」と呼ばれることが多いが、設備次第で水を温めるだけでなく、冷却することも可能である。屋内プールに冷却機能を備えることにより、夏も冬も1年を通じて水温を適温に保つことができるため、昨夏のような異常な猛暑にあって、屋外プールが使用できない状況が続く場合にも、その代替を担うことができると考えられる。

水の加熱は、ろ過循環装置に「熱交換器装置」を設置して行う一方、水の冷却は、「チラー」と呼ばれる装置で行う。超概算値ではあるが、容量200トンの屋内プールの場合で、熱交換機装置は1,500万円、チラーは500万円、設置工賃が両方合わせて1,000万円程度と試算している（工賃はチラーのみ切り分けての提示が困難である）。

なお、屋外プールにおいては外気の影響が大きく、チラーは機能しないため、屋外プールでの水の冷却は現時点では技術的に困難である。

3. 4. 併設店舗と施設レイアウト

整備地は、幹線道路である国道171号線に面しており、周辺の沿道は、飲食や物販の店舗が多くある立地である。一般的に、施設整備にあたりその立地特性を活かさないことは考えられず、敷地内の国道に面した位置については、沿道サービス型の店舗を配置することで施設全体の収支を改善することも検討すべきである。

その際、特に、大幅な利用者数が期待される夏季の屋外プールは、同店舗にとっても大きな収益源となる可能性がある。例えば、飲食店舗が沿道とプールサイドの両方にサービス提供ができるよう施設配置しておくなど、プール整備・運営計画の一環として当初から国道に面した一の活用策や店舗誘致などについても、PFI事業者あるいは運営予定事業者の選考の場面において提案を求めるよう検討された。

3. 5. 既存施設との機能整理

3. 5. 1. 第二総合運動場との機能整理

プールの整備地が第二総合運動場に隣接していることから、新たなプール整備を計画するにあたっては、あらかじめ第二総合運動場の設備や機能との整理が必要である。

まず、第二総合運動場には第二市民プール（屋外プール）があり、新たなプールとして屋外プールを整備する場合には、統合が当然考えられるべきである。

また、モデル事例とした豊島温水プール、西河原市民プールいずれにも「トレーニングルーム」が整備されているが、第二総合運動場にもトレーニングルームがあることから、新たなプール整備しようとする場合には、機能の統合、あるいは棲み分けの検討が必要である。

駐車場、駐輪場についても、それぞれに独立した設備をすることは現実的ではなく、国道 171 号線からのアクセス、利用者動線等を総合的に見た上で、より使いやすく、かつ限られた敷地面積を有効に活用する方策を検討すべきである。

3. 5. 2. 市内の同種機能との整理

もう一つの屋外プールである第一市民プールは、地理的にはプール整備地に近いわけではないが、機能が完全に重複するため、新たに屋内外併設型プールを整備する場合には、統廃合を検討の俎上に載せる必要がある。

詳しくは後述するが、複数の公共施設を一つに集約することによって国の財源が確保できる起債メニューもあり、イニシャルコスト、ランニングコスト両面から議論されることが望ましい。

3. 5. 3. 第1市民プール・第二市民プールの運営費（参考）

参考までに、第一市民プール及び第二市民プールの現在の運営費を算出した（図表Ⅶ-14）。

現在、両プールの運営は指定管理者が総合運動場と一括して担っているが、プール部分のみの指定管理料を算定していないため、かつて市直営だった平成 14 年度当時の決算額と突合し、数値を補完して算出した収支でもある。これらのプールを新たなプールに統合する場合には、この収支差分が新たなプール運営費にスライド

することになる。

【図表Ⅶ-14】既存プールの収支（実績ベース）

	第一市民プール	第二市民プール
収入	3,178千円	1,311千円
支出	11,411千円	4,682千円
収支差	-8,233千円	-3,371千円

第Ⅱ章 項番 6.「収支分析のまとめ」における各分析パターンの収支差額と、上記の第一・第二市民プールの収支差額を相殺すると、図表Ⅶ-15 のとおりとなる。

なお、第二市民プールについては新たなプールと隣接するため統合しない選択肢は考えにくい。第一市民プールについては、地勢的な判断要素があることから、「第二プールのみ統合」と「第一・第二プールを統合」の2パターンで試算した。

【図表Ⅶ-15】既存プール統合の場合の収支

分析パターン		A	B	C	D
類型		屋内温水プールのみ		屋内外併設	
施設名		豊島温水プール	西河原市民プール	西河原市民プール	豊島温水プール
分析タイプ		(実績値)	(仮想モデル)	(実績ベース)	(仮想モデル)
収支差		-47,955千円	-96,252千円	-49,933千円	-37,091千円
試算①	第二市民プールのみ統合 スライド額:3,371千円	-44,584千円	-92,881千円	-46,562千円	-33,720千円
試算②	第一・第二市民プールを統合 スライド額:11,604千円	-36,351千円	-84,648千円	-38,329千円	-25,487千円

3. 6. 特定財源確保の可能性

プール整備には、多額のイニシャルコストを要することから、可能な限り国の交付金などの特定財源を確保したいところである。

まず、プール整備に特化した国や大阪府の交付金、補助金などは現時点で存在しない。

次に、公共施設整備に充てられる交付金として可能性が高い社会資本整備総合交付金について検討する。社会資本整備総合交付金は、施設の整備場所が市町村の立地適正化計画で定められた都市機能誘導区域内に立地することが必須要件となるが、「第二総合運動場調整池・西の池」はそもそも市街化調整区域であり、立地適正化計画で都市機能誘導区域に位置付けることは法的にできない。よって、社会資本整備総合交付金の獲得は不可能である。

次に、市町村の「公共施設等総合管理計画」に基づく長寿命化事業などの地方単独事業が対象となる「公共施設等適正管理推進事業債」について調査したところ、屋内温水プール整備に活用された事例があった。

公共施設等適正管理推進事業債のメニューの1つ「集約化・複合化事業」（充当率90%、交付税算入率50%）に該当するもので、茨城県鹿嶋市において、老朽化した5つの小・中学校の屋外プールを新たに整備する1つの屋内温水プールに集約した事業である。

箕面市公共施設等総合管理計画においても、「保有施設の廃止、複合化、集約化等により既存リソースの効率化を進めるとともに、公共施設を新設または移転、あるいは現地建替えを検討する際には、その立地について箕面市立地適正化計画と整合を図りつつ、複合機能化や既存施設との統合などをあわせて検討し、施設総量の適正化に努め」ることが位置づけられていることから、市内の既存プール施設の集約・統合により、公共施設等適正管理推進事業債の適債となると考えられる。

なお、スポーツ振興くじ助成金の対象にもなり得るが、助成対象額の上限が20,000千円であり、新規整備の財源としては限定的な規模である。

4. 今後の方向性

今後の方向性として、第二総合運動場全体での配置の考え方、プールの敷地規模、施設の基本的な考え方、基本設計例、駐車計画、収支・VFMの精査、PFI枠外での大規模修繕について検討していく必要がある。

卷末資料

1. VFM検討の概要（総括表）

①前提条件	ケース	BTO（1）
事業期間		
運営期間	15	年
PSC事業費		
施設整備費	2,462,377	千円
維持管理運営費	145,377	千円／年
経常修繕費	0	千円（事業期間合計）
100%-コスト削減率		
整備費	85%	
維持管理運営費用	95%	
収入	100%	
公共資金調達		
国庫補助	0%	
起債	個別に想定	1846783 千円
起債利率	1.0%	
起債償還期間	15	年
内元本据置	3	年
民間資金調達		
資本金	30,000	千円
融資	557,405	千円
劣後融資	0	千円
提案金利（1～10年）	1.5%	
提案金利（11～20年）	1.5%	
VFM算定条件		
割引率	1.7%	
インフレ率	0.0%	

② 試算結果

項目	PSC	PFI
整備費	2,462,377	2,093,020
PFI経費（官民合計）	0	60,300
維持管理運営費（期間中）	2,180,655	2,176,620
支払い金利（建中、期間中）	177,636	224,352
補助金・交付金	0	0
利用料収入	1,787,655	1,787,655
法人市民税	0	7,550
期間中の財政負担額	3,033,010	2,759,086
同現在価値	2,623,979	2,321,496
VFM	-	11.53%
VFM金額（千円）	-	302,482

2. プロジェクト収支シミュレーション計算

ケース	BTO (1)
PFI運営期間	15 年

I PSC条件設定

1. 事業費の設定

PSC事業費

費目	総額 (千円)	算出根拠
整備費	2,462,377	第Ⅲ章より
事業費合計	2,462,377	

2. PSC資金調達条件設定

事業費支出設定

費目	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	計
整備費	0	1,231,189	1,231,189	0	0	2,462,377
合計額	0	1,231,189	1,231,189	0	0	2,462,377

起債条件設定

(金額：千円)	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	計
整備費	0	923,391	923,391	0	0	2,216,139
合計額	0	923,391	923,391	0	0	1,846,783

補助金条件設定

(金額：千円)	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	計
整備費	0	0	0	0	0	0
合計額	0	0	0	0	0	0

単費条件設定

(金額：千円)	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	計
整備費	0	307,797	307,797	0	0	615,594
合計額	0	307,797	307,797	0	0	615,594

資金調達額合計

(金額：千円)	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	計
資金調達額合計	0	1,231,189	1,231,189	0	0	2,462,377

起債条件設定

起債措置率	個別に設定	
利率	調達条件 (据置年数)	償還年数
1.00%	元金据置あり	3
	利子据置あり	0
		12 年

3. PSC事業支出項目設定

PSC年間支出

費目	初年度額（千円）	算出根拠
支出	145,377	第Ⅴ章プラン α ・パターンm（第Ⅱ章D案）より
年間支出小計	145,377	

PSC年間収入

費目	初年度額（千円）	算出根拠
収入	119,177	第Ⅴ章プラン α ・パターンmより
年間支出小計	119,177	

II PFI(BTO)試算条件

1. 事業費の設定

コスト削減率設定

費目	100% - 削減率
整備費	85%
維持管理運営費用	95%
収入	100%

PFI事業費（民間側事業費）

費目	総額（千円）	算出根拠
整備費	2,093,020	PSCから削減率を考慮による
PFI事務費	30,000	民間側弁護士費用、アドバイザー費用、金融組成料等
工事期間 金利	4,149	起債分以外完成時一括支払いによる発生金利
事業費小計	2,127,170	

PFI事業費（公共側）

費目	総額（千円）	算出根拠
アドバイザー費用	30,000	事例より
選定委員会経費	300	報償費等
事業費小計	30,300	

2. PFI資金調達条件設定

事業費支出設定

費目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	計
整備費	0	1,046,510	1,046,510	0	0	2,093,020
PFI事務費		15,000	15,000	0	0	30,000
工事期間 金利		0	4,149	0	0	4,149
公共側PFI事業費	30,300	0	0	0	0	30,300
合計額	30,300	1,061,510	1,065,660	0	0	2,157,470

起債条件設定

（金額：千円）	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	計
整備費	0	784,883	784,883	0	0	1,569,765
PFI事務費	0	0	0	0	0	0
工事期間 金利	0	0	0	0	0	0
公共側PFI事業費	0	0		0	0	0
合計額	0	784,883	784,883	0	0	1,569,765

補助金条件設定

（金額：千円）	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	計
整備費	0	0	0	0	0	0
PFI事務費	0	0	0	0	0	0
工事期間 金利	0	0	0	0	0	0
公共側PFI事業費	0	0	0	0	0	0
合計額	0	0	0	0	0	0

単費条件設定

（金額：千円）	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	計
整備費	0	0	0	0	0	0
PFI事務費	0	0	0	0	0	0
工事期間 金利	0	0	0	0	0	0
公共側PFI事業費	30,300	0	0	0	0	30,300
合計額	30,300	0	0	0	0	30,300

資金調達合計

（金額：千円）	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	民間資金活用額
資金調達額合計	30,300	784,883	784,883	0	0	557,405
						計
						2,157,470

3. PFI支出項目設定

PFI年間支出

費目	初年度額（千円）	算出根拠
支出	138,108	PSCに削減率適用
その他経費（SPC経費等）	7,000	事例より想定
年間支出小計	145,108	

PFI年間収入

費目	初年度額（千円）	算出根拠
収入	119,177	PSCに削減率（増加率）適用
年間支出小計	119,177	

VFM算定(BTO)

PFI運営期間	15	BTO（1）
---------	----	--------

従来型事業		年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計
支出	建築	一般財源	0	307,797	307,797	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	615,594
		補助金相当分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		起債で一括支払分	0	923,391	923,391	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,846,783
		起債元金償還（1）	0	0	0	0	0	72,808	73,536	74,272	75,014	75,765	76,522	77,287	78,060	78,841	79,629	80,426	81,230	0	923,390
		起債利息償還（1）	0	0	0	9,234	9,234	9,234	8,506	7,770	7,028	6,278	5,520	4,755	3,982	3,201	2,413	1,617	812	0	88,818
		起債元金償還（2）	0	0	0	0	0	0	72,808	73,536	74,272	75,014	75,765	76,522	77,287	78,060	78,841	79,629	80,426	81,230	923,390
		起債利息償還（2）	0	0	0	9,234	9,234	9,234	9,234	8,506	7,770	7,028	6,278	5,520	4,755	3,982	3,201	2,413	1,617	812	88,818
		起債元金償還（3）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		起債利息償還（3）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		起債償還額計	0	0	9,234	18,468	18,468	91,276	164,084	164,084	164,084	164,085	164,085	164,084	164,084	164,084	164,084	164,085	164,085	82,042	2,024,416
	小計	0	1,231,189	1,240,423	18,468	18,468	91,276	164,084	164,084	164,084	164,085	164,085	164,084	164,084	164,084	164,084	164,085	164,085	82,042	4,486,793	
	運営	維持管理経費	0	0	0	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	2,180,655
		小計	0	0	0	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	145,377	2,180,655
	支出総額		0	1,231,189	1,240,423	163,845	163,845	236,653	309,461	309,461	309,462	309,462	309,461	309,461	309,461	309,461	309,462	309,462	309,462	227,419	6,667,448
収入		起債で調達分	0	923,391	923,391	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,846,783
		補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		利用料収入	0	0	0	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	1,787,655
		交付税	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計		0	923,391	923,391	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	3,634,438
収入総額		0	923,391	923,391	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	3,634,438
リスク調整（支出項目）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支出－収入		0	307,797	317,031	44,668	44,668	117,476	190,284	190,284	190,284	190,285	190,285	190,284	190,284	190,284	190,284	190,285	190,285	108,242	3,033,010	
割引率	1.7%	現在価値率	1.00000	0.98328	0.96685	0.95069	0.93479	0.91917	0.90380	0.88870	0.87384	0.85923	0.84487	0.83075	0.81686	0.80321	0.78978	0.77658	0.76360	0.75083	
収支現価計	2,623,979	収支現価	0	302,651	306,522	42,465	41,755	107,980	171,979	169,105	166,278	163,499	160,766	158,078	155,435	152,838	150,282	147,772	145,302	81,271	2,623,979

PFI事業(BTO)		年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計	
支出	建築（Ⅰ）	民間資金返済(元本)		0	0	33,413	33,914	34,423	34,940	35,464	35,996	36,535	37,084	37,640	38,204	38,777	39,359	39,949	40,549	41,157	557,405	
		民間資金返済(金利)		0	0	8,361	7,860	7,351	6,835	6,311	5,779	5,239	4,691	4,135	3,570	2,997	2,415	1,825	1,226	617	69,210	
		小計		0	0	41,774	41,774	41,774	41,774	41,774	41,774	41,774	41,774	41,774	41,774	41,774	41,774	41,774	41,774	41,774	626,615	
	建築（Ⅱ）	一般財源	30,300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30,300
		補助金相当分		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		起債で一括支払分		784,883	784,883	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,569,765
		起債元金償還（1）		0	0	0	0	61,887	62,506	63,131	63,762	64,400	65,044	65,694	66,351	67,015	67,685	68,362	69,045	0	784,882	
		起債利息償還（1）		0	7,849	7,849	7,849	7,849	7,230	6,605	5,974	5,336	4,692	4,042	3,385	2,721	2,051	1,374	690	0	75,496	
		起債元金償還（2）		0	0	0	0	0	61,887	62,506	63,131	63,762	64,400	65,044	65,694	66,351	67,015	67,685	68,362	69,045	784,882	
		起債利息償還（2）		0	0	7,849	7,849	7,849	7,849	7,230	6,605	5,974	5,336	4,692	4,042	3,385	2,721	2,051	1,374	690	75,496	
		起債元金償還（3）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		起債利息償還（3）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		起債償還額計		0	7,849	15,698	15,698	77,585	139,472	139,472	139,472	139,472	139,472	139,472	139,472	139,472	139,472	139,472	139,472	139,471	69,735	1,720,756
		小計	30,300	784,883	792,732	15,698	15,698	77,585	139,472	139,472	139,472	139,472	139,472	139,472	139,472	139,472	139,472	139,472	139,472	139,471	69,735	3,320,821
	運営	維持管理経費	0	0	0	138,108	138,108	138,108	138,108	138,108	138,108	138,108	138,108	138,108	138,108	138,108	138,108	138,108	138,108	138,108	2,071,620	
		SPC経費	0	0	0	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	105,000	
		小計	0	0	0	145,108	145,108	145,108	145,108	145,108	145,108	145,108	145,108	145,108	145,108	145,108	145,108	145,108	145,108	145,108	2,176,620	
	支出総額		30,300	784,883	792,732	202,580	202,580	264,467	326,354	326,354	326,354	326,354	326,354	326,354	326,354	326,354	326,354	326,354	326,353	256,617	6,124,056	
	収入		起債で調達分	0	784,883	784,883	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,569,765
			補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用料収入			0	0	0	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	119,177	1,787,655	
交付税			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
法人市民税			0	0	0	130	130	561	561	561	561	561	561	561	561	561	561	561	561	561	7,550	
小計			0	784,883	784,883	119,307	119,307	119,738	119,738	119,738	119,738	119,738	119,738	119,738	119,738	119,738	119,738	119,738	119,738	119,738	3,364,970	
収入総額			0	784,883	784,883	119,307	119,307	119,738	119,738	119,738	119,738	119,738	119,738	119,738	119,738	119,738	119,738	119,738	119,738	119,738	3,364,970	
支出－収入		30,300	0	7,849	83,273	83,273	144,729	206,617	206,617	206,617	206,617	206,617	206,617	206,617	206,617	206,617	206,616	136,880	2,759,086			
割引率		1.7%	現在価値率	1.00000	0.98328	0.96685	0.95069	0.93479	0.91917	0.90380	0.88870	0.87384	0.85923	0.84487	0.83075	0.81686	0.80321	0.78978	0.77658	0.76360	0.75083	
収支現価計		2,321,496	収支現価	30,300	0	7,589	79,167	77,843	133,031	186,740	183,620	180,550	177,531	174,564	171,647	168,777	165,956	163,182	160,454	157,772	102,773	2,321,496

行政負担額	PSC	3,033,010
	PFI	2,759,086

行政負担額 (現在価)	PSC	2,623,979
	PFI	2,321,496

現在価値での比較（VFM算定）		
	LLC-PFI	V F M
全体	302,482	11.53%

